

在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業

補習授業校児童生徒の 学習状況調査等報告書

2018年12月

公益財団法人 海外子女教育振興財団
JAPAN OVERSEAS EDUCATIONAL SERVICES

報告書刊行にあたって

弊財団は、1971年に外務省および文部省（現 文部科学省）の許可を受け、海外で経済活動を展開している企業・団体によって設立されて以来、海外赴任者・帰任者のための教育相談・情報提供や、日本人学校・補習授業校への財政上・教育上の援助等をはじめ、政府の行う諸施策および維持会員の要望に相呼応して幅広い事業を展開・実施してまいりました。

一方、日本政府においても、近年急速に発展してきた経済社会のグローバル化に対応しうる人材育成を喫緊の課題と捉えており、文部科学省では在外教育施設をグローバル人材育成拠点と位置づけて、大学・民間研究団体等の研修者と連携して評価・検証を行い、より高度なグローバル人材の育成を見据えた先進的なプログラムの開発・推進を図ることを打ち出しました。

そしてこのたび弊財団は文部科学省からの委託を受け、それらの指導体制、指導・評価方法、ICT教材の活用等の実証研究を担う「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業」（通称：AG5(Advanced Global Five) プロジェクト）（委員長：佐藤郡衛・明治大学特任教授／前 目白大学学長／元 東京学芸大学副学長）を実施する運びとなりました。

その研究の一環として、世界中の補習授業校（2018年4月現在 221校）に焦点を当て、そこに通う児童生徒や補習授業校の教育の現状を把握することを目的に学習や補習授業校の状況調査を実施いたしました。その結果の概要につきましては、AG5の成果発信サイト（<https://www.ag-5.jp/>）におきましてもお伝えしているところでありますが、この成果を海外子女・帰国子女教育に関わる多くの方々に広くご活用いただくため、今般、報告書全文を掲載した本書を刊行することといたしました。

ここに、本調査研究にご尽力いただきました佐藤委員長をはじめとするAG5運営指導委員・研究員の皆様ならびにご協力いただきました学校関係者、児童生徒およびその保護者の皆様等すべての方々に対し、あらためまして厚く御礼申し上げます。

本書が“海外子女の今”を映し出す一冊となり、今後の海外子女・帰国子女教育の発展にお役立ていただけたら、本事業の実施者として、これに勝る喜びはございません。

弊財団では引き続き、「補習授業校におけるバイリンガル・バイカルチュラル人材育成のためのプログラム開発」や「日本人学校におけるグローバル能力育成のためのプログラム開発」、「南米日本人コミュニティにおける日本型教育・日本語教育の発信・普及のためのプログラム開発」などに向けて本事業を推進し、これを通じて新たに開発したプログラムや提言を国内外の教育施設へ周知・普及することにより、高度グローバル人材育成に貢献することを目指してまいり所存でございます。今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

公益財団法人 海外子女教育振興財団
理事長 中村雅治

目次

はじめに	1
調査結果の概要	2

第1部 補習授業校児童生徒に対する学習状況調査（子ども調査）結果

1. 調査の概要と対象とするデータ	5
2. 回答者属性データ	5
3. 各設問に対する回答の概要と分析	10
(1) あなた自身について	11
(2) 家の人と地域とのかかわりについて	24
(3) 日常生活について	29
(4) 家庭学習について	38
(5) 補習授業校について	48
(6) 現地校について	65
4. 国内「全国学力・学習状況調査」との比較	74

第2部 管理職に対する補習授業校調査結果

1. 調査の目的と方法	81
2. 補習授業校の実態と課題	83
(1) 設置目的	83
(2) 子ども・家庭	83
(3) 教師	84
(4) 教育の内容・方法	85
(5) 日本語力の不十分な子どもへの対応	85
(6) 補習授業校の特徴と意義	87
(7) グローバル人材としての基礎力育成のための実践と課題	88
3. 求められる支援の方向性	89

第3部 資料編

資料1 「補習授業校児童生徒に対する学習状況調査」調査用紙	93
資料2 「補習授業校児童生徒に対する学習状況調査」単純集計	101
資料3 「管理職に対する補習授業校調査」質問項目	124

おわりに	129
------	-----

はじめに

本報告書は補習授業校の子どもの学習状況と補習授業校の実態の調査結果をまとめたものです。このもとになっているのは、文部科学省の委託事業である「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業」(AG5プロジェクト)です。

在外教育施設の新しい役割として、グローバル人材育成が重要な柱に位置づけられるようになってきました。補習授業校は、平日は現地校ないしインターナショナルスクールに通っている子どもたちが、週末の土曜日等に日本語で学習をする場です。この子どもたちは、日本語能力と外国語能力を持ち、複数の文化・社会を理解できるグローバルな人材となりうる存在と期待されています。

補習授業校でグローバルな人材を育成するためには次のような視点が必要です。

- ① 広い視野、論理的思考力、適応力、自己表現力などのグローバル型能力を育成すること
- ② 国際結婚家庭や永住者の子どもの増加に伴い、日本語能力向上のための教育を提供すること
- ③ 日本文化の発信の拠点としての役割を果たすこと
- ④ 駐在員家庭など、日本に帰国予定の子どもの学力(日本語力)を高めること

これらの視点を持った教育の方策を探るために、本プロジェクトではまず、補習授業校の実態と子どもたちの属性や学習状況、生活状況などを把握することにしました。補習授業校に就学する子どもを対象にした「学習状況調査」(アメリカの補習授業校の小学部5年生～高等部3年生 5,417名を対象)と管理職を中心にした「補習授業校調査」(北米16校、ヨーロッパ2校、アジア1校の計19校を対象)の2つの調査を実施しました。本報告書の第1部では「学習状況調査」、第2部では「補習授業校調査」の結果をまとめてあります。

AG5プロジェクトのメンバーは次のとおりです。

佐藤郡衛(明治大学:委員長)、中村雅治(海外子女教育振興財団)、植野美穂(海外子女教育振興財団)、岡村郁子(首都大学東京)、近田由紀子(文部科学省)、佐々信行(海外子女教育振興財団)、渋谷真樹(奈良教育大学)、見世千賀子(東京学芸大学)の8名です。本報告書は全体の結果をメンバーで議論したのち、実際の執筆は第1部を岡村、第2部を渋谷が担当し、その結果を再度メンバーで議論をした後、まとめたものです。第1部4項では、只木良枝氏(立教大学大学院生)にデータ集計・整理等のご協力をいただきました。また海外子女教育振興財団の浅原賢氏・関口美樹氏には、調査用紙の作成をはじめ発送・回収、本報告書の作成に至るまで多大なるご尽力を賜りました。心より御礼申し上げます。

補習授業校の実態はこれまで十分に把握できていなかったこともあり、この報告書はその意味でも大きな意義があると考えています。また、この結果から、補習授業校の課題も明らかになっています。「グローバル人材の育成」という課題にどのように応えるか、そのためにはどのような支援が必要かという道筋もみえてきました。この結果を今後のAG5プロジェクトの取り組みに活かしていきたいと考えています。また、本報告書を多くの関係者で共有していただければ幸いです。

本調査の実施には多くの関係者の協力を得ました。特に、補習授業校の校長、学校運営委員会、先生、保護者の皆様、そして調査に快く回答していただいた子どもたちに深く感謝申し上げます。

AG5運営指導委員会 委員長
佐藤 郡衛

調査結果の概要

第1部 補習授業校児童生徒に対する学習状況調査（子ども調査）

本調査は、アメリカの補習授業校に在籍する児童生徒を対象に質問紙調査を行い、学習や生活の状況を明らかにすることを目指した。49校・3,826名から回答を得て、海外で学ぶ日本の子どもたちの多様化する属性や、男女間、および永住予定者と帰国予定者の間で異なる学習・生活の状況や、補習授業校に対する意識の差異に着目して分析を行った。また、現地校と補習授業校の比較、さらに日本国内の小・中学生との比較により、補習授業校で学ぶ子どもたちの特色も明らかにした。

以下にその結果の概要を示す。この結果は今後の補習授業校におけるカリキュラム開発のために活用し、AG5プロジェクト（在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業）の発展に資するものとした。

① 補習授業校在籍者の属性について

本調査の対象となったアメリカの補習授業校に在籍する児童生徒の約半数は、日本以外の国で生まれ、アメリカにずっと住んでおり、日本語より英語を得意としている。また、「日本居住経験がない」者が35%程度おり、「永住か帰国か」については、「帰国予定」が44.3%、「アメリカに永住予定」が19.6%、「わからない」が36.1%である（本編2(1)（P.5～）参照）。

本来は日本に帰国する児童生徒の教育を目的として設立された補習授業校だが、在籍者の多様化により、教育内容や方法に工夫を迫られている状況が改めて明らかになった。

② 補習授業校について

全体の約7割（帰国予定者の約8割、永住者の約6割）が「補習授業校は楽しい」または「どちらかといえば楽しい」と感じ、約8割が「友達に会う」ことを楽しみに通っている。4割程度は「好きな授業がある」と答えたが、現地校に比べてその数字は低く、補習授業校の授業をより一層魅力あるものにすることが課題であるといえる。一方で約6割の子どもが少しでも「補習授業校をやめたい」と思ったことがあると回答している。その理由として、「宿題がたくさんあるから」という回答が半数以上に達し、多くの宿題をかかえて週末に補習授業校へ通うことの大変さがうかがわれた（本編3(5)（P.48～）参照）。

③ 塾や家庭教師の有無

補習授業校に通う児童生徒の9割以上が日本の勉強または日本語の勉強のための塾や家庭教師を用いておらず、これらの勉強は補習授業校のみである。平日に塾に通う「現地校+塾」の選択、いわゆる「補習授業校離れ」の層については今回の結果に含まれていないが、塾に頼らず補習授業校のみで日本語を勉強するためには、週一回の授業をよりいっそう充実させる必要があり、AG5による新しいカリキュラム開発や補習授業校の教師への支援策を早急に講じる必要がある（本編3(4)（P.38～）参照）

④ 帰国予定者と永住予定者の差異

永住予定者は帰国予定者に比べて、自己肯定感やチャレンジ精神が強い傾向がみられた。「将来日本で仕事がしたい」に「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と答えたのは帰国予定者の85%近く、永住予定者でも25%近くが将来日本で働くことを視野に入れていたことから、英語を第一言語としながら補習授業校で日本語を学び、将来日本で働くグローバル人材の育成に補習授業校が大きな役割を果たすと考えられる（本編3(1)（P.11～）参照）。

⑤ 日本国内の児童生徒との差異

補習授業校では日本国内に比べて自己肯定感が高く、自分の考えや意見を発表することが得意で、人が困っている時に進んで助けると答えた児童生徒が多かった。また「将来海外で働きたい」と答えた割合は国内では小・中学生ともに約33%であるのに対し、補習授業校では小学生で65%、中学生で

60%を上回り、将来のグローバル人材としての期待は大きい。なお、日本の児童生徒に比べてゲームやテレビ・動画サイトの視聴に費やす時間が大幅に少なく、その意味において日本国内よりも学習・生活環境は良好であると考えられる（本編4（P.74～）参照）。

第2部 管理職に対する補習授業校調査

本調査は、北米16校、ヨーロッパ2校、アジア1校の計19校の補習授業校における校長などの管理職に対するインタビューまたはアンケート調査から、補習授業校の現状および課題を明らかにすることを目的にした。とりわけ、児童生徒の多様化の実態や、それによって生じている課題や対応に注目した。それをもとに、以下の4点について支援が必要であることが明らかになった。

① 多様性への対応

補習授業校には、数年で帰国予定の子どもから現地で生まれ育った子どもまで、さまざまな子どもがおり、ニーズが多様化している（本編2(1)(2)（P.83～）参照）。そのため、習熟度別クラスや国際部等を設置した補習授業校もあるが、それが差別意識を生むなどの問題が生じて取りやめた補習授業校もある。

補習授業校には、日本語学習のみならず、日本文化の体得や日本的アイデンティティの形成も期待されており、日本にルーツをもつ多様な子どもがともに学べる環境が望まれる（本編2(6)（P.87～）、3（P.89～）参照）。

② 効果的な授業の提案

補習授業校の児童生徒は海外で生活しつつ、週に1度だけ補習授業校に通っているため、日本語や日本文化に触れる機会が限られている。そうした時間的・環境的な制約の中で、日本と同様の授業を展開することは不可能である。日本語力が不足する子どもに対しても、十分な配慮ができていないことも少なくない（本編2(4)(5)（P.85）参照）。

そこで、より効果的な授業を開発し、各学校や学級の現状に合わせて教師が応用できる汎用性の高いプログラムとして提案していく必要がある。教師同士がアイデアを出し合うポータルサイトの設置も効果的であろう（本編3（P.89～）参照）。

③ 教育方法の刷新

補習授業校では、教科書に沿って教師が児童生徒に知識を伝達する一斉授業が主流である。教科書をこなすことや漢字を覚えさせることに力点が置かれ、それについていけない児童生徒は途中で補習授業校をやめていく現実がある（本編2(4)(5)（P.85～）参照）。

一方、多くの補習授業校は、グローバルな資質能力を育てていることを自負している（本編2(7)（P.88）参照）。

国語と社会科との合科授業で、現地理解の授業を行い、永住予定の子どもたちの得意な発信型の授業を行うなどして、不足を補うだけでなく、グローバル時代の先端をいく教育を開発していくことが望まれる（本編3（P.89～）参照）。

④ 教員研修

どの補習授業校でも、教師の確保に苦心している。教員免許や日本での教師経験がないままに教えている者も多い。校長が授業を見回ったり助言したりしているものの、週に1回の非常勤講師に対して十分な研修をすることは困難である（本編2(3)（P.84）参照）。

そこで、ICTを活用するなどして、効率的で効果的に教師の力量形成を支援をしていくことが必要である。その際には、日本の教育情報を発信するのみならず、補習授業校の教師同士がコミュニケーションしたり、教案や教材を共有したりできるしかけをつくることが望まれる（本編3（P.89～）参照）。

1. 調査の概要と対象とするデータ

文部科学省委託事業「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業」(通称：AG5プロジェクト)の「補習授業校における日本語能力向上のための総合的なプログラム開発」の取り組みに向けて、補習授業校の現状および課題を探るため、アメリカの補習授業校を対象としたインタビューおよび学習状況調査(質問紙調査)を実施した。

第1部では、そのうち補習授業校に通う児童生徒を対象とした質問紙調査の結果について述べる。一部の項目については、補習授業校と現地校との比較、補習授業校と日本国内の学校との比較も行いつつ、アメリカの補習授業校の特色と課題について明らかにしたい。なお、調査の単純集計については本報告書の稿末資料として掲載した。

○調査日時	2017年9月～10月
○調査事項	調査項目は別添・質問紙のとおり (P.93～100) 属性についての8項目 補習授業校に通う児童生徒の学習状況や生活態度、学校の授業の感想などについての97項目(国立教育政策研究所実施「全国学力・学習状況調査」の項目を含む)
○調査対象	アメリカの補習授業校に在籍する児童生徒 5,417名(回答数 49校 3,826名、回収率 71%)
○対象学年	小学部5年生～高等部3年生
○分析手法	K-Means / 度数分布表 / クロス集計(カイ2乗検定含む) データの分析については IBM SPSS Statistics 25 を利用した。

2. 回答者属性データ

(1) 属性の概要

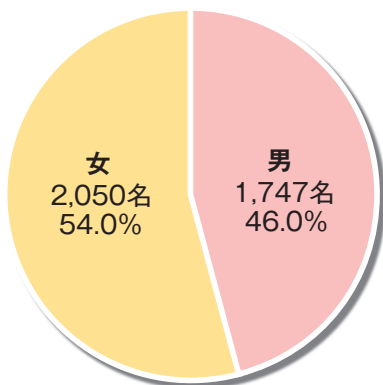
調査対象者の主な属性を【表1】および以下の図に示した。まず注目すべきなのは、総数のうち「日本生まれ」(51.9%)と「日本以外で生まれた者」(48.1%)がほぼ拮抗していたことである。また、「アメリカ以外に居住経験がない」者が61.2%に上り、「一番得意な言語が日本語である」とした者は55.4%にとどまった。すなわち、補習授業校に通う児童生徒の約半数が、日本以外の国で生まれ、アメリカにずっと住んでおり、日本語より英語を得意としているといえる。また全体の34.9%は「日本居住経験がない」と答えており、「帰国・永住予定の別」については、「日本へ帰国予定」が44.3%、「アメリカに永住予定」が19.6%、「わからない」とした者が36.1%であった。本来は日本に帰国する児童生徒の教育を目的とする補習授業校が、在籍者の多様化により教育内容や方法に工夫を迫られている状況が見てとれる。

なお、F4では「アメリカ以外に居住経験がない」と答えた者が61.2%であるのに対し、「日本での居住経験有り」とした者が65.1%おり数字に矛盾があるが、「日本での居住」が短期間の一時帰国を含んで回答されたケースもあるものと解釈し、このまま掲載した。

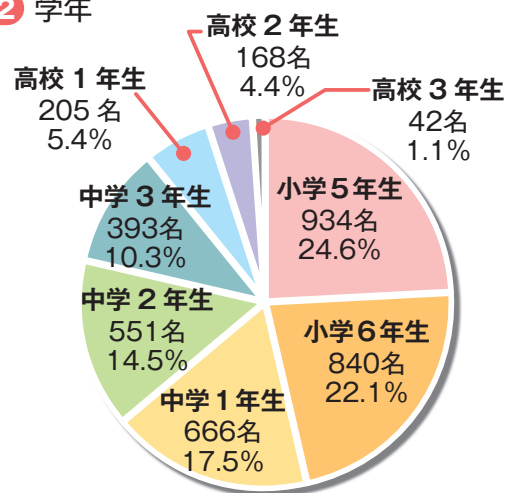
【表1】 調査対象者の属性

F1 性別	男 1,747 (46.0%)・女 2,050 (54.0%)
F2 学年	小5年 934 (24.6%)・小6年 840 (22.1%)・ 中1年 666 (17.5%)・中2年 551 (14.5%)・中3年 393 (10.3%) 高1年 205 (5.4%)・高2年 168 (4.4%)・高3年 42 (1.1%)
F3 生まれた国	日本 1,975 (51.9%)・日本以外 1,829 (48.1%)
F4 アメリカ以外の居住経験	ある 1,469 (38.8%)・ない 2,317 (61.2%)
F5-1 日本の居住経験	ある 2,462 (65.1%)・ない 1,317 (34.9%)
F5-2 日本での居住期間	1年未満 303 (12.2%)・1～3年 304 (12.3%)・ 3～5年 315 (12.7%)・5年以上 1,558 (62.8%)
F6 補習授業校に通い始めた時期	小1～3年生 2,343 (62.4%)・小4～6年生 901 (24.0%) 中1～3年生 445 (11.9%)・高校生 63 (1.7%)
F7 一番得意な言語	日本語 2,070 (55.4%)・英語 1,651 (44.2%)・ 日本語と英語以外の言語 15 (0.4%)
F8 帰国・永住予定の別	日本へ帰国する予定 1,675 (44.3%) アメリカに永住予定 740 (19.6%)・わからない 1,364 (36.1%)

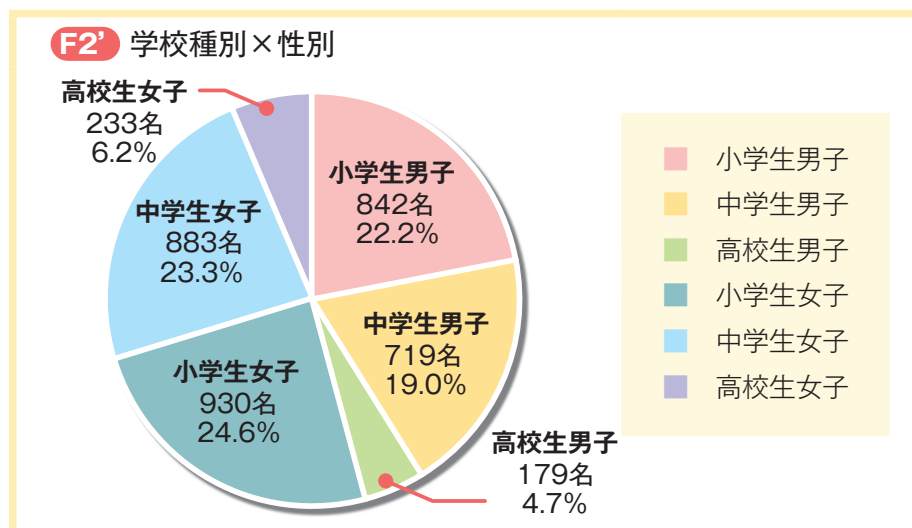
F1 性別



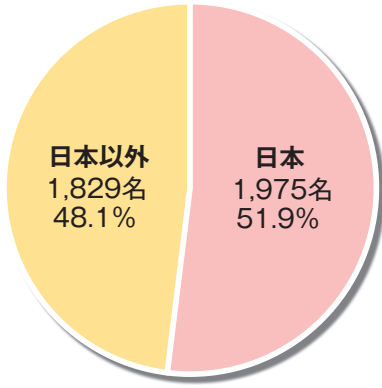
F2 学年



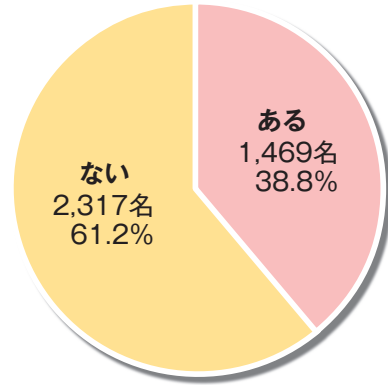
以下に、F1ならびにF2のクロス集計により、新たな属性変数であるF2'「学校種別（小学・中学・高校）×性別」を作成した。



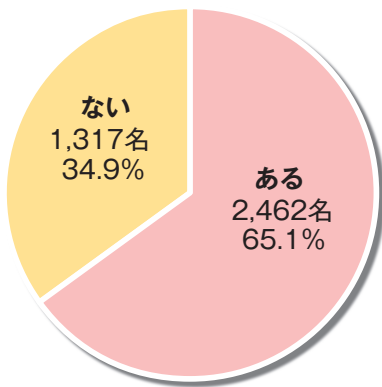
F3 生まれた国



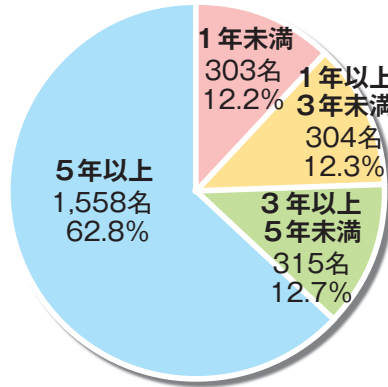
F4 アメリカ以外の居住経験



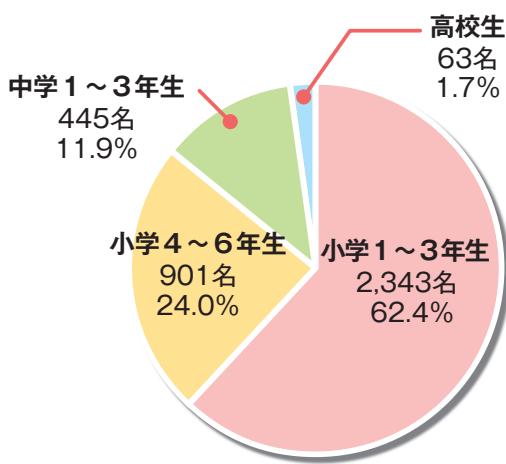
F5-1 日本の居住経験



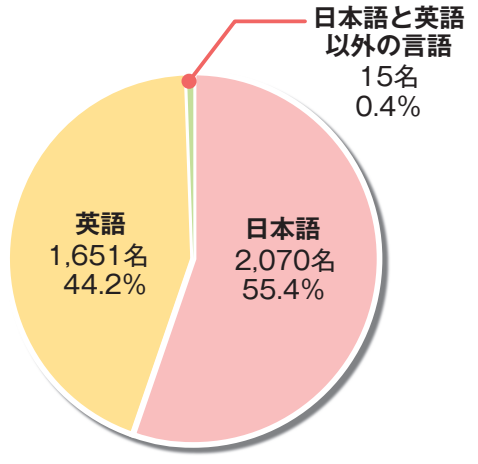
F5-2 日本での居住期間



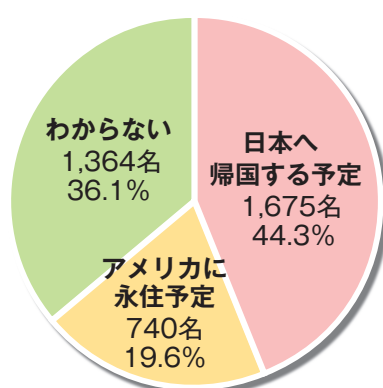
F6 補習授業校に通い始めた時期



F7 一番得意な言語



F8 帰国・永住予定の別



(2) 属性間のクロス集計の結果

「F1 性別」・「F2 学年」・「F3 生まれた国」・「F4 アメリカ以外の居住経験」・「F5-1 日本の居住経験」・「F5-2 日本での居住期間」・「F6 補習授業校に通い始めた時期」・「F7 一番得意な言語」・「F8 帰国・永住予定の別」の8つの属性相互の関連をみるために、クロス集計を行った。

「F3 生まれた国」に着目すると、全回答者数 3,826 名のうち、「日本生まれ」と回答したのは 1,975 名 (51.9%)、「日本以外」は 1,829 名 (48.1%) であった。属性間の関連をみると、「日本生まれ」では男女ともに「日本での居住経験がある」と答えており、66.9%が日本に5年以上の居住経験がある。しかしながら「日本生まれ」であっても「一番得意な言語を日本語」とした者は 78.6%にとどまり、19.9%は英語が第一言語になっている点にも注目すべきであろう。さらに、日本生まれのうち「日本へ帰国する予定」と答えた者は 71.4%に上る一方、「わからない」としたものが 22.7%いた。先にみたとおり、全体の回答で帰国か永住かを「わからない」としたものが 36.1%であったが、日本生まれの子どもたちのうち約2割が日本語より英語を得意とし、将来日本へ帰るのか帰らないのかわからずにアメリカに滞在していることがわかる。

これらのことから、本来は日本へ帰国する児童生徒の教育を行うために設置された補習授業校がその目的を大きく転換する必要に迫られていることは明らかであろう。また、子どもたちに必要な日本語力も多様化していることがうかがわれ、授業のターゲットをより定めにくくしていると考えられる。

クロス集計の結果

【表2】 属性相互の関連

		全体		F8 帰国・永住予定の別			F3 生まれた国		F5-1 日本の居住経験		F7 一番得意な言語		
		回答数	%	日本へ帰国する予定	アメリカに永住予定	わからない	日本	日本以外	ある	ない	日本語	英語	日本語と英語以外の言語
		3,826	100%	1,675	740	1,364	1,975	1,829	2,462	1,317	2,070	1,651	15
F1 性別	男	1,747	46.0%	46.5%	46.1%	45.0%	46.3%	45.4%	47.2%	43.3%	47.0%	44.6%	26.7%
	女	2,050	54.0%	53.2%	53.4%	54.5%	53.3%	54.2%	52.4%	56.3%	52.6%	55.0%	73.3%
F2 学年	小学5年生	934	24.6%	25.8%	23.8%	22.8%	25.6%	23.2%	24.9%	23.7%	24.0%	24.9%	20.0%
	小学6年生	840	22.1%	19.9%	23.8%	23.5%	20.1%	24.2%	20.7%	24.6%	20.3%	24.1%	13.3%
	中学1年生	666	17.5%	17.0%	17.8%	18.0%	17.4%	17.6%	17.3%	17.6%	18.0%	17.0%	13.3%
	中学2年生	551	14.5%	15.5%	14.2%	13.3%	14.9%	14.0%	15.0%	13.7%	14.9%	14.0%	26.7%
	中学3年生	393	10.3%	9.6%	11.1%	11.0%	9.5%	11.3%	10.0%	11.0%	9.9%	10.9%	6.7%
	高校1年生	205	5.4%	6.0%	3.6%	5.6%	6.5%	4.2%	6.2%	3.9%	6.9%	3.6%	6.7%
	高校2年生	168	4.4%	4.5%	4.2%	4.5%	4.5%	4.4%	4.4%	4.2%	4.3%	4.5%	13.3%
	高校3年生	42	1.1%	1.3%	1.2%	0.8%	1.3%	0.9%	1.2%	0.8%	1.4%	0.8%	—
F3 生まれた国	日本	1,975	51.9%	84.2%	14.3%	32.9%			78.5%	2.1%	75.0%	23.9%	26.7%
	日本以外	1,829	48.1%	15.6%	85.7%	66.9%			21.4%	97.9%	24.7%	76.1%	73.3%
F4 アメリカ以外の居住経験	ある	1,469	38.8%	47.8%	24.2%	35.6%	48.3%	28.0%	56.1%	6.1%	46.3%	29.3%	46.7%
	ない	2,317	61.2%	51.5%	75.8%	63.7%	51.0%	71.6%	43.4%	93.9%	52.8%	70.4%	53.3%
F5-1 日本の居住経験	ある	2,462	65.1%	93.3%	29.2%	49.2%	97.9%	28.8%			86.3%	38.5%	40.0%
	ない	1,317	34.9%	5.8%	70.3%	49.9%	1.4%	70.5%			12.8%	60.8%	60.0%
F5-2 日本での居住期間	1年未満	303	12.2%	2.9%	12.4%	11.8%	4.7%	11.5%	12.0%	0.5%	3.9%	13.2%	13.3%
	1年以上3年未満	304	12.3%	7.5%	6.8%	9.5%	10.7%	5.1%	12.2%	0.1%	7.8%	8.2%	—
	3年以上5年未満	315	12.7%	10.7%	3.4%	8.0%	12.5%	3.7%	12.6%	0.2%	9.3%	6.9%	13.3%
	5年以上	1,558	62.8%	69.6%	10.1%	22.7%	66.9%	12.7%	59.4%	6.3%	63.5%	13.4%	40.0%
F6 補習授業校に通い始めた時期	小学1～3年生	2,343	62.4%	33.6%	92.3%	79.8%	38.6%	86.2%	44.1%	94.1%	37.4%	92.1%	46.7%
	小学4～6年生	901	24.0%	42.7%	3.8%	11.1%	39.0%	7.1%	35.2%	2.0%	39.3%	4.5%	6.7%
	中学1～3年生	445	11.9%	19.9%	2.2%	7.0%	18.5%	4.3%	17.1%	1.5%	19.6%	1.9%	26.7%
	高校生	63	1.7%	3.0%	0.3%	0.8%	2.8%	0.4%	2.4%	0.2%	2.8%	0.2%	13.3%
F7 一番得意な言語	日本語	2,070	55.4%	87.1%	13.9%	36.7%	78.6%	28.0%	72.5%	20.1%			
	英語	1,651	44.2%	11.6%	84.9%	60.4%	19.9%	68.7%	25.8%	76.2%			
	日本語と英語以外の言語	15	0.4%	0.2%	0.3%	0.7%	0.2%	0.6%	0.2%	0.7%			
F8 帰国・永住予定の別	日本へ帰国する予定	1,675	44.3%				71.4%	14.3%	63.5%	7.4%	70.5%	11.8%	26.7%
	アメリカに永住予定	740	19.6%				5.4%	34.7%	8.8%	39.5%	5.0%	38.0%	13.3%
	わからない	1,364	36.1%				22.7%	49.9%	27.3%	51.7%	24.2%	49.9%	60.0%

(3) 「学校規模別(小規模校・大規模校の別)」による属性分析

本調査の協力校は、同じアメリカにありながらその規模においても多様である。全49校のうち、小・中学部に在籍する児童生徒数が100名以上の学校を大規模校、99名以下の学校を小規模校と定義し、「学校規模別」によるクロス集計を行った。(表中、「高あり」は「高等部のある学校」を示す。)

【表3】 本調査協力校(補習授業校)

小規模校 23校

マッカーレン、バッファロー、シャーロット(高あり)、リッチモンド(VA)、ジャクソンビル、グランドラピッズ、セントルイス、ユタ、バトンルージュ(高あり)、リトルロック、バーミングハム、ハンツビル、グレートルイビル、南インディアナ(高あり)、クリーブランド(高あり)、グロスマン・アカデミー、グアム、ハートフォード、グリーンビル、サウスカロライナ、コロンバス(GA)、エルパソ、オースチン

大規模校 26校

アトランタ(高あり)、中部テネシー(高あり)、ニュージャージー(高あり)、プリンストン(高あり)、ニューヨーク(高あり)、ローリー(高あり)、オーランド、フィラデルフィア(高あり)、ボストン(高あり)、デトロイト(高あり)、シアトル(高あり)、ワシントン(高あり)、アリゾナ学園、シカゴ(高あり)、インディアナ(高あり)、コロンバス(OH)(高あり)、サンディエゴ(高あり)、サンフランシスコ(高あり)、西大和学園、ポート・オブ・サクラメント(高あり)、ロサンゼルス(高あり)、シンシナティ(高あり)、セントラルケンタッキー(高あり)、デンバー、ダラス(高あり)、ヒューストン(高あり)

学校規模別により、上記の8属性について「 $p<.05$ 」「 $p<.01$ 」「 $p<.001$ 」のいずれかで有意差がみられたのは、「F2 学年別」「F3 生まれた国」「F5-1 日本の居住経験」「F6 補習授業校に通い始めた時期」「F8 帰国・永住予定の別」の5項目であり、学校規模により属性にかなりの差異がみられた。

① F2 学年別

高校生の在籍者は小規模校で1.2%、大規模校で4.8%となっており、大規模校の方が多かった。これは、大規模校の方が高等部を持つ学校が多いことが理由の一つと考えられる。

② F3 生まれた国

「日本生まれ」の割合は、小規模校で62.5%、大規模校で50.9%であった。大規模校では約半数が日本以外で生まれているのに対し、小規模校では3分の1程度で、大きな差異がある。

③ F5-1 日本の居住経験

「ある」と答えたのが小規模校で73.7%、大規模校では64.3%となっており、小規模校の方が日本居住経験のある児童生徒の割合が10ポイント程度多い。

④ F6 補習授業校に通い始めた時期

いずれにおいても一番多かったのが小学1～3年生で、小規模校で58.2%、大規模校で62.9%であった。中学1～3年で通い始めたのは小規模校の方が多く、17.9%であった。

⑤ F8 帰国・永住予定の別

小規模校では54.4%が「帰国予定」、13.3%が「永住予定」と答えたのに対し、大規模校では「帰国予定」は43.4%、「永住予定」が20.1%であった。大規模校では小規模校に比べ、それぞれ10ポイント程度帰国予定者が少なく、永住予定者が多い。

3. 各設問に対する回答の概要と分析

質問紙の全 97 項目を以下の 6 カテゴリーに分けて回答を分析した。カテゴリーごとにまず単純集計の結果の概要を示し、属性によるクロス集計において有意な差異が認められた項目についても併せて述べる。

本報告では、クロス集計の結果のうち特に多くの有意差が検出された「①帰国・永住予定の別」「②学校種別×性別」「③学校規模別（在籍者数 100 名以上を大規模校、99 名以下を小規模校と定義）」の 3 つの属性に着目し、質問項目ごとに特徴的な結果をまとめた。なお、1 (2)「属性間のクロス集計の結果」でみたとおり、将来の「帰国・永住予定」は、「生まれた国」や「日本の居住経験の有無」、「一番得意な言語」等と高い関連があるため、ここでは、そのうち「帰国・永住予定」によるクロス集計を行うこととする。ただし、複数の要因が関連する場合、有意差がなくなるまでカイ 2 乗検定を繰り返してデジジョン・ツリー（決定木）を構築する「CHAID (Chi-squared Automatic Interaction Detection)」(P.17 参照) を適宜用いた。各カテゴリーの概要を以下に示す。

(1) あなた自身について(Q1 ~ Q20)

- 「Q1 物事を最後までやり遂げて嬉しかったことがある」「Q2 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」「Q3 自分にはよいところがあると思う」「Q4 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ」など回答者の思考やライフスタイルに関する 17 項目(Q1 ~ Q17)
- 中学部・高等部卒業後の進路および高等部まで補習授業校に通い続けている理由に関する 3 項目(Q18 ~ Q20)

(2) 家の人と地域とのかかわりについて(Q21 ~ Q26)

- 「Q21 家の人と学校での出来事について話をしますか?」「Q22 家の手伝いをしていますか?」「Q24 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか?」など、家の人や地域とのかかわりに関する 6 項目

(3) 日常生活について(Q27 ~ Q39)

- 「Q27 あなたは毎日朝食を食べていますか?」「Q29 普段何時ごろ寝ますか?」「Q30 英語の新聞を読んでいますか?」「Q37 日本語の本をどれくらい読みますか?」「1 日あたりどれくらいの時間テレビゲームをしますか?」など、基本的な生活習慣や、読書・テレビやゲームに充てる時間に関する 13 項目

(4) 家庭学習について(Q40 ~ Q53)

- 「Q40 あなたは普段、学校の授業時間以外に、1 週間あたりどれくらいの時間、補習授業校の勉強をしますか?」「Q50 あなたは学習塾に通っていますか?」など、学校の授業時間以外に家庭で勉強する時間（補習授業校、現地校）やその内容や方法、家庭教師や塾の利用状況に関する 14 項目

(5) 補習授業校について(Q54 ~ Q78)

- 「Q54 補習授業校に行くのが楽しみだ」「Q55 友達に会うのは楽しい」「Q64 これまでに補習授業校をやめたいと思ったことはありますか?それはなぜですか?」など、補習授業校での学校生活に関する 11 項目(Q54 ~ Q64)
- 「Q65 補習授業校の国語の授業は楽しい」「算数/数学の授業で学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと思う」など、補習授業校の授業の好き嫌いや理解度に関する 14 項目(Q65 ~ Q78)

(6) 現地校について(Q79 ~ Q97)

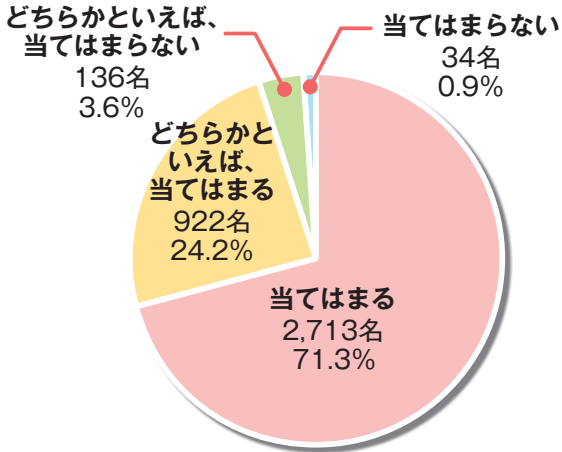
- 「Q79 現地校に行くのが楽しみだ」「Q80 友達に会うのは楽しい」など、現地校の学校生活に関する 10 項目(Q79 ~ Q88)
- 「授業では学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う」「授業の中で目標が示されていたと思う」など、現地校の授業に関する 9 項目(Q89 ~ Q97)

(1) あなた自身について(Q1～Q20)

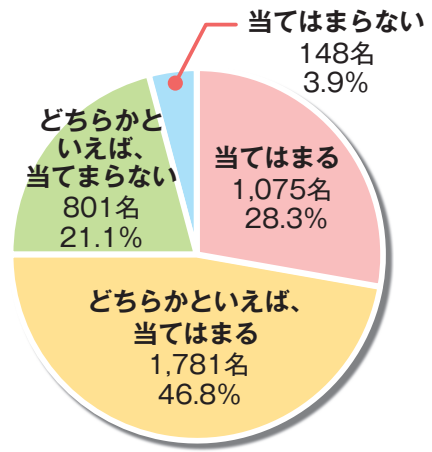
回答者の思考やライフスタイルに関する17項目

各項目ともに「当てはまる」と回答した者が多く、各設問に対しておおむね肯定的な傾向がうかがわれた。

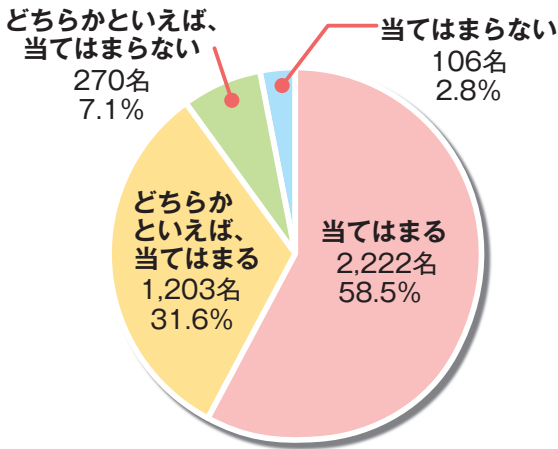
Q1 物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがある。



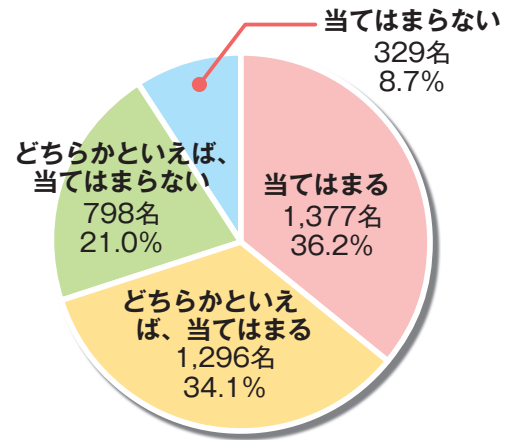
Q2 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。



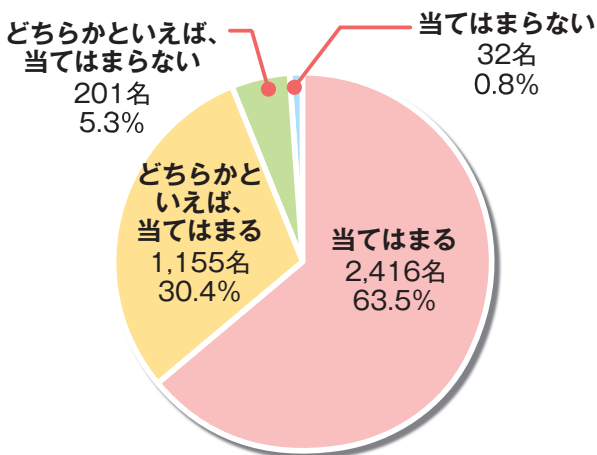
Q3 自分にはよいところがあると思う。



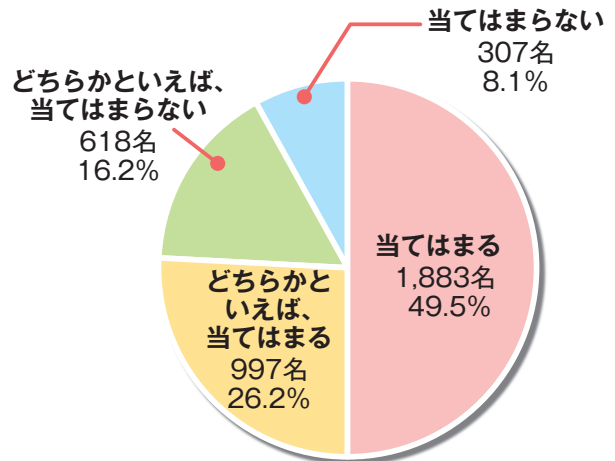
Q4 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ。



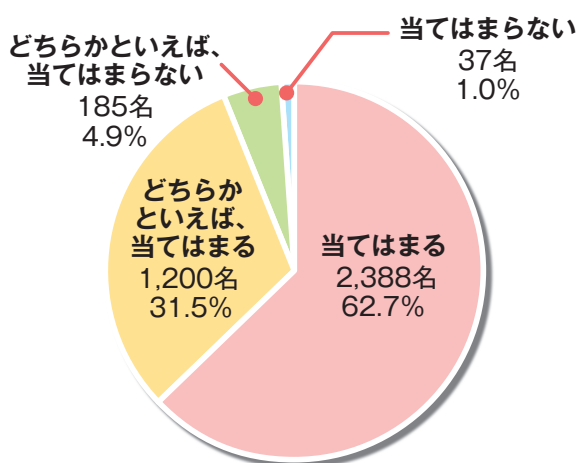
Q5 友達と話し合う時、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。



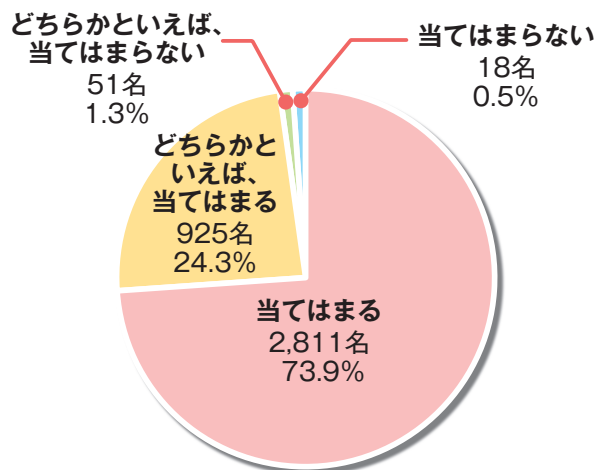
Q6 将来の夢や目標を持っている。



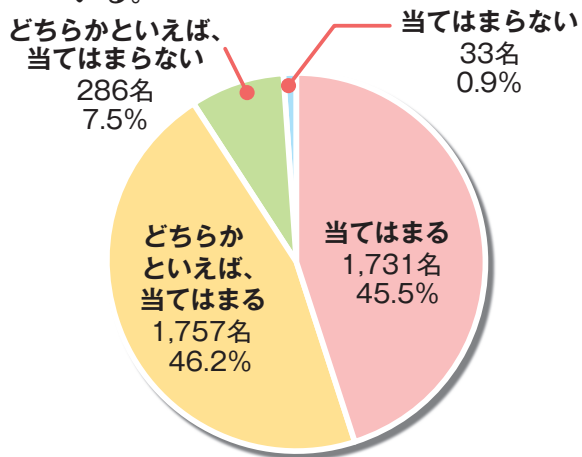
Q7 学校のきまりを守っている。



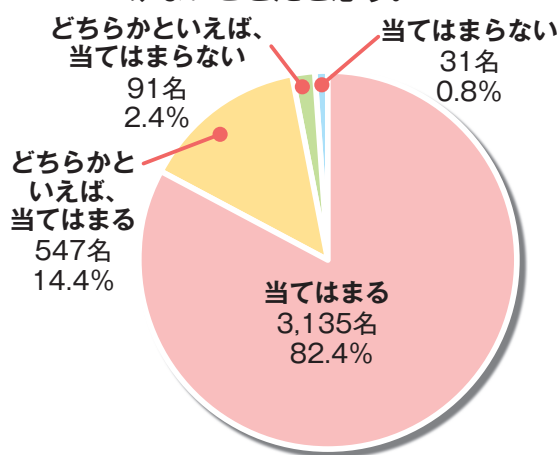
Q8 友達との約束を守っている。



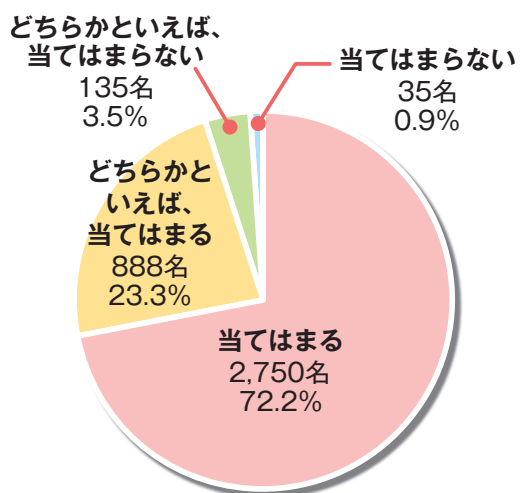
Q9 人が困っているときは、進んで助けている。



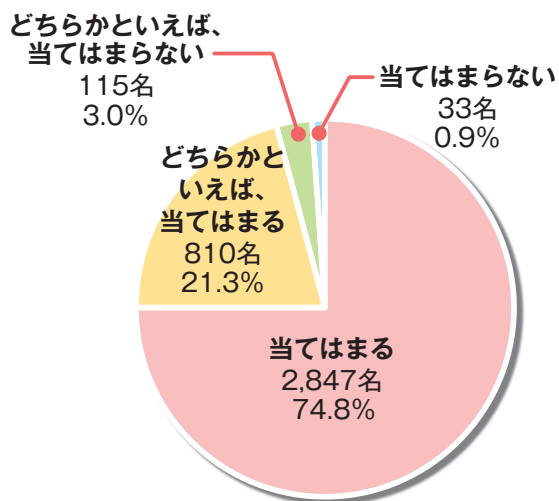
Q10 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。



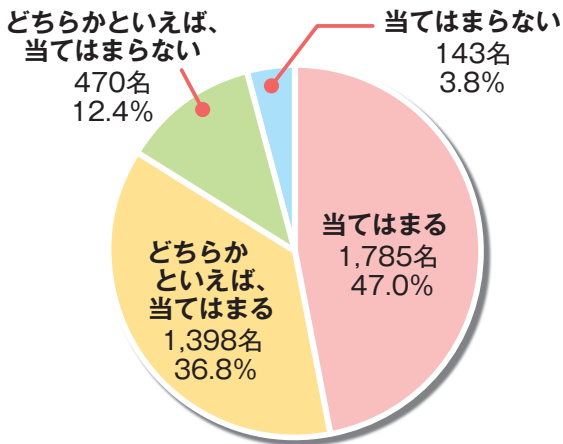
Q11 人の役に立つ人間になりたいと思う。



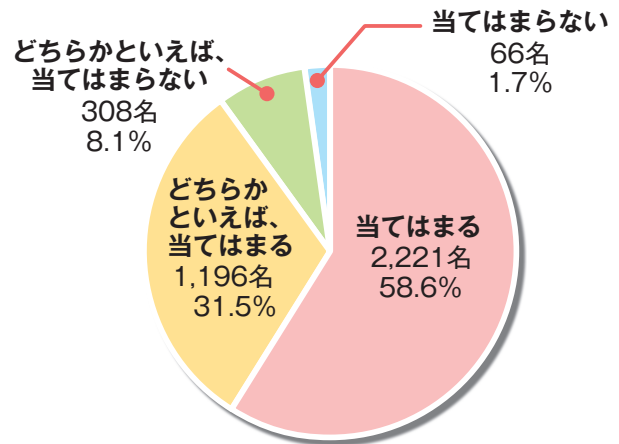
Q12 人の気持ちがわかる人間になりたいと思う。



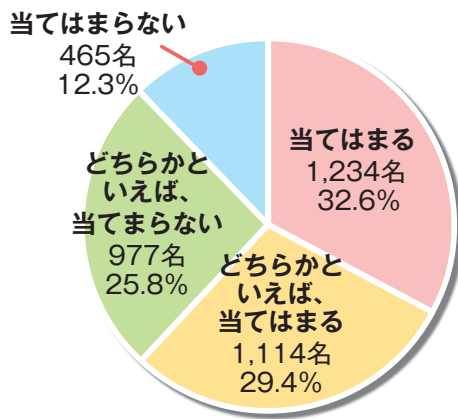
Q13 自分のことを大切な存在だと感じている。



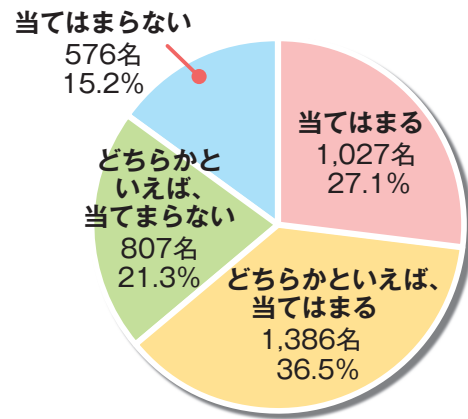
Q14 将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思う。



Q15 将来、日本で仕事がしたい。



Q16 将来、日本以外の国で仕事がしたい。



クロス集計の結果

Q1～Q16に関するクロス集計分析により、「 $p<.05$ 」「 $p<.01$ 」「 $p<.001$ 」のいずれかで統計的に有意差のみられた項目のみを取り上げ、以下に概説する。Q1～Q16においては、「帰国・永住予定の別」「男女別」「学年別」において多くの項目で有意差が検出されたが、「大規模校・小規模校の別」による差はいずれの設問についても有意ではなかった。

① 帰国・永住予定の別

a. 永住予定者は帰国予定者より、自己肯定感やチャレンジ精神が高い傾向がある

Q2「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」では、帰国予定者 24.4%に対して永住予定者では 33.5%が「そう思う」と答えており、帰国予定者よりチャレンジ精神が高い傾向がみられた。

Q3「自分にはよいところがあると思う」に「そう思う」と回答したのは、帰国予定者 52.7%に対し永住予定者 68.4%、Q13「自分のことを大切な存在だと感じている」についてもそれぞれ 40.8%・56.2%と合わせて大きな差異がみられたことから、永住予定者の方が帰国予定者に比べて総じて「自己肯定感」が高いといえるだろう。

b. 自分の考えや意見を発表するのは永住予定の方が得意

また、Q4「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ」に対し「当てはまる」と答えたのは帰国予定者で33.9%、永住予定者で40.9%であったが、「どちらかといえば、当てはまる」を合わせると帰国予定者が66.0%、永住予定者が75.2%で有意な差がみられた。属性のクロス分析（P.8【表2】）でみたとおり、永住予定者の9割が小1～3年で補習授業校に通い始めているが、これはすなわち当時から現地校に通っていたことを意味する。現地校では低学年から“Show and Tell”など大勢の前で話す経験を重ねていることから、このような結果になったものと考えられる。

【表4】あなた自身について（帰国・永住予定の別）

		全体		F8 帰国・永住予定の別		
		回答数	%	日本へ帰国する予定	アメリカに永住予定	わからない
		3,826	100%	1,675	740	1,364
Q1 物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがある。	当てはまる	2,713	71.3%	73.9%	68.2%	69.1%
	どちらかといえば、当てはまる	922	24.2%	22.3%	25.9%	25.5%
	どちらかといえば、当てはまらない	136	3.6%	2.8%	4.5%	4.0%
	当てはまらない	34	0.9%	0.8%	1.1%	0.8%
Q2 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。	当てはまる	1,075	28.3%	24.4%	33.5%	29.6%
	どちらかといえば、当てはまる	1,781	46.8%	48.4%	45.0%	45.7%
	どちらかといえば、当てはまらない	801	21.1%	23.4%	17.6%	19.9%
	当てはまらない	148	3.9%	3.6%	3.5%	4.4%
Q3 自分にはよいところがあると思う。	当てはまる	2,222	58.5%	52.7%	68.4%	59.2%
	どちらかといえば、当てはまる	1,203	31.6%	34.7%	24.9%	31.7%
	どちらかといえば、当てはまらない	270	7.1%	8.7%	4.6%	6.3%
	当てはまらない	106	2.8%	3.7%	1.6%	2.3%
Q4 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ。	当てはまる	1,377	36.2%	33.9%	40.9%	36.1%
	どちらかといえば、当てはまる	1,296	34.1%	32.1%	34.3%	35.9%
	どちらかといえば、当てはまらない	798	21.0%	23.6%	18.5%	19.1%
	当てはまらない	329	8.7%	9.9%	5.9%	8.5%
Q5 友達と話し合う時、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。	当てはまる	2,416	63.5%	60.4%	66.4%	65.0%
	どちらかといえば、当てはまる	1,155	30.4%	32.7%	27.2%	29.3%
	どちらかといえば、当てはまらない	201	5.3%	5.6%	5.4%	4.8%
	当てはまらない	32	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%
Q6 将来の夢や目標を持っている。	当てはまる	1,883	49.5%	48.5%	52.3%	48.2%
	どちらかといえば、当てはまる	997	26.2%	27.1%	26.5%	24.9%
	どちらかといえば、当てはまらない	618	16.2%	15.5%	14.2%	18.4%
	当てはまらない	307	8.1%	8.5%	6.8%	8.3%
Q7 学校のきまりを守っている。	当てはまる	2,388	62.7%	62.7%	62.7%	62.6%
	どちらかといえば、当てはまる	1,200	31.5%	31.9%	31.2%	30.6%
	どちらかといえば、当てはまらない	185	4.9%	4.4%	4.2%	5.8%
	当てはまらない	37	1.0%	0.9%	1.8%	0.7%
Q8 友達との約束を守っている。	当てはまる	2,811	73.9%	72.4%	78.4%	72.4%
	どちらかといえば、当てはまる	925	24.3%	25.4%	20.0%	25.4%
	どちらかといえば、当てはまらない	51	1.3%	1.6%	0.9%	1.2%
	当てはまらない	18	0.5%	0.4%	0.4%	0.7%
Q9 人が困っているときは、進んで助けている。	当てはまる	1,731	45.5%	42.9%	51.1%	45.2%
	どちらかといえば、当てはまる	1,757	46.2%	47.9%	40.5%	46.7%
	どちらかといえば、当てはまらない	286	7.5%	8.2%	6.9%	7.1%
	当てはまらない	33	0.9%	0.7%	1.4%	0.7%

Q10 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	当てはまる	3,135	82.4%	82.6%	81.4%	82.0%
	どちらかといえば、当てはまる	547	14.4%	14.0%	15.7%	13.9%
	どちらかといえば、当てはまらない	91	2.4%	2.0%	2.0%	3.0%
	当てはまらない	31	0.8%	0.8%	0.8%	0.9%
Q11 人の役に立つ人間になりたいと思う。	当てはまる	2,750	72.2%	70.4%	72.8%	73.6%
	どちらかといえば、当てはまる	888	23.3%	24.7%	22.7%	22.1%
	どちらかといえば、当てはまらない	135	3.5%	4.0%	2.7%	3.3%
	当てはまらない	35	0.9%	0.8%	1.4%	0.9%
Q12 人の気持ちがわかる人間になりたいと思う。	当てはまる	2,847	74.8%	75.8%	73.6%	73.8%
	どちらかといえば、当てはまる	810	21.3%	20.9%	21.8%	21.3%
	どちらかといえば、当てはまらない	115	3.0%	2.4%	3.1%	3.7%
	当てはまらない	33	0.9%	0.7%	0.9%	1.0%
Q13 自分のことを大切な存在だと感じている。	当てはまる	1,785	47.0%	40.8%	56.2%	48.8%
	どちらかといえば、当てはまる	1,398	36.8%	40.3%	31.1%	35.3%
	どちらかといえば、当てはまらない	470	12.4%	13.9%	9.6%	11.9%
	当てはまらない	143	3.8%	4.5%	2.3%	3.6%

c. 帰国予定者の約85%、永住予定者でも約25%が「将来日本で働く」ことを視野に

【表5】に示すとおり、将来の仕事について聞いた質問項目のうち、Q15「将来、日本で仕事がしたい」およびQ16「将来、日本以外の国で仕事がしたい」については、帰国予定か永住予定かで大きな有意差がみられた。「日本で仕事がしたい」に「そう思う」と答えたのは帰国予定者55.6%に対して永住予定者では6.1%に過ぎない。逆に「日本以外で仕事がしたい」では帰国予定者16.4%、永住予定者49.7%であった。しかしながら、永住予定者で「日本で仕事をする」ことを考えている者が「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」合わせると25%近くにのぼる。補習授業校で学ぶことの目的には「将来日本で仕事をする」ことも含まれていることが推測でき、将来日本で働く「グローバル人材の育成」に補習授業校が大きな役割を果たすと考えられる。

Q14「将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思う」については、帰国予定者・永住予定者ともに9割が「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答しており、統計的な差異は認められなかった。

【表5】 将来の仕事（帰国・永住予定の別）

		全体		F8 帰国・永住予定の別		
		回答数	%	日本へ帰国する予定	アメリカに永住予定	わからない
		3,826	100%	1,675	740	1,364
Q14 将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思う。	当てはまる	2,221	58.6%	59.8%	57.0%	56.4%
	どちらかといえば、当てはまる	1,196	31.5%	30.3%	32.3%	32.5%
	どちらかといえば、当てはまらない	308	8.1%	7.4%	8.0%	8.9%
	当てはまらない	66	1.7%	1.7%	1.8%	1.8%
Q15 将来、日本で仕事がしたい。	当てはまる	1,234	32.6%	55.6%	6.1%	18.0%
	どちらかといえば、当てはまる	1,114	29.4%	28.3%	17.3%	37.0%
	どちらかといえば、当てはまらない	977	25.8%	11.2%	43.1%	33.6%
	当てはまらない	465	12.3%	4.5%	32.7%	10.4%
Q16 将来、日本以外の国で仕事がしたい。	当てはまる	1,027	27.1%	16.4%	49.7%	27.1%
	どちらかといえば、当てはまる	1,386	36.5%	28.5%	35.8%	46.1%
	どちらかといえば、当てはまらない	807	21.3%	27.9%	9.7%	19.4%
	当てはまらない	576	15.2%	26.9%	4.2%	6.8%

②男女別

回答者数 3,826 名のうち、男子 1,747 名 (46.0%)、女子 2,050 名 (54.0%) の男女別にクロス集計を行ったところ、Q1 ~ Q16 のほとんどの項目において、女子の方が有意に高い割合で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答していた【表6】。一方、男女で差がなかったものは、「Q13 自分を大切な存在だと感じている」、「Q16 将来、日本以外の国で仕事がしたい」の2項目、逆に性別による差が最も大きいのは「Q7 学校のきまりを守っている」という項目であった。

Q7「学校のきまりを守っている」では男子 53.5%に対して女子 70.4%、Q8「友達との約束を守っている」では男子 67.0%に対し女子 79.5%が「当てはまる」と答え、その割合は男子を大きく上回っていた。女子の方が男子に比べてきまりや約束を守ろうとする傾向があることがわかる。

また、Q5「友達と話し合う時、友達の話や意見を最後まで聞くことができる」では男子 54.9%に対して女子 70.5%、Q9「人が困っているときは進んで助ける」では男子 38.4%に対して女子は 51.2%が「当てはまる」と回答している。また、女子のうち一番得意な言語を「英語」とした者の方がさらに「当てはまる」と答えた割合が高かった。

Q12「人の気持ちがわかる人間になりたいと思う」では男子 67.5%に対し女子は 80.5%が「当てはまる」と回答しており、友人の話や意見をよく聞き、人を助けたり人を思いやったりすることについても、女子の方が強く意識していることがうかがわれる。

さらに、Q11「人の役に立つ人間になりたいと思う」(男子 65.3%、女子 77.9%)、Q14「将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思う」(男子 53.5%、女子 62.2%)についても男女で差がみられ、「人の役に立ちたい」という気持ちについても、女子が男子を上回っていた。

【表6】 あなた自身について (男女別)

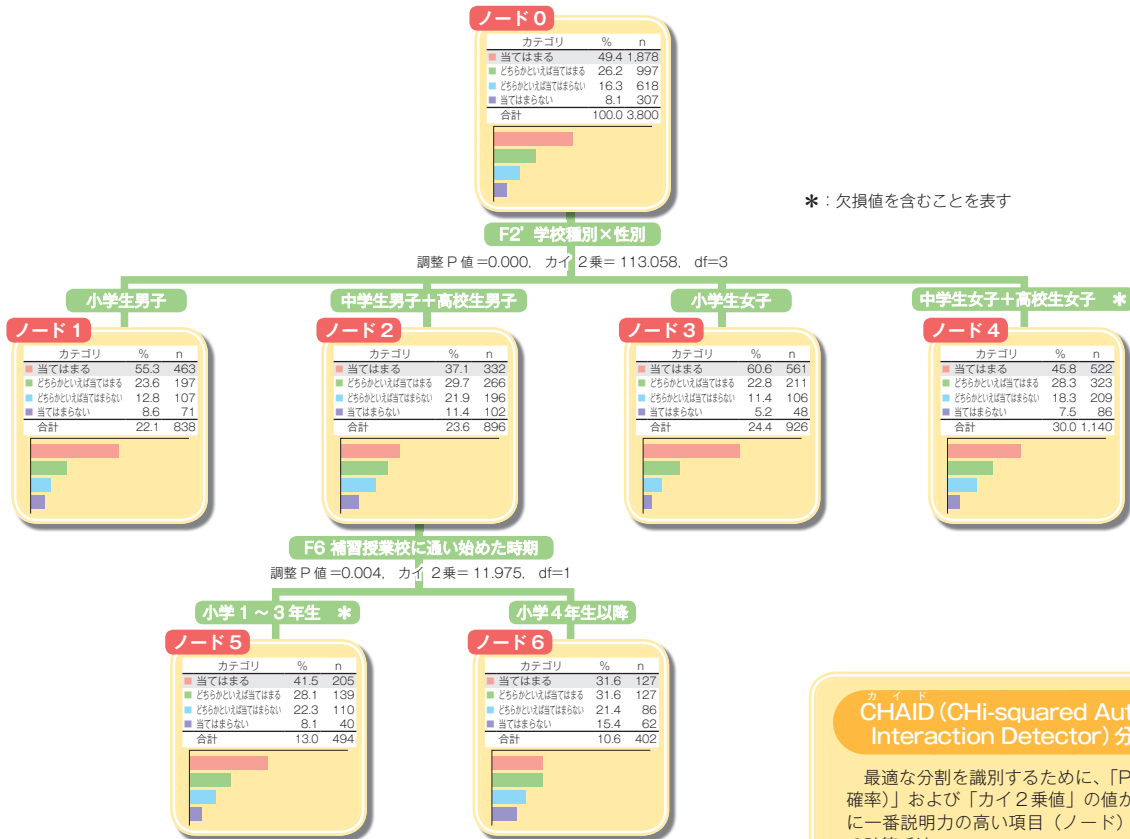
どちらかといえば、当てはまらない		男	女
Q5 友達と話し合う時、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。	当てはまる	54.9%	70.5%
	どちらかといえば、当てはまる	36.0%	25.3%
	どちらかといえば、当てはまらない	7.6%	3.4%
	当てはまらない	1.1%	0.6%
Q7 学校のきまりを守っている。	当てはまる	53.5%	70.4%
	どちらかといえば、当てはまる	37.8%	25.8%
	どちらかといえば、当てはまらない	6.9%	3.1%
	当てはまらない	1.5%	0.5%
Q8 友達との約束を守っている。	当てはまる	67.0%	79.5%
	どちらかといえば、当てはまる	30.0%	19.2%
	どちらかといえば、当てはまらない	1.9%	0.8%
	当てはまらない	0.6%	0.3%
Q9 人が困っているときは、進んで助けている。	当てはまる	38.4%	51.2%
	どちらかといえば、当てはまる	50.0%	42.6%
	どちらかといえば、当てはまらない	10.0%	5.4%
	当てはまらない	1.3%	0.5%
Q10 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	当てはまる	76.6%	86.8%
	どちらかといえば、当てはまる	18.3%	11.0%
	どちらかといえば、当てはまらない	3.3%	1.6%
	当てはまらない	1.3%	0.4%
Q11 人の役に立つ人間になりたいと思う。	当てはまる	65.3%	77.9%
	どちらかといえば、当てはまる	28.0%	19.2%
	どちらかといえば、当てはまらない	5.2%	2.0%
	当てはまらない	1.3%	0.6%

Q12 人の気持ちがわかる人間になりたいと思う。	当てはまる	67.5%	80.5%
	どちらかといえば、当てはまる	26.7%	16.6%
	どちらかといえば、当てはまらない	4.1%	2.0%
	当てはまらない	1.3%	0.5%
Q14 将来、社会や人のために役立つ仕事がないと思う。	当てはまる	53.5%	62.2%
	どちらかといえば、当てはまる	33.9%	29.2%
	どちらかといえば、当てはまらない	9.4%	6.9%
	当てはまらない	2.3%	1.2%

③ 学校種別×性別

CHAID分析の結果

【図1】 Q6 「将来の夢や目標を持っている」



全体としては、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」が7割程度であり、「帰国・永住予定の別」では永住予定者の方がやや高い数字であるものの差は有意ではなかった。この設問でもっとも有意であったのは「学校種別×性別」による差異である。

【図1】は、カイ²乗検定によりP値が一番小さい(=有意差の大きい)ものから有意差検定を繰り返す「CHAID分析」の結果である。小学生では男女とも8割程度が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答していたが、中学生・高校生では男子が66.8%・女子が74.1%とそれぞれ低下し、男女間の有意差もみられた。さらに詳しく分析すると、中学生・高校生男子については「小学1年～3年の間に補習授業校に通い始めた」群の方が、それ以降の群より将来の夢や目標を持ちやすい傾向がみられた。

CHAID (CHi-squared Automatic Interaction Detector) 分析とは

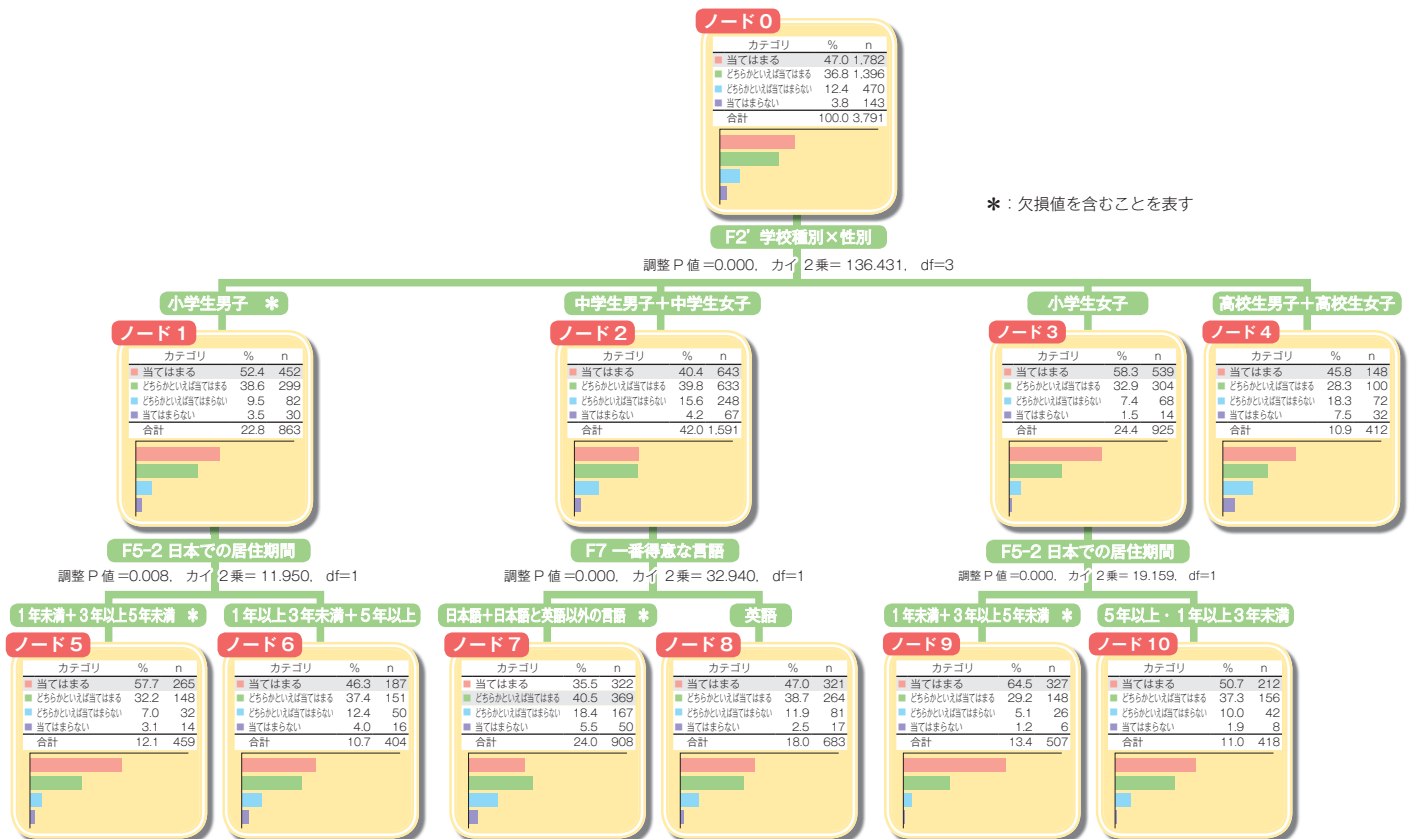
最適な分割を識別するために、「P値(=有意確率)」および「カイ²乗値」の値から、統計的に一番説明力の高い項目(ノード)を順に並べる計算手法。

- P値が低く、カイ²乗値が高いほど有意差(統計的に意味のある差)が大きい。P値が0.05以下のもの(5%水準)を有意とし、有意差が検出できなくなるまでカイ²乗検定を繰り返す。
- df(=自由度: degrees of freedom)は、所定の統計量を算出する際に、自由にその値を変えうる要因の数を示す。
- カテゴリー名に「+」があるノードは、複数のカテゴリーの結果を統合したものであることを示す。たとえば、「小学生女子+中学生女子」は、「小学生女子のカテゴリー」と「中学生女子のカテゴリー」のグループを表す。

欠損値とは

「無回答」に加えて、有効でない回答を含んだもの。本報告書では有効回答のみ分析対象とするが、CHAID分析では結果を最適化しよう分岐作成において欠損値を含んで再計算するため、本文や基礎集計とは異なる数値が示される場合がある。

【図2】 Q13「自分のことを大切な存在だと感じている」



*: 欠損値を含むことを表す

先述のとおり「帰国・永住予定の別」で永住予定者が帰国予定者を上回ることがわかっているが、「学年」によっても有意差がみられた。以下のCHAID分析の結果にみるとおり、小学生では、「当てはまる」と回答したのが男女ともに最多で50%を超えて、女子の方がやや高い数値であったが、中学校では男女ともに40%程度に低下する。

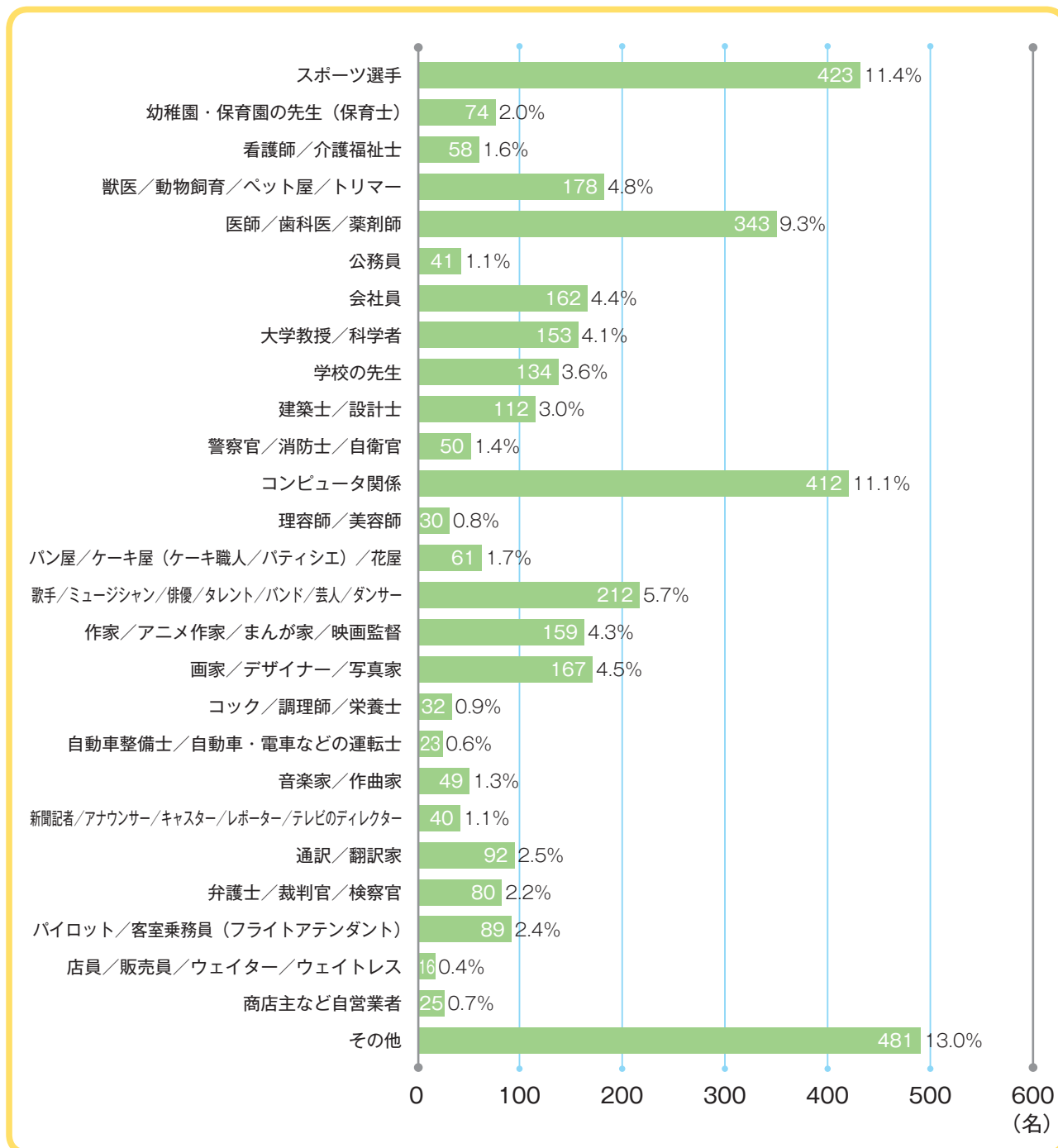
分析を進めると「日本での居住期間」により差が見られ、男女ともに「日本での居住が3年以上5年未満」と「1年未満」の児童の方がより「当てはまる」と回答する傾向がみられた。さらに中学生については「得意な言語」により結果が異なり、最も得意な言語を「英語」とした生徒の方が、有意に多く「当てはまる」と回答していた。

Q17 あなたは将来どんな職業に就きたいと思っていますか？

男女あわせてもっとも多かったのは、順に、①「スポーツ選手」(11.4%)、②「コンピュータ関係」(11.1%)、③「医師・歯科医・薬剤師」(9.3%)であった。もっとも多かったのは「その他」であったが、本質問紙では自由記述欄を設けなかったため、具体的な職種は不明である。

選択肢が多いため各回答者数が分かれ、統計的な有意差は確認できなかったが、属性別では「性別」により、回答の割合に差がみられる傾向があった。回答の割合に5ポイント以上差があった職業は、「スポーツ選手」(男子>女子)、「獣医/動物飼育/ペット屋/トリマー」(女子>男子)、「医師・歯科医・薬剤師」(女子>男子)、「コンピュータ関係」(男子>女子)、「歌手/ミュージシャン/俳優/タレント/バンド/芸人/ダンサー」(女子>男子)、「画家/デザイナー/写真家」(女子>男子)となっており、将来の夢に男女差があることがうかがわれた。

一方、「帰国・永住予定の別」、「学校規模別」では、将来就きたい職業において大きな差はみられなかった。



クロス集計の結果

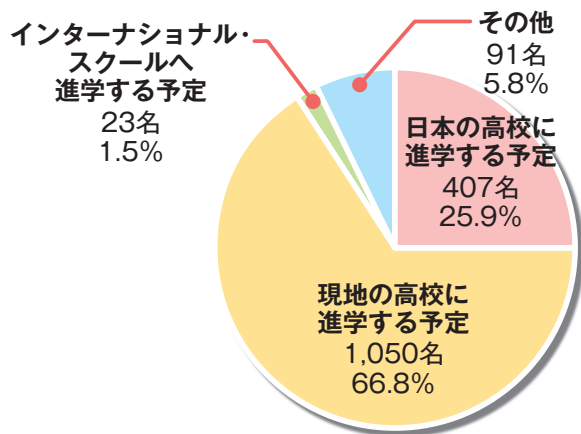
【表7】 将来就きたい職業（男女別）

		全体		F1 性別	
		回答数	%	男	女
		3,826	100%	1,747	2,050
Q 17 最も就きたい職業を1つだけ選んでください。あなたは、将来どんな職業に就きたいと思つていますか？	スポーツ選手	423	11.4%	20.0%	3.4%
	幼稚園・保育園の先生（保育士）	74	2.0%	0.3%	3.4%
	看護師／介護福祉士	58	1.6%	0.2%	2.7%
	獣医／動物飼育／ペット屋／トリマー	178	4.8%	1.7%	7.2%
	医師／歯科医／薬剤師	343	9.3%	6.2%	11.4%
	公務員	41	1.1%	1.2%	1.0%
	会社員	162	4.4%	6.0%	2.8%
	大学教授／科学者	153	4.1%	5.2%	3.0%
	学校の先生	134	3.6%	2.0%	4.8%
	建築士／設計士	112	3.0%	4.1%	2.0%
	警察官／消防士／自衛官	50	1.4%	1.7%	1.0%
	コンピュータ関係	412	11.1%	19.3%	3.6%
	理容師／美容師	30	0.8%	—	1.5%
	パン屋／ケーキ屋（ケーキ職人／パティシエ）／花屋	61	1.7%	0.4%	2.6%
	歌手／ミュージシャン／俳優／タレント／バンド／芸人／ダンサー	212	5.7%	2.2%	8.5%
	作家／アニメ作家／まんが家／映画監督	159	4.3%	2.6%	5.4%
	画家／デザイナー／写真家	167	4.5%	1.5%	6.8%
	コック／調理師／栄養士	32	0.9%	1.1%	0.6%
	自動車整備士／自動車・電車などの運転士	23	0.6%	1.3%	—
	音楽家／作曲家	49	1.3%	0.7%	1.8%
	新聞記者／アナウンサー／キャスター／レポーター／テレビのディレクター	40	1.1%	0.5%	1.6%
	通訳／翻訳家	92	2.5%	1.4%	3.3%
	弁護士／裁判官／検察官	80	2.2%	2.1%	2.1%
	パイロット／客室乗務員（フライトアテンダント）	89	2.4%	1.9%	2.7%
	店員／販売員／ウェイター／ウェイトレス	16	0.4%	0.6%	0.3%
	商店主など自営業者	25	0.7%	0.5%	0.8%
その他	481	13.0%	12.3%	12.7%	

中学部・高等部卒業後の進路および高等部まで補習授業校に通い続けている理由に関する3項目

Q18 卒業後の進路はどのような予定ですか？

中学生を対象として「卒業後の進路予定」を聞いた Q18 では、全体で「現地の高校に進学」とした者が 66.8%で、「日本の高校に進学」とした 25.9%を大きく上回った。



クロス集計の結果

本設問では、「帰国・永住予定の別」に加えて、「学年」ならびに「学校規模別」によっても大きな差異がみられた。

以下の【表8】に示すとおり、「帰国予定者」では 56.0%が「日本の高校に進学」と答えたのに対し、「永住予定者」では 95.5%が「現地の高校に進学」と回答していた。ただし、帰国予定者でも 37.3%は「現地の高校へ進学」と答えており、高校進学を機に帰国することなく、現地に残って進学する者が 1/3 いることになる。

また、学年が上がるにつれて「現地の高校に進学」の割合が増加していることがわかる。1年生の頃は帰国して日本の高校へ進学予定としていた者も、実際は帰国にならずに現地で進学することになる場合や、あえて高校まで現地で過ごして大学入学段階で帰国する選択する場合など、さまざまなケースが考えられる。

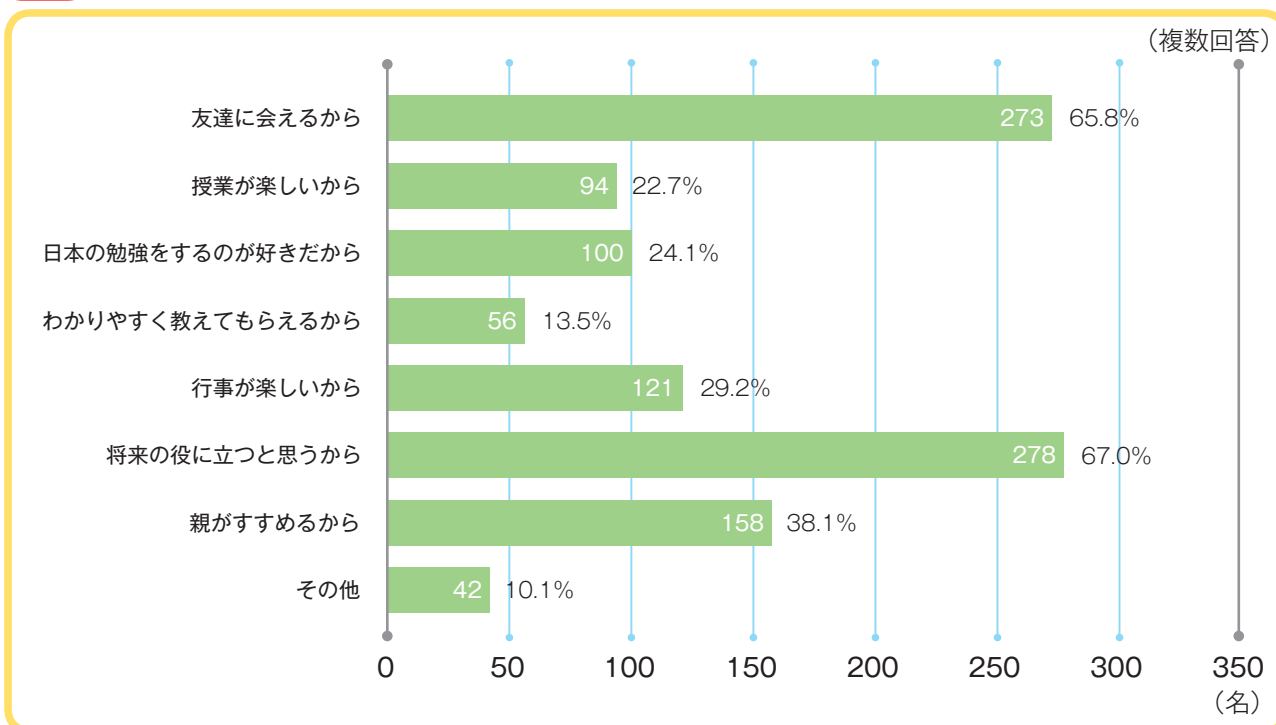
さらに、「学校規模別」にみると、100名未満の「小規模校」では「日本の高校に進学」が 35.2%・「現地の高校に進学」が 57.9%であるのに対し、100名以上の「大規模校」ではそれぞれ 24.8%・67.6%と有意差がみられた。

大規模校の方が現地の高校に進む割合が高いが、これは先にもみたとおり永住予定者の割合が高いためと考えられる。

【表8】 中学校卒業後の進路（帰国・永住予定の別・学年別・学校規模別）

		日本の高校に進学する予定	現地の高校に進学する予定	インターナショナル・スクールへ進学する予定	その他
帰国・永住予定の別	日本へ帰国する予定	56.0%	37.3%	1.2%	5.5%
	アメリカに永住予定	0.3%	95.5%	1.3%	2.9%
	わからない	3.5%	86.8%	1.9%	7.7%
学年別	中学1年生	33.2%	60.3%	1.4%	5.0%
	中学2年生	24.9%	67.2%	1.9%	6.1%
	中学3年生	14.4%	77.8%	1.1%	6.7%
学校規模別	小規模	35.2%	57.9%	0.6%	6.3%
	大規模	24.8%	67.6%	1.5%	6.1%

Q19 高校まで補習授業校に通い続けているのは、どのような理由からですか？



クロス集計の結果

Q19「補習授業校に通い続けた理由」について「学年別」のクロス集計の結果を以下の【表9】に示す。高1・高2でもっとも多い回答を得たのはほぼ同率で「友達に会えるから」「将来の役に立つと思うから」の2つの理由で、それぞれ6～7割の回答を得た。これに次いで多かったのが「親がすすめるから」で、高1・高2ではほぼ4割、高3でも2割超であった。また、すべての学年でほぼ2割が「授業が楽しいから」「行事が楽しいから」「日本の勉強をするのが好きだから」と答えており、主として友人に会える楽しみに加えて、将来を見据えて補習授業校に通う中で、さまざまな楽しみを見出して高校まで通い続けていることがわかる。一方で、「わかりやすく教えてもらえるから」とした者はどの学年でも2割に満たなかった。

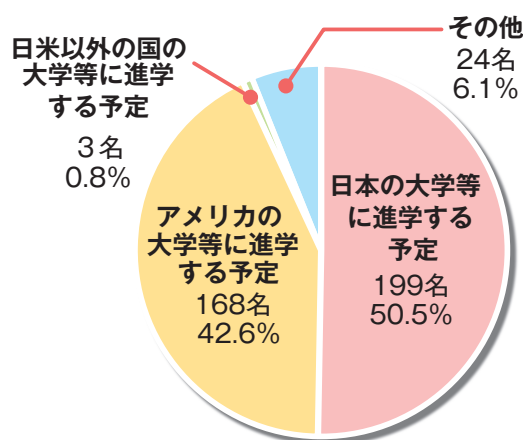
複数回答であるので、「男女別」「帰国・永住予定の別」「学校規模別」などでは有意差は見られなかった。

【表9】 高校まで補習授業校を続けた理由（学年別）

		高校1年生	高校2年生	高校3年生
		194	161	39
Q19 高校まで補習授業校に通い続けているのはどのような理由からですか？当てはまるものを全て選んでください。	友達に会えるから	69.1%	72.0%	59.0%
	授業が楽しいから	21.6%	26.1%	25.6%
	日本の勉強をするのが好きだから	20.1%	31.1%	28.2%
	わかりやすく教えてもらえるから	12.4%	15.5%	17.9%
	行事が楽しいから	28.4%	35.4%	23.1%
	将来の役に立つと思うから	67.5%	76.4%	61.5%
	親がすすめるから	41.8%	41.6%	25.6%
	その他	10.3%	9.9%	15.4%

Q20 卒業後の進路はどのような予定ですか？

高校生を対象として「高校卒業後の進路予定」を聞いた Q20 では、「日本の大学等に進学」が1年生では半数を超え、2・3年生でも40%であった。学年が上がるにつれて「アメリカの大学等に進学」の割合が増え、3年生では50%を占めた。



クロス集計の結果

Q20「高校卒業後の進路」については、Q18と同様に「帰国・永住予定の別」「学年別」「学校規模別」による有意差がみられた。

まず、「帰国・永住予定の別」では、「帰国予定者」では「日本の大学に進学」希望が90.5%に対して「アメリカの大学に進学」希望が7.9%であり、一方「永住予定者」ではそれぞれ1.6%・96.8%で、ほぼ全員が「アメリカの大学に進学」を目指していた。

また、【表10】で見ると、「学年」によっても大きな有意差がみられており、学年が上がるにつれて「日本の大学に進学」予定者が減り、「アメリカの大学に進学」予定者が増加する傾向がみられた。アメリカの大学に比べて日本の大学は学費が安いと、高校1年生のうち「日本への進学」を希望する者も多いことが推察される。しかしながら、日本では英語による開講科目や英語のみで卒業できるコースを設けている大学がまだあまり多くなく、IBや英語による入試が一般的ではない。「日本の大学に進学」を希望しながらも実際に進路を選ぶ際には日本語力の問題で断念するケースもあると考えられ、日本の大学入試制度改革やカリキュラムのグローバル化も急務となるであろう。

さらに、「学校規模別」については、「小規模校」では「日本の大学に進学」希望が73.1%、「アメリカの大学に進学」希望が15.4%であったのに対し、「大規模校」ではそれぞれ48.5%・44.2%となっており、結果がほぼ反対であった。

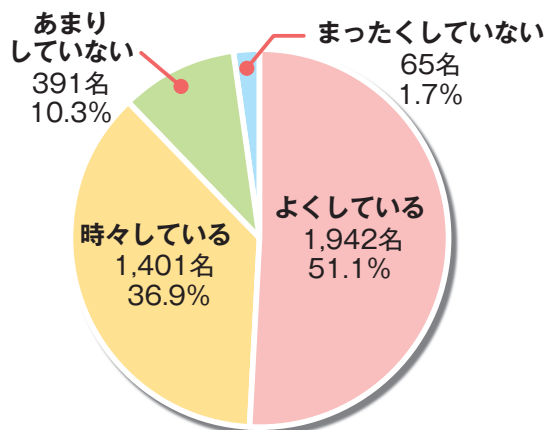
【表10】 高校卒業後の進路（帰国・永住予定の別・学年別・学校規模別）

		日本の大学に 進学する予定	アメリカの大学に 進学する予定	日米以外の国の大学 等に進学する予定	その他
帰国・永住予定の別	日本へ帰国する予定	90.5%	7.9%	0.0%	1.6%
	アメリカに永住予定	1.6%	96.8%	1.6%	0.0%
	わからない	18.1%	63.6%	1.4%	16.8%
学年別	高校1年生	56.2%	35.1%	0.5%	8.2%
	高校2年生	45.3%	49.1%	1.2%	4.3%
	高校3年生	43.6%	53.8%	0.0%	2.6%
学校規模別	小規模	73.1%	15.4%	0.0%	11.5%
	大規模	48.5%	44.2%	0.8%	6.5%

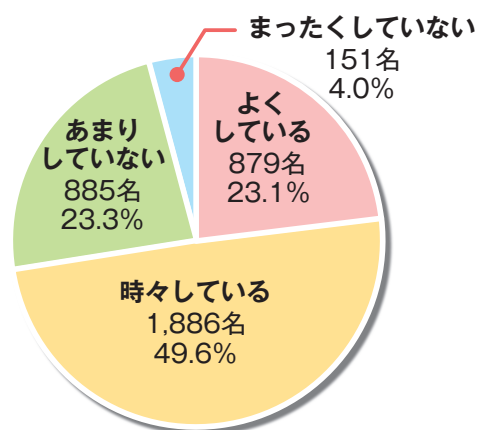
(2) 家の人と地域とのかかわりについて(Q21 ~ Q26)

Q21 ~ Q26 は、家の人や地域とのかかわりに関する質問項目である。まず結果の概要を以下の図に示す。

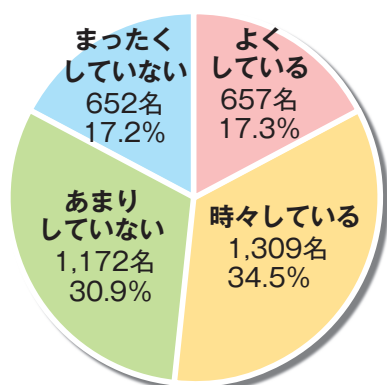
Q21 家の人と学校での出来事について話をしますか？



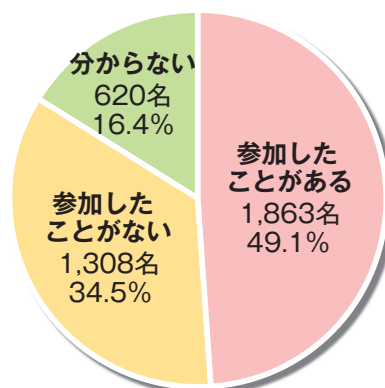
Q22 家の手伝いをしていますか？



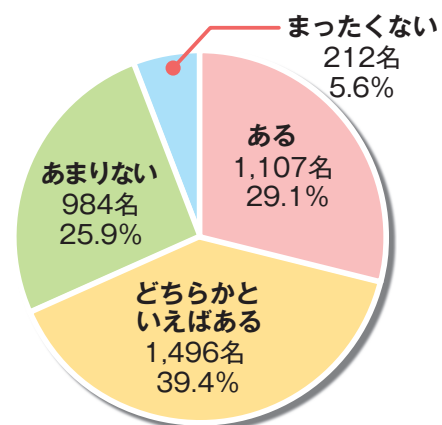
Q23 今住んでいる地域の行事に参加していますか？



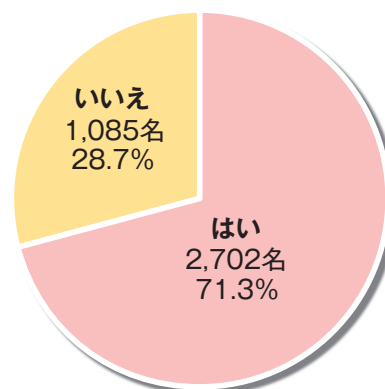
Q24 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか？



Q25 今住んでいる地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか？



Q26 今住んでいる地域で、クラブ活動、スポーツ活動に参加していますか？



CHAID 分析の結果

Q21～Q26については、「帰国・永住予定の別」、「学校種別×性別」などにより多くの項目で有意な差異がみられた。複合的な属性が関わっているため、CHAID を用いて分析を行い、特徴的なものについて以下に述べる。

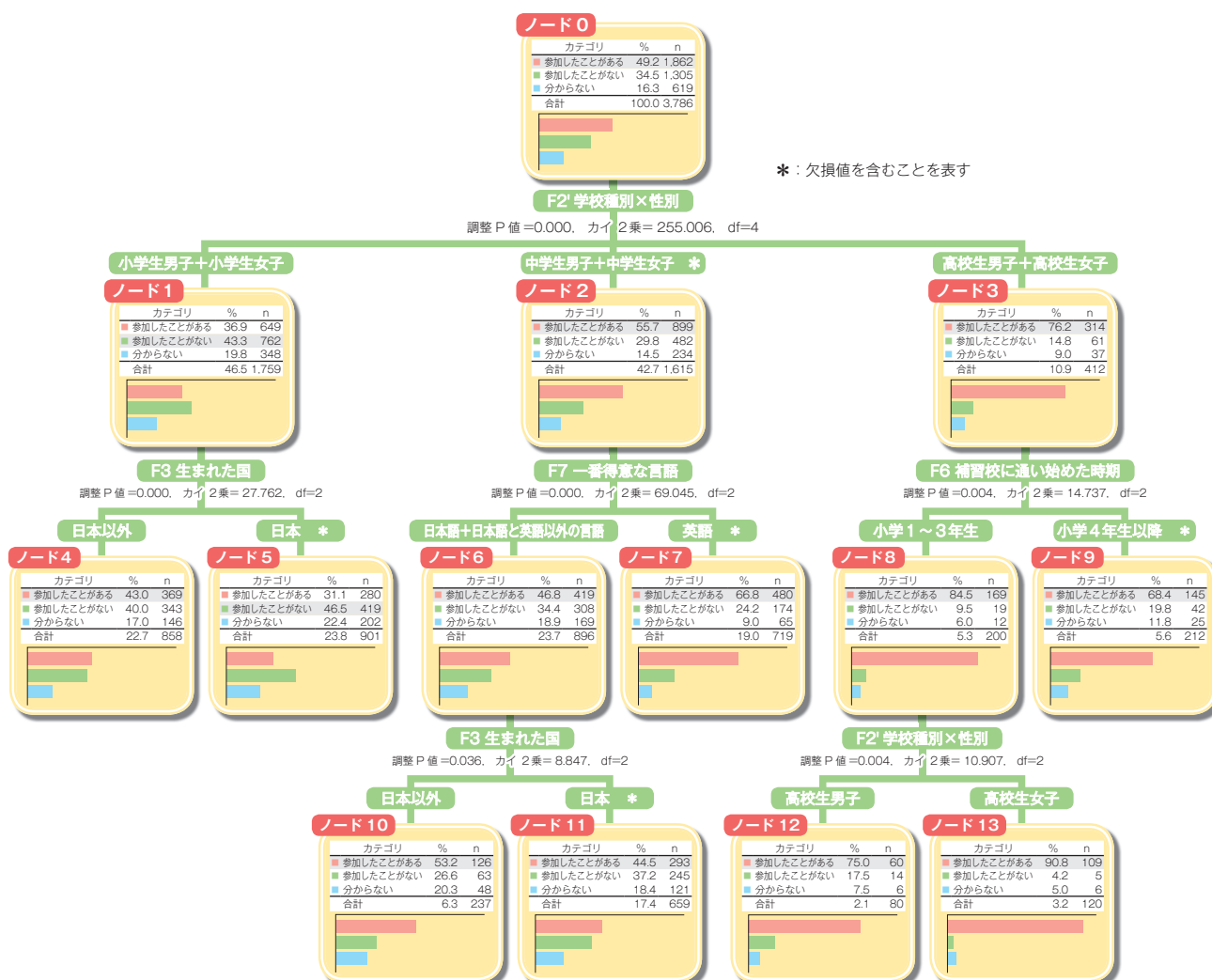
なお「学校規模別」ではいずれの項目にも有意差は検出されなかった。

【図3】 Q21 「家の人と学校での出来事について話をしますか」



「よくしている」と答えた割合は、男子より女子の方が有意に高かった。学年との関連でさらに分析すると、女子は小学校・中学校・高校を通してよく家族と会話をしているが、男子は高学年になるにつれて家族との共有が減る傾向にあることがわかる。有意差がなくなるまで検定を繰り返すと、女子の中では一番得意な言語を「日本語」と答えた者の方が、「英語」もしくは「日本語と英語以外の言語」が得意な者に比べて有意に高い割合を示した。

【図4】 Q24 「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」



日本以外

ノード10

カテゴリ	%	n
参加したことがある	53.2	126
参加したことがない	26.6	63
分からない	20.3	48
合計	6.3	237

日本 *

ノード11

カテゴリ	%	n
参加したことがある	44.5	293
参加したことがない	37.2	245
分からない	18.4	121
合計	17.4	659

高校生男子

ノード12

カテゴリ	%	n
参加したことがある	75.0	60
参加したことがない	17.5	14
分からない	7.5	6
合計	2.1	80

高校生女子

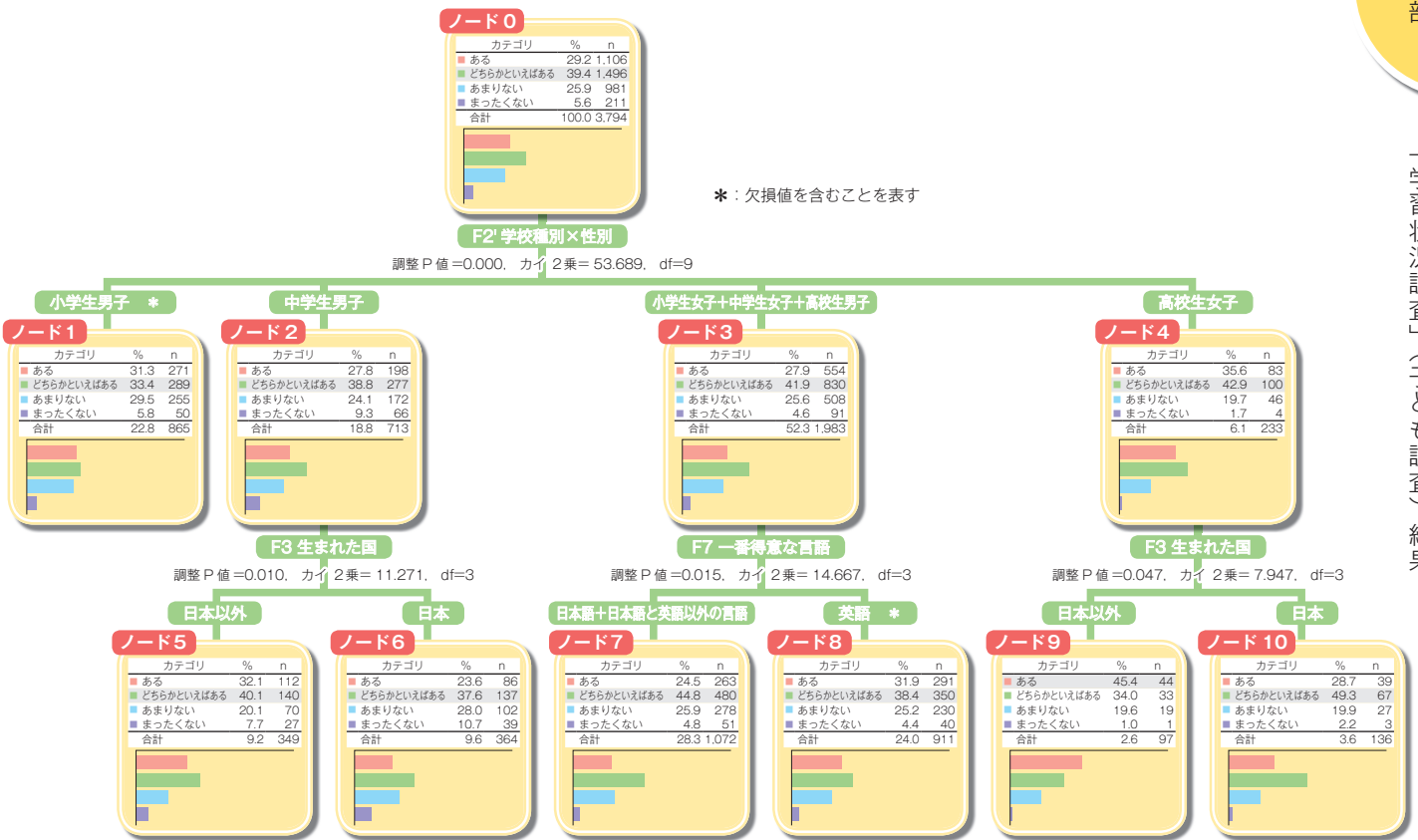
ノード13

カテゴリ	%	n
参加したことがある	90.8	109
参加したことがない	4.2	5
分からない	5.0	6
合計	3.2	120

*: 欠損値を含むことを表す

この項目についても、「学校種別×性別」により回答が異なる。男女とも学年が上がるにつれて「参加経験がある」という回答が有意に増加し、小学生では36.9%であったのが、高校生では76.2%にのぼった。詳しく分析すると、小学生においては、「日本以外の国で生まれた」者、中学生では得意な言語を「英語」と答えた者、高校生においては「補習授業校に低学年から通っている」者の方が、それぞれ有意に参加経験者の割合が有意に高かった。いずれの学齢においても、幼い頃から海外に居住し、英語が得意で地域社会との密着度の高い者の方が、ボランティア活動に参加する傾向があることがうかがえる。

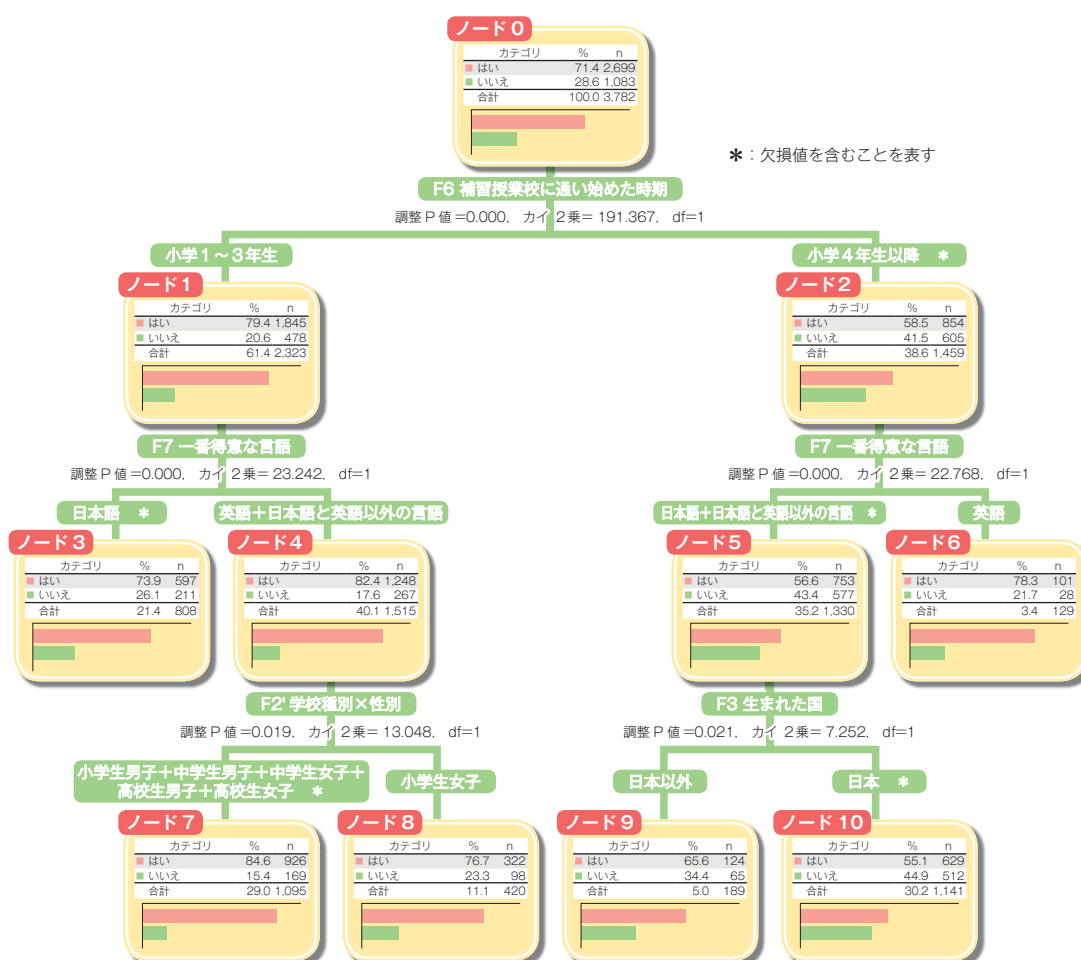
【図5】 Q25 「今住んでいる地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」



以下のCHAID分析の結果に示すとおり、もっとも有意差が大きい属性は「学校種別×性別」であった。一番関心を持っているのが「高校生女子」で、「関心がある」「どちらかといえばある」を合わせて8割近くに上った。高校生女子についてさらに分析を進めると、「日本で生まれた」者に比べて「日本以外で生まれた」者の方が、地域や社会で起こっている問題やできごとに関心をもっていることが読み取れる。

小学生や中学生についても、「得意な言語が日本語以外である」者や、「日本以外の国で生まれた」者の方が、有意に高い割合で「関心がある」と回答していることがわかった。言語力の問題もあり、日本生まれの者に比べて、現地社会や地域での出来事に関心を持ちやすいことがうかがわれる結果であろう。

【図6】 Q26 「今住んでいる地域で、クラブ活動、スポーツ活動に参加していますか」



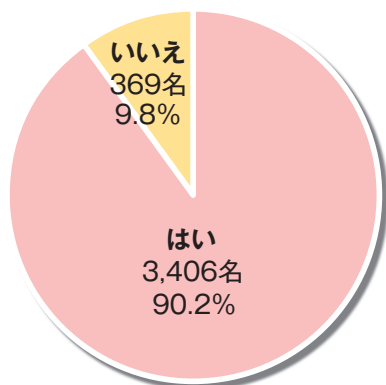
第一の分岐は補習授業校に通い始めた時期で、「小学1~3年生」と回答した者の方が、クラブ活動、スポーツ活動に参加している割合が高く、8割程度にのぼった。さらに分析を進めると、得意な言語が「英語」と答えた者の方がより参加率が高い傾向にあった。英語が得意な者の中では、小学生女子の参加割合が他のグループ（84.6%）に比べてやや下がり、76.7%であった。

(3) 日常生活について(Q27～Q39)

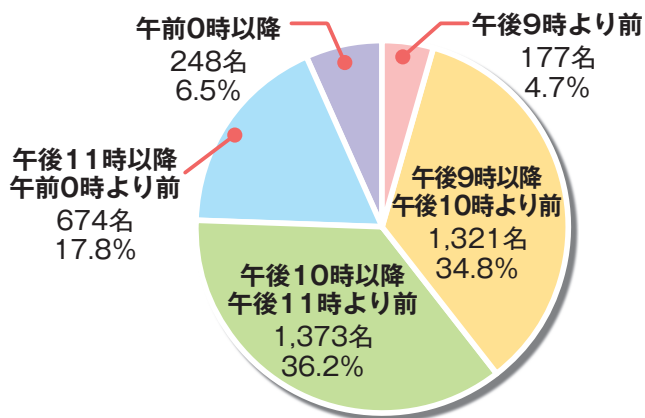
Q27～Q39では、毎日の生活習慣や、新聞やニュース、テレビや動画サイト、ゲームにあてる時間について尋ねた。後の「4. 日本国内の学習状況調査結果との比較」においても取り上げる項目である。

朝食の有無・就寝時間

Q27 あなたは毎日朝食を食べていますか？



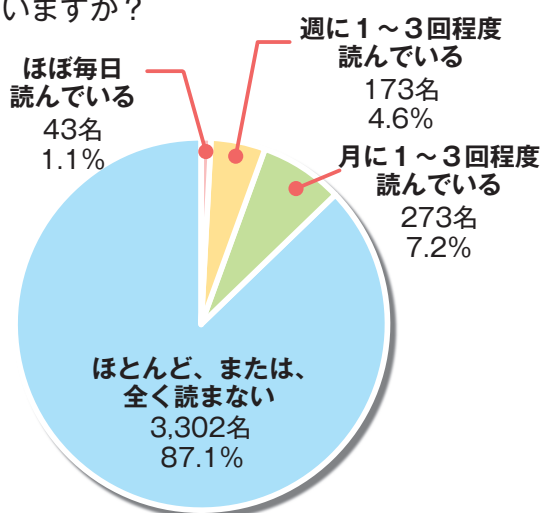
Q28 あなたは普段(月曜日から金曜日)、何時ごろに寝ますか？



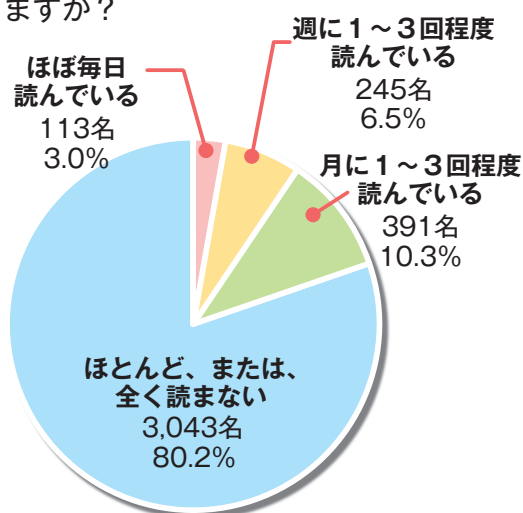
まず、Q27「毎日朝食を食べていますか」の問いには90.2%が「はい」と答え、概ね規則正しい朝を迎えている様子うかがわれる。Q28「平日の就寝時間」は午後9時から11時までが合計で7割以上、午前0時以降も6.5%いたが、後に述べる学年別のクロス集計でみると、就寝時間が遅いのはほとんどが中学3年生から高校生である。

新聞やテレビのニュース・インターネットニュースの視聴頻度

Q29 あなたは普段日本語の新聞を読んでいますか？

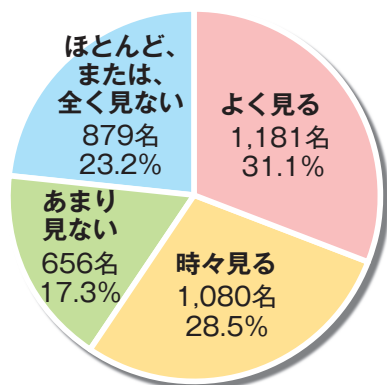


Q30 あなたは普段英語の新聞を読んでいますか？

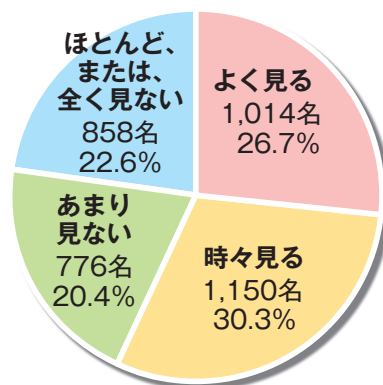


Q29「新聞を読んでいますか」には、日本語・英語ともに8割以上が「ほとんど、または、全く読まない」と答えており、日本語の新聞では87.1%を占めた。一方、新聞を「毎日読んでいる」と答えたのは日本語で1.1%、英語で3.0%と少ない。

Q31 あなたは普段日本語のテレビのニュース番組やインターネットニュースを見ますか？



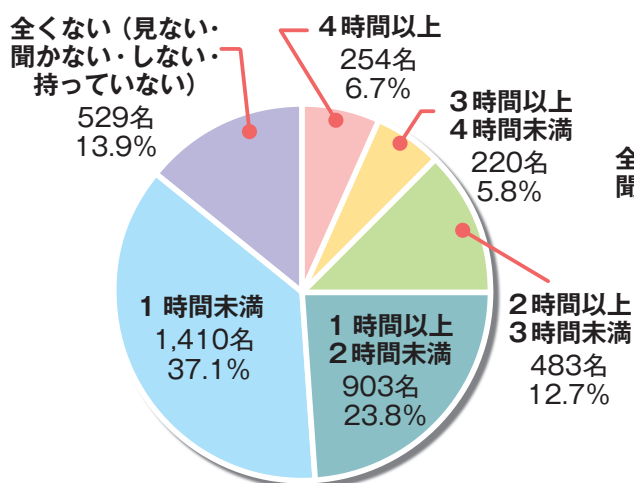
Q32 あなたは普段英語のテレビのニュース番組やインターネットニュースを見ますか？



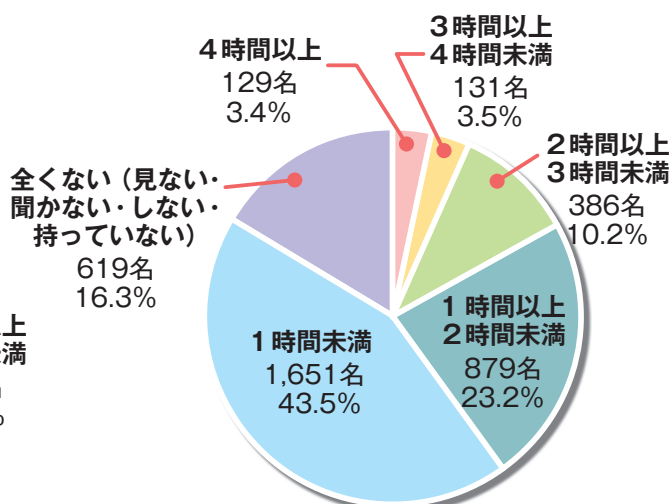
Q31「テレビのニュース番組やインターネットニュース」は、日本語・英語ともに約3割が「よく見る」としており、「時々見る」とあわせると6割程度がこの形でニュースに接していることがわかる。新聞と比較すると「見る」と答えた割合が高い。

テレビ・DVD・動画サイト、テレビゲーム等、携帯やスマホの使用時間

Q33 あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、日本語のテレビやDVD、動画サイトなどを見たり、聞いたりしますか？

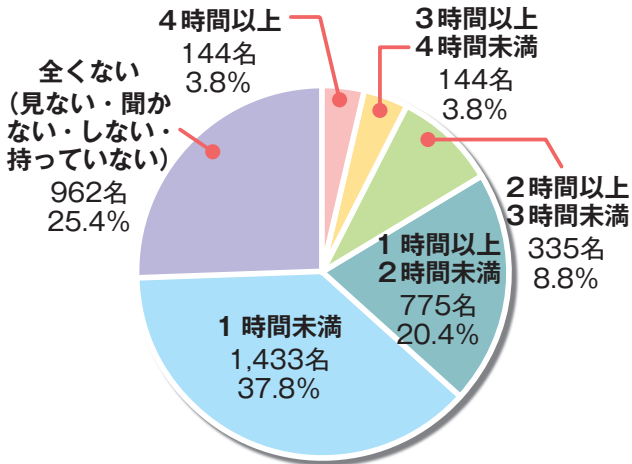


Q34 あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、英語のテレビやDVD、動画サイトなどを見たり、聞いたりしますか？

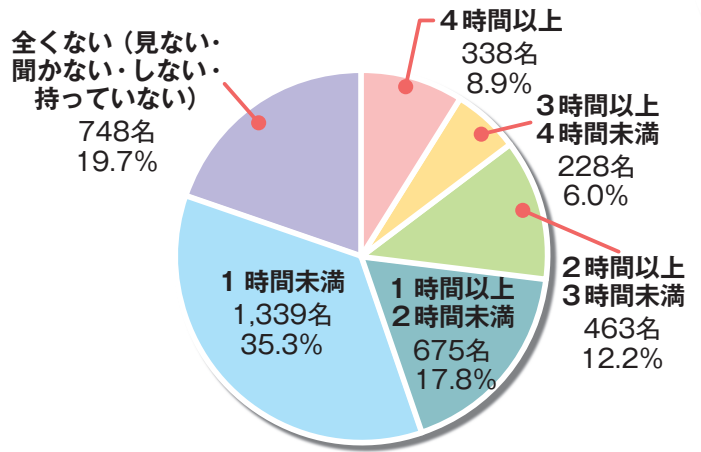


Q33「テレビや動画サイト・DVD」については、「見る」と答えたもののうち「2時間未満」が日本語・英語ともに6～7割程度であったが、「4時間以上」とした者も日本語では6.7%おり、かなり多くの時間を使っている者もみられた。

Q35 あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか？



Q36 あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか？

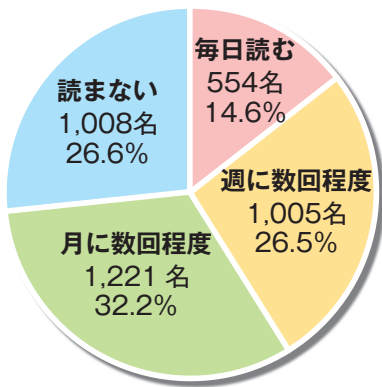


Q35「ゲーム(テレビゲーム、コンピューターゲーム、携帯やスマホのゲーム)」については「1時間未満」が37.8%で一番多いが、「全くない」も25.4%おり、あわせて6割以上を占めた。

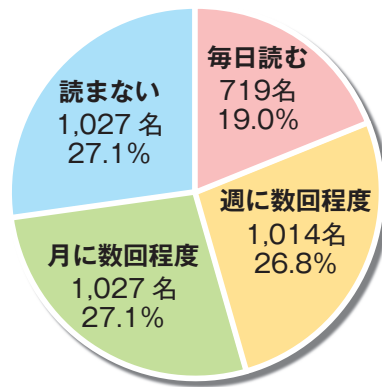
Q36「携帯電話やスマホでの通話やメール・インターネット」については、「1時間未満」とした者が最も多く35.3%、「全くない」が19.7%と、あわせて半数を超えた。一方で14.9%は「3時間以上」を費やしており、個人差が大きかった。

本やマンガの読書頻度

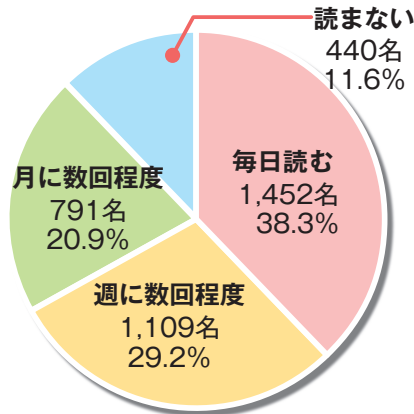
Q37 あなたは普段、日本語の本をどのくらい読みますか?(教科書やマンガは除きます)



Q38 あなたは普段、日本語のマンガをどのくらい読みますか？



Q39 あなたは普段、日本語以外(英語など)で書かれた本をどのくらい読みますか？(教科書やマンガは除きます)



クロス集計の結果

「日常生活について」の 카테고리では、「帰国・永住予定の別」は一部の設問で差が有意であったが、特に大きな差がみられた要因は「学校種別×性別」である。「学校規模別」では有意差はみられなかった。

① 帰国・永住予定の別

Q31「日本語のニュース等」については帰国予定者が、Q32「英語のニュース等」については永住予定者が、当然ながらそれぞれ頻度が高かった。Q37「日本の本を読む」では、永住予定者で「毎日読む」者は4.9%に過ぎなかったが、Q38「日本のマンガ」では、永住予定者であっても半数以上はある程度読むという結果であり、読書よりもマンガを通じて日本語に親しんでいる様子が見えてくる。

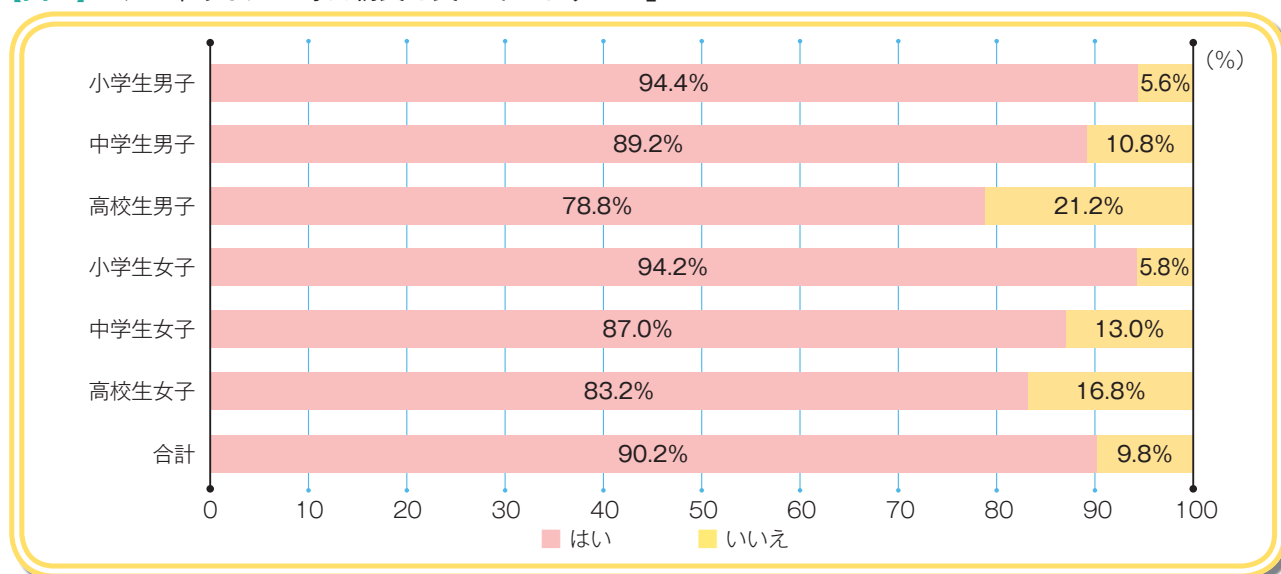
【表11】 ニュースの視聴や読書の頻度（帰国・永住予定の別）

		全体		F8 帰国・永住予定の別				全体		F8 帰国・永住予定の別	
		回答数	%	日本へ帰国する予定	アメリカに永住予定			回答数	%	日本へ帰国する予定	アメリカに永住予定
		3,826	100%	1,675	740			3,826	100%	1,675	740
Q31 あなたは普段日本語のテレビのニュース番組やインターネットニュースを見ますか？（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含みます）	よく見る	1,181	31.3%	40.0%	16.9%	Q32 あなたは普段英語のテレビのニュース番組やインターネットニュースを見ますか？（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含みます）	よく見る	1,014	26.7%	21.0%	34.7%
	時々見る	1,080	28.5%	31.8%	24.2%		時々見る	1,150	30.3%	29.0%	28.8%
	あまり見ない	656	17.3%	13.8%	18.6%		あまり見ない	776	20.4%	22.7%	17.4%
	ほとんど、まったく見ない	879	23.2%	13.4%	39.7%		ほとんど、まったく見ない	858	22.6%	26.3%	18.5%
Q37 あなたは普段、日本語の本をどのくらい読みますか？（教科書やマンガは除きます）	毎日読む	554	14.6%	21.9%	4.9%	Q39 あなたは普段、日本語以外（英語など）で書かれた本をどのくらい読みますか？（教科書やマンガは除きます）	毎日読む	1,452	38.3%	26.7%	50.5%
	週に数回程度	1,005	26.5%	34.0%	14.6%		週に数回程度	1,109	29.2%	30.4%	27.6%
	月に数回程度	1,221	32.2%	28.8%	31.9%		月に数回程度	791	20.9%	24.7%	15.8%
	読まない	1,008	26.6%	14.0%	48.2%		読まない	440	11.6%	17.1%	5.7%
Q38 あなたは普段、日本語のマンガをどのくらい読みますか？	毎日読む	719	19.0%	22.0%	11.4%						
	週に数回程度	1,014	26.8%	32.7%	16.4%						
	月に数回程度	1,027	27.1%	24.8%	29.7%						
	読まない	1,027	27.1%	19.2%	42.0%						

② 学校種別×性別

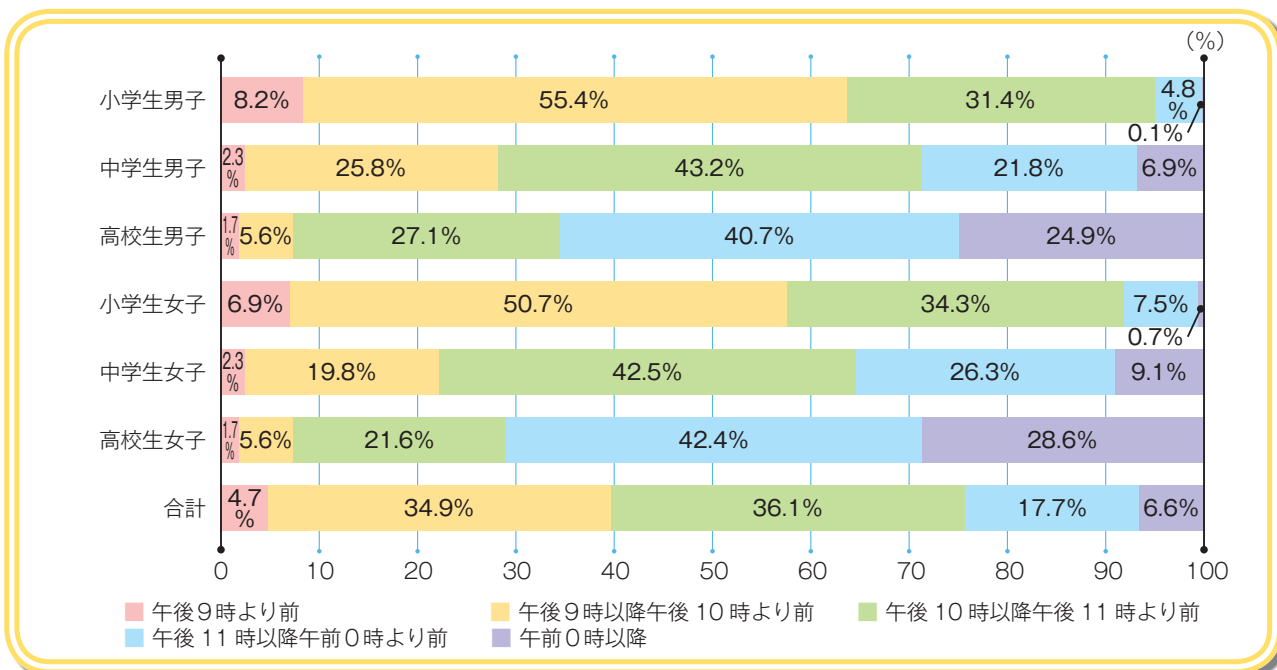
日常生活についての設問では、「学校種別×性別」の属性によりほとんどの項目において $P < .001$ の高い水準で有意差が検出された。以下、設問ごとにクロス集計の結果を示す。

【図7】 Q27「あなたは毎日朝食を食べていますか？」



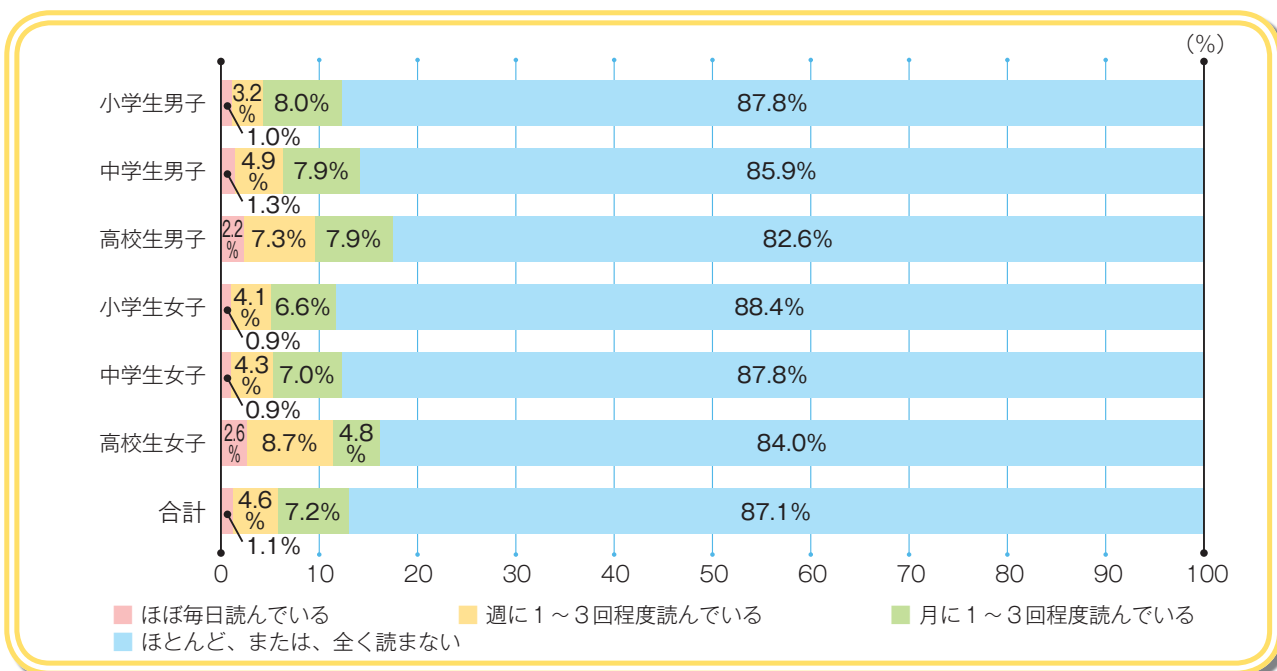
学年が上がるにつれて朝食を取らないものが増え、小学生では男女ともに「毎朝食べている」者が94%を超えるが、中学生では9割弱、高校生では8割程度に減少している。

【図8】 Q28 「あなたは普段（月曜日から金曜日）、何時ごろに寝ますか」



学年が上がるにつれて就寝時刻が遅くなり、高校生では男女とも午前0時以降に就寝する者が4分の1程度いることがわかる。小学生でも9時前に寝るのは10%に満たないが、6割程度は10時前には就寝している。中学生では7割近くが10時から0時の間に寝ると回答していた。

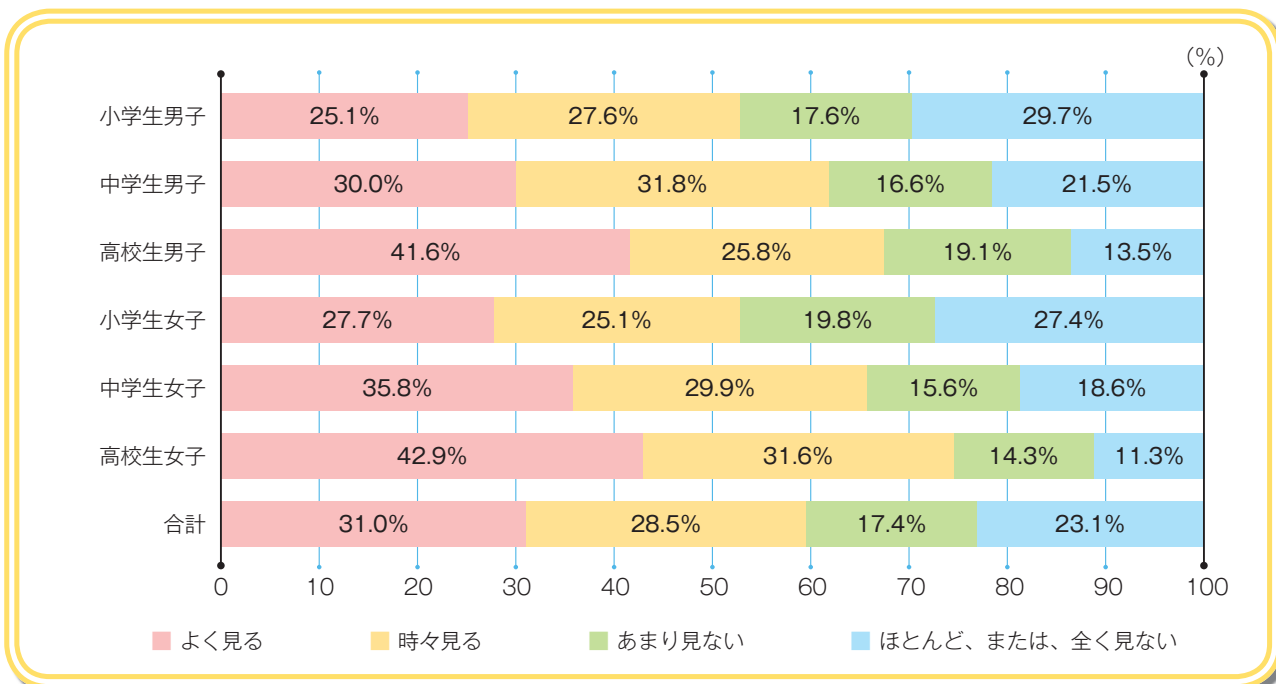
【図9】 Q29 「あなたは普段、日本語の新聞を読んでいますか」



学年が上がるにつれて新聞を読む頻度は高くなっているが、有意差は $P < .05$ 水準であり、他の設問に比べて高くはない。学校種別・性別にかかわらず85%前後で「ほとんど、または、全く読まない」と回答しており、日本の新聞を読む機会が非常に少ないことがわかる。

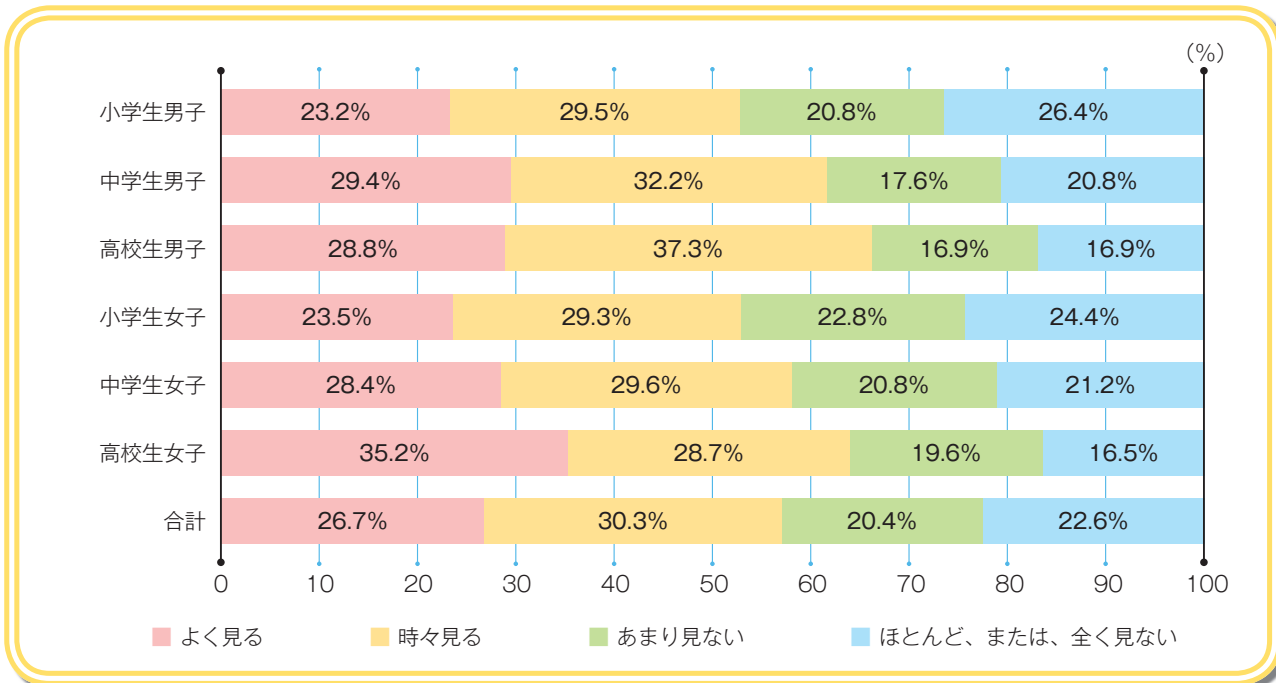
なお、Q30「あなたは普段、英語の新聞を読んでいますか？」については、「学校種別×性別」の有意差はみられなかった。

【図10】 Q31 「あなたは普段、日本語のテレビのニュース番組やインターネットニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含みます）」



「日本語のテレビのニュース番組やインターネットニュース」の視聴では男女間での差異はほとんどないが、学年による差が有意であり、学年が上がるにつれて頻度も上がっている。

【図11】 Q32 「あなたは普段、英語のテレビのニュース番組やインターネットニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含みます）」



「英語のテレビニュースやインターネットニュース」の視聴については、回答の割合は日本語とほぼ変わらず、学年が上がるにつれて頻度が上がる傾向も同様である。

日本語と英語の比較

【表12】に、上記 Q29～Q34 の回答結果を、日本語・英語の別に比較した。

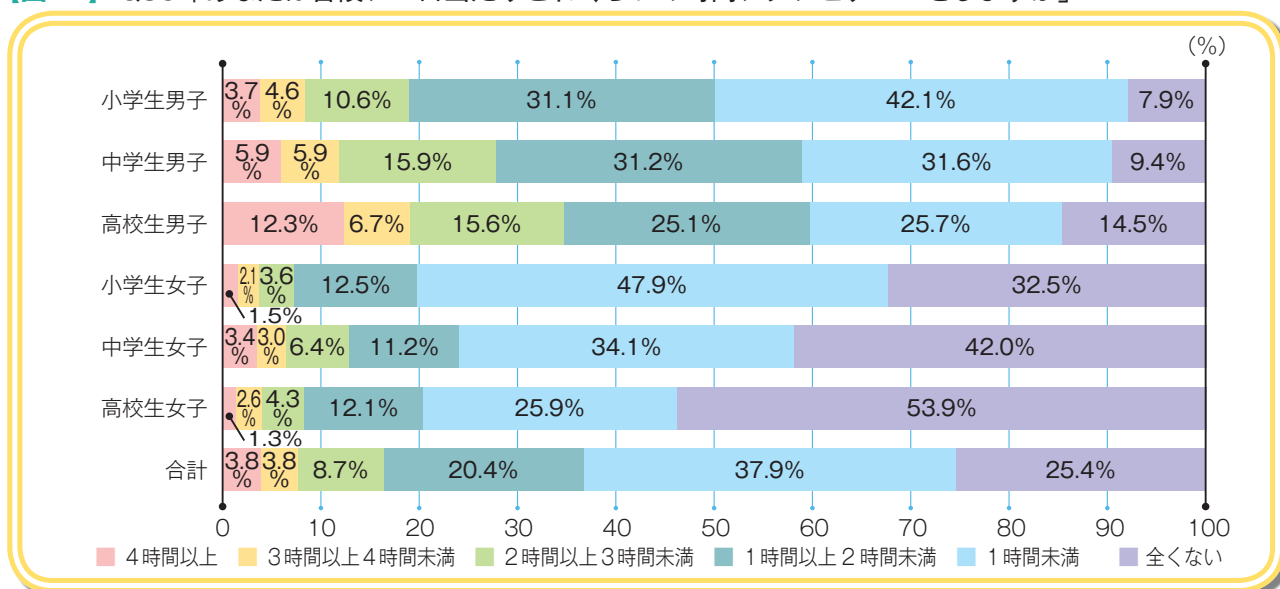
Q29～Q32「新聞」については、日本語・英語ともは8割以上が「ほとんど、または全く読まない」が、その割合は日本語の方が87%とより高い。これに対して「テレビのニュースやインターネットニュース」は「よく見る」「時々見る」を合わせて日本語・英語ともに6割近く、新聞よりもテレビやインターネットで情報を取得している様子が見て取れる。

Q33「テレビや動画サイト・DVD」については、「見る」と答えたもののうち「2時間未満」が日本語・英語ともに6～7割程度であったが、4時間以上とした者も日本語では6.7%おり、かなり多くの時間を使っている子どももいることがわかる。

【表12】 新聞やニュースの視聴

日本の新聞やニュース				英語の新聞やニュース			
Q29 あなたは普段、日本語の新聞を読んでいますか？	ほぼ毎日読んでいる	43	1.1%	Q30 あなたは普段、英語の新聞を読んでいますか？	ほぼ毎日読んでいる	113	3.0%
	週に1～3回程度読んでいる	173	4.6%		週に1～3回程度読んでいる	245	6.5%
	月に1～3回程度読んでいる	273	7.2%		月に1～3回程度読んでいる	391	10.3%
	ほとんど、または、全く読まない	3,302	87.1%		ほとんど、または、全く読まない	3,043	80.2%
Q31 あなたは普段、日本語のテレビのニュース番組やインターネットニュースを見ますか？(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含みます)	よく見る	1,181	31.1%	Q32 あなたは普段、英語のテレビのニュース番組やインターネットニュースを見ますか？(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含みます)	よく見る	1,014	26.7%
	時々見る	1,080	28.5%		時々見る	1,150	30.3%
	あまり見ない	656	17.3%		あまり見ない	776	20.4%
	ほとんど、または、全く見ない	879	23.2%		ほとんど、または、全く見ない	858	22.6%
Q33 あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、日本語のテレビやDVD、動画サイトなどを見たり、聞いたりしますか？	4時間以上	254	6.7%	Q34 あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、英語のテレビやDVD、動画サイトなどを見たり、聞いたりしますか？	4時間以上	129	3.4%
	3時間以上4時間未満	220	5.8%		3時間以上4時間未満	131	3.5%
	2時間以上3時間未満	483	12.7%		2時間以上3時間未満	386	10.2%
	1時間以上2時間未満	903	23.8%		1時間以上2時間未満	879	23.2%
	1時間未満	1,410	37.1%		1時間未満	1,651	43.5%
	全くない(見ない・聞かない・しない・持っていない)	529	13.9%		全くない(見ない・聞かない・しない・持っていない)	619	16.3%

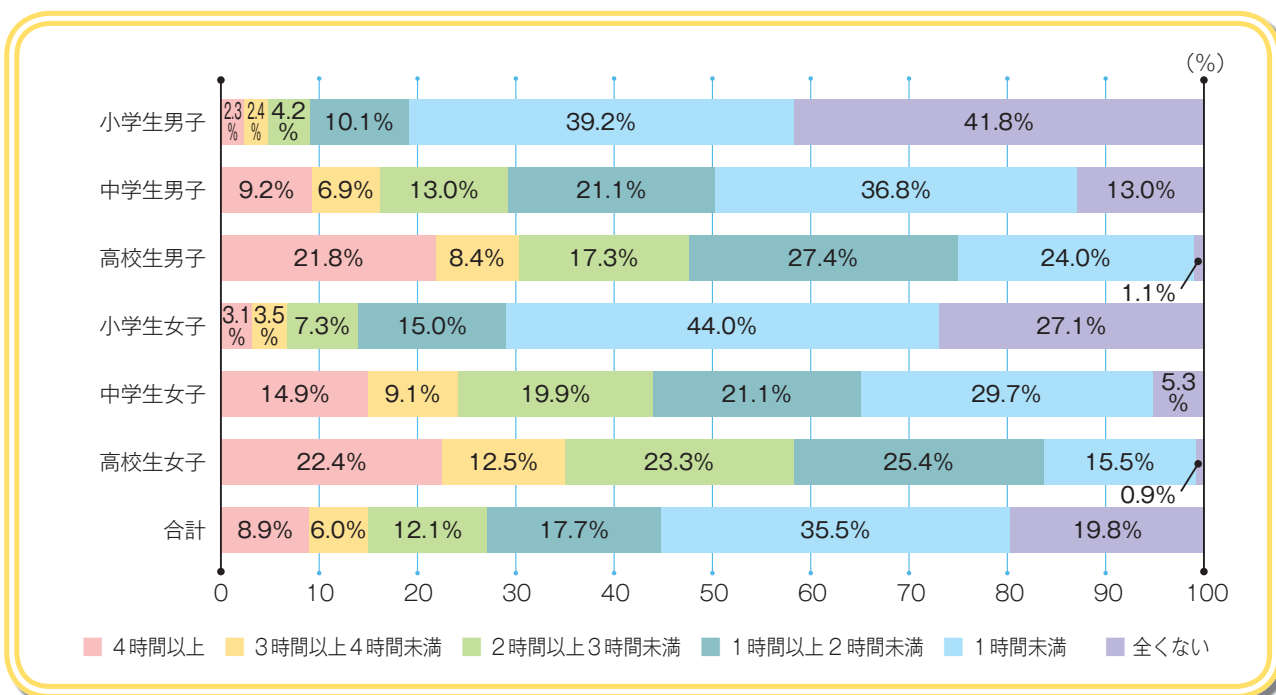
【図12】 Q35「あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」



小学生女子では「全くない」が32.5%、1時間未満が47.9%で合わせて8割に上る。小学生男子でも1時間未満と「全くない」があわせて半数であったが、2時間以上(～4時間以上)としたものも20%近くおり、女子に比べてテレビゲームに割く時間が有意に多い。

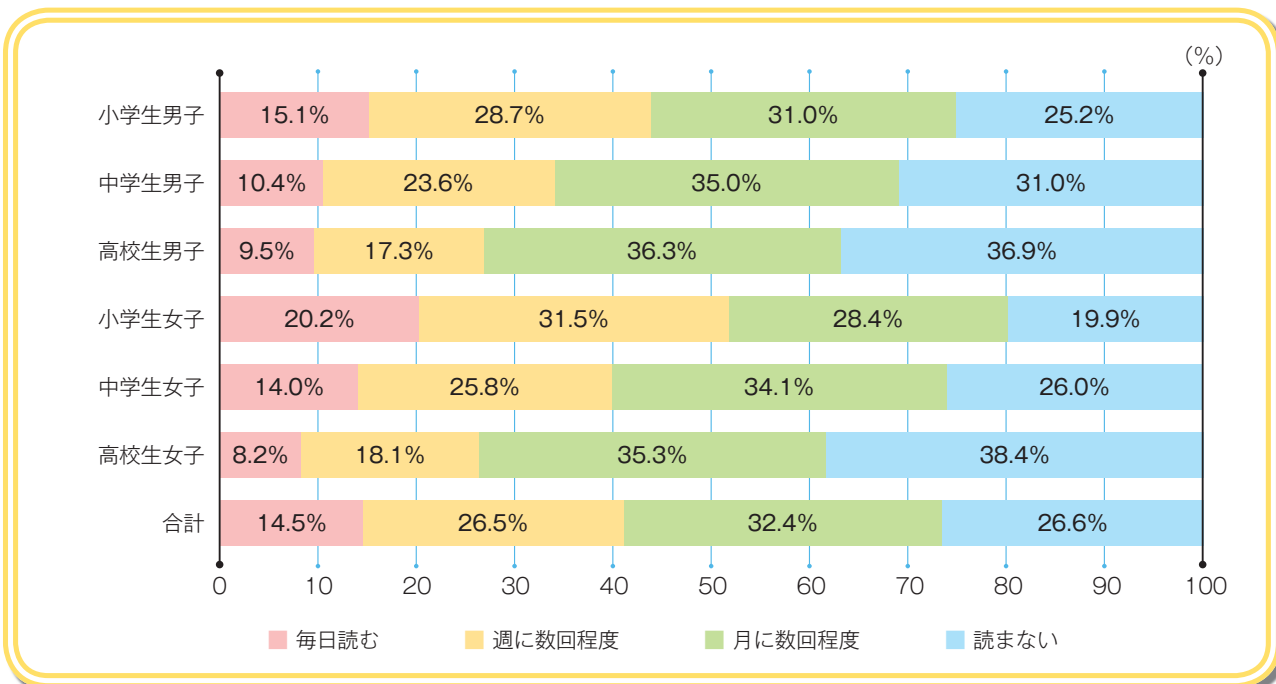
男子では、中学生・高校生と学年が上がるにつれて「4時間以上」と回答したものが増え、高校生男子では12.3%に上った。一方、「全くない」と回答したのも学年が上がるにつれて男女とも増加しており、高校生女子では半数以上の53.9%が「全くない」と回答した。男女・学年による差異が顕著にみられる項目である。

【図13】 Q36 「あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか」



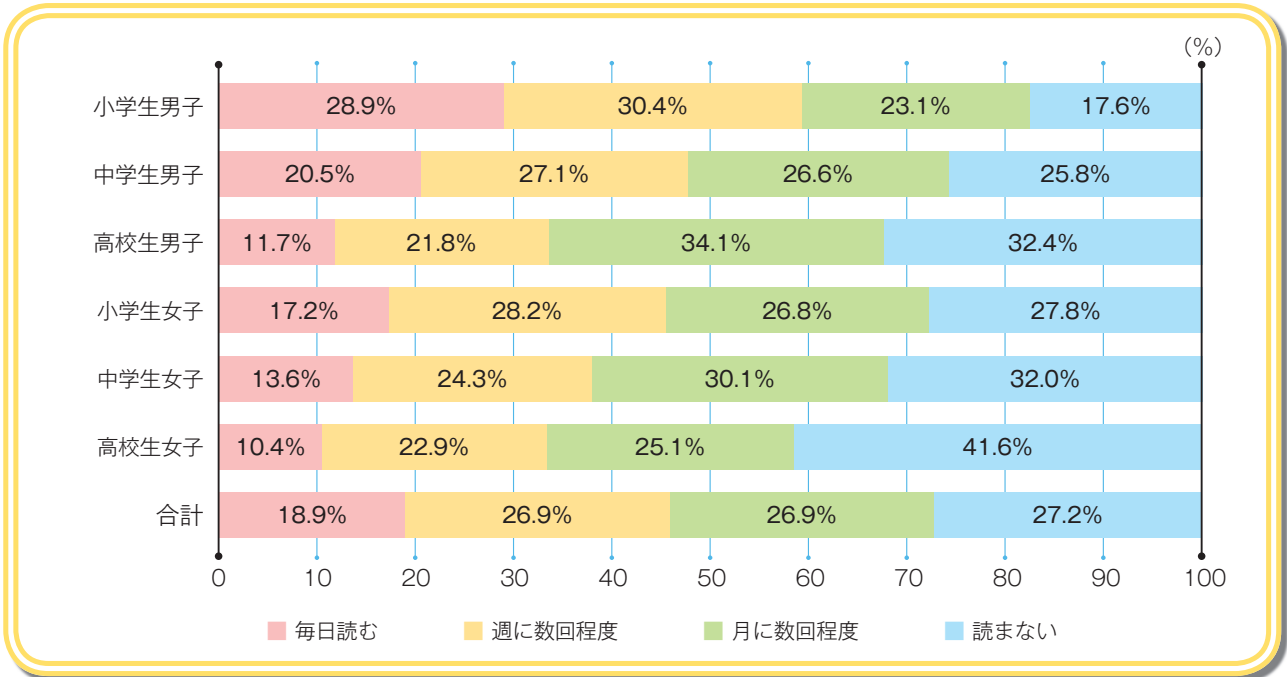
小学生男子では「全くない」と答えた者が41.8%、1時間未満と合わせると8割に上った。小学生女子では男子より少し利用時間が増え、「全くない」は27.1%にとどまった。学年があがるにつれて男女ともに利用時間が増加し、高校生では男女ともに「4時間以上」が20%を超え、約3割が携帯電話やスマートフォン通話やメール、インターネットに3時間以上を費やしている。

【図14】 Q37 「あなたは普段、日本語の本をどのくらい読みますか（教科書やマンガは除きます）」



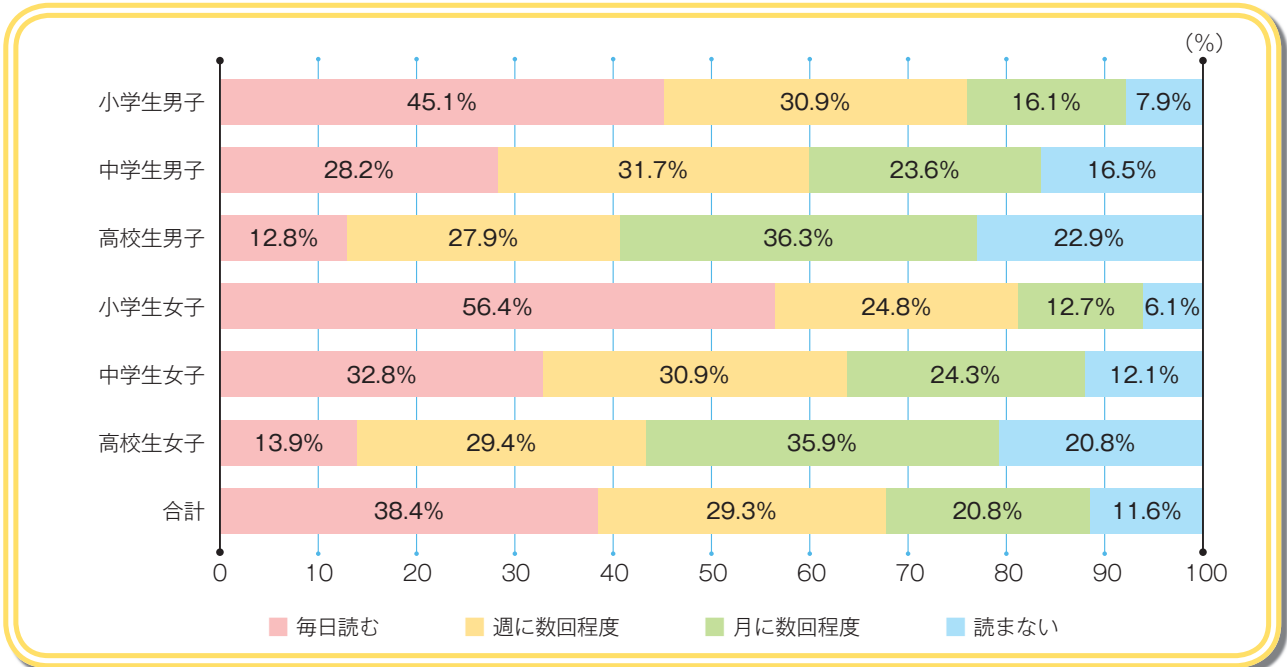
「毎日読む」と答えたのは小学生女子がもっとも多く20.2%、次いで小学生男子で15.1%である。学年があがるにしたがって「毎日読む」者の割合は減少していた。一方「読まない」としたものは高校生で男女とも4割近くおり、中学生でも3割程度である。「読書離れ」の傾向がうかがわれる結果である。

【図15】 Q38「あなたは普段、日本語のマンガをどのくらい読みますか」



日本語のマンガでは、「毎日読む」のは小学生男子が3割近くで最も多く、読書の頻度とは逆に、全般に女子より男子の方がよくマンガを読む傾向にある。学年が上がるにつれて読む頻度は下がる傾向にあり、高校生では男子で3割、女子で4割が「読まない」と回答した。

【図16】 Q39「あなたは普段、日本語以外（英語など）で書かれた本をどのくらい読みますか（教科書やマンガは除きます）」



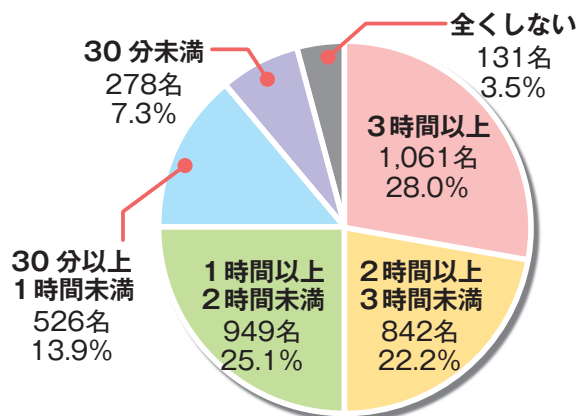
「毎日読む」と答えたのは小学生が最も多く、男子で45.1%・女子では56.4%であった。学年が上がるほど逆に「読まない」と回答する者が増え、高校生では男子22.9%・女子で20.8%に上った。Q37で尋ねた「日本の本を読む頻度」と比べてかなり高く、特に小学生では現地校で読書が毎日の課題となっている可能性も考えられる。

(4) 家庭学習について(Q40～Q53)

Q40～Q53は、家庭学習についての設問である。補習授業校は現地校のための家庭における勉強時間、塾や家庭教師、通信添削などについて尋ねた。カテゴリごとにまず結果の概要を図示し、有意差のあった項目についてはクロス集計の結果を示す。

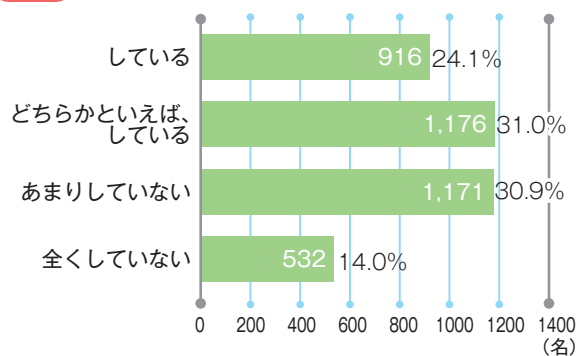
家庭学習の内容や時間

Q40 あなたは普段、学校の授業時間以外に、1週間当たりどれくらいの時間、補習授業校の勉強をしますか？

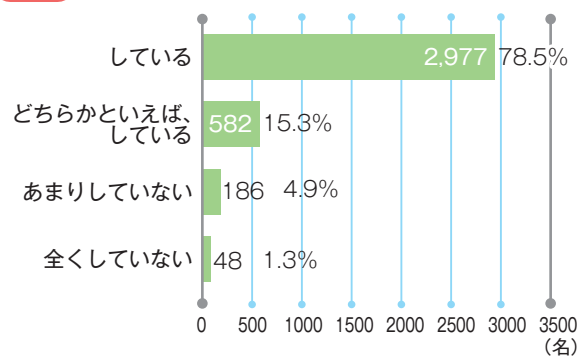


「1週間当たりの補習授業校のための勉強」は「3時間以上」が28.0%、「2～3時間」が22.2%、「1～2時間」が25.1%であり、「1時間未満」も計20%いた。「まったくしない」と答えた者も3.5%いた。現地校のための学習時間を「1日当たり」で尋ねているため、誤解して答えた可能性も否定できないが、補習授業校のための勉強に充てる1週間当たりの時間としては1～3時間が半数、1時間未満が2割と考えると、それほど負担になる時間数ではないと考えられる。

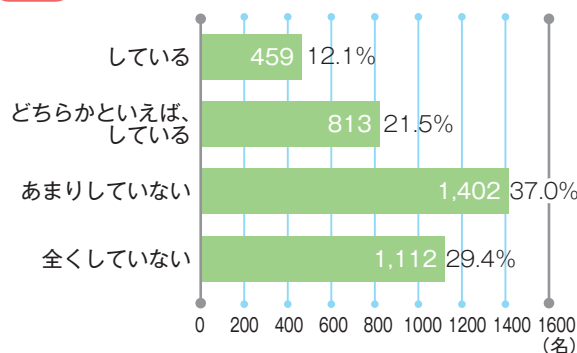
Q41 自分で計画を立てて勉強している。



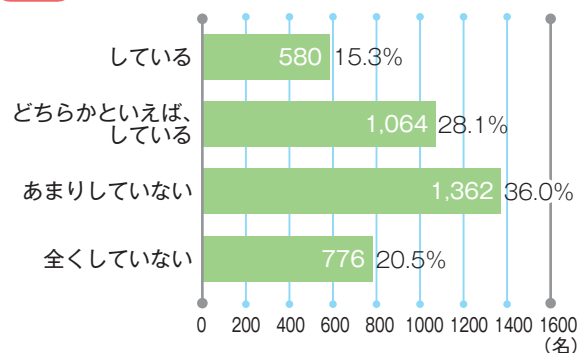
Q42 学校の宿題をしている。



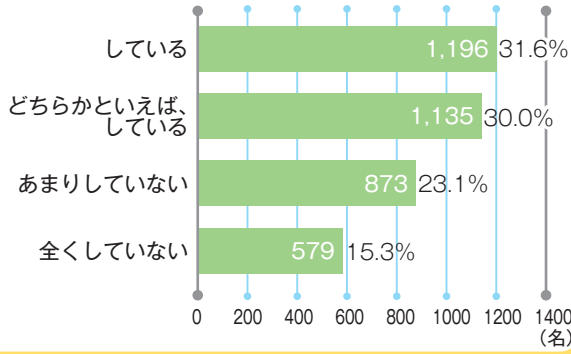
Q43 学校の授業の予習をしている。



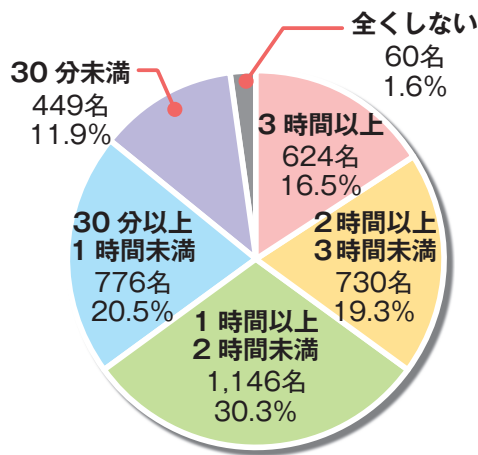
Q44 学校の授業の復習をしている。



Q45 予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習をしている。



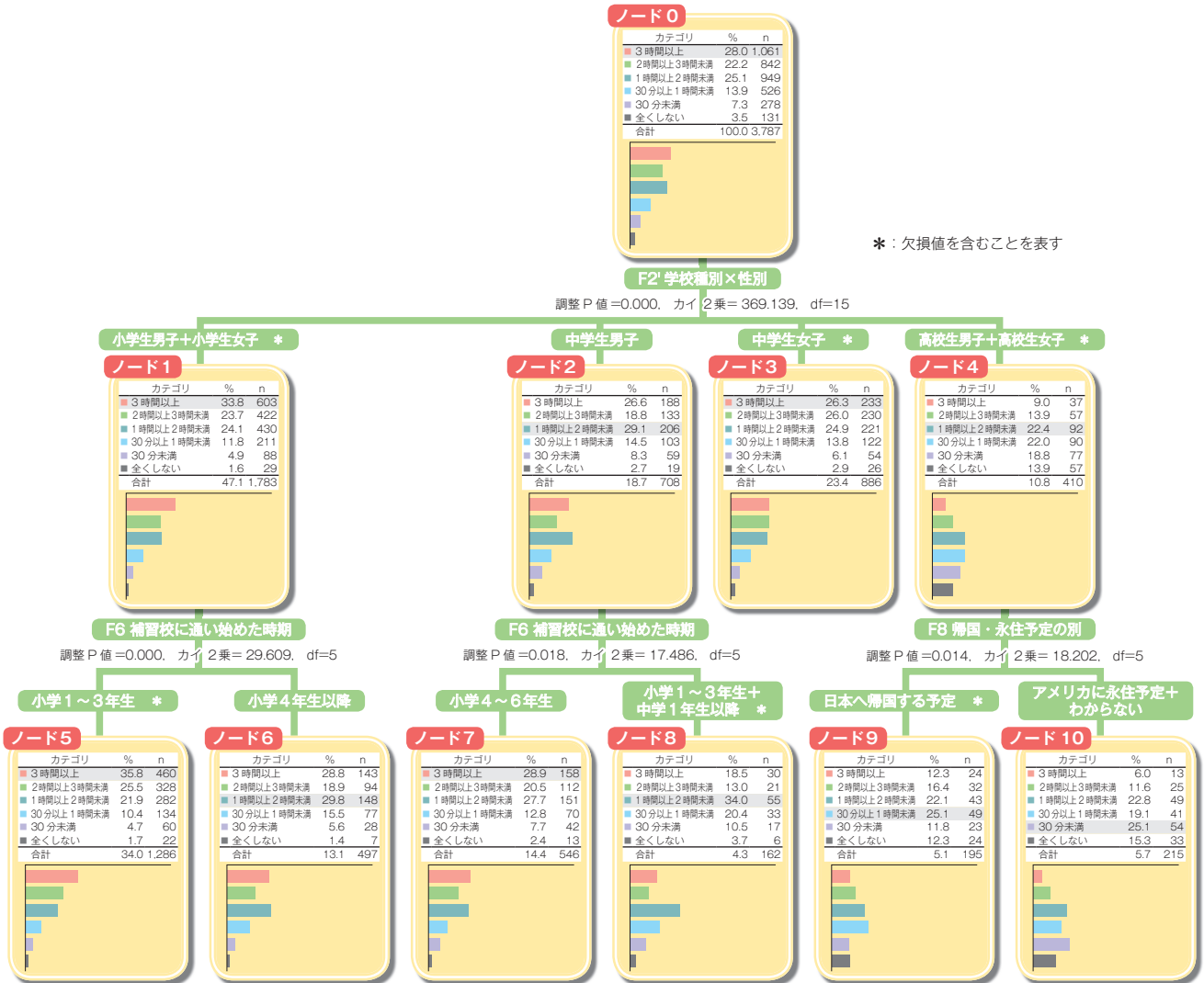
Q46 あなたは普段、学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、現地校の勉強をしますか？



「現地校のための家庭での勉強時間」については「3時間以上」としたものが16.5%、「2～3時間」が19.3%であり、「1～2時間」が30.3%と最も多く、「1時間未満」の者も34.0%みられた。

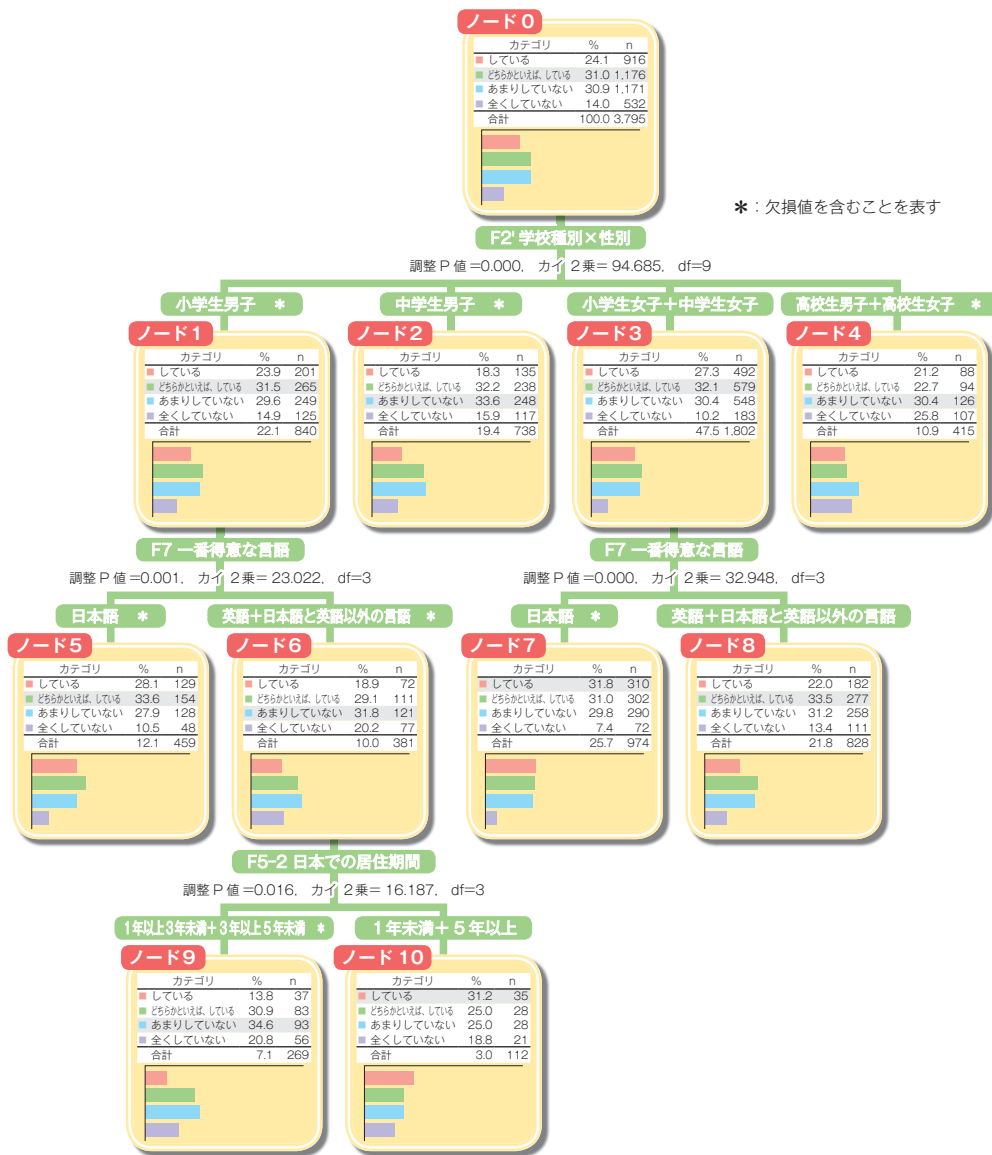
CHAID分析の結果

【図17】 Q40「あなたは普段、学校の授業時間以外に、1週間当たりどれくらいの時間、補習授業校の勉強をしますか」



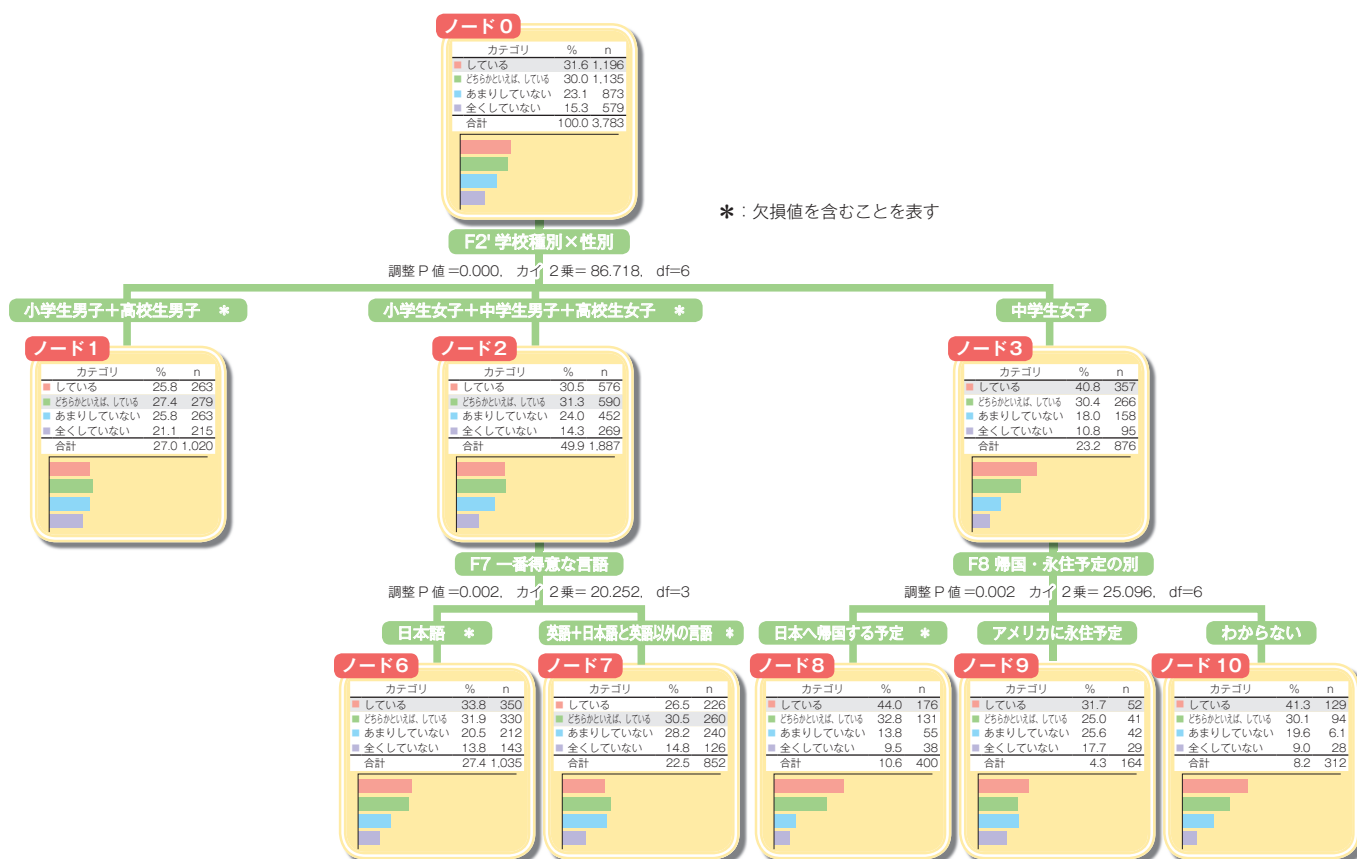
① Q40「補習授業校のための家庭学習時間」についてCHAID分析を行ったところ、「学校種別×性別」によって大きな有意差がみられた。一番勉強時間が多いのは小学生で、学年が上がるにつれて勉強時間が少なくなる。小学生男女のグループでは「3時間以上」が3割を超えていたが、高校生男女では9%に過ぎなかった。

【図18】 Q41「自分で計画を立てて勉強している」



② Q41「自分で計画を立てて勉強している」においても、学年、性別により取り組みが異なり、学年があがるにつれて、「している」割合が少なくなる。小学校・中学校ともに、女子の方が男子よりも「している」と答えた割合が比較的多かったが、いずれも半数近くが「あまりしていない」「全くしていない」と回答していた。

【図19】 Q45「予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している」



③ Q45「予習・復習やテスト勉強などの自学自習において教科書を使いながら学習している」についてのCHAID分析でも、「学校種別×性別」による差異がもっとも有意であった。「している」と答えた割合が最も多かったのは中学生女子で4割を超えたが、中学生男子・小学生女子・高校生女子のグループでは3割、小学生男子・高校生男子のグループでは25%にとどまった。

中学生女子についてさらに分析すると、「帰国・永住予定の別」が有意であり、「している」と答えた者は帰国予定のグループの方が44.0%、永住予定で41.3%と有意に高かった。

日本語と英語の比較

【Q37～Q46】でみてきた家庭における読書や家庭学習について、まとめて【表13】に示す。家庭学習や読書の時間については、一部、日本語と英語の比較を行った。

Q37「日本語の本」の読書については、「毎日読む」と答えた者が14.6%いるのに対して、「読まない」とした者も26.6%にのぼった。Q38「日本のマンガ」については「毎日読む」者が19.0%、残り3つの選択肢がほぼ同割合であった。いずれも子どもによって大きなばらつきがあることがわかる。表右欄のQ39「日本語以外の本」の読書との比較では、「毎日読む」が38.3%で、日本語の本より英語等の本を毎日読む者が倍以上という結果であった。現地校では毎日の読書を宿題として課している学校も多く、この結果につながったことが考えられる。

勉強時間については、Q40「1週間当たりの補習授業校のための勉強」は「3時間以上」が28.0%、「2～3時間」が22.2%、「1～2時間」が25.1%であり、「1時間未満」も計21.2%いた。「まったくしない」と答えた者も3.5%いた。現地校のための学習時間を「1日当たり」で尋ねているため、誤解して答え

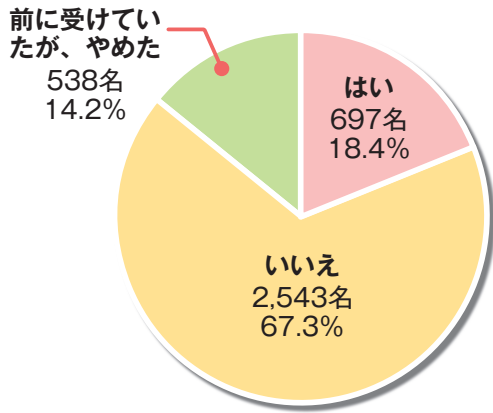
た可能性も否定できないが、補習授業校のための勉強に充てる週当たりの時間としては1～3時間が半数、1時間未満が2割と考えると、それほど負担になる時間数ではないと考えられる。一方、Q46「1日当たりの現地校の勉強」については「3時間以上」としたものが16.5%、「2～3時間」が19.3%であり、「1～2時間」が30.3%と最も多く、「1時間未満」の者も34.0%みられた。

Q42「学校の宿題」については78.5%が「している」と答えたが、「あまりしていない」「まったくしていない」とした者も合わせて6%程度みられた。Q43およびQ44の「予習・復習」についてはしていない者の方が多く、特に「予習」では7割近くが「あまりしていない」「まったくしていない」と回答した。

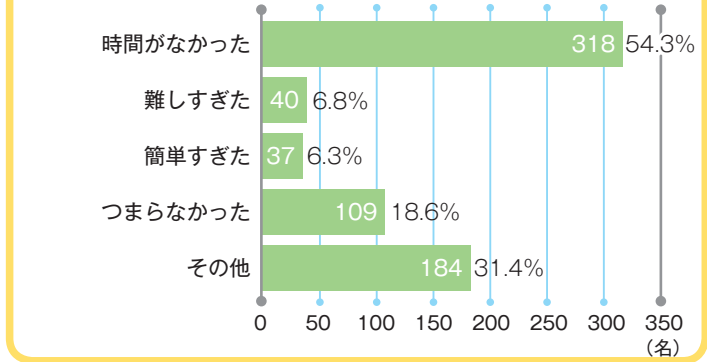
【表13】 読書と家庭学習の時間

日本の読書、補習授業校のための勉強時間				英語の読書、現地校のための勉強時間			
Q37 あなたは普段、日本語の本をどのくらい読みますか？(教科書やマンガは除きます)	毎日読む	554	14.6%	Q39 あなたは普段、日本語以外(英語など)で書かれた本をどのくらい読みますか？(教科書やマンガは除きます)	毎日読む	1,452	38.3%
	週に数回程度	1,005	26.5%		週に数回程度	1,109	29.2%
	月に数回程度	1,221	32.2%		月に数回程度	791	20.9%
	読まない	1,008	26.6%		読まない	440	11.6%
Q38 あなたは普段、日本語のマンガをどのくらい読みますか？	毎日読む	719	19.0%				
	週に数回程度	1,014	26.8%				
	月に数回程度	1,027	27.1%				
	読まない	1,027	27.1%				
Q40 あなたは普段、学校の授業時間以外に、1週間当たりどれくらいの時間、補習授業校の勉強をしますか？(学習塾で勉強している時間や、家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます)	3時間以上	1,061	28.0%	Q46 あなたは普段、学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、現地校の勉強をしますか？(学習塾で勉強している時間や、家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます)	3時間以上	624	16.5%
	2時間以上3時間未満	842	22.2%		2時間以上3時間未満	730	19.3%
	1時間以上2時間未満	949	25.1%		1時間以上2時間未満	1,146	30.3%
	30分以上1時間未満	526	13.9%		30分以上1時間未満	776	20.5%
	30分未満	278	7.3%		30分未満	449	11.9%
	全くしない	131	3.5%		全くしない	60	1.6%
Q41 自分で計画を立てて勉強している。	している	916	24.1%				
	どちらかといえば、している	1,176	31.0%				
	あまりしていない	1,171	30.9%				
	全くしていない	532	14.0%				
Q42 学校の宿題をしている。	している	2,977	78.5%				
	どちらかといえば、している	582	15.3%				
	あまりしていない	186	4.9%				
	全くしていない	48	1.3%				
Q43 学校の授業の予習をしている。	している	459	12.1%				
	どちらかといえば、している	813	21.5%				
	あまりしていない	1,402	37.0%				
	全くしていない	1,112	29.4%				
Q44 学校の授業の復習をしている。	している	580	15.3%				
	どちらかといえば、している	1,064	28.1%				
	あまりしていない	1,362	36.0%				
	全くしていない	776	20.5%				
Q45 予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している。	している	1,196	31.6%				
	どちらかといえば、している	1,135	30.0%				
	あまりしていない	873	23.1%				
	全くしていない	579	15.3%				

Q47 あなたは日本の通信教育を受けていますか？

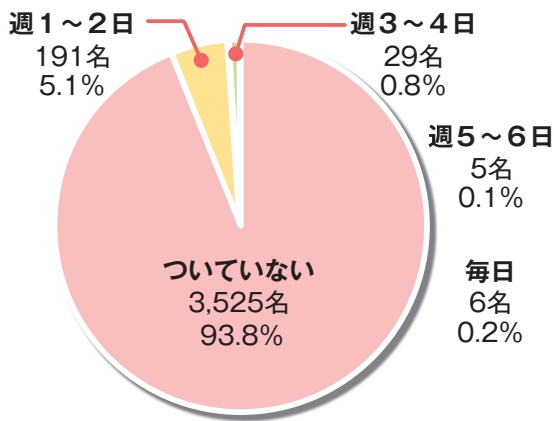


Q47-2 やめた理由 (複数回答)

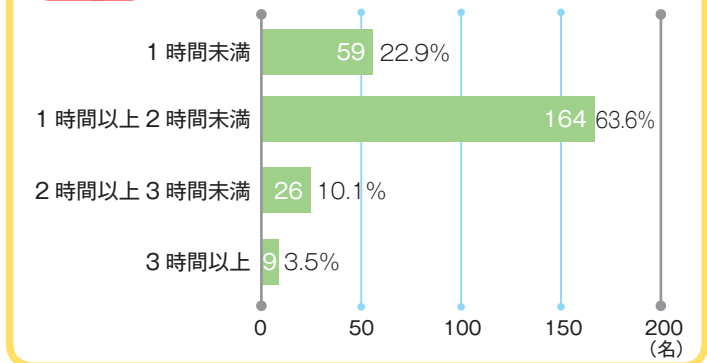


Q47「日本の通信教育を受けているか」については18.4%が「はい」と回答しており、「前にうけていたが、やめた」と答えた者も14.2%みられた。理由としては「時間がなかった」とする者が54.3%と半数以上にのぼり、平日の現地校と土曜日の補習授業校で忙しく、通信教育に手が回らない様子が見える。「難しすぎ」「簡単すぎ」はいずれも6%程度と少なく、難易度については適切であったと思われるが18.6%が「つまらなかった」と答えており、通信教育の教材や取り組み方にも工夫が必要であるかもしれない。

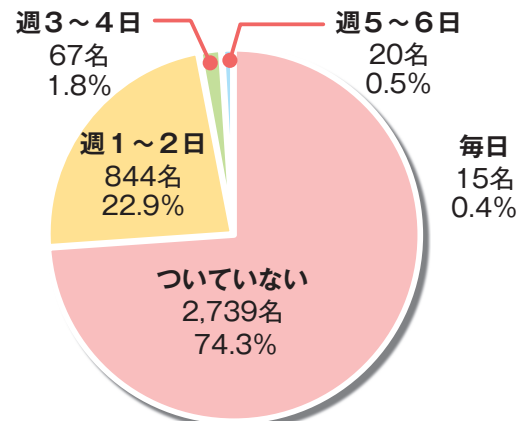
Q48 日本の勉強または日本語の勉強をするための家庭教師についていますか？



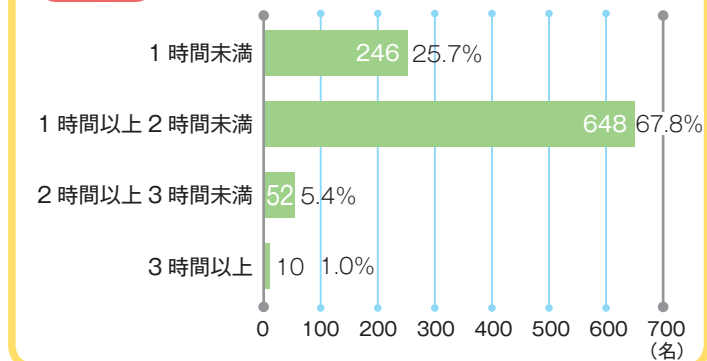
Q48-2 1回の時間



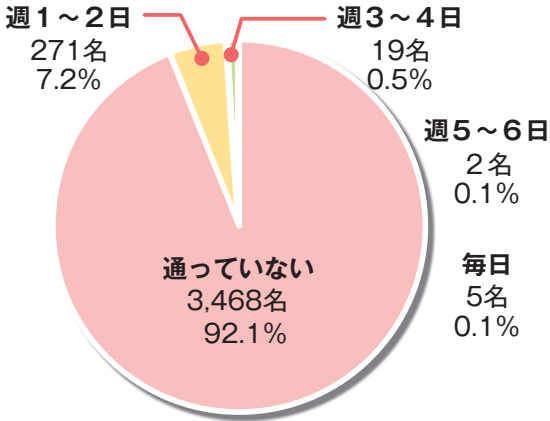
Q49 アメリカの勉強または英語の勉強をするための家庭教師についていますか？



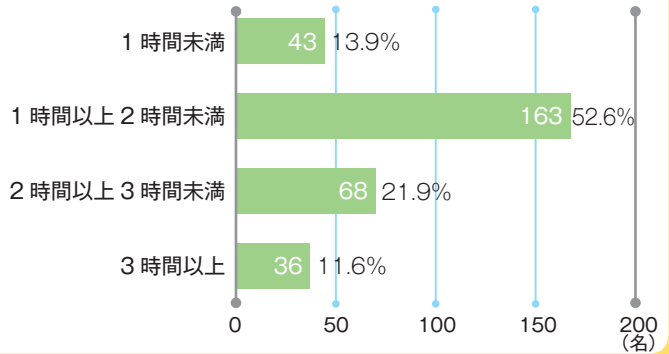
Q49-2 1回の時間



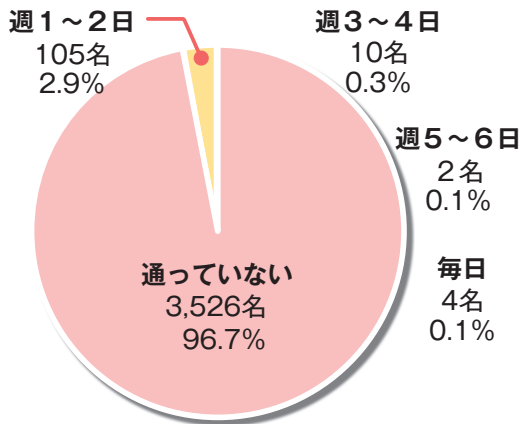
Q50 日本の学校の受験勉強をするための塾に通っていますか？



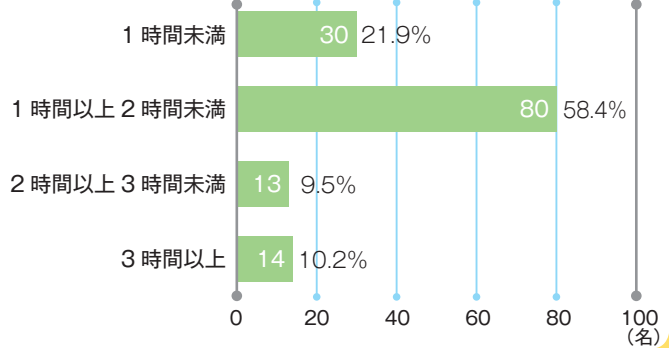
Q50-2 1回の時間



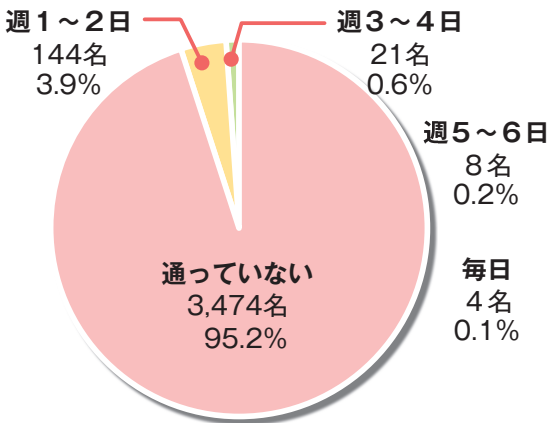
Q51 日本の教科書の勉強でよく分からない内容を補習するための塾に通っていますか？



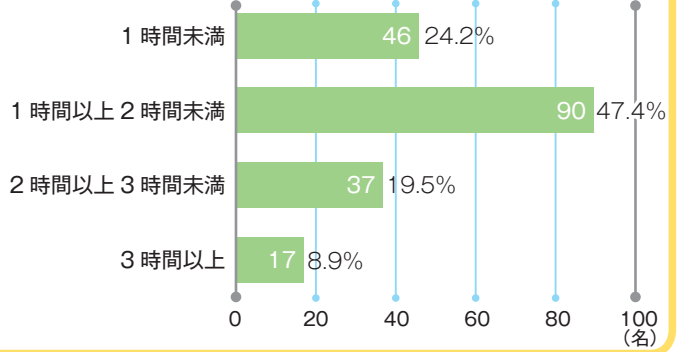
Q51-2 1回の時間



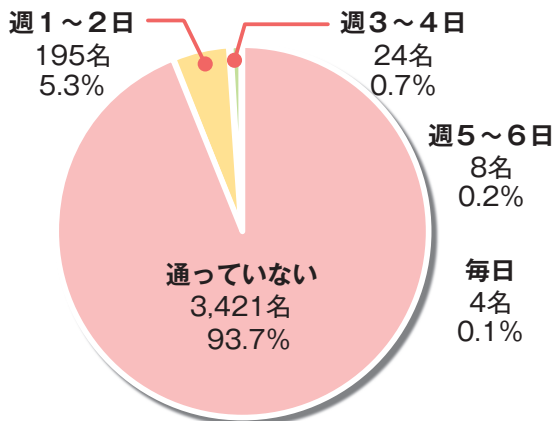
Q52 アメリカの学校の受験勉強をするための塾に通っていますか？



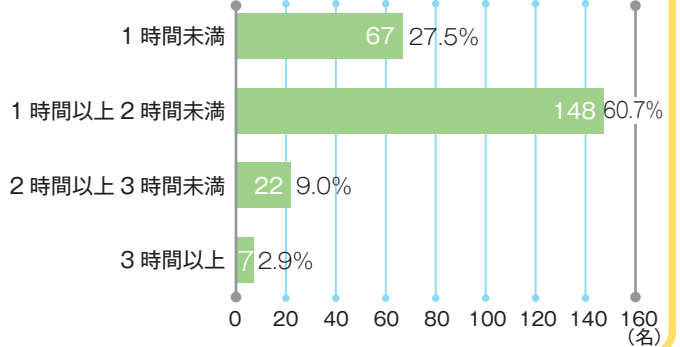
Q52-2 1回の時間



Q53 アメリカの教科書の勉強でよく分からない内容を補習するための塾に通っていますか？



Q53-2 1回の時間



日本語と英語の比較

【表14】に示すとおり、「塾や家庭教師」について問う項目については、日本の勉強については9割以上が「なし」と回答した（家庭教師93.8%、受験塾92.1%、補習塾96.7%）。Q50「日本の受験塾に通っている」者は7.9%であり、通っている場合も、その頻度は週1～2回、1回1～2時間以内がほとんどであった。アメリカでは大都市部において大手進学塾の進出が顕著であるが、今回の調査協力校の中にはあまり塾が進出してない都市・地域もあったこと、また、土曜日に補習授業校に来ることなく平日の間に塾に通う「現地校+塾」の選択、いわゆる「補習授業校離れ」の層については今回の結果に含まれていないこと、などが理由として考えられるだろう。

一方、表の右側に示した「アメリカ/英語の勉強」のために「家庭教師」についている者が25.6%おり、現地校の勉強についていくために家庭教師について勉強する者がある程度いることがわかった。

【表14】塾（受験塾・補習塾）および家庭教師の有無

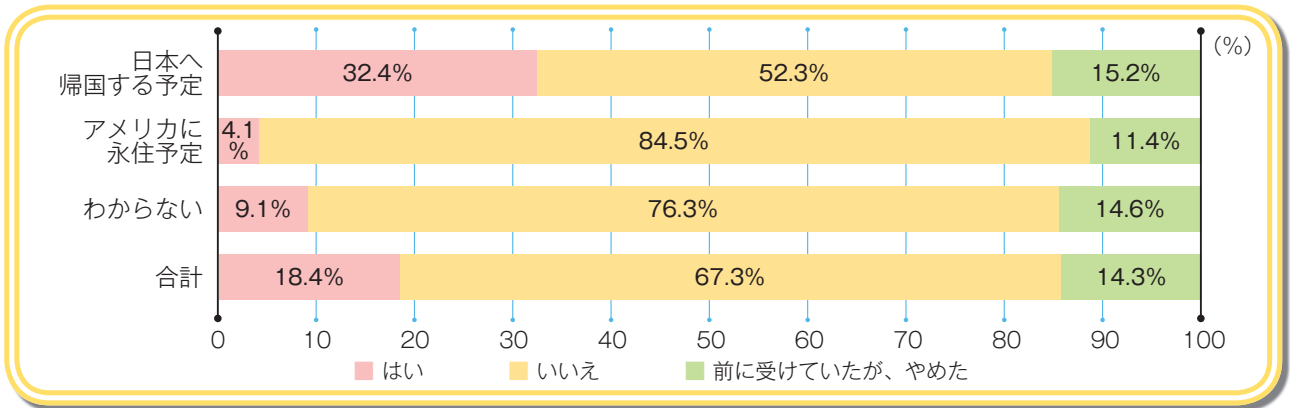
日本/日本語の勉強				アメリカ/英語の勉強			
Q48 日本の勉強または日本語の勉強をするための家庭教師	① ついていない	3,525	93.8%	Q49 アメリカの勉強または英語の勉強をするための家庭教師	① ついていない	2,739	74.3%
	② 週1～2日	191	5.1%		② 週1～2日	844	22.9%
	③ 週3～4日	29	0.8%		③ 週3～4日	67	1.8%
	④ 週5～6日	5	0.1%		④ 週5～6日	20	0.5%
	⑤ 毎日	6	0.2%		⑤ 毎日	15	0.4%
Q48-2 (②～⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか？	1時間未満	59	22.9%	Q49-2 (②～⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか？	1時間未満	246	25.7%
	1時間以上2時間未満	164	63.6%		1時間以上2時間未満	648	67.8%
	2時間以上3時間未満	26	10.1%		2時間以上3時間未満	52	5.4%
	3時間以上	9	3.5%		3時間以上	10	1.0%
Q50 日本の学校の受験勉強をするための塾	① 通っていない	3,468	92.1%	Q52 アメリカの学校の受験勉強をするための塾	① 通っていない	3,474	95.2%
	② 週1～2日	271	7.2%		② 週1～2日	144	3.9%
	③ 週3～4日	19	0.5%		③ 週3～4日	21	0.6%
	④ 週5～6日	2	0.1%		④ 週5～6日	8	0.2%
	⑤ 毎日	5	0.1%		⑤ 毎日	4	0.1%
Q50-2 (②～⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか？	1時間未満	43	13.9%	Q52-2 (②～⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか？	1時間未満	46	24.2%
	1時間以上2時間未満	163	52.6%		1時間以上2時間未満	90	47.4%
	2時間以上3時間未満	68	21.9%		2時間以上3時間未満	37	19.5%
	3時間以上	36	11.6%		3時間以上	17	8.9%
Q51 日本の教科書の勉強でよく分からない内容を補習するための塾	① 通っていない	3,526	96.7%	Q53 アメリカの教科書の勉強でよく分からない内容を補習するための塾	① 通っていない	3,421	93.7%
	② 週1～2日	105	2.9%		② 週1～2日	195	5.3%
	③ 週3～4日	10	0.3%		③ 週3～4日	24	0.7%
	④ 週5～6日	2	0.1%		④ 週5～6日	8	0.2%
	⑤ 毎日	4	0.1%		⑤ 毎日	4	0.1%
Q51-2 (②～⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか？	1時間未満	30	21.9%	Q53-2 (②～⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか？	1時間未満	67	27.5%
	1時間以上2時間未満	80	58.4%		1時間以上2時間未満	148	60.7%
	2時間以上3時間未満	13	9.5%		2時間以上3時間未満	22	9.0%
	3時間以上	14	10.2%		3時間以上	7	2.9%
Q47 あなたは日本の通信教育を受けていますか？	① はい	697	18.4%				
	② いいえ	2,543	67.3%				
	③ 前に受けていたが、やめた	538	14.2%				
Q47-2 (③を選んだ人へ) やめた理由について、当てはまるものを全て選んでください。	時間がなかった	318	54.3%				
	難し過ぎた	40	6.8%				
	簡単過ぎた	37	6.3%				
	つまらなかった	109	18.6%				
	その他	184	31.4%				

クロス集計の結果

「塾や家庭教師・通信添削について」の 카테고리では、「やっている」と答えた者が少なかったが、「帰国・永住予定の別」「学校規模別」において有意な差異が見られた。「性別」「学年別」による差は有意ではなかった。ここでは「帰国・永住予定の別」についてのクロス集計の結果を示す。

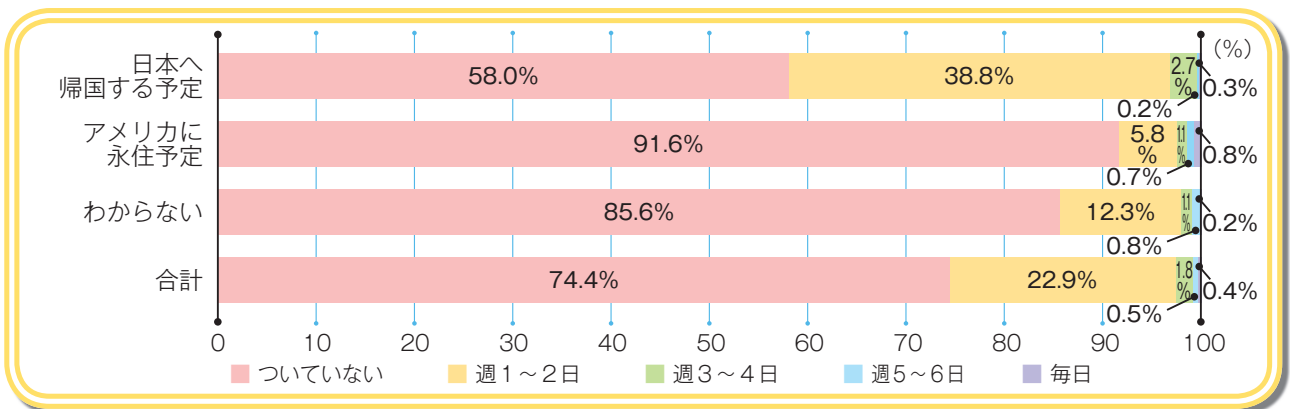
【図 20】 Q47 「あなたは日本の通信教育を受けていますか」

「はい」と答えたのが帰国予定者で 32.4% に対して永住予定者では 4.1%、帰国か永住か不明な者では 9.1% と大きな差がみられた。



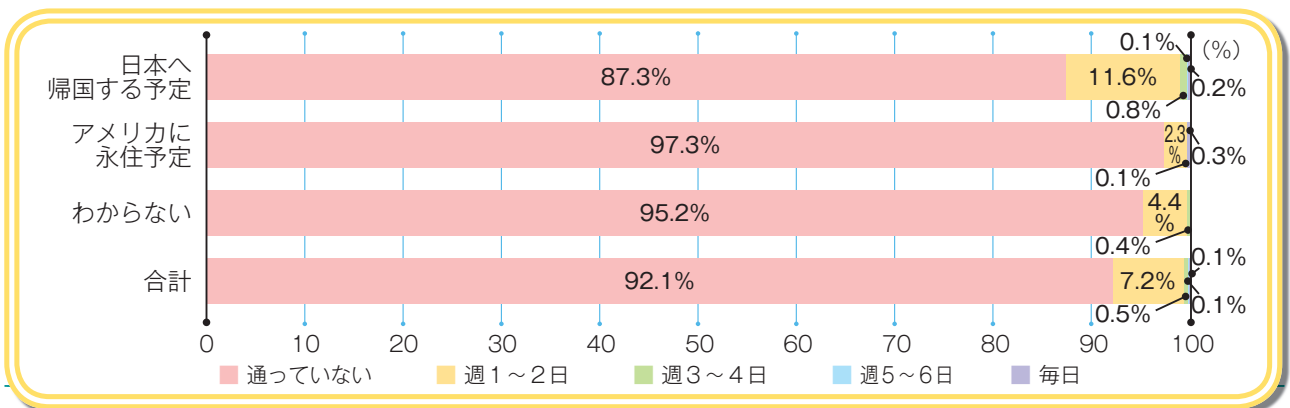
【図 21】 Q49 「アメリカの勉強または英語の勉強をするための家庭教師についていますか」

「ついていない」とした者が帰国予定者で 58.0% に対して永住予定者で 91.6% と大きな差がある。英語の家庭教師についている帰国予定者の中では「週1~2日」が最も多く、3割以上を占めた。



【図 22】 Q50 「日本の学校の受験勉強をするための塾に通っていますか」

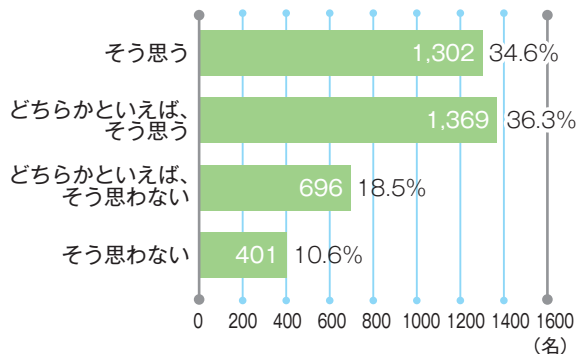
帰国予定者の 87.3%、永住予定者の 97.3% が通っていない。塾に通っている帰国予定者の中では「週1~2日」が一番多く、11.6% であった。現地校の勉強に加えて日本の塾で受験勉強をし、週末に補習授業校で勉強する者が約1割という結果である。



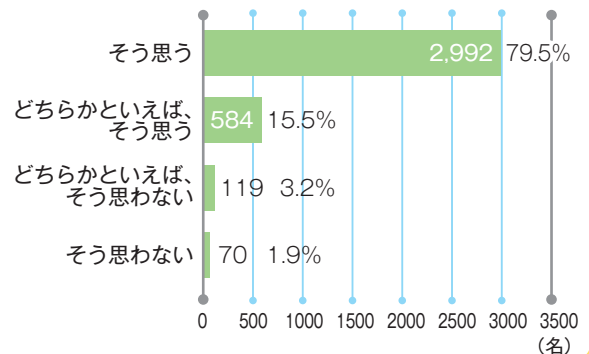
(5) 補習授業校について(Q54～Q61)

補習授業校での学校生活

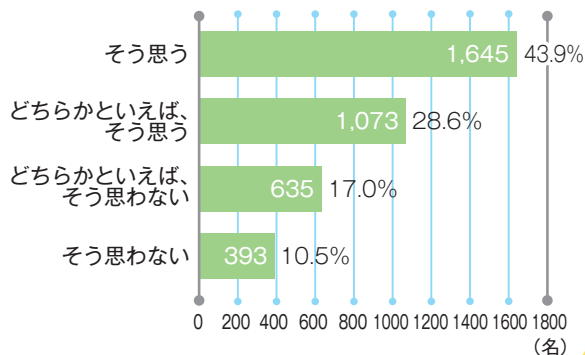
Q54 補習授業校に行くのが楽しみだ。



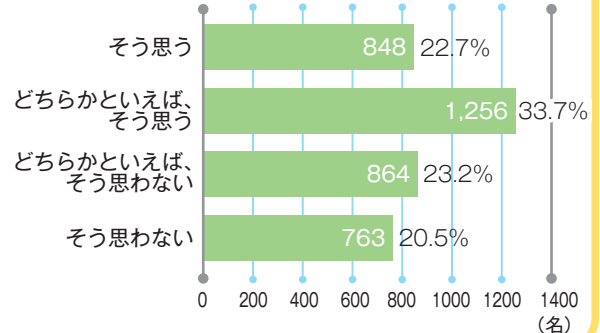
Q55 友達に会うのは楽しい。



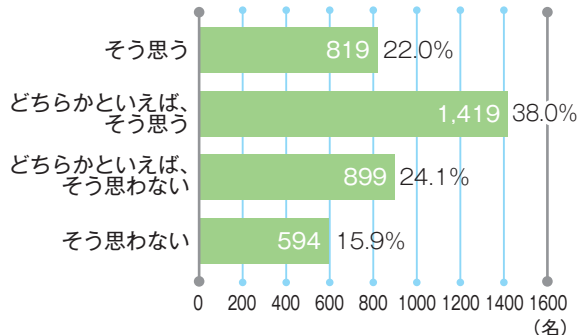
Q56 好きな授業がある。



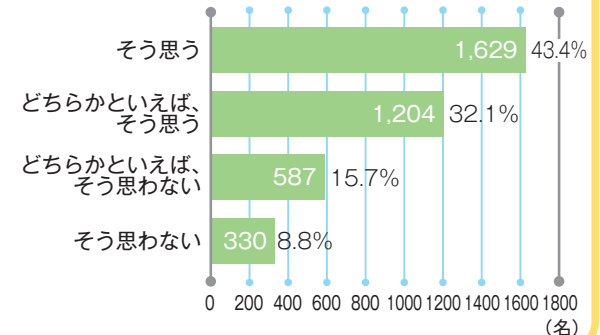
Q57 あなたの学級(クラス)では、(学級会などの時間)にお友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていと思う。



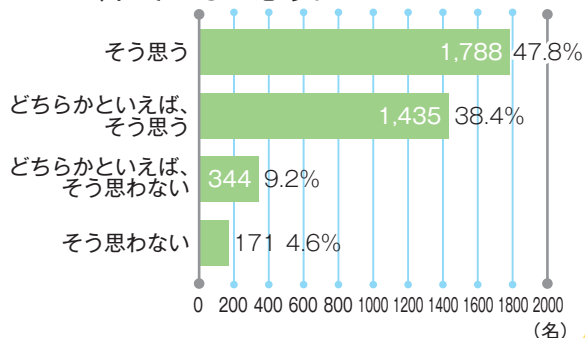
Q58 (学級会などの話し合いの活動で)自分とは異なる意見や少数派のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。



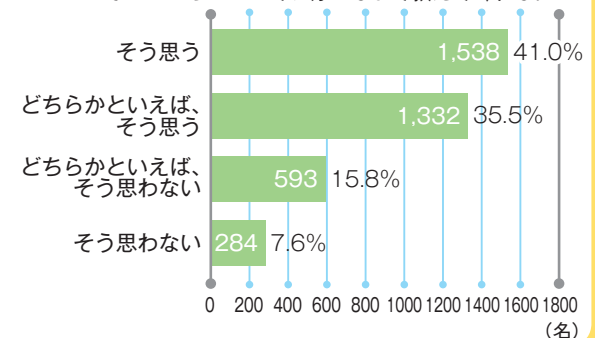
Q59 学級(クラス)みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。



Q60 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。



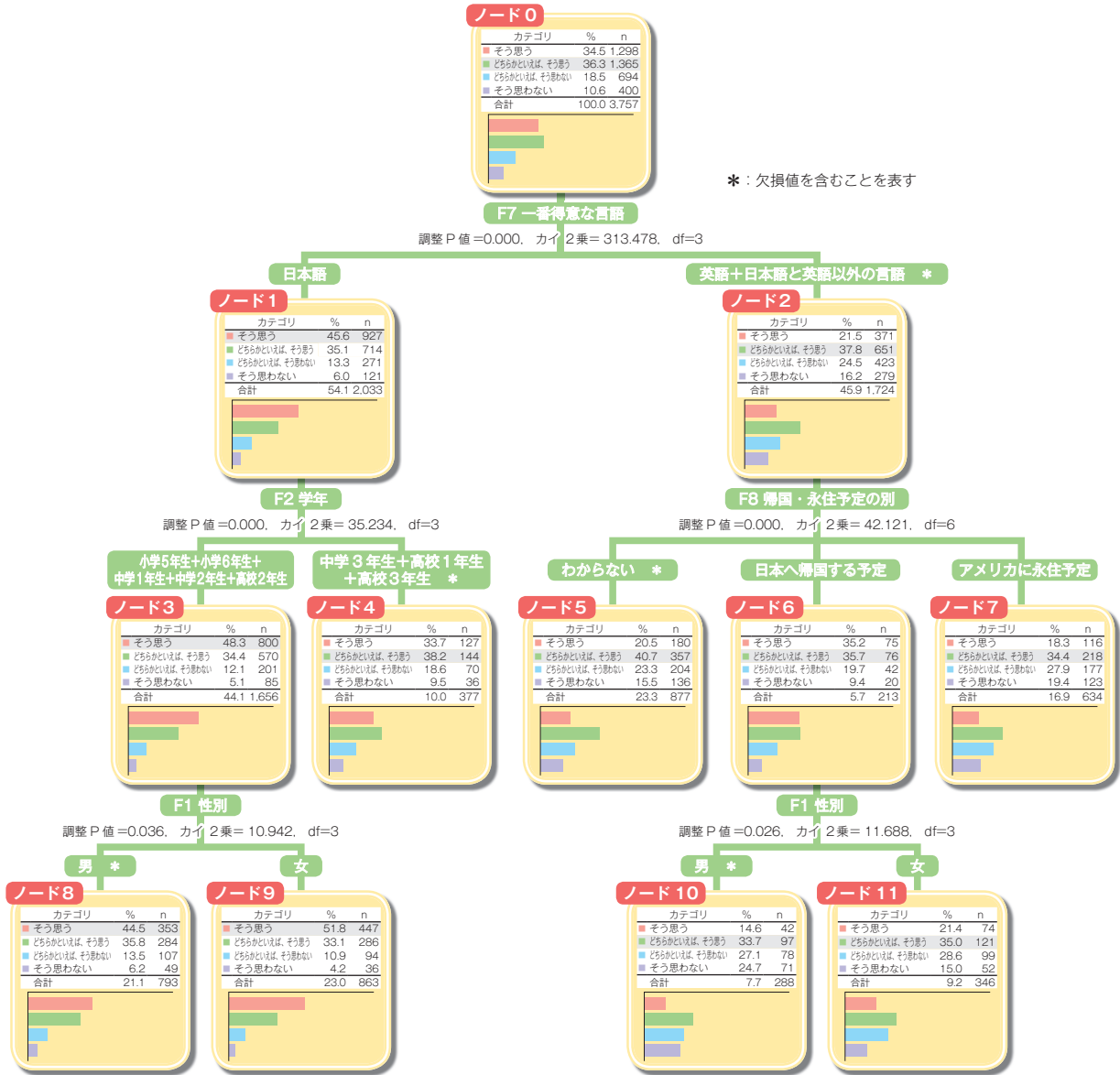
Q61 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。



CHAID分析の結果

補習授業校についての設問は、「帰国・永住予定の別」「学校種別×性別」「学校規模別」のほか、さまざまな要因により有意な影響を受けている。要因が複雑に関連するため、回答の特徴をより端的に表すのに適したCHAIDにより分析を行った。以下、特徴的な項目について概説する。

【図 23】 Q54 「補習授業校に行くのが楽しみだ」

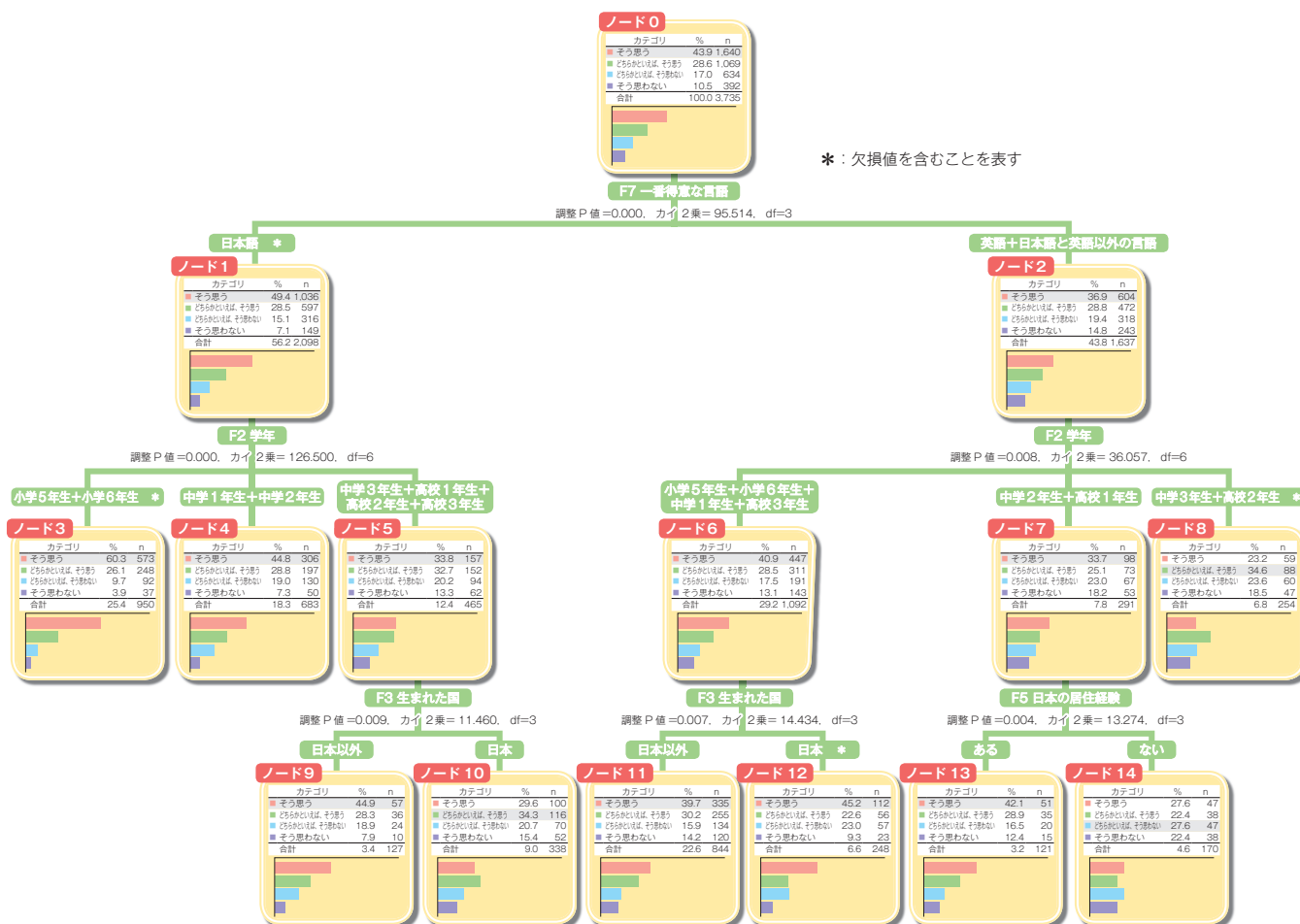


もっとも大きな分岐点となるのは「得意な言語」であった。最も得意な言語を「日本語」とした者の45.6%が「補習授業校が楽しみ」と答えており、「どちらかといえば楽しみ」をあわせると8割が楽しく補習授業校に通っていることがわかる。

「日本語が得意」な者の中での次の分岐要因は「学年」である。「小学5・6年生、中学1・2年生、高校2年生」のグループでは、「そう思う」が48.3%、「どちらかといえば、そう思う」を合わせると8割以上が「補習校に行くのが楽しみ」と回答したのに対し、「中学3年、高校1・3年生」のグループでは、「そう思う」が約3割にとどまり、「どちらかといえば、そう思う」をあわせても7割強に過ぎなかった。

得意な言語を「英語またはそれ以外の言語」と答えた者の中では、帰国・永住予定の別で差異がみられ、日本へ帰国予定のグループでは「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせて7割以上が「楽しみ」と答えているのに対し、永住予定のグループでは5割程度にとどまった。

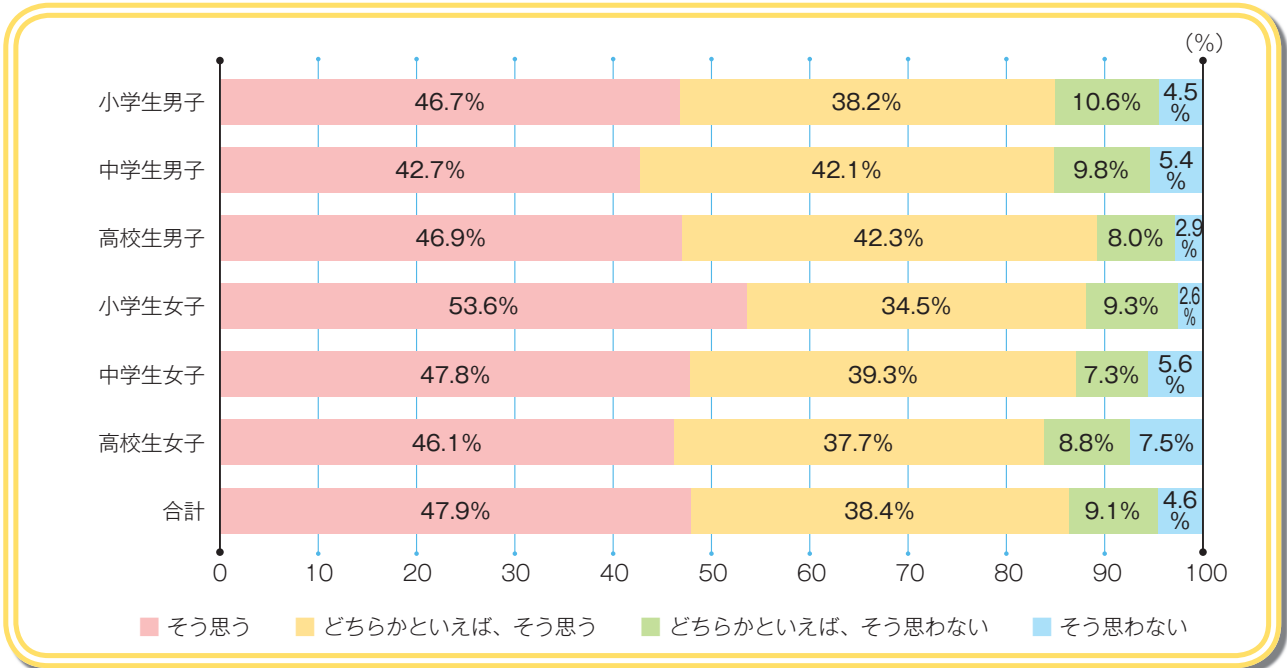
【図 24】 Q56 「補習授業校で好きな授業がある」



得意な言語によって差が見られ、「そう思う」と回答したのは「日本語」が得意な者で49.4%、「英語やその他の言語」とした者で36.9%であった。さらに「日本語が得意」と答えた者の中でも、学年によって有意差が見られ、小学5・6年生で「そう思う」としたものが6割を超えるのに対し、中学1・2年のグループでは約45%、中学3年生と高校生のグループでは33.8%に減少していた。学年が上がるにつれて、補習校で好きな授業が少なくなっていくことがわかる。高学年でさらに分岐をみると、「生まれた国が日本以外」のグループの方が、「日本生まれ」のグループより「好きな授業がある」と答えた割合が有意に高かった。

クロス集計の結果

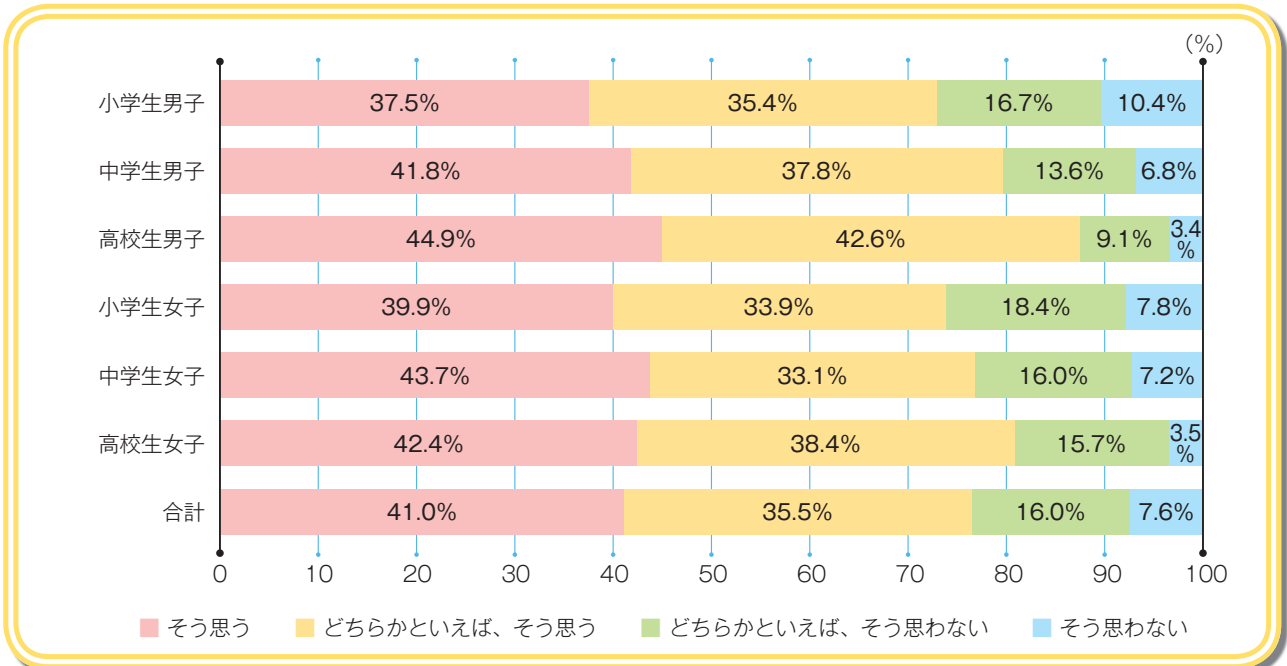
【図25】 Q60 「補習授業校の先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」



いずれの性別・学年でも「そう思う」と回答したのが半数前後で、特に小学生女子では53.6%が「そう思う」と回答していた。「どちらかといえば、そう思う」を加えると全学年で約9割が「そう思う」としており、全体に補習授業校の先生が自分をよく見てくれていると認識していることがわかる。

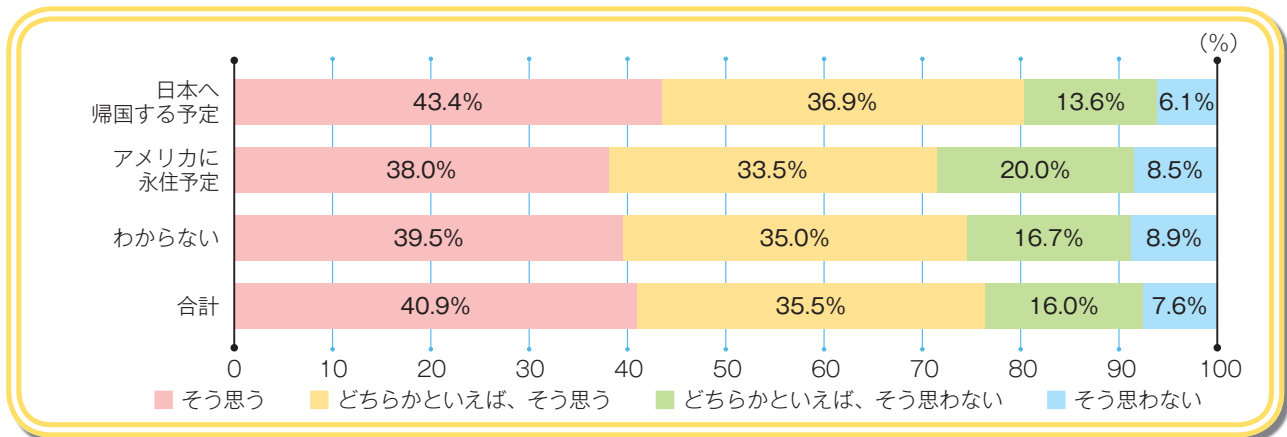
【図26】 Q61 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」

① 学校種別×性別



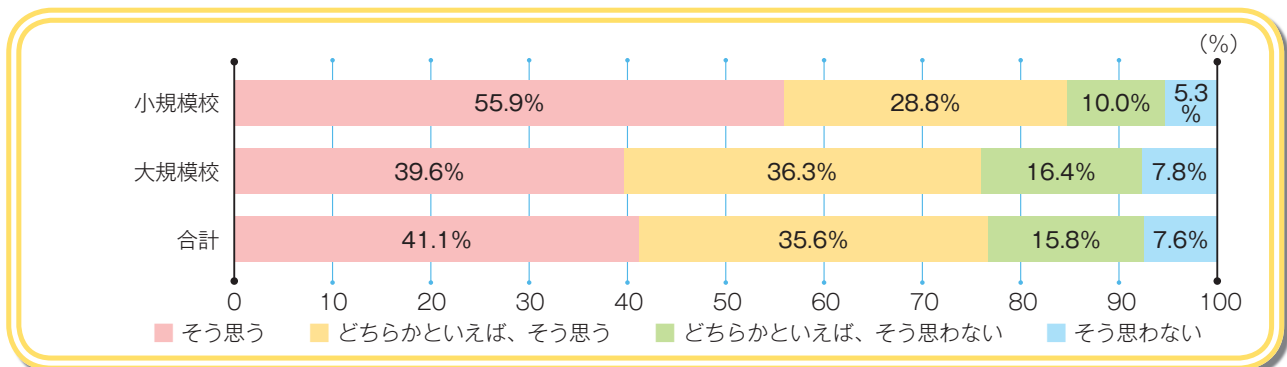
男女ともに、学年が上がるにつれて「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と答えた割合が多く、特に高校生男子では9割近くに上った。一方で小学生では男女ともに4分の1程度のが「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」と回答していた。

② 帰国・永住予定の別



帰国予定者の約8割が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と答えたのに対し、永住予定者では約7割にとどまり、逆に「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」が3割近くに上った。

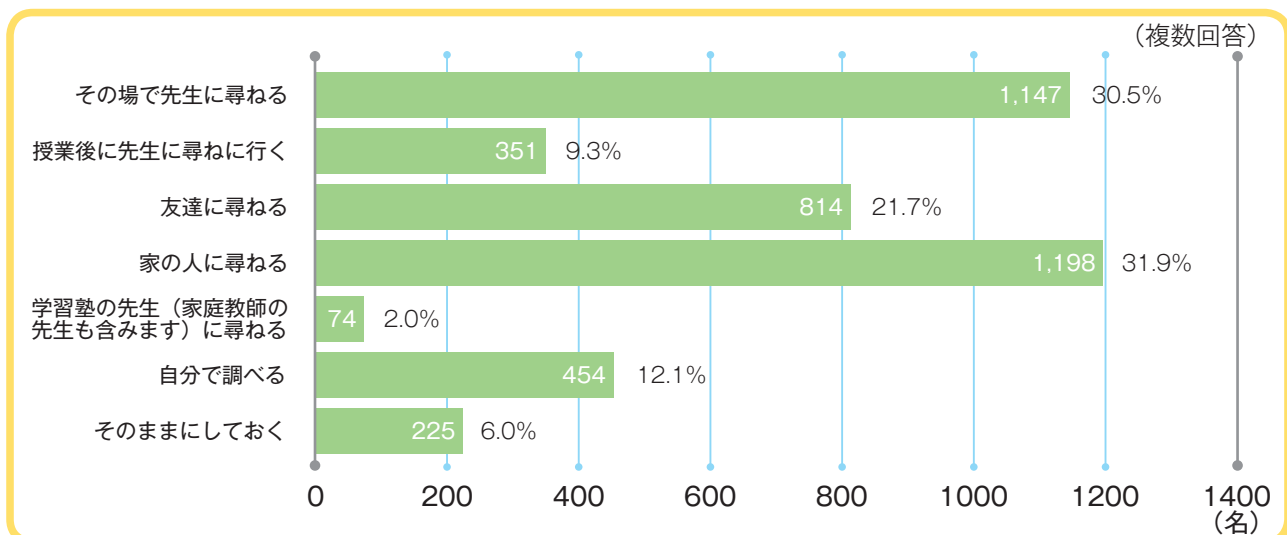
③ 学校規模別



小規模校の方が、「そう思う」と回答した割合が有意に高く、55.9%に上ったが、大規模校でも4割近くが「そう思う」と回答し、「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、小規模校で8割・大規模校で7割が「わかるまで教えてもらえる」と答えていた。どちらの規模でも「そう思わない」は5.3%、7.8%と低く、補習授業校の先生方の熱意がうかがわれる結果である。

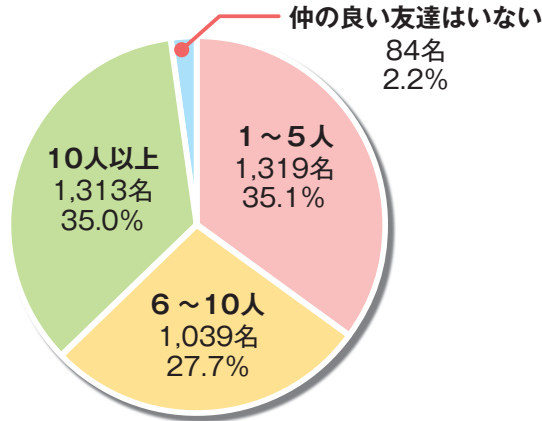
Q62 「補習授業校の授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか？」

「家の人に尋ねる」という回答が最も多く、「その場で先生に尋ねる」がほぼ同数であった。「そのままにしておく」という回答も少なからずみられ、対応が必要であろう。



Q63 「仲の良い友達は何人くらいいますか？」

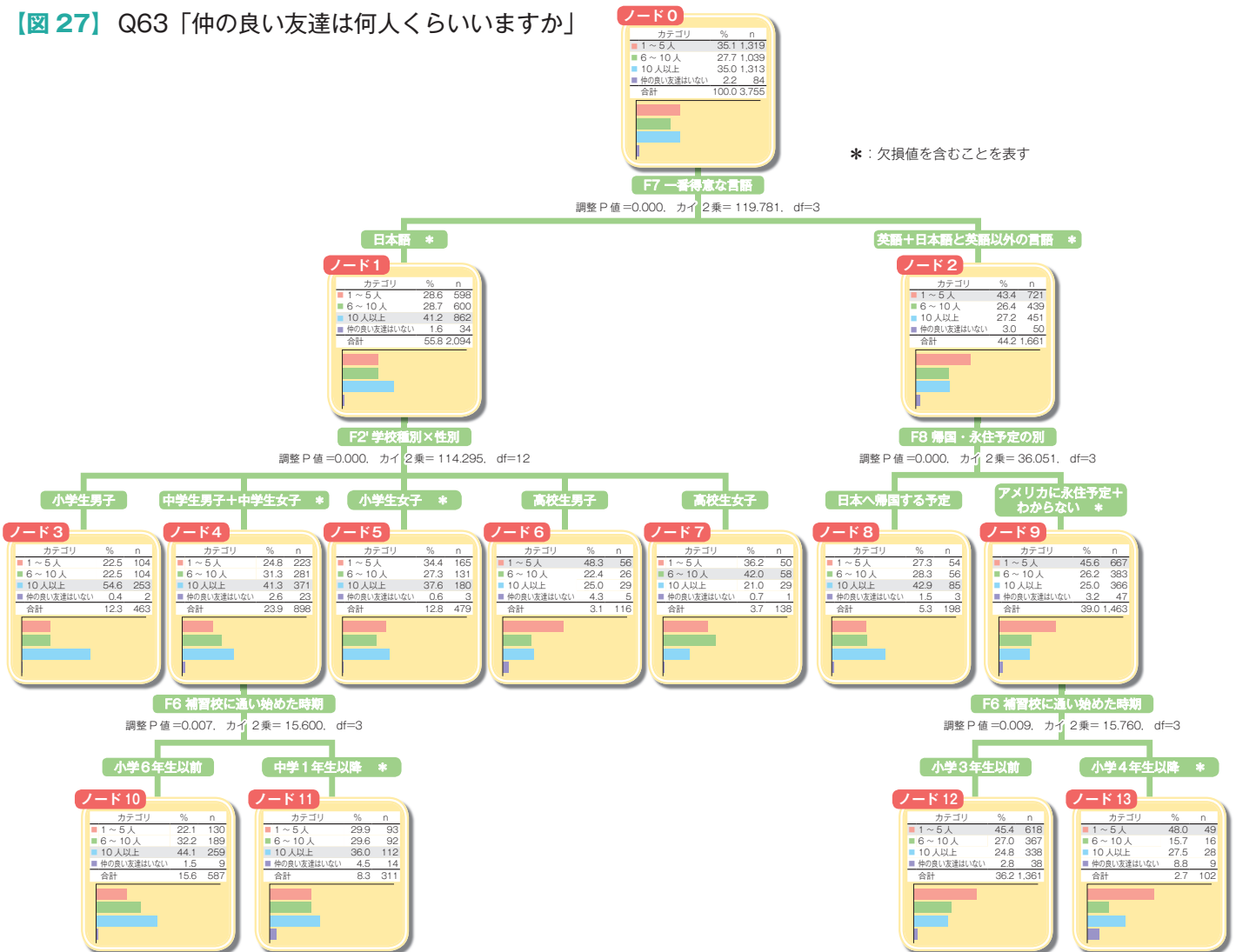
補習授業校で仲の良い友達の数、「1～5人」「10人以上」がそれぞれ35%で同数、「6～10人」も約3割であった。



CHAID分析の結果

補習授業校における仲の良い友人の数については、「得意な言語」によって最も大きな有意差がみられた。「日本語」と回答したグループの方が補習授業校の友達が多い傾向にある。

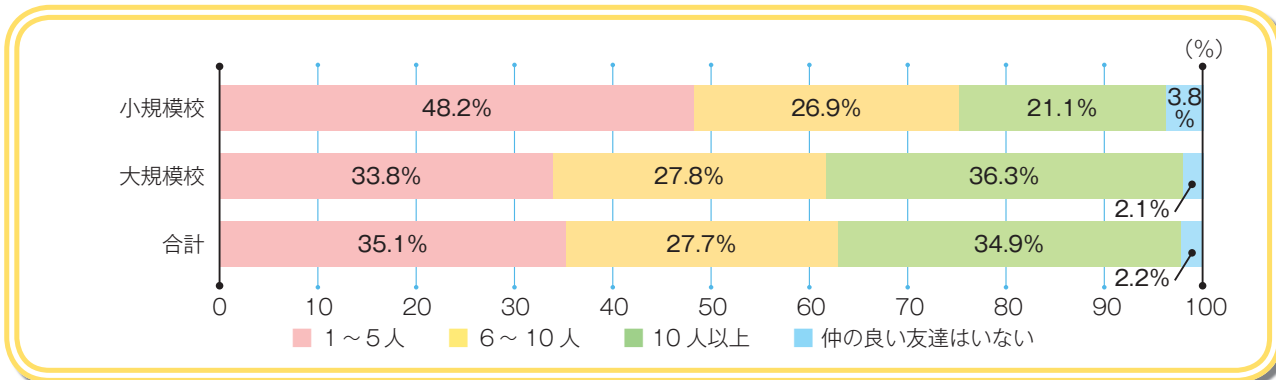
【図 27】 Q63 「仲の良い友達は何人くらいいますか」



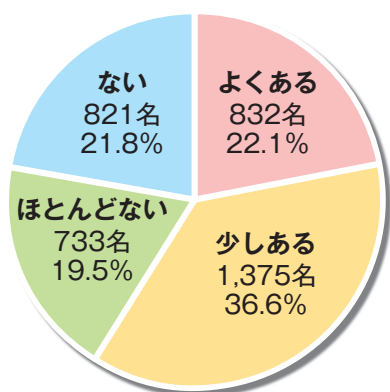
クロス集計の結果

小規模校では「1～5人」と答えた者が48.2%と半数近く、10人以上が21.1%に過ぎなかった。一方大規模校では「10人以上」とした者が最も多い36.3%で、人数の多い大規模校の方が友達が多いという必然的な結果となった。

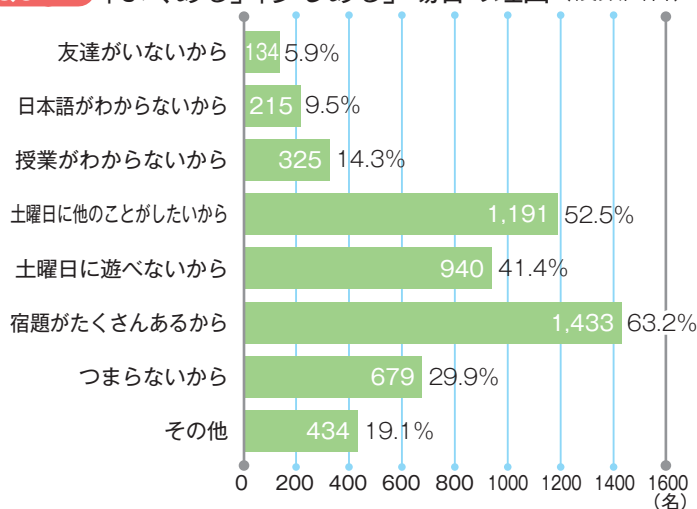
【図28】 Q63「仲の良い友達は何人くらいいますか」



Q64 これまでに補習授業校をやめたいと思ったことはありますか？



Q64-2 「よくある」「少しある」場合の理由（複数回答）



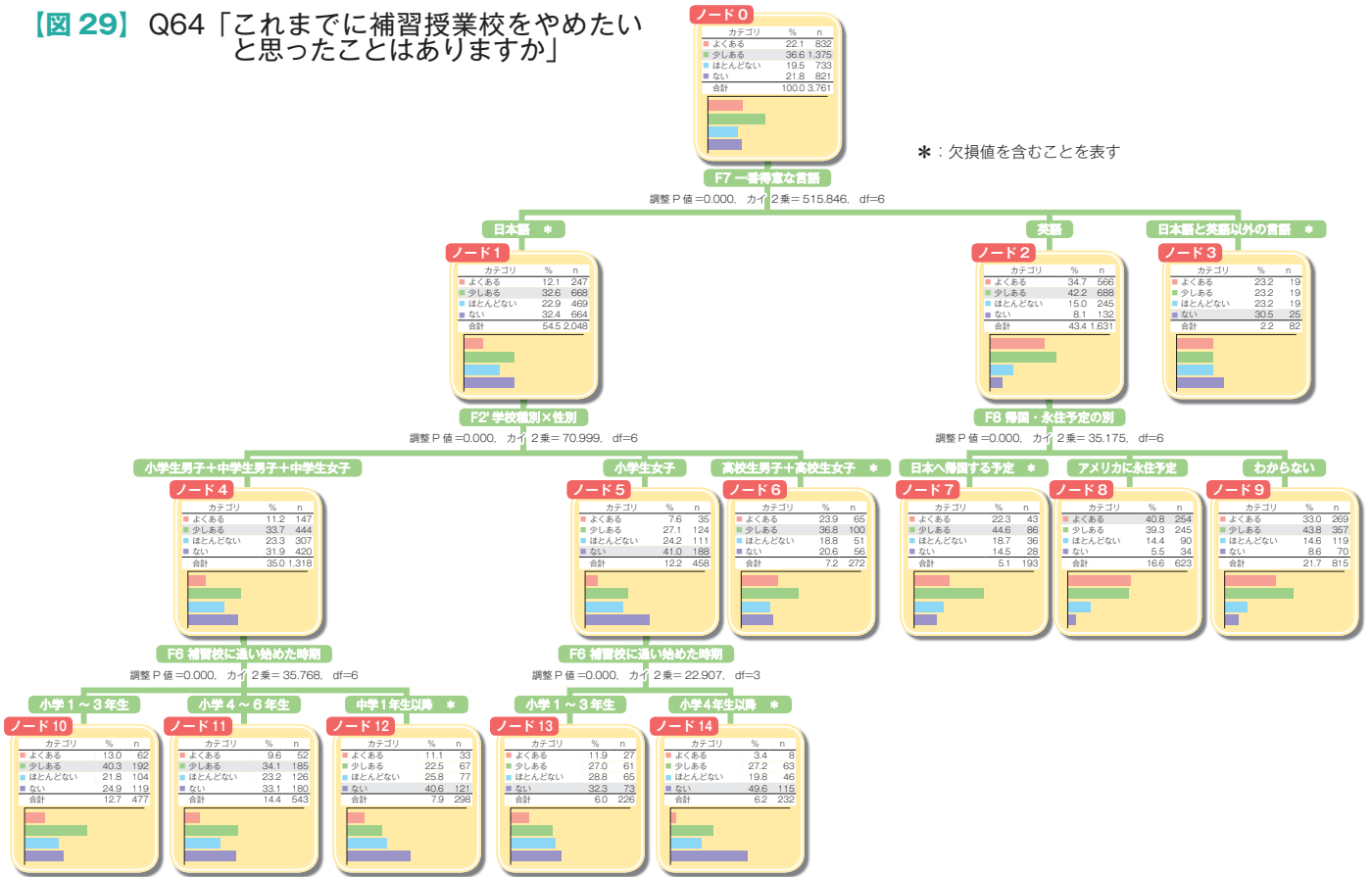
「よくある」と答えたのは全体の22%、「少しある」と答えたものと合わせると半分以上がやめたいと思ったことがあると回答している。その理由として一番多いのが「宿題がたくさんあるから」、二番目に多かったのが「土曜日に他のことがしたいから」、三番目は「土曜日に遊べないから」であった。一方で、やめたいと思った理由として「授業がわからないから」「日本語がわからないから」「友だちがいないから」を挙げたものは比較的少なく、やはり土曜日を補習授業校に費やすことや、宿題の負担によって、補習授業校をやめたいと思うことが多いことがわかる。

以下に、属性によるさらに詳細な分析結果を示す。

CHAID分析の結果

Q64「これまでに補習授業校をやめたいと思ったことはあるか」の回答は、得意な言語によって差が見受けられた。一番得意な言語が「日本語」である者に比べ、「英語」や「日本語と英語以外の言語」が得意な者の方が、有意に高い割合を示した。またそれぞれの分岐においては、帰国・永住予定の別、性別+学年などにより回答の傾向が違ふ。得意な言語が「日本語」のグループでは、小学生女子はやめたいと思ったことが「よくある」が最も少なく、高校生がもっとも多い結果であった。得意な言語が「英語」のグループでは、帰国予定者に比べて永住予定者の方がやめたいと思ったことが「よくある」が多かった。

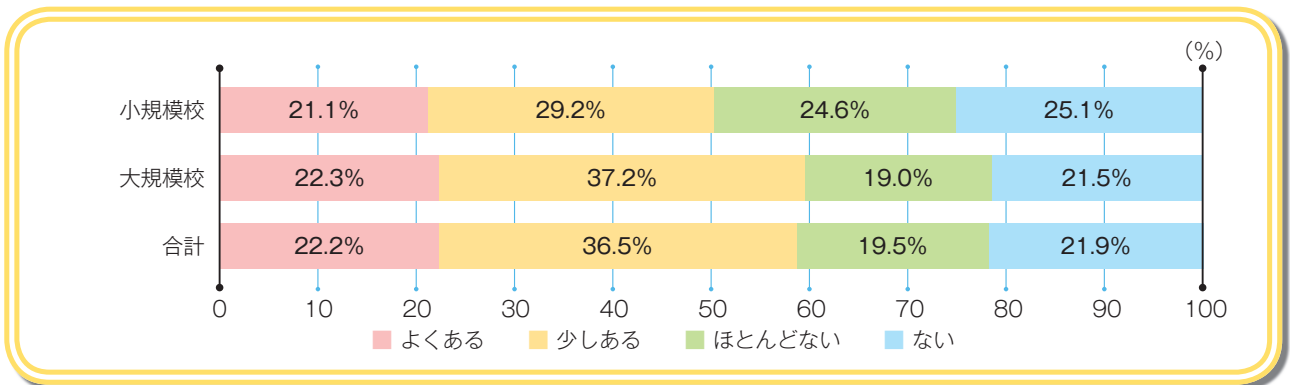
【図 29】 Q64「これまでに補習授業校をやめたいと思ったことはありますか」



クロス集計の結果

大規模校では「補習授業校をやめたいと思ったことがよくある」「少しある」を合わせて6割に達し、小規模校の5割をやや上回った。

【図 30】 Q64「これまでに補習授業校をやめたいと思ったことはありますか」



補習授業校と現地校の全般的な比較

補習授業校全般に関する質問項目について、「帰国・永住予定の別」のクロス集計の結果と、あわせて後の(6)で示す「現地校について」の同一設問の結果を【表15】に示した。

Q54「補習授業校に行くのが楽しみだ」の問いに対し、「そう思う」と答えたのは帰国予定者44.9%に対して永住予定者では21.4%と少なかったが、「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、永住予定者の56.3%が「補習授業校に行くのが楽しみ」と思っていることがわかる。表右欄の「現地校」の結果と比較すると、Q79「現地校に行くのが楽しみだ」に永住予定者の65.0%が「そう思う」、26.1%が「どちらかといえば、そう思う」と答えており、合計9割以上が現地校を楽しみにしているのに比べると、補習授業校はそこまでの数字ではない。また、帰国予定者は、補習授業校・現地校いずれについても40%あまりが「楽しみ」、30%あまりが「どちらかといえば楽しみ」と回答しており、8割近くが平日・土曜日どちらも楽しんで通っている様子が見える。

Q56「好きな授業がある」についての永住者の回答結果をみると、現地校については83.4%が「そう思う」と答えているのに対し補習授業校では33.6%であることから、永住予定の子どもたちが現地校ほどに補習授業校の授業を好きではないという結果もみられた。ただし、帰国予定者についても同様の結果がみられた(補習授業校47.7%、現地校72.6%)ことから、現地校の科目数が多いため好きな授業(体育や図工、音楽等の科目も含めて)の選択肢が広いことも、理由の一つと考えられよう。

Q62「補習授業校の授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか?」では、帰国予定者で一番多かったのは「その場で先生に尋ねる」(35.2%)であったが、永住者でこれを選んだのは22.6%にとどまった。一方、永住予定者では「家の人に尋ねる」がもっとも多く38.0%(帰国予定者では25.7%)であったことから、永住予定の児童生徒の場合、家庭による勉強のサポートが多いことがうかがわれる。

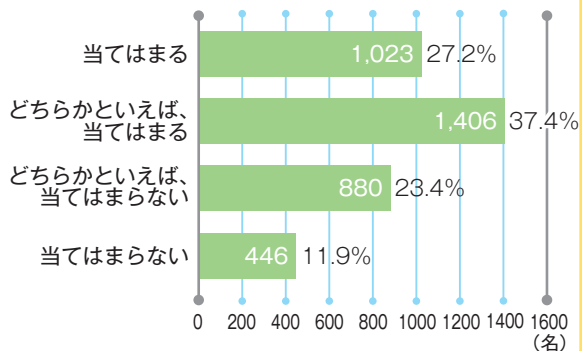
Q64「これまでに補習授業校をやめたいと思ったことはありますか?」の問いには、帰国予定者の11.2%、永住予定者の36.9%が「よくある」と回答した。「よくある」「少しある」を合計すると、永住予定者の75%は補習授業校をやめたいと思ったことがあると答えており、帰国予定者では43.2%であった。永住予定者がやめたい気持ち乗り越えてがんばって通い続けている様子が見られる結果であろう。

永住予定者の挙げたQ65「補習授業校をやめたいと思った理由」(複数回答)は、多い順に①「宿題がたくさんあるから」(55.3%)、②「土曜日にほかのことがしたいから」(45.5%) ③「土曜日に遊べないから」(36.8%)となっており、帰国予定者でも順位は同様であったものの、割合はそれぞれ永住予定者の半分程度にとどまった。

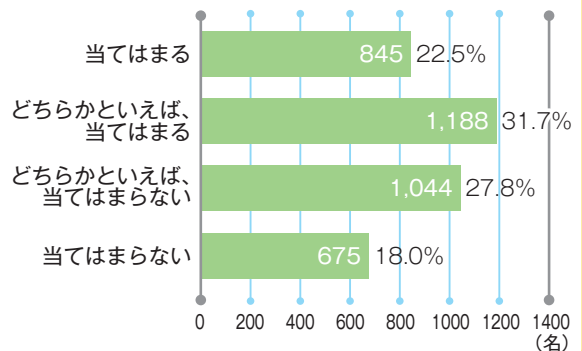
【表15】 補習授業校と現地校全般(帰国・永住予定の別)

		全体		F8 帰国・永住予定の別			全体		F8 帰国・永住予定の別		
		回答数	%	日本へ帰国する予定	アメリカに永住予定		回答数	%	日本へ帰国する予定	アメリカに永住予定	
		3,826	100%	1,675	740		3,826	100%	1,675	740	
補習授業校について						現地校について					
Q54 補習授業校に行くのが楽しかった。	そう思う	1,302	34.6%	44.9%	21.4%	Q79 現地校に行くのが楽しかった。	そう思う	1,976	51.9%	42.9%	65.0%
	どちらかといえば、そう思う	1,369	36.3%	33.8%	34.9%		どちらかといえば、そう思う	1,161	30.5%	32.0%	26.1%
	どちらかといえば、そう思わない	696	18.5%	13.4%	25.7%		どちらかといえば、そう思わない	476	12.5%	16.6%	6.1%
	そう思わない	401	10.6%	6.0%	17.3%		そう思わない	193	5.1%	8.1%	2.3%
Q55 友達に会うのは楽しい。	そう思う	2,992	79.5%	81.9%	72.4%	Q80 現地校の友達に会うのは楽しい。	そう思う	3,062	80.4%	71.8%	89.6%
	どちらかといえば、そう思う	584	15.5%	12.8%	18.8%		どちらかといえば、そう思う	551	14.5%	19.5%	8.6%
	どちらかといえば、そう思わない	119	3.2%	2.3%	4.9%		どちらかといえば、そう思わない	121	3.2%	5.0%	0.9%
	そう思わない	70	1.9%	1.1%	3.0%		そう思わない	74	1.9%	3.3%	0.4%
Q56 好きな授業がある。	そう思う	1,645	43.9%	47.7%	33.6%	Q81 現地校で好きな授業がある。	そう思う	2,970	78.3%	72.6%	83.4%
	どちらかといえば、そう思う	1,073	28.6%	28.6%	29.3%		どちらかといえば、そう思う	515	13.6%	15.4%	11.4%
	どちらかといえば、そう思わない	635	17.0%	14.7%	19.5%		どちらかといえば、そう思わない	188	5.0%	6.1%	3.0%
	そう思わない	393	10.5%	6.6%	15.7%		そう思わない	119	3.1%	4.9%	1.6%
Q62 補習授業校の授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか？	その場で先生に尋ねる	1,147	30.5%	35.2%	22.6%						
	授業後に先生に尋ねに行く	351	9.3%	11.5%	7.8%						
	友達に尋ねる	814	21.7%	19.8%	21.9%						
	家の人に尋ねる	1,198	31.9%	25.7%	38.0%						
	学習塾の先生(家庭教師の先生も含みます)に尋ねる	74	2.0%	2.1%	1.5%						
	自分で調べる	454	12.1%	12.7%	10.4%						
	そのままにしておく	225	6.0%	3.2%	9.2%						
Q64 これまでに補習授業校をやめたいと思ったことはありますか？	①よくある	832	22.1%	11.2%	36.9%						
	②少しある	1,375	36.6%	32.0%	38.1%						
	③ほとんどない	733	19.5%	22.4%	15.5%						
	④ない	821	21.8%	32.3%	8.4%						
Q64-2 (①・②を選んだ人へ) それはなぜですか？ 当てはまるものを全て選んでください。	友達がいらないから	134	5.9%	2.5%	4.1%						
	日本語がわからないから	215	9.5%	1.1%	13.0%						
	授業がわからないから	325	14.3%	3.7%	18.0%						
	土曜日に他のことがしたいから	1,191	52.5%	21.1%	45.5%						
	土曜日に遊べないから	940	41.4%	16.8%	36.8%						
	宿題がたくさんあるから	1,433	63.2%	23.9%	55.3%						
	つまらないから	679	29.9%	11.5%	27.0%						
その他	434	19.1%	9.5%	13.0%							

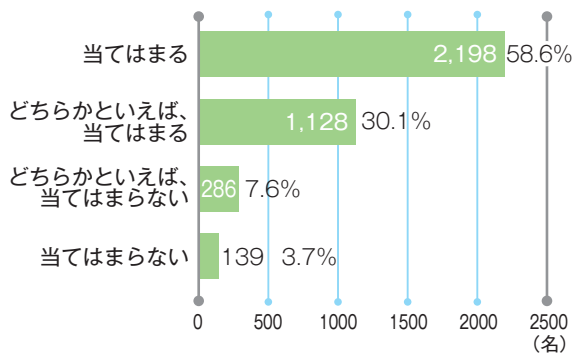
Q65 補習授業校の国語の授業は楽しい。



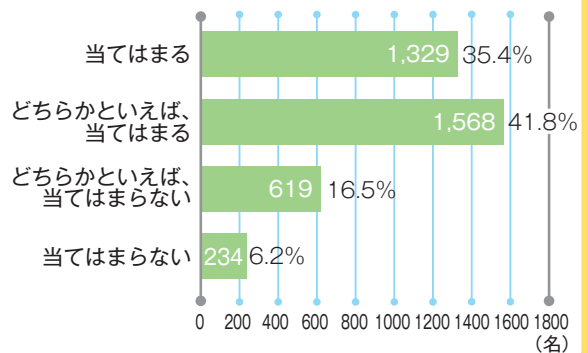
Q66 国語の勉強は好きだ。



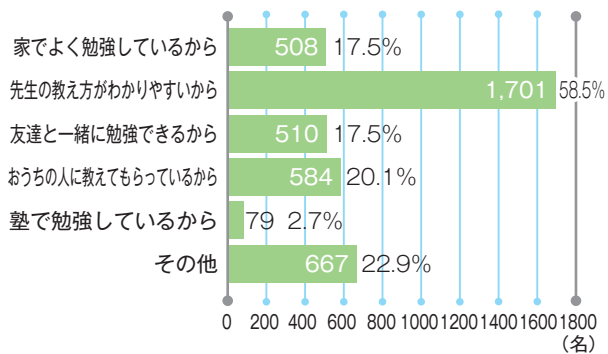
Q67 国語の勉強は大切だ。



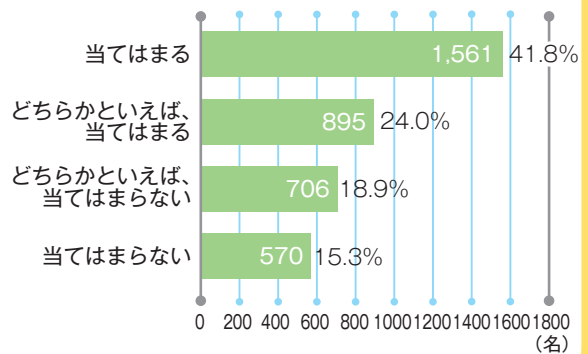
Q68 国語の授業はよくわかる。



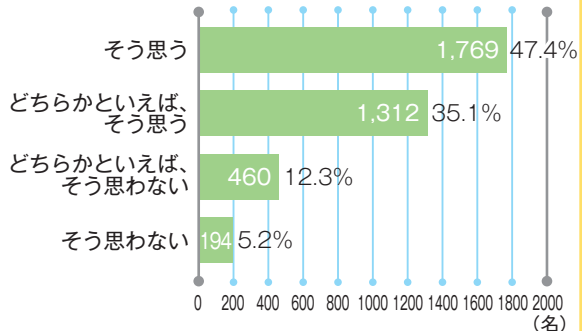
Q68-2 なぜ良くわかると思うか？(複数回答)



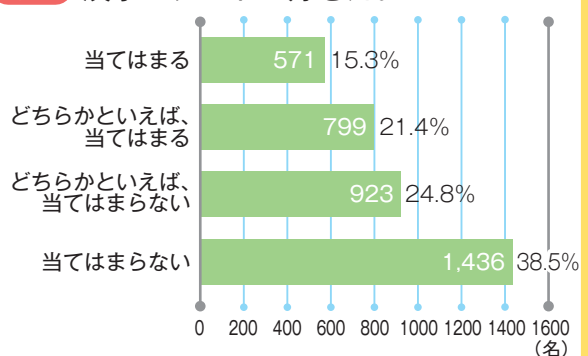
Q69 日本語の本を読むのは好きだ。



Q70 国語の授業で学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと思う。



Q71 漢字のテストが好きだ。

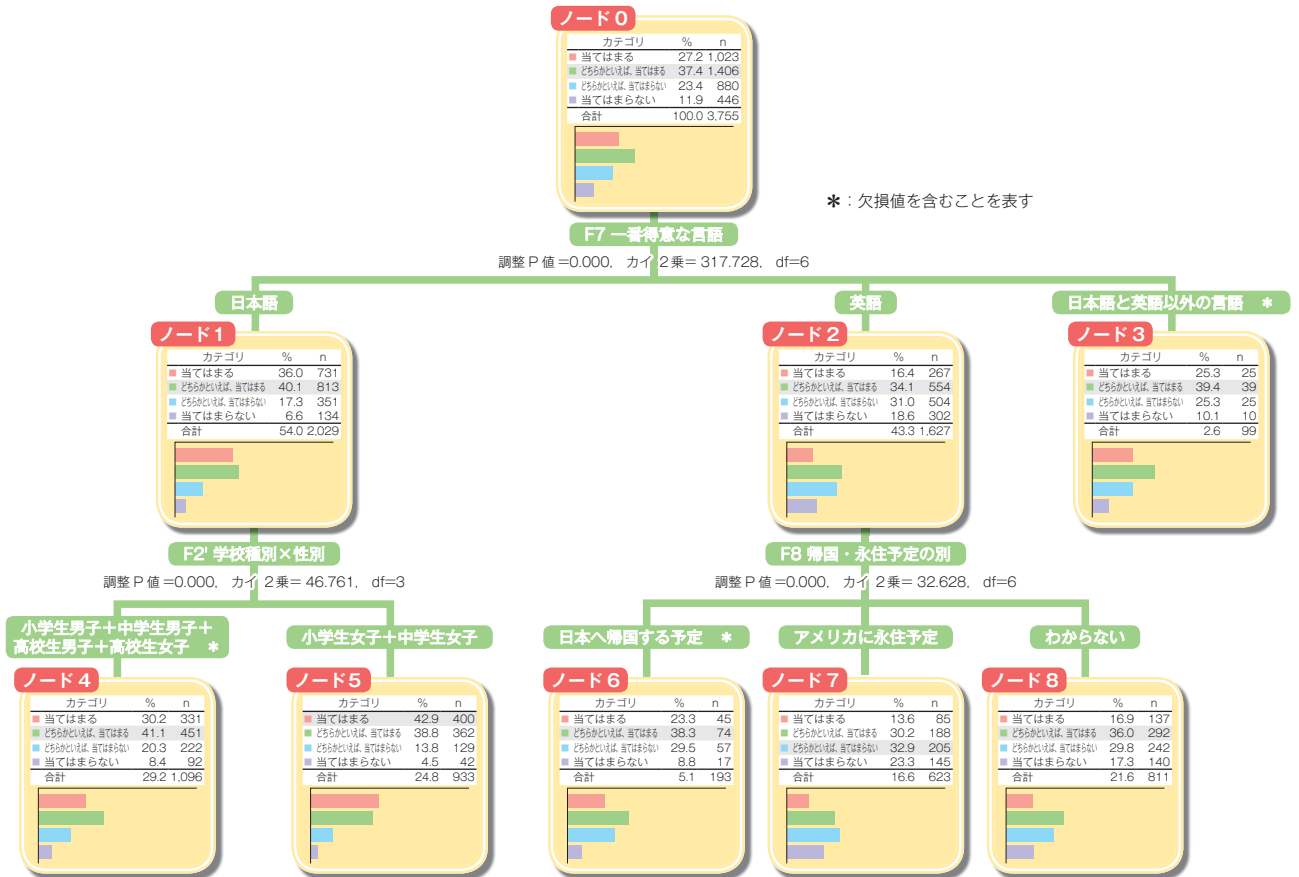


CHAID分析の結果

【図31】 Q65 「補習授業校の国語の授業は楽しい」

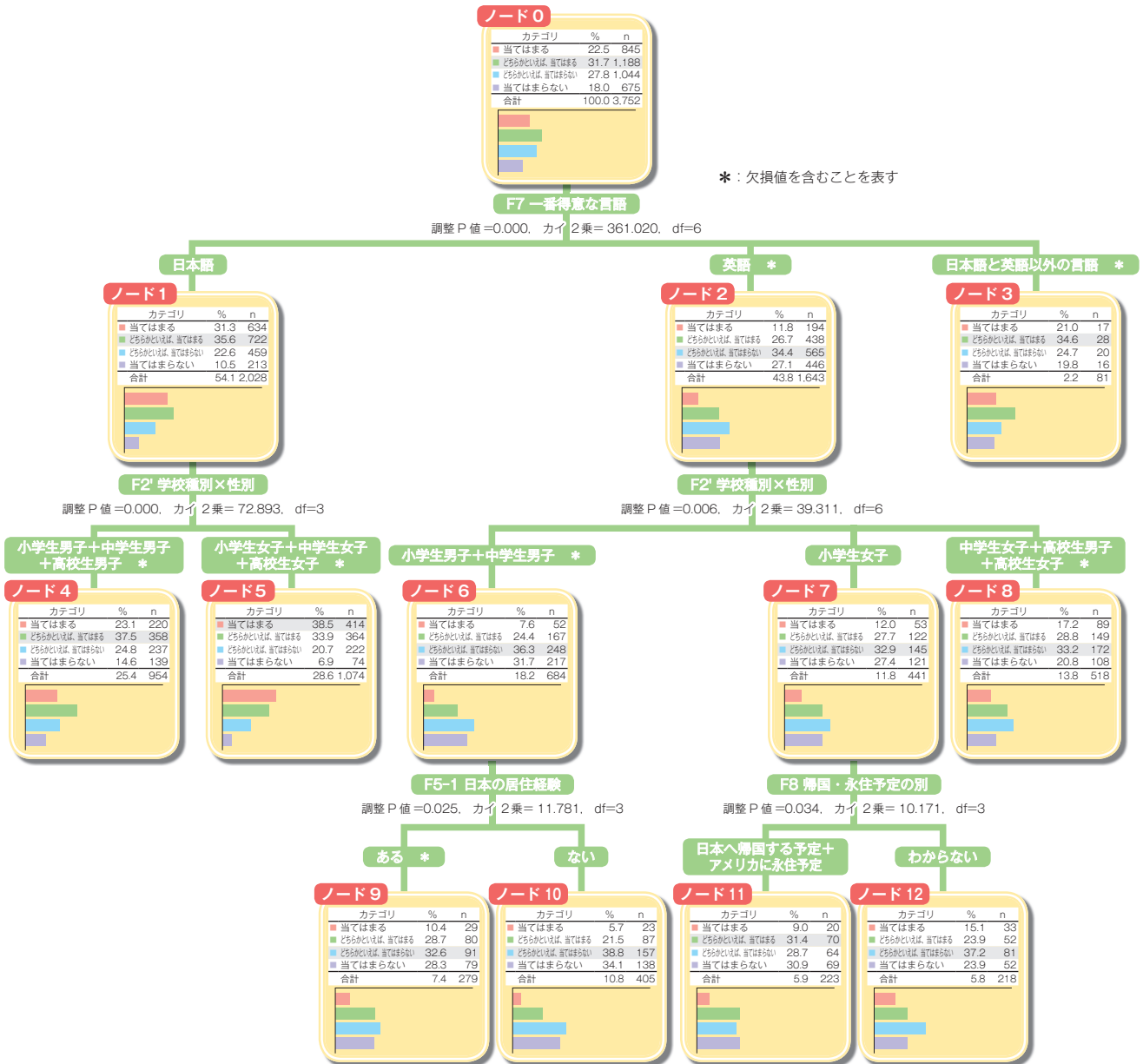
最も有意差が大きい要因は「得意な言語」である。「日本語が得意」なグループでは36.0%、「英語が得意」なグループでは16.4%が「当てはまる」と回答、倍以上の差があった。「日本語が得意」なグループでは「どちらかといえば、当てはまる」を合わせると、76%が「国語の授業を楽しい」と答えている。

このグループ内でさらに有意であったのは「学校種別×性別」で、小学生女子・中学生女子のグループが42.9%、小・中学校男子と高校女子のグループでは30.2%が「当てはまる」としており、ここにも大きな差異がみられた。

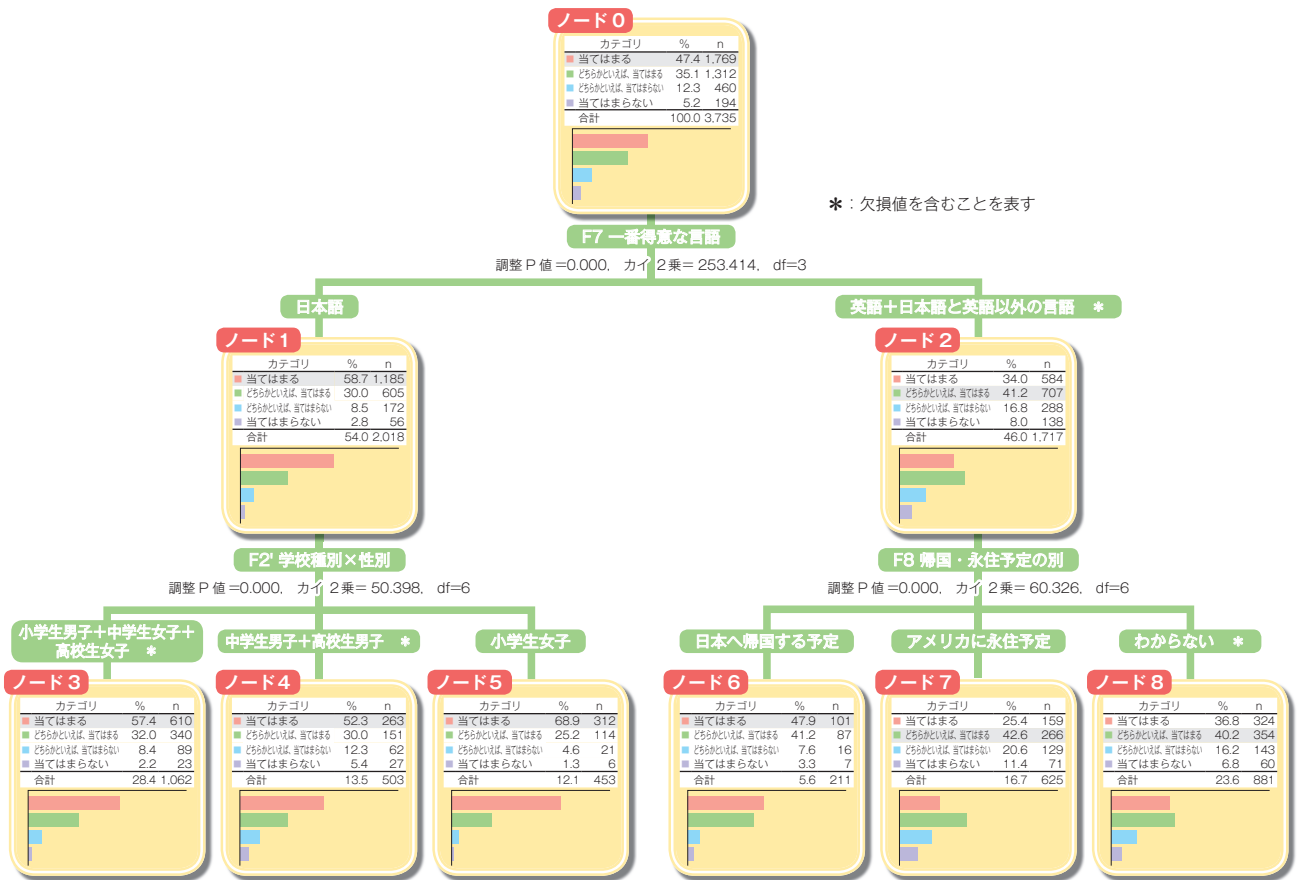


【図32】 Q66 「国語の勉強は好きだ」

得意な言語を「日本語」としたグループの方が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している割合が多い。さらにその中で、小学生女子・中学生女子・高校生女子のグループが有意に高く「国語が好き」と回答した。

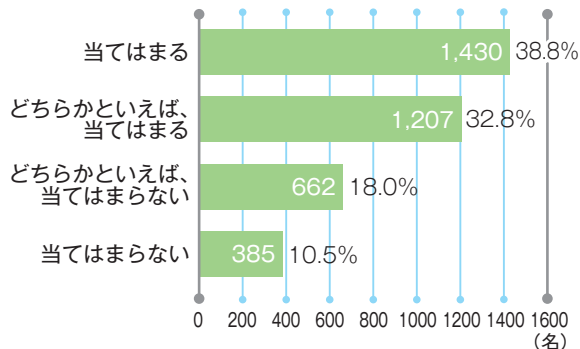


【図33】 Q70「国語の授業で学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと思う」

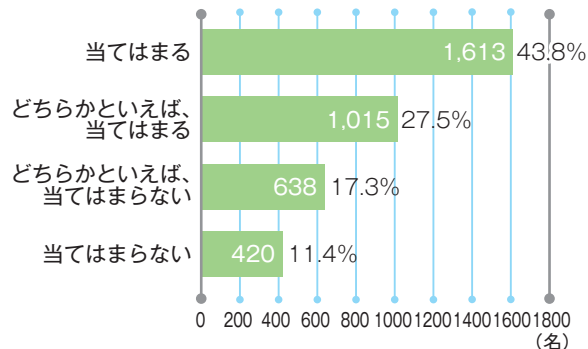


得意な言語が「日本語」と回答しているグループでは、「当てはまる」としたのが58.7%、「英語」としたグループでは34.0%で大きな差異がみられる。得意な言語「日本語」のグループの中では、さらに「小学生女子」では特に7割近くと高く、いずれの「学校種別×性別」でも過半数が「当てはまる」と回答しており、国語学習の重要性を強く認識していることがわかる。

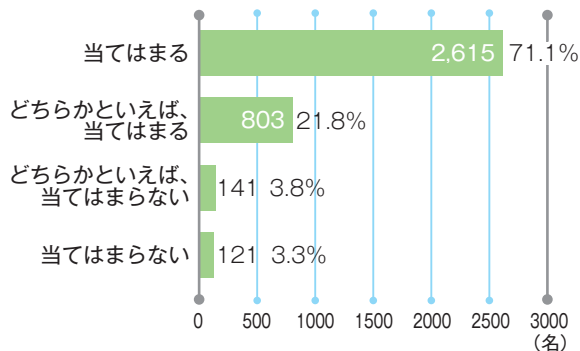
Q72 補習授業校の算数／数学の授業は楽しい。



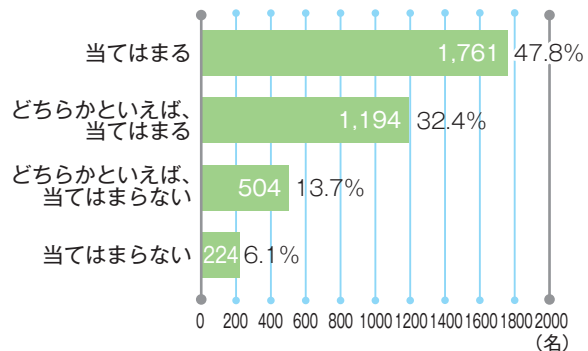
Q73 算数／数学の勉強は好きだ。



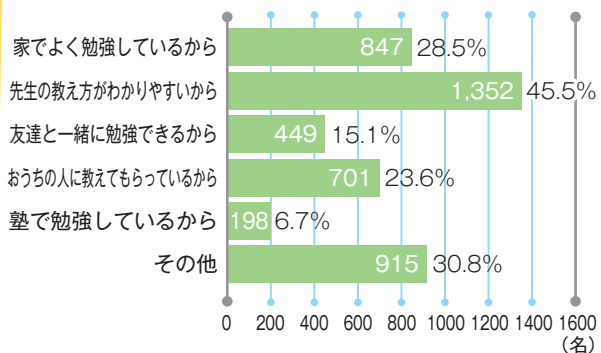
Q74 算数／数学の勉強は大切だ。



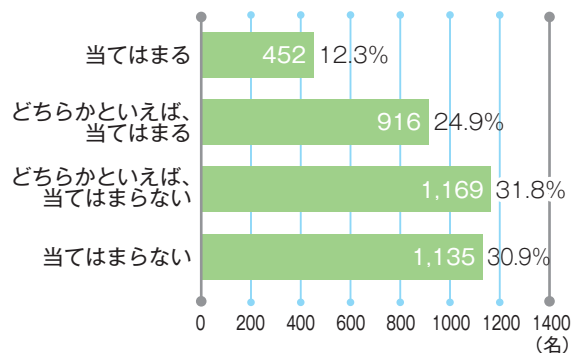
Q75 算数／数学の授業はよくわかる。



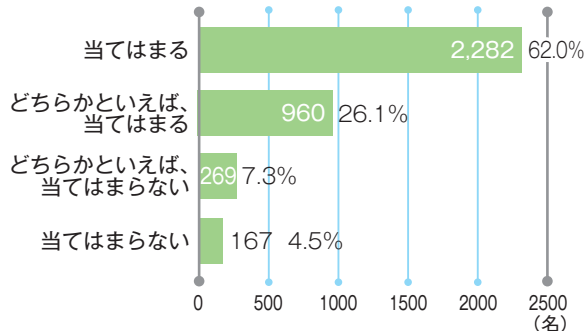
Q75-2 なぜ良くわかると思うか？(複数回答)



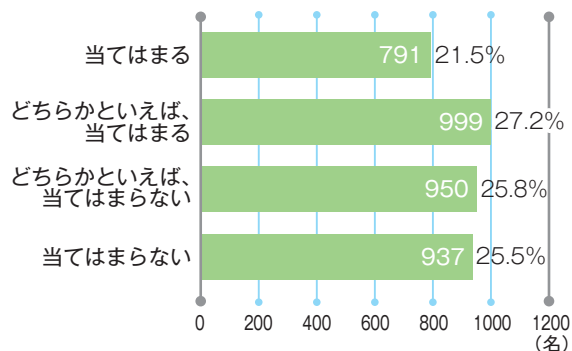
Q76 文章題は好きだ。



Q76 算数／数学の授業で学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと思う。



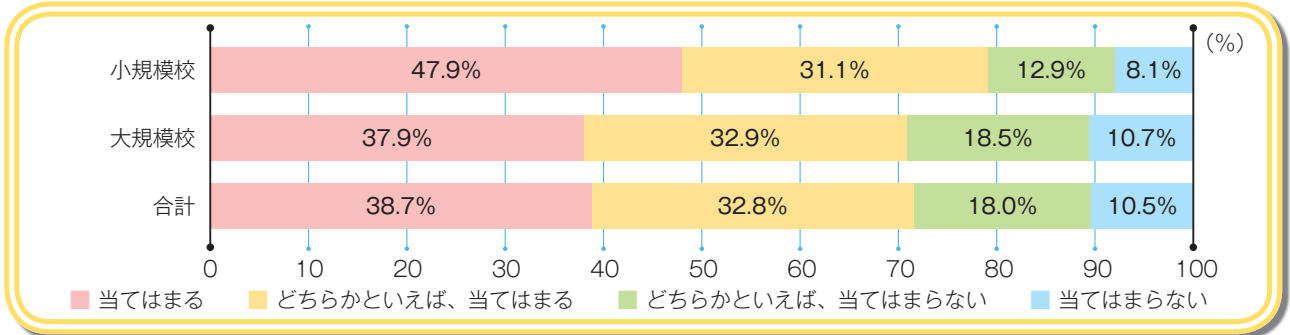
Q78 計算のドリルが好きだ。



クロス集計の結果

【図34】 Q72 「補習授業校の算数／数学の授業は楽しい」

「当てはまる」と答えたのは、小規模校で47.9%、大規模校で37.9%と有意に小規模校の方が高い割合である。「どちらかといえば、当てはまる」を合わせると、小規模校では8割が「算数／数学の授業が楽しい」と答えていた。



【表16】 「国語」と「算数／数学」の授業 (男女別)

補習授業校の「国語」について	全体		F1 性別		補習授業校の「算数／数学」について	全体		F1 性別			
	回答数	%	男	女		回答数	%	男	女		
Q65 補習授業校の国語の授業は楽しい。	当てはまる	1,023	27.2%	22.8%	30.1%	Q72 補習授業校の算数／数学の授業は楽しい。	当てはまる	1,430	38.8%	42.9%	32.8%
	どちらかといえば、当てはまる	1,406	37.4%	36.6%	36.8%	どちらかといえば、当てはまる	1,207	32.8%	29.4%	33.6%	
	どちらかといえば、当てはまらない	880	23.4%	25.2%	21.2%	どちらかといえば、当てはまらない	662	18.0%	15.2%	19.1%	
	当てはまらない	446	11.9%	13.5%	10.1%	当てはまらない	385	10.5%	8.8%	11.0%	
Q66 国語の勉強は好きだ。	当てはまる	845	22.5%	16.3%	27.0%	Q73 算数／数学の勉強は好きだ。	当てはまる	1,613	43.8%	47.9%	37.4%
	どちらかといえば、当てはまる	1,188	31.7%	31.3%	31.0%	どちらかといえば、当てはまる	1,015	27.5%	25.8%	27.4%	
	どちらかといえば、当てはまらない	1,044	27.8%	29.2%	25.5%	どちらかといえば、当てはまらない	638	17.3%	13.9%	19.0%	
	当てはまらない	675	18.0%	21.3%	14.7%	当てはまらない	420	11.4%	8.8%	12.7%	
Q67 国語の勉強は大切だ。	当てはまる	2,198	56.8%	54.4%	60.2%	Q74 算数／数学の勉強は大切だ。	当てはまる	2,615	71.1%	70.7%	66.7%
	どちらかといえば、当てはまる	1,128	30.1%	30.7%	28.5%	どちらかといえば、当てはまる	803	21.8%	19.2%	22.4%	
	どちらかといえば、当てはまらない	286	7.6%	8.4%	6.5%	どちらかといえば、当てはまらない	141	3.8%	3.2%	4.0%	
	当てはまらない	139	3.7%	4.5%	2.9%	当てはまらない	121	3.3%	3.0%	3.3%	
Q68 国語の授業はよくわかる。	① 当てはまる	1,329	35.4%	33.1%	36.1%	Q75 算数／数学の授業はよくわかる。	① 当てはまる	1,761	47.8%	52.4%	40.7%
	② どちらかといえば、当てはまる	1,568	41.8%	41.4%	40.7%	② どちらかといえば、当てはまる	1,194	32.4%	29.1%	33.1%	
	③ どちらかといえば、当てはまらない	619	16.5%	16.5%	15.9%	③ どちらかといえば、当てはまらない	504	13.7%	10.2%	15.7%	
	④ 当てはまらない	234	6.2%	6.9%	5.5%	④ 当てはまらない	224	6.1%	4.4%	7.0%	
Q68-2 (①・②を選んだ人へ) なぜよくわかるか? 当てはまるものを全て選んでください。	家でよく勉強しているから	508	17.5%	13.5%	13.0%	Q75-2 (①・②を選んだ人へ) なぜよくわかるか? 当てはまるものを全て選んでください。	家でよく勉強しているから	847	28.5%	22.8%	21.7%
	先生の教え方がわかりやすいから	1,701	58.5%	43.2%	45.7%	先生の教え方がわかりやすいから	1,352	45.5%	37.2%	33.8%	
	友達と一緒に勉強できるから	510	17.5%	11.4%	15.1%	友達と一緒に勉強できるから	449	15.1%	10.4%	12.9%	
	おうちの人に教えてもらっているから	584	20.1%	15.4%	15.2%	おうちの人に教えてもらっているから	701	23.6%	18.0%	18.6%	
	塾で勉強しているから	79	2.7%	1.9%	2.2%	塾で勉強しているから	198	6.7%	5.4%	4.9%	
	その他	667	22.9%	17.7%	17.1%	その他	915	30.8%	26.2%	22.0%	
Q69 日本語の本を読むは好きだ。	当てはまる	1,561	41.8%	36.5%	44.5%	Q76 文章題は好きだ。	当てはまる	452	12.3%	13.6%	10.3%
	どちらかといえば、当てはまる	895	24.0%	25.4%	21.7%	どちらかといえば、当てはまる	916	24.9%	25.8%	22.3%	
	どちらかといえば、当てはまらない	706	18.9%	19.6%	17.6%	どちらかといえば、当てはまらない	1,169	31.8%	28.1%	32.8%	
	当てはまらない	570	15.3%	16.0%	13.9%	当てはまらない	1,135	30.9%	28.6%	30.6%	
Q70 国語の授業で学習したことは将来、社会に役立つと思う。	当てはまる	1,769	47.4%	45.6%	46.9%	Q77 算数／数学の授業で学習したことは将来、社会に役立つと思う。	当てはまる	2,282	62.0%	61.2%	58.7%
	どちらかといえば、当てはまる	1,312	35.1%	34.2%	34.4%	どちらかといえば、当てはまる	960	26.1%	23.9%	26.0%	
	どちらかといえば、当てはまらない	460	12.3%	12.8%	11.4%	どちらかといえば、当てはまらない	269	7.3%	6.6%	7.4%	
	当てはまらない	194	5.2%	5.0%	5.1%	当てはまらない	167	4.5%	4.6%	4.1%	
Q71 漢字のテストが好きだ。	当てはまる	571	15.3%	14.4%	15.4%	Q78 計算のドリルが好きだ。	当てはまる	791	21.5%	21.1%	20.2%
	どちらかといえば、当てはまる	799	21.4%	21.0%	20.9%	どちらかといえば、当てはまる	999	27.2%	28.5%	24.2%	
	どちらかといえば、当てはまらない	923	24.8%	24.3%	24.0%	どちらかといえば、当てはまらない	950	25.8%	23.9%	25.6%	
	当てはまらない	1,436	38.5%	37.8%	37.2%	当てはまらない	937	25.5%	22.5%	26.1%	

【表16】に示すとおり、補習授業校の授業について、Q65「国語の授業は楽しい」の問いに「当てはまる」と答えた者は男子 22.8%・女子 30.1%、Q66「国語の勉強は好きだ」の問いに「当てはまる」と答えた者は男子 16.3%・女子 27.0%であり、どちらも約 10 ポイント、女子が男子を上回っていた。Q69「日本語の本を読むのが好きだ」の割合も、女子の方が男子よりも多く、男子に比べて女子の方が国語を好む傾向があるといえる。Q68「国語の授業はよくわかる」については、男女とも差はなく 3 割程度が「当てはまる」と答えており、その理由のトップは「先生の教え方がわかりやすいから」で、全体では約 6 割を占めた。

他方、Q72「算数／数学の授業は楽しい」に「当てはまる」と答えたのは男子 42.9%に対して女子 32.8%、Q73「算数／数学の勉強は好きだ」では男子 47.9%に対して女子 37.4%であり、「国語」と反対に男子が 10 ポイント程度女子を上回る形となった。

Q75「算数／数学の授業はよくわかる」については全体の 47.8%が「当てはまる」と回答しており、国語の 35.4%を 10 ポイント以上も上回っていた。算数の理解度が高く、国語の理解が難しいと感じていることがうかがえる。ただし算数／数学の中でも Q76「文章題」を「好き」と答えた者は 10%程度にとどまり、日本語理解の不十分さに伴う困難を感じさせる結果となった。また、男女を合わせた全体の結果で、Q67「大切だ」、Q70「将来に役立つ」と考えられているのは「国語」を「算数／数学」が上回っており、いずれも 10 ポイント以上の差がみられた。

【表17】「国語」「算数／数学」の授業（帰国・永住予定の別）

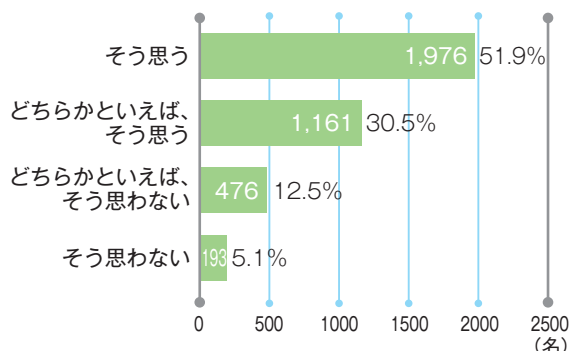
		全体				F8 帰国・永住予定の別					
		%	日本へ帰国する予定	アメリカに永住予定	わからない	%	日本へ帰国する予定	アメリカに永住予定	わからない		
Q65 補習授業校の国語の授業は楽しい。	当てはまる	27.2%	34.6%	16.4%	22.9%	Q72 補習授業校の算数／数学の授業は楽しい。	当てはまる	38.8%	41.9%	29.1%	36.1%
	どちらかといえば、当てはまる	37.4%	38.4%	30.4%	38.0%		どちらかといえば、当てはまる	32.8%	31.0%	35.0%	30.7%
	どちらかといえば、当てはまらない	23.4%	18.4%	31.5%	24.2%		どちらかといえば、当てはまらない	18.0%	15.7%	18.5%	18.5%
	当てはまらない	11.9%	6.4%	20.7%	13.3%		当てはまらない	10.5%	8.3%	13.9%	10.3%
Q66 国語の勉強は好きだ。	当てはまる	22.5%	29.7%	11.5%	18.4%	Q73 補習授業校の算数／数学の勉強は好きだ。	当てはまる	43.8%	43.5%	40.5%	41.1%
	どちらかといえば、当てはまる	31.7%	34.0%	25.4%	30.6%		どちらかといえば、当てはまる	27.5%	25.1%	29.3%	27.3%
	どちらかといえば、当てはまらない	27.8%	23.3%	32.2%	29.6%		どちらかといえば、当てはまらない	17.3%	17.8%	14.6%	16.4%
	当てはまらない	18.0%	10.7%	29.7%	19.6%		当てはまらない	11.4%	10.6%	12.0%	11.0%
Q67 国語の勉強は大切だ。	当てはまる	58.6%	65.1%	44.3%	55.1%	Q74 算数／数学の勉強は大切だ。	当てはまる	71.1%	70.1%	65.1%	68.0%
	どちらかといえば、当てはまる	30.1%	26.3%	34.3%	30.9%		どちらかといえば、当てはまる	21.8%	19.5%	24.3%	21.3%
	どちらかといえば、当てはまらない	7.6%	4.5%	13.6%	7.8%		どちらかといえば、当てはまらない	3.8%	4.5%	2.6%	3.2%
	当てはまらない	3.7%	1.7%	6.5%	4.5%		当てはまらない	3.3%	2.6%	4.5%	3.1%
Q68 国語の授業はよくわかる。	① 当てはまる	35.4%	45.7%	19.2%	30.1%	Q75 算数／数学の授業はよくわかる。	① 当てはまる	47.8%	47.2%	43.2%	46.2%
	② どちらかといえば、当てはまる	41.8%	39.7%	39.9%	42.7%		② どちらかといえば、当てはまる	32.4%	29.7%	35.5%	30.9%
	③ どちらかといえば、当てはまらない	16.5%	10.0%	26.2%	18.7%		③ どちらかといえば、当てはまらない	13.7%	14.3%	11.2%	12.9%
	④ 当てはまらない	6.2%	2.4%	13.5%	6.7%		④ 当てはまらない	6.1%	5.7%	6.5%	5.6%
Q68-2 (①・②を選んだ人へ) なぜよくわかると思いますか？当てはまるものを全て選んでください。	家でよく勉強しているから	17.5%	14.9%	10.5%	12.8%	Q75-2 (①・②を選んだ人へ) なぜよくわかると思いますか？当てはまるものを全て選んでください。	家でよく勉強しているから	28.5%	21.4%	22.8%	22.5%
	先生の教え方がわかりやすいから	58.5%	49.1%	36.1%	43.3%		先生の教え方がわかりやすいから	45.5%	38.3%	31.8%	33.6%
	友達と一緒に勉強できるから	17.5%	15.7%	10.4%	12.0%		友達と一緒に勉強できるから	15.1%	13.1%	11.2%	10.4%
	おうちの人に教えてもらっているから	20.1%	10.3%	17.7%	19.9%		おうちの人に教えてもらっているから	23.6%	15.6%	19.5%	21.1%
	塾で勉強しているから	2.7%	3.5%	0.9%	1.0%		塾で勉強しているから	6.7%	6.9%	3.9%	3.8%
その他	22.9%	21.4%	10.5%	16.2%	その他	30.8%	18.6%	31.2%	26.6%		
Q69 日本語の本を読むのは好きだ。	当てはまる	41.8%	59.9%	15.5%	31.5%	Q76 文章題は好きだ。	当てはまる	12.3%	15.1%	8.4%	9.5%
	どちらかといえば、当てはまる	24.0%	21.4%	21.5%	26.3%		どちらかといえば、当てはまる	24.9%	27.3%	16.9%	23.5%
	どちらかといえば、当てはまらない	18.9%	10.5%	29.1%	22.8%		どちらかといえば、当てはまらない	31.8%	30.3%	31.1%	30.9%
	当てはまらない	15.3%	5.4%	31.8%	17.4%		当てはまらない	30.9%	23.9%	39.6%	31.5%
Q70 国語の授業で学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと思う。	当てはまる	47.4%	56.9%	29.2%	42.5%	Q77 算数／数学の授業で学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと思う。	当てはまる	62.0%	63.8%	55.7%	56.7%
	どちらかといえば、当てはまる	35.1%	30.4%	39.5%	36.7%		どちらかといえば、当てはまる	26.1%	22.1%	27.7%	27.5%
	どちらかといえば、当てはまらない	12.3%	7.3%	19.2%	13.9%		どちらかといえば、当てはまらない	7.3%	6.6%	6.9%	7.6%
	当てはまらない	5.2%	2.6%	10.1%	5.2%		当てはまらない	4.5%	4.2%	5.9%	3.7%
Q71 漢字のテストが好きだ。	当てはまる	15.3%	17.8%	10.3%	13.7%	Q78 計算のドリルが好きだ。	当てはまる	21.5%	23.0%	19.6%	18.3%
	どちらかといえば、当てはまる	21.4%	25.4%	17.0%	17.8%		どちらかといえば、当てはまる	27.2%	27.9%	25.3%	24.1%
	どちらかといえば、当てはまらない	24.8%	25.6%	21.8%	23.8%		どちらかといえば、当てはまらない	25.8%	23.0%	25.0%	27.4%
	当てはまらない	38.5%	28.4%	48.6%	42.7%		当てはまらない	25.5%	22.9%	26.4%	25.6%

(6) 現地校について(Q79~ Q97)

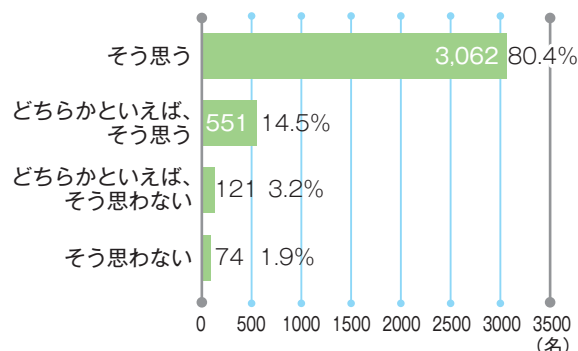
最後に、現地校での生活および授業について尋ねた。このカテゴリーでは、補習授業校に通う児童生徒の「現地校に対する意識」を問い、補習授業校との比較を行うことを目的とする。各項目別に基礎集計結果を示すとともに、【表18】(P.70)では現地校と補習授業校の結果の差異についてみていく。

現地校の学校生活

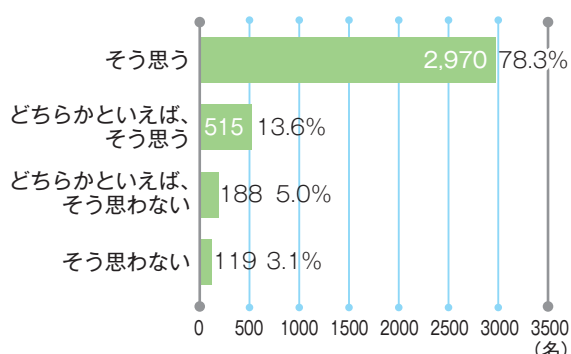
Q79 現地校に行くのが楽しみだ。



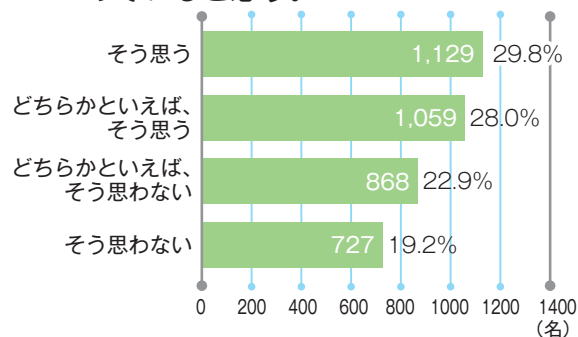
Q80 現地校の友達に会うのは楽しい。



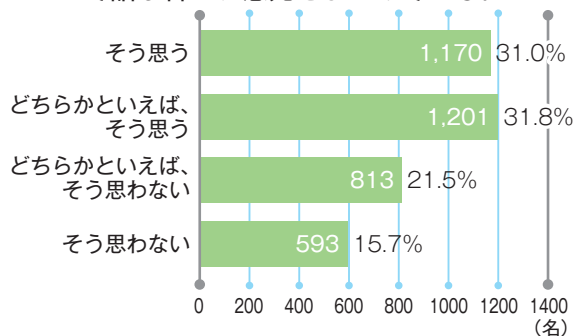
Q81 現地校で好きな授業がある。



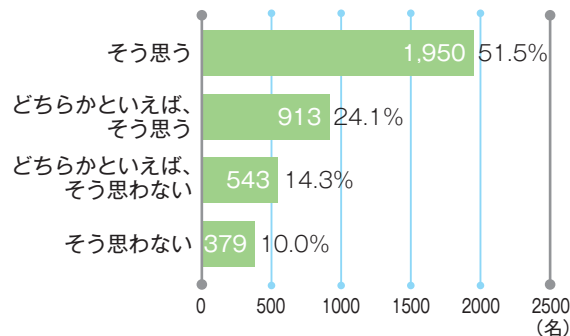
Q82 あなたの現地校の学級(クラス)では、(学級会などの時間に)友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思う。



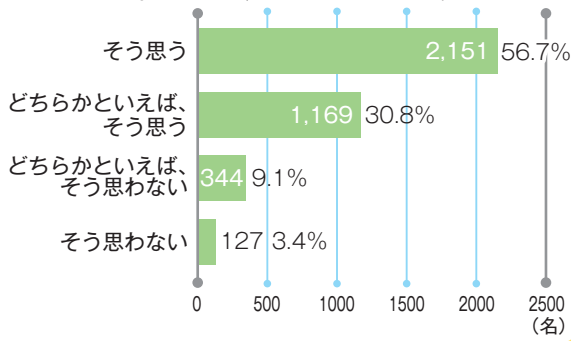
Q83 現地校では(学級会などの話し合いの活動で)自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。



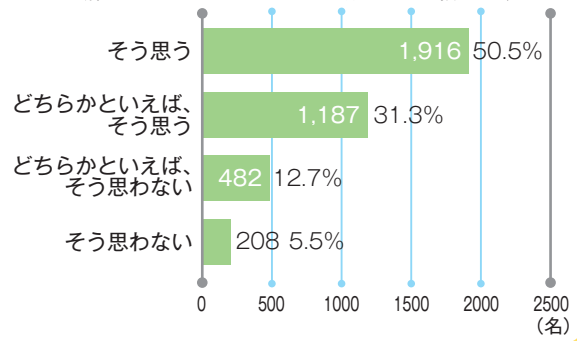
Q84 現地校の学級(クラス)みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。



Q85 現地校の先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。



Q86 現地校の先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。

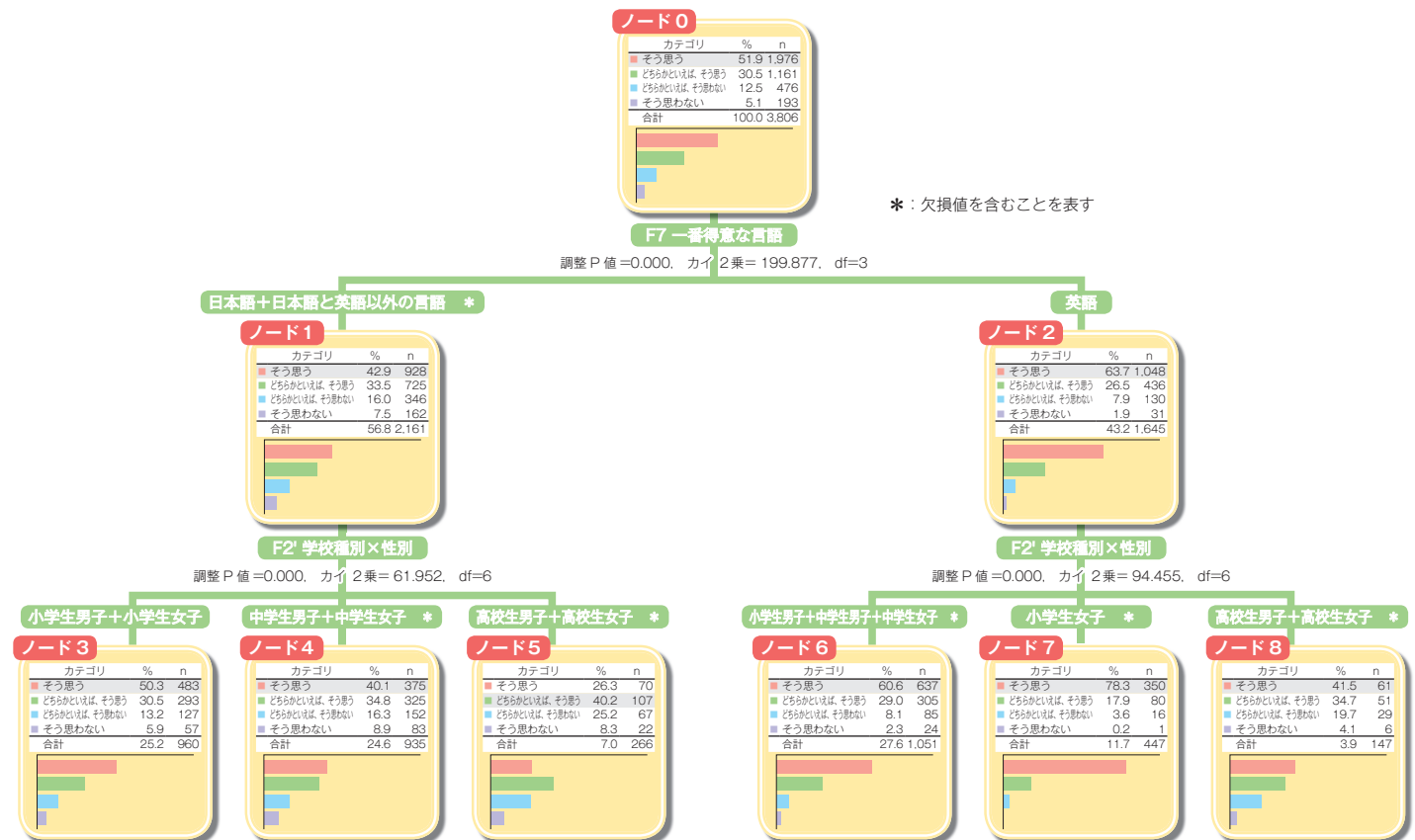


CHAID 検定の結果

【図35】 Q79「現地校に行くのが楽しみだ」

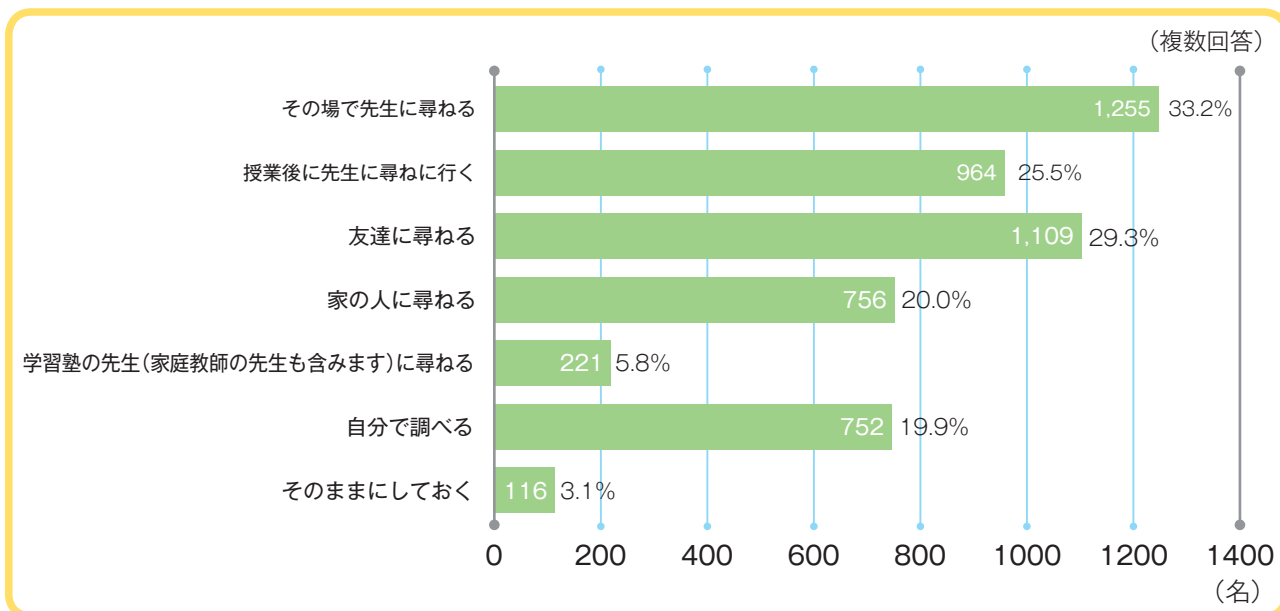
もっとも大きな最初の分岐は「得意な言語」であり、「英語が得意」としたものでは「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせて9割が現地校に行くのが楽しみと回答したのに対し、「日本語が得意」なものでは75%程度にとどまった。

英語が得意な者の中でさらに分岐をみると、「小学生女子」、「小学生+中学生男子+中学生女子」、「高校生男子+高校生女子」の順に「現地校が楽しみ」と答えた割合が高かった。また、日本語が得意な者の中では、「小学生男子+小学生女子」では8割が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答したのに対し、「中学生男子+中学生女子」では75%程度、「高校生男子+高校生女子」では65%程度であった。どちらも、学年を追うにつれて「楽しみ」とする者の割合が低下していることがわかる。



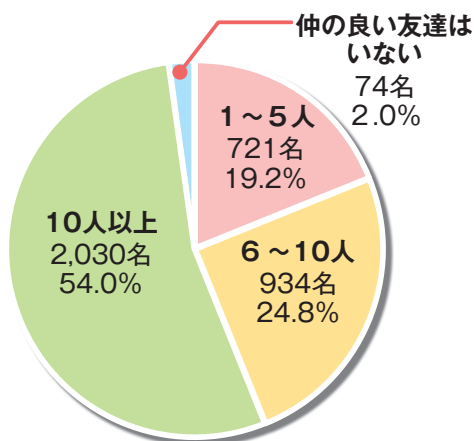
Q87 「現地校の授業でわからないことがあったら、どうすることが多いですか？」

補習授業校では「その場で先生に尋ねる」「家の人に尋ねる」がともに30%程度であったのに対し、現地校では「その場で先生に尋ねる」とともに、「授業後に先生に尋ねに行く」との回答が多く、「家の人に尋ねる」とした者は比較的少なかった。

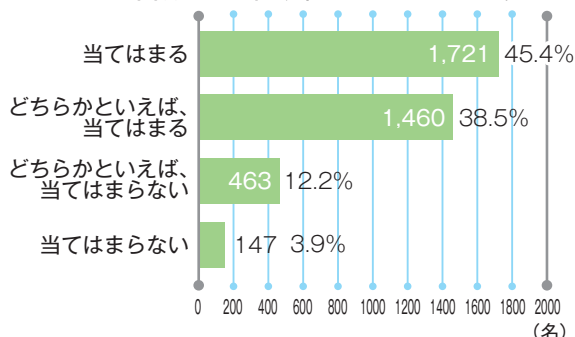


Q88 「現地校(またはインターナショナルスクール等)に仲の良い友達は何人くらいいますか？」

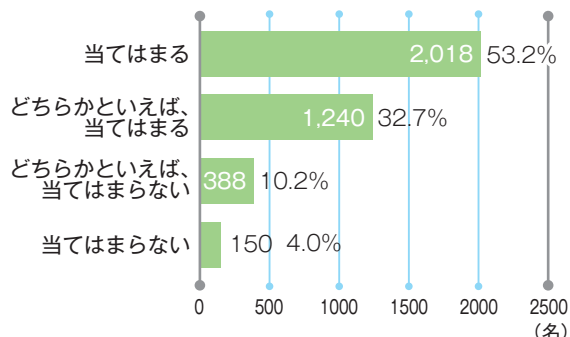
「補習授業校の仲の良い友達の数」を聞いたQ63では「1～5人」と「10人以上」が35%で同率であったが、「現地校の仲の良い友達」は「10人以上」とした者が54%と過半数を占めた。広い学校区から週一回だけの補習授業校に比べ、近隣から毎日通う現地校の方が友達の数が多いことがわかる。



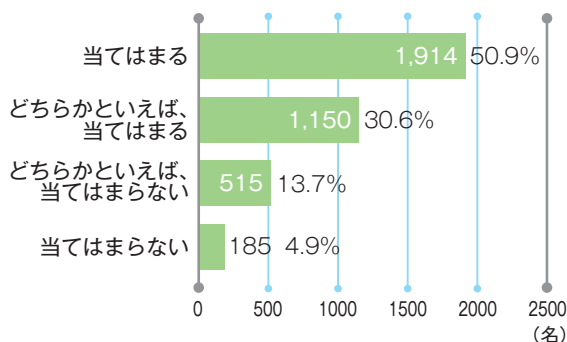
Q89 現地校の授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う。



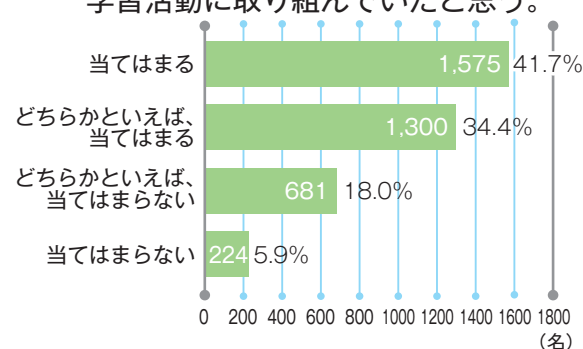
Q90 現地校の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。



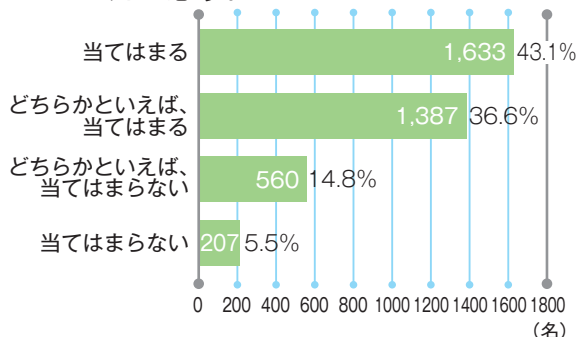
Q91 現地校の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う。



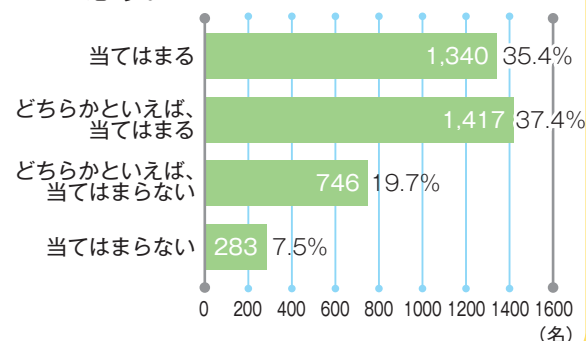
Q92 現地校の授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う。



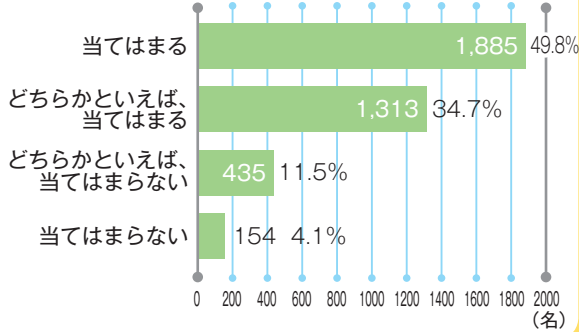
Q93 現地校の授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う。



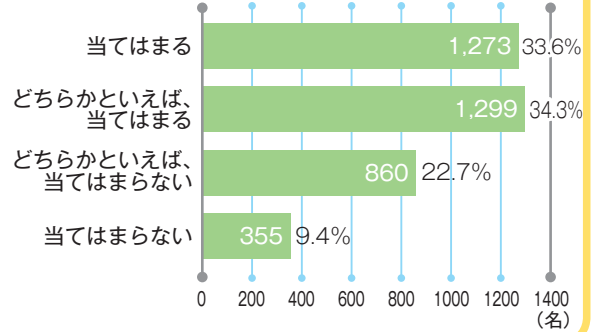
Q94 現地校の授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う。



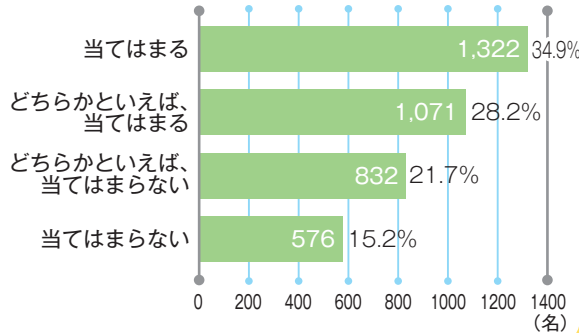
Q95 現地校の授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う。



Q96 現地校の授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。



Q97 現地校の授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思う。



補習授業校と現地校の比較

「現地校の授業」や「学校生活」に関する設問(Q82～Q88)の回答を、「(5)補習授業校について」の項で示した補習授業校に関する同一の【表18】設問(Q57～Q63)の回答と比較してQ57・Q58/Q82・83など、学級会での話し合いの様子についての回答はほぼ等分に分散しており、これはクラスによって状況が異なるためと考えられる。Q59/Q84「クラスみんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」に「そう思う」と回答したものは43.4%、「どちらかといえば、そう思う」を加えると75%となり、多くの子どもたちがクラスで協力して何かを達成する体験をしていることがうかがわれる。

表の右側に示した「現地校について」の回答結果と比較的大きな差異がみられた項目は、Q60/Q85「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」で、「そう思う」と答えた者が補習授業校では47.8%・現地校では56.7%で大きな差がみられた。これは、平日毎日会う現地校の先生と、週1回しか会うことのできない補習授業校の違いによるところが大きいであろう。

また、Q61「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」においても、「そう思う」と答えたのは現地校(50.5%)が補習授業校(41.0%)を10ポイント近く上回ったが、これも同様の理由であろう。さらに、Q62「補習授業校の授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか?」では、30%程度の子どもが「その場で先生に尋ねる」と答えているが、「授業後、先生に尋ねに行く」としたのは補習授業校が9.3%、現地校は25.5%であった。補習授業校では授業時間が限られていることから、質問にいく機会もとらえにくいことが想像できる。

Q63「仲の良い友達の数」は、「10人以上」と答えた者は現地校では54.0%に上るが、補習授業校では35%にとどまり、「1～5人」が35.1%であった。「仲の良い友達はいない」とした者も補習授業校・現地校ともに2%、人数的には80名程度みられた。

【表18】 補習授業校と現地校の学校生活 (Q57～Q63、Q82～Q88)

補習授業校について				現地校について			
Q57 あなたの学級（クラス）では、（学級会などの時間に）友達同士で話し合っただけで学級のきまりなどを決めていくと思う。	そう思う	848	22.7%	Q57 あなたの学級（クラス）では、（学級会などの時間に）友達同士で話し合っただけで学級のきまりなどを決めていくと思う。	そう思う	1,129	29.8%
	どちらかといえば、そう思う	1,256	33.7%		どちらかといえば、そう思う	1,059	28.0%
	どちらかといえば、そう思わない	864	23.2%		どちらかといえば、そう思わない	868	22.9%
	そう思わない	763	20.5%		そう思わない	727	19.2%
Q58（学級会などの話合いの活動で）自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。	そう思う	819	22.0%	Q58（学級会などの話合いの活動で）自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。	そう思う	1,170	31.0%
	どちらかといえば、そう思う	1,419	38.0%		どちらかといえば、そう思う	1,201	31.8%
	どちらかといえば、そう思わない	899	24.1%		どちらかといえば、そう思わない	813	21.5%
	そう思わない	594	15.9%		そう思わない	593	15.7%
Q59 学級（クラス）みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。	そう思う	1,629	43.4%	Q59 学級（クラス）みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。	そう思う	1,950	51.5%
	どちらかといえば、そう思う	1,204	32.1%		どちらかといえば、そう思う	913	24.1%
	どちらかといえば、そう思わない	587	15.7%		どちらかといえば、そう思わない	543	14.3%
	そう思わない	330	8.8%		そう思わない	379	10.0%
Q60 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	そう思う	1,788	47.8%	Q60 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	そう思う	2,151	56.7%
	どちらかといえば、そう思う	1,435	38.4%		どちらかといえば、そう思う	1,169	30.8%
	どちらかといえば、そう思わない	344	9.2%		どちらかといえば、そう思わない	344	9.1%
	そう思わない	171	4.6%		そう思わない	127	3.4%
Q61 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。	そう思う	1,538	41.0%	Q61 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。	そう思う	1,916	50.5%
	どちらかといえば、そう思う	1,332	35.5%		どちらかといえば、そう思う	1,187	31.3%
	どちらかといえば、そう思わない	593	15.8%		どちらかといえば、そう思わない	482	12.7%
	そう思わない	284	7.6%		そう思わない	208	5.5%
Q62 補習授業校の授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか？	その場で先生に尋ねる	1,147	30.5%	Q62 補習授業校の授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか？	その場で先生に尋ねる	1,255	33.2%
	授業後に先生に尋ねに行く	351	9.3%		授業後に先生に尋ねに行く	964	25.5%
	友達に尋ねる	814	21.7%		友達に尋ねる	1,109	29.3%
	家の人に尋ねる	1,198	31.9%		家の人に尋ねる	756	20.0%
	学習塾の先生（家庭教師の先生も含みます）に尋ねる	74	2.0%		学習塾の先生（家庭教師の先生も含みます）に尋ねる	221	5.8%
	自分で調べる	454	12.1%		自分で調べる	752	19.9%
	その他	225	6.0%		その他	116	3.1%
Q63 仲の良い友達は何人くらいいますか？	1～5人	1,319	35.1%	Q63 仲の良い友達は何人くらいいますか？	1～5人	721	19.2%
	6～10人	1,039	27.7%		6～10人	934	24.8%
	10人以上	1,313	35.0%		10人以上	2,030	54.0%
	仲の良い友達はいない	84	2.2%		仲の良い友達はいない	74	2.0%

クロス集計の結果

「現地校の授業について」のカテゴリーでは、「帰国・永住予定の別」では全項目、「学校種別×性別」「学校規模別」では一部の項目において、それぞれ有意差が認められた。

① 帰国・永住予定の別

以下の表にみるとおり、Q89～Q97 いずれの設問についても、「当てはまる」と回答した永住予定者が帰国予定者を15～20ポイント程度上回り、 $P < .001$ の高い水準で有意差が検出された。永住予定者が現地の子どもたちと遜色なく現地校の学習活動に参加している一方で、帰国予定者ではこれら現地校における学習活動の良さをフルに活用できていない状況であることが想像される。

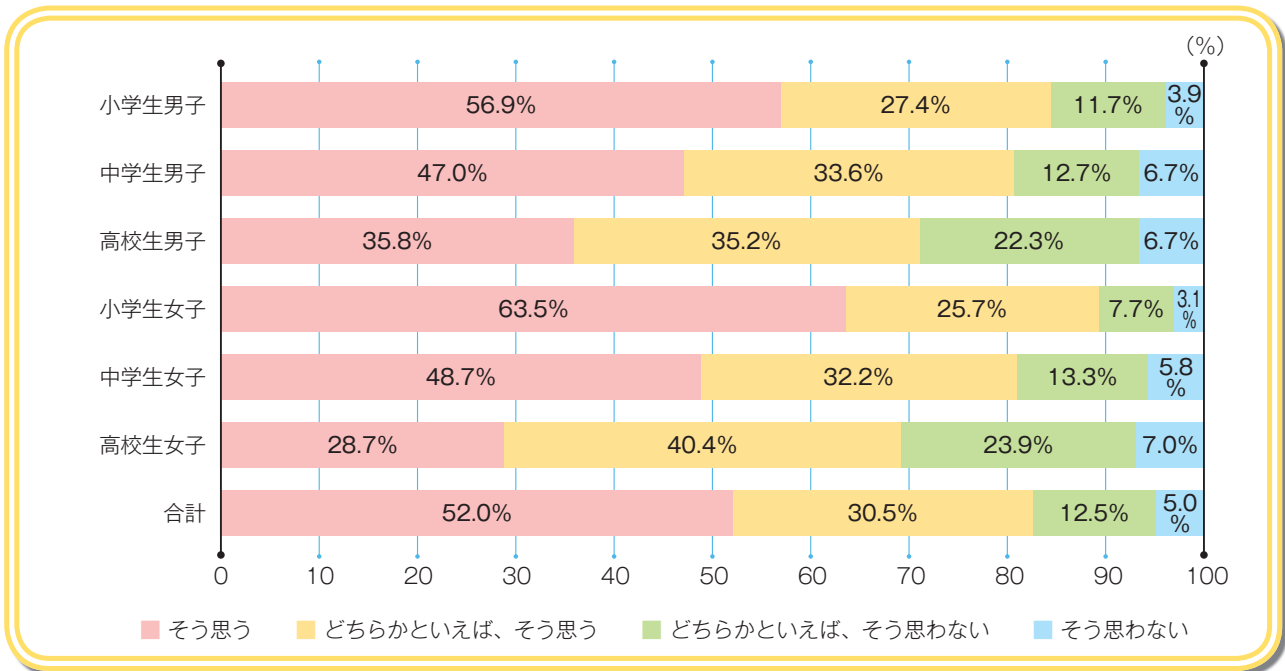
【表19】 現地校の授業（帰国・永住予定の別）

		全体		F8 帰国・永住予定の別	
		回答数	%	日本へ帰国する予定	アメリカに永住予定
		3,826	100%	1,675	740
Q89 現地校の授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う。	当てはまる	1,721	45.4%	36.3%	58.1%
	どちらかといえば、当てはまる	1,460	38.5%	41.0%	31.4%
	どちらかといえば、当てはまらない	463	12.2%	16.1%	7.7%
	当てはまらない	147	3.9%	5.6%	1.9%
Q90 現地校の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。	当てはまる	2,018	53.2%	45.3%	62.4%
	どちらかといえば、当てはまる	1,240	32.7%	34.9%	29.6%
	どちらかといえば、当てはまらない	388	10.2%	13.1%	6.2%
	当てはまらない	150	4.0%	6.1%	0.9%
Q91 現地校の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う。	当てはまる	1,914	50.9%	42.9%	60.1%
	どちらかといえば、当てはまる	1,150	30.6%	31.9%	26.6%
	どちらかといえば、当てはまらない	515	13.7%	16.8%	10.0%
	当てはまらない	185	4.9%	6.8%	1.9%
Q92 現地校の授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う。	当てはまる	1,575	41.7%	33.5%	53.9%
	どちらかといえば、当てはまる	1,300	34.4%	35.6%	28.9%
	どちらかといえば、当てはまらない	681	18.0%	21.8%	13.1%
	当てはまらない	224	5.9%	8.1%	3.0%
Q93 現地校の授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う。	当てはまる	1,633	43.1%	31.9%	56.8%
	どちらかといえば、当てはまる	1,387	36.6%	37.6%	34.1%
	どちらかといえば、当てはまらない	560	14.8%	20.7%	6.8%
	当てはまらない	207	5.5%	8.7%	1.6%
Q94 現地校の授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う。	当てはまる	1,340	35.4%	26.6%	47.3%
	どちらかといえば、当てはまる	1,417	37.4%	36.8%	37.4%
	どちらかといえば、当てはまらない	746	19.7%	24.1%	11.2%
	当てはまらない	283	7.5%	11.5%	3.1%
Q95 現地校の授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う。	当てはまる	1,885	49.8%	44.1%	57.7%
	どちらかといえば、当てはまる	1,313	34.7%	34.7%	33.6%
	どちらかといえば、当てはまらない	435	11.5%	14.7%	6.1%
	当てはまらない	154	4.1%	5.6%	1.6%
Q96 現地校の授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。	当てはまる	1,273	33.6%	28.2%	40.9%
	どちらかといえば、当てはまる	1,299	34.3%	34.6%	33.2%
	どちらかといえば、当てはまらない	860	22.7%	24.5%	18.8%
	当てはまらない	355	9.4%	11.6%	5.9%
Q97 現地校の授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思う。	当てはまる	1,322	34.9%	29.7%	42.7%
	どちらかといえば、当てはまる	1,071	28.2%	26.7%	27.2%
	どちらかといえば、当てはまらない	823	21.7%	24.8%	16.8%
	当てはまらない	576	15.2%	17.9%	12.4%

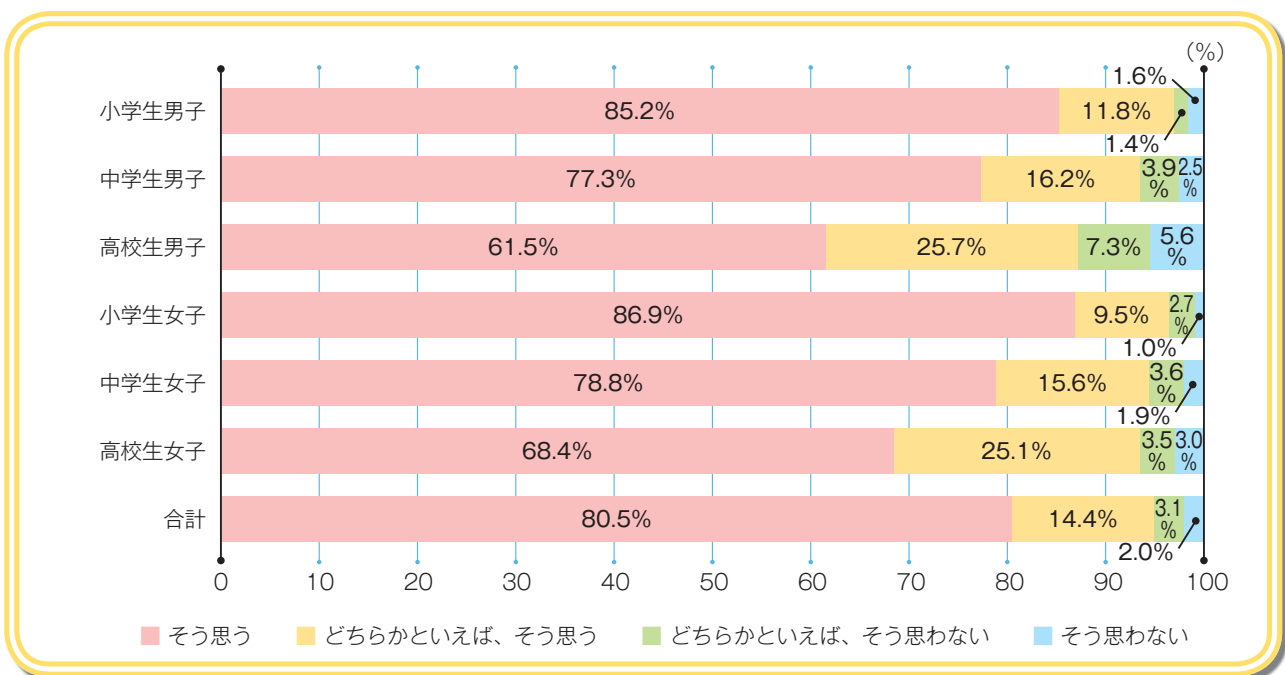
②学校種別×性別

「学校種別×性別」では、現地校に関するすべての設問に対して有意な差が検出された。本報告書では現地校に関する詳しい分析は割愛するが、Q79～Q87のすべての項目において、小学校・中学校・高校と学齢が上がるにつれて、「そう思う」と答える割合が顕著に減少していることが特徴的である。以下に例として2問の結果を示す。

【図36】 Q79「現地校に行くのが楽しみだ」



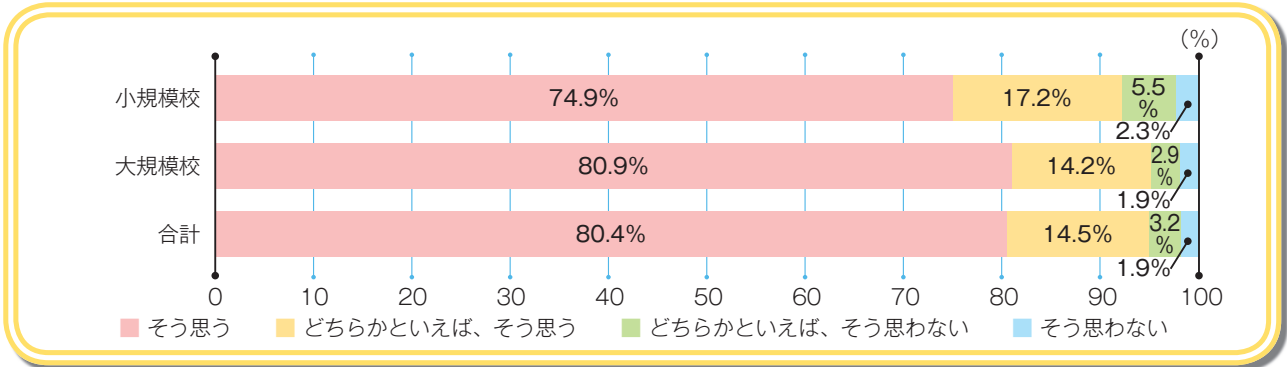
【図37】 Q80「現地校の友達に会うのは楽しい」



③ 学校規模別

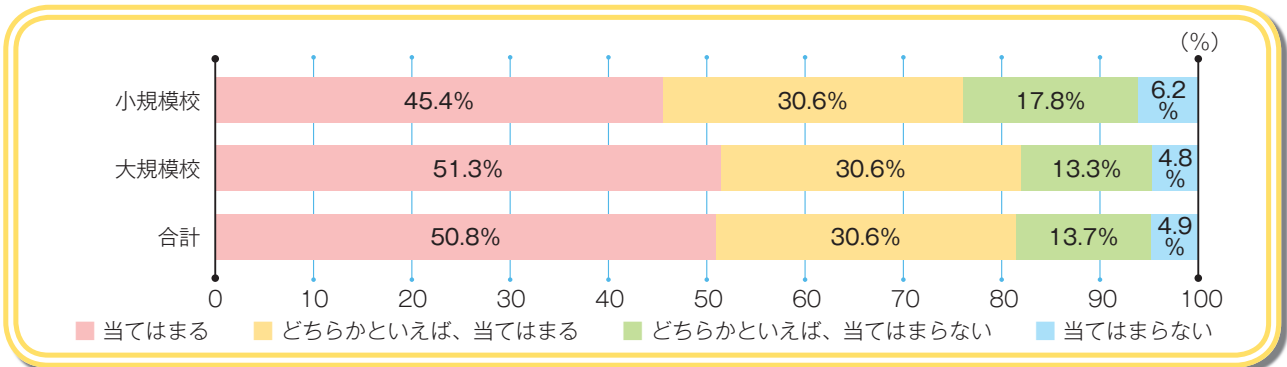
学校規模による比較では、以下の結果となった。

【図38】 Q80 「現地校の友だちに会うのは楽しい」



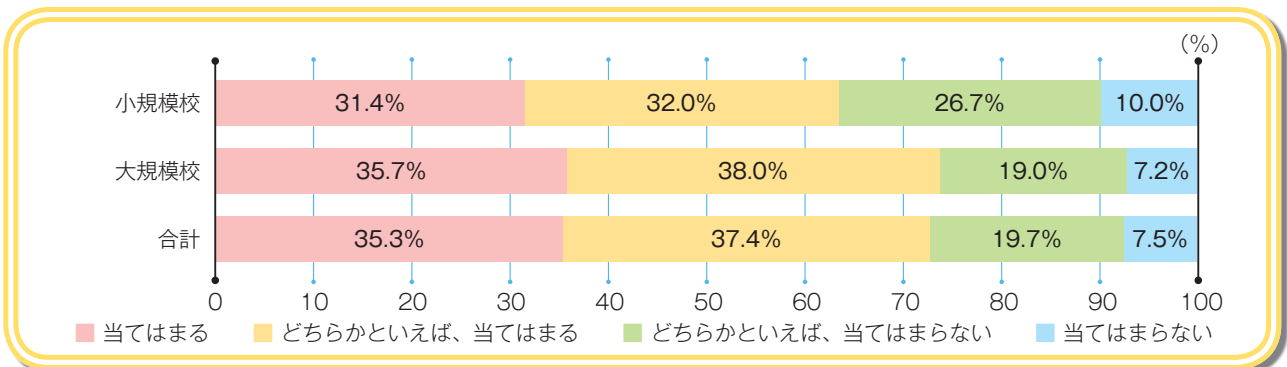
小規模校より大規模校の比較では「そう思う」と答えた割合が有意に高かった。

【図39】 Q91 「現地校の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う」



この設問でも有意差がみられ、大規模校の方が「当てはまる」とした割合が高かった。Q80とあわせて、大規模な補習授業校に通う児童生徒の方が現地校の友達と親しくつきあい、よく話し合って活動している様子うかがわれる。

【図40】 Q94 「現地校の授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う」



大規模校の方が有意に「当てはまる」と答えていた。上記の2問と同様、現地校の授業で英語を駆使して発表なども得意としていることがうかがわれる。

4. 国内「全国学力・学習状況調査」との比較

本質問紙全 97 項目のうち、66 項目は、2017 年度に実施された国立教育政策研究所実施「全国学力・学習状況調査」の設問と同一のものである（一部、補習授業校用に選択肢を調整したものを含む）。国内調査が小学 6 年生（児童）と中学 3 年生（生徒）を対象としているため、補習授業校調査でも同じ学年を取り上げて各選択肢の回答者の割合を比較し、グラフに表した。それぞれの調査回答数は下記のとおりである。人数に大きな違いがあるため、統計的な差の検定はできないが、現在の国内の小・中学校と補習授業校の傾向を比較検討するための目安となるであろう。

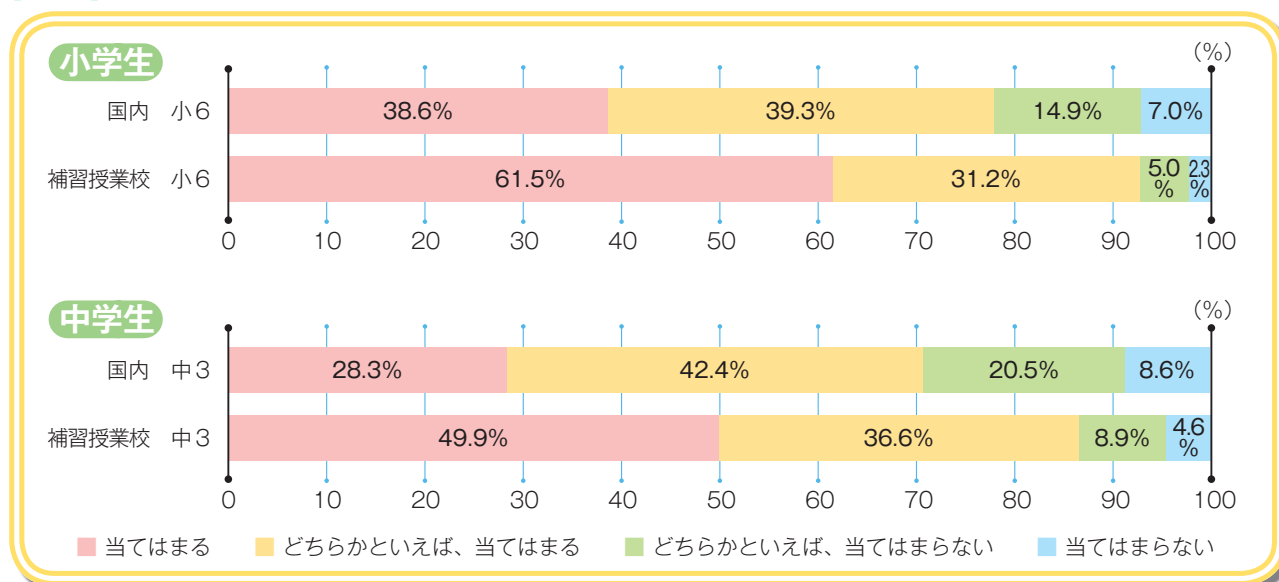
*国内調査：小学6年 1,012,103 名、中学3年 1,023,817 名
*補習授業校調査：小学6年 840 名、中学3年 393 名

まず、国内調査との比較において注目すべき補習授業校からの回答結果を、項目ごとに以下に示す。

① Q3 「自分にはよいところがあると思う」

「当てはまる」と回答した者が、国内の小学生では 38.6%、中学生では 28.3%であったのに対し、補習授業校ではそれぞれ 61.5%・49.9%であり、国内を大きく上回った。「どちらかといえば、当てはまる」まで合計すると、国内小学生 77.9%・中学生 70.7%と増えてくるが、補習授業校ではそれぞれ 92.7%・86.5%と圧倒的に高い。補習授業校の児童生徒の方が、自らのよさを明確に自覚しており、高い自己肯定感がうかがわれる結果である。

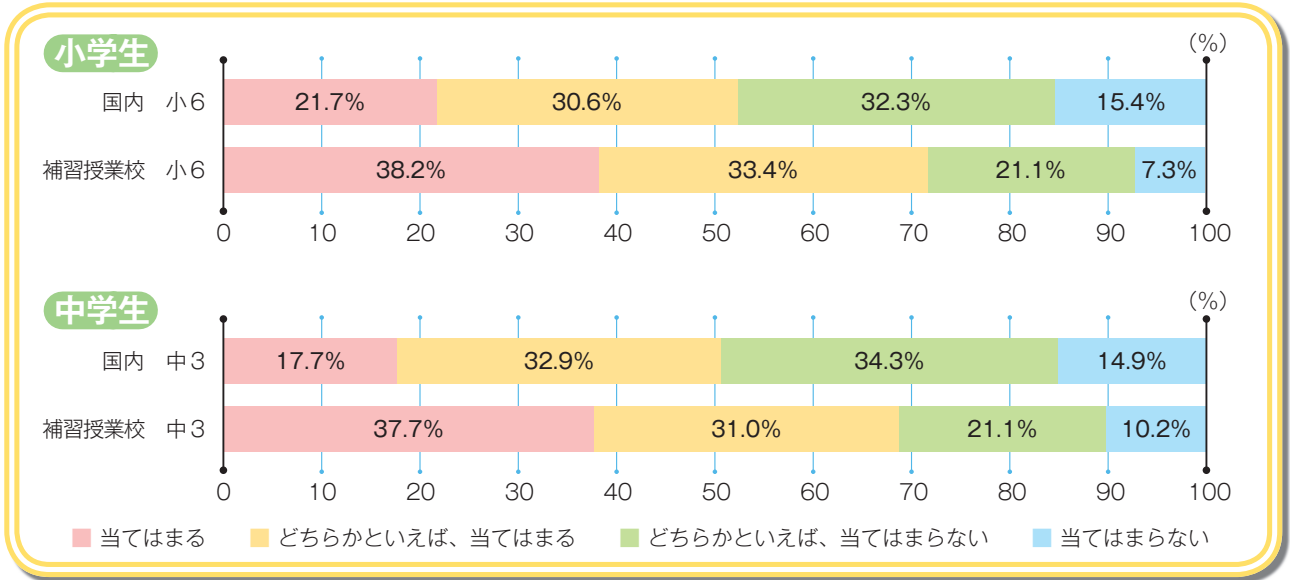
【図41】



② Q4 「友達の前で自分の考えや意見を発表するのは得意だ」

「当てはまる」と回答した者が、国内の小学生で21.7%、中学生では17.7%、一方、補習授業校では小学生38.2%・中学生37.7%で、小・中学生とも国内より高い結果であった。「どちらかといえば、当てはまる」までを合わせてみると補習授業校では小・中学生ともに約7割と国内の5割を大きく上回り、現地校の影響で自分の考えや意見を発表することが得意になっていることが推測される。

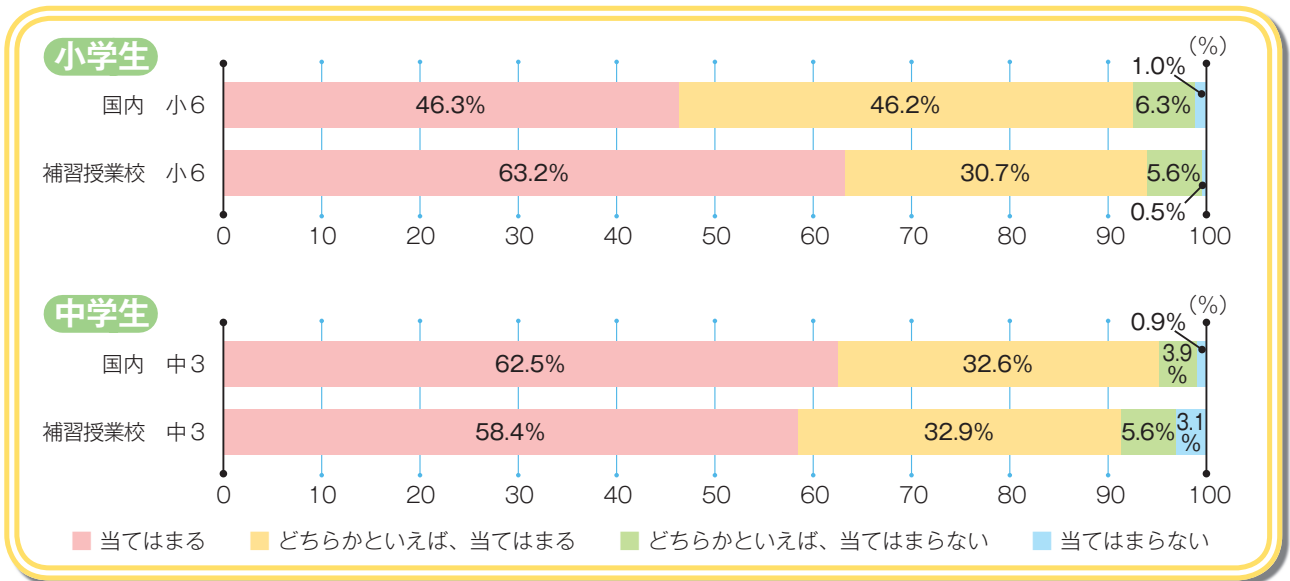
【図42】



③ Q7 「学校の決まりを守っている」

「当てはまる」とした者は日本国内の小学生では46.3%に対し補習授業校では63.2%で、小学生では補習授業校の方が高かった。しかしながら、中学生では国内62.5%に対して補習授業校58.4%と大きな差ではないものの逆転し、日本の中学校の校則の厳しさを彷彿とさせる結果といえる。

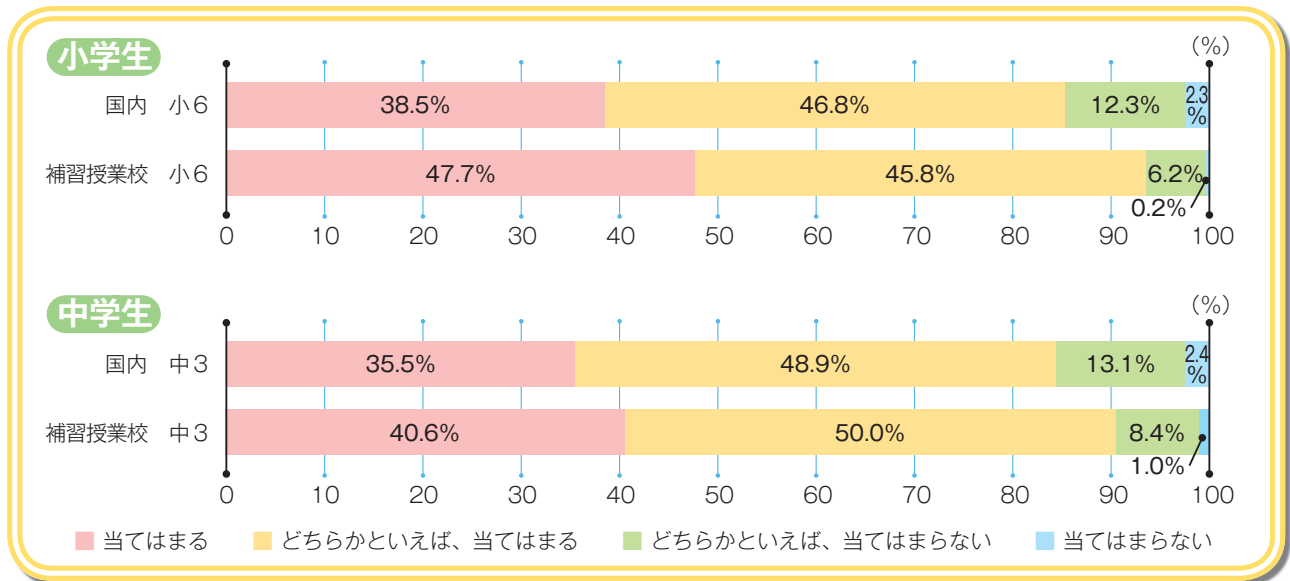
【図43】



④ Q9 「人が困っている時は、進んで助けている」

「当てはまる」と答えた日本国内の小学生 38.5%・中学生 35.5%に対し、補習授業校ではそれぞれ 47.7%・40.6%で、特に小学生において補習授業校が上回っていた。

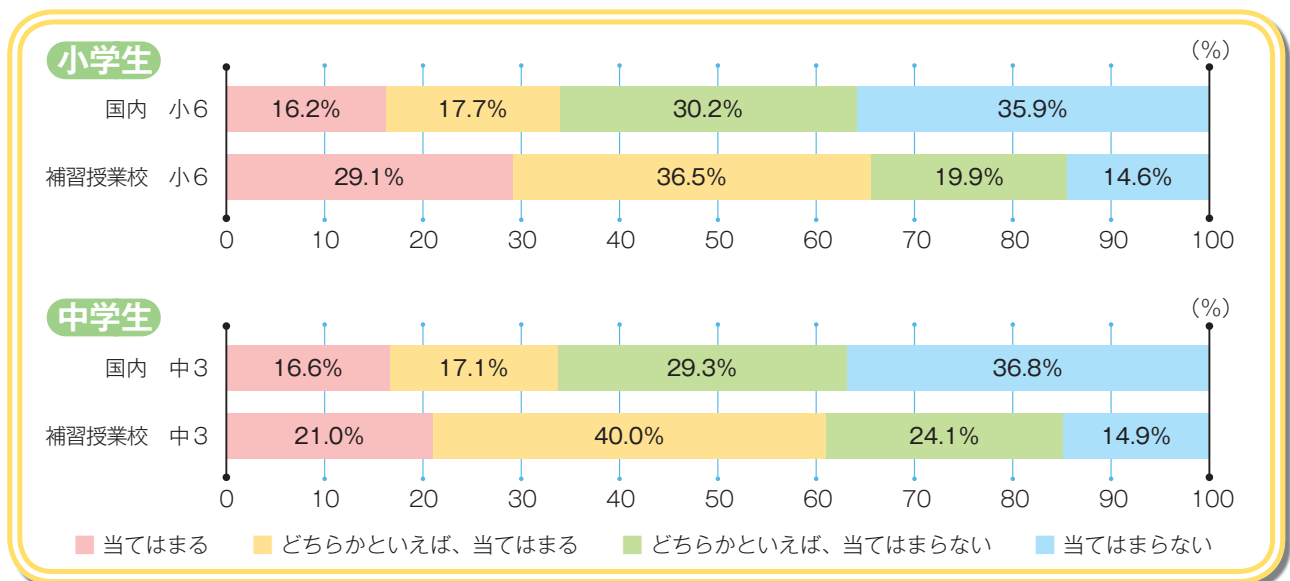
【図44】



⑤ Q16 「将来、日本以外の国で仕事が見たい」

国内の調査では「将来外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたい」の問いに対して、「当てはまる」とした者は、小学生 16.2%・中学生 16.6%と、さほど大きな割合ではない。これに対して補習授業校の調査では「将来、日本以外の国で仕事が見たい」の問いに対して、小学生では 29.1%が「当てはまる」とし、「どちらかといえば、当てはまる」の 36.5%と合わせて約 65%が将来のキャリアを日本以外で考えていた。日本ではこの数字は 35%に満たず、大きな差異がみられた。中学生でもほぼ同様の結果であった。

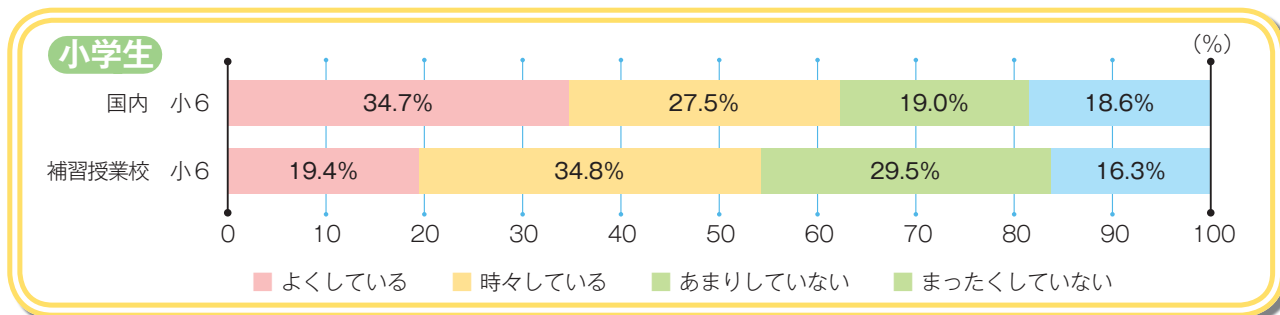
【図45】



⑥ Q23 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」

この問いに対しては、小学生のみで大きな差異がみられた。「よくしている」と答えた小学生は日本国内では34.7%であったが、補習授業校では19.4%と少なかった。国内の小学校ではお祭りや児童会の行事など地域ぐるみで行われるイベントが多いが、補習授業校では参加できる地域の行事は多くないことが理由であろう。

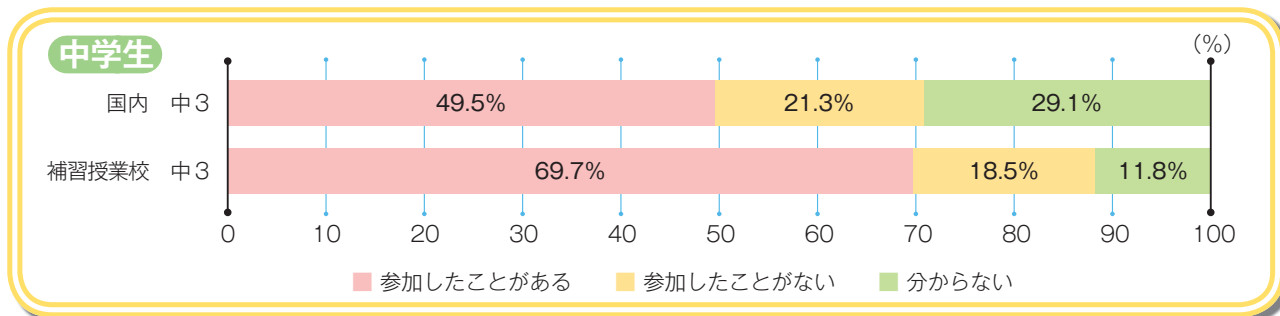
【図46】



⑦ Q24 「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」

この質問項目は中学校の回答のみで差異がみられた。「参加したことがある」と回答したのは補習授業校で7割近く、日本国内では50%に満たなかった。国内では「わからない」とした者も3割近くおり、アメリカでは子どもの頃から積極的にボランティア活動に参加するのに対し、日本ではボランティア活動そのものに馴染みが薄いことがうかがわれる。

【図47】

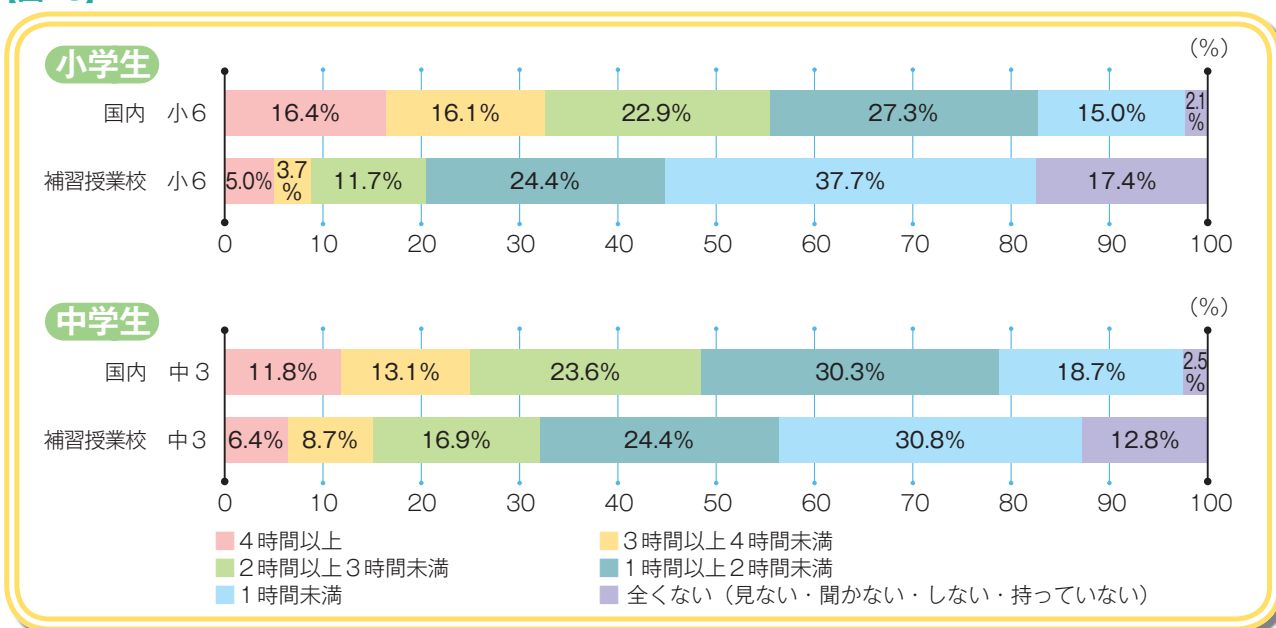


⑧ Q33 「あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、日本語のテレビやDVD、動画サイトなどを見たり、聞いたりしますか」

日本国内と補習授業校でもっとも大きな差がみられた質問項目のひとつが、テレビやDVD、動画サイト視聴に関するものである。「4時間以上」と答えた国内の小学生は16.4%おり、かなりの時間をテレビやDVD、動画サイトの視聴に費やしていることがわかる。現在ではネット環境が整いこうしたサイトの視聴はアメリカにおいても可能であるが、補習授業校では「4時間以上」と答えた者は5.0%に過ぎなかった。国内の小学生では「1時間未満」とした者は2割に満たないが、補習授業校では約55%が1時間未満の視聴であり、国内の問題点が指摘される形である。

中学校においては補習授業校でも少し時間が増える傾向にはあるものの、日本国内との比較においては、概して小学校と似たような結果であった。補習授業校では小学校・中学校を通じて「全く見ない」とした者も15%程度みられたが、これには英語が第一言語で日本のコンテンツをまったく利用しない者が含まれると考えられる。

【図48】

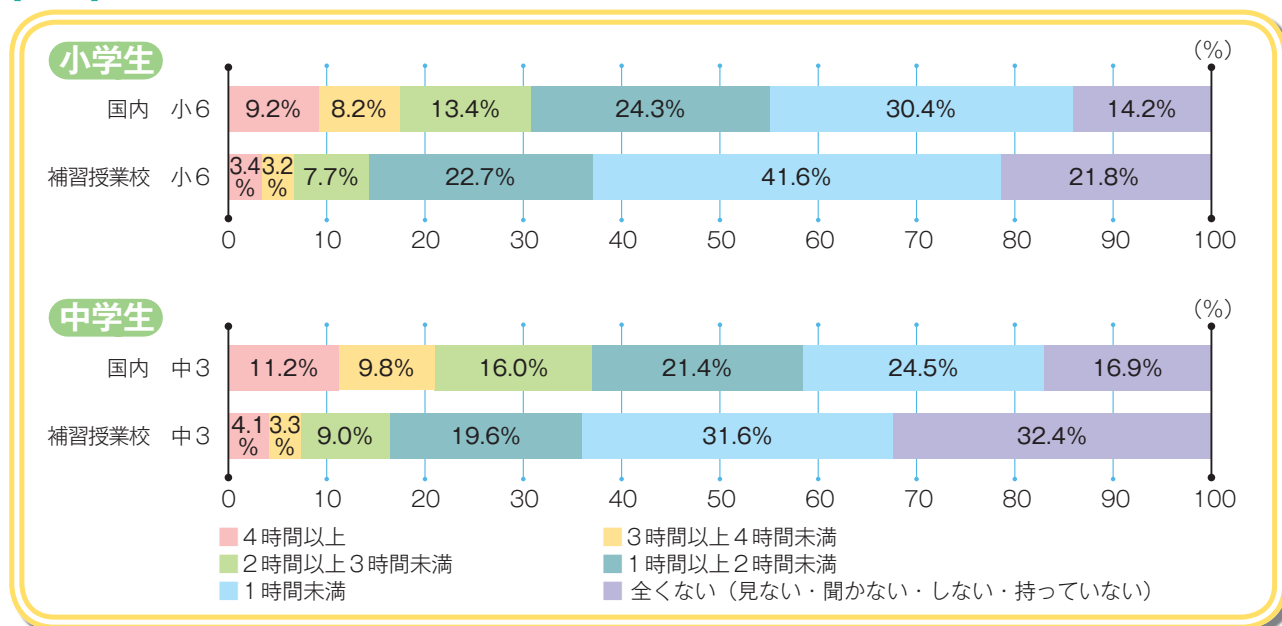


⑨ Q35 「あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか(コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます)」

日本国内の小学生では「4時間以上」と答えた者が1割近く(9.2%)いたが、補習授業校では3.4%に過ぎなかった。全体で見ると「1時間未満」とした者が国内では45%、補習授業校では65%程度で、中学校でもほぼ似たような数字であった。Q33のテレビ・DVD・動画サイトと同様、国内外では、テレビゲームに費やす時間には大きな違いがみられた。

補習授業校では、小学生では2割以上・中学生では3割以上が「全くない(見ない・聞かない・しない・持っていない)」と回答しており、その割合は国内児童・生徒の約2倍であった。アメリカと比較して日本がゲーム大国であり、子どもたちがゲームに依存し過ぎている傾向がうかがわれる。

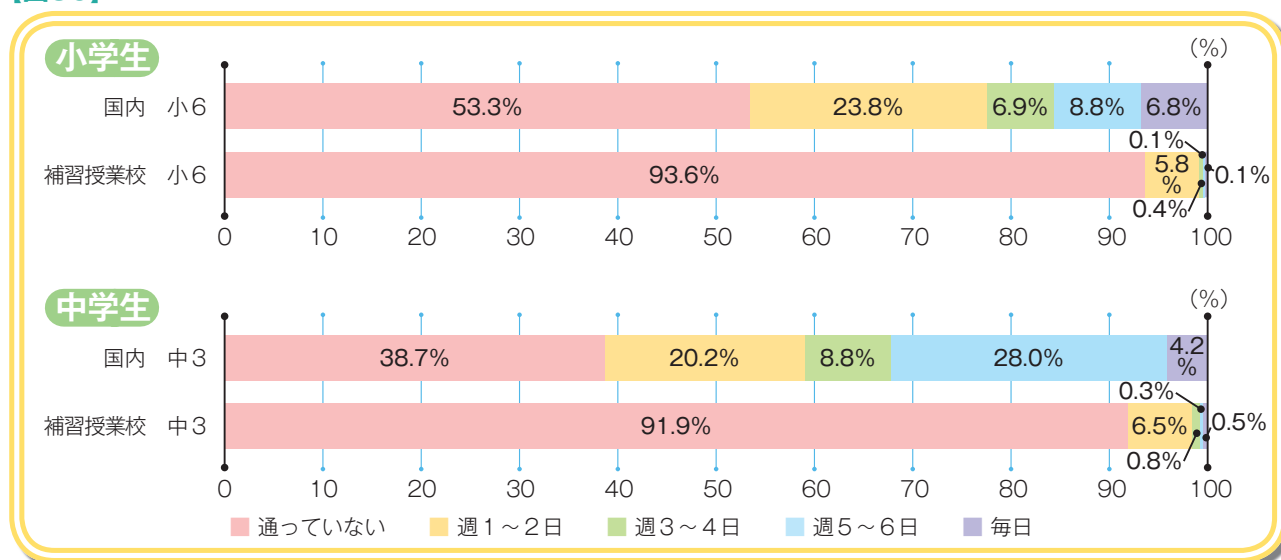
【図49】



⑩ Q50 「日本の学校の受験勉強をするための塾に通っていますか」

日本国内では一般的な通塾について、補習授業校では日本向きの受験勉強のための通塾について尋ねた。補習授業校では小・中学校を通じて「通っていない」が9割を超えたが、先の分析の項（P.46）でも述べたとおり、アメリカでは日本の塾があるのは一部の地域で、また平日に塾に通っている児童・生徒は補習授業校を選択していない可能性が高く、このような結果になったと推測される。一方で日本国内では小学校で約半数、中学校で約6割を超えて通塾しており、特に中学校では通っている場合週に5～6日と答えた者が多かった。日本国内と海外の学習環境の大きな違いを示す結果といえよう。

【図50】

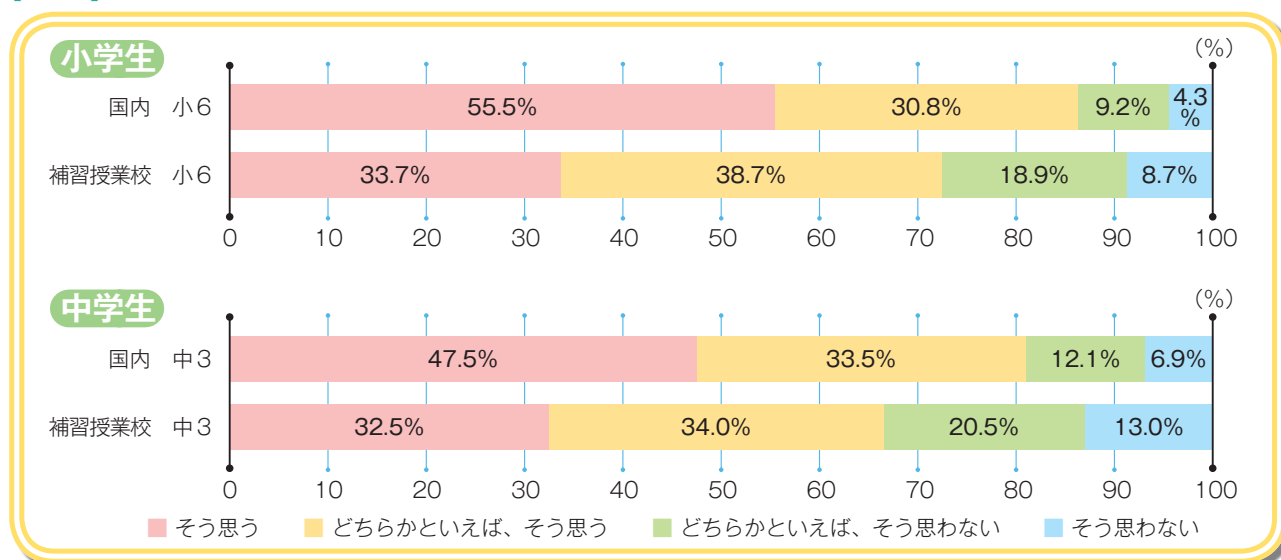


⑪ Q54 「補習授業校／学校に行くのが楽しみだ」

日本国内では普通の学校、アメリカでは補習授業校について聞いた結果が以下のグラフである。「そう思う」と答えたのは日本国内の小学生で55.5%、中学生で47.5%であり、半数程度が楽しみに学校に通っていることがわかる。補習授業校では小学生で33.7%、中学生で32.5%であるので、国内の結果を少し下回る形である。

ただし、Q79「現地校に行くのが楽しみだ」で尋ねた結果では、「そう思う」としたのが小学生で55.0%、中学生で47.6%であったので、現地校については国内の結果とほぼ同様であった。

【図51】



1. 調査の目的と方法

(1) 調査目的

AG5プロジェクトでは、補習授業校における日本語能力向上のための総合的なプログラム開発に取り組み、今後の補習授業校の在り方や具体的な授業づくりの実践等を検討している。その前段階として、第2部で取り上げる「管理職に対する補習授業校調査」では、補習授業校の現状および課題を、主に校長等の管理職の視点から明らかにすることを目的とした。とりわけ、児童生徒の多様化の実態や、それによって生じている対応や課題について明らかにしていく。

(2) 調査手法

本調査では、北米16校、ヨーロッパ2校、アジア1校の計19校の補習授業校の管理職（原則として校長）を対象に、教育の内容や方法、子どもや家庭、教師についてなど、57項目の質問項目（資料3参照）について尋ねた。具体的には、以下の3つの方法のいずれかを取った。

① 訪問調査

2017年8月から9月にかけて、アメリカの中・大規模補習授業校7校にAG5のメンバーが複数人で訪問し、校長にインタビューを行った。57項目の質問項目に沿いつつ、柔軟に話題を広げる半構造化面接を行った。さらに、理事長や教師、保護者、児童生徒等にもインタビューを行った他、一部の学校では、授業参観を行った。

② アンケート調査

2017年3月にEメールでアンケートを依頼し、協力を得られた補習授業校に57項目の質問項目を送付して、回答後にEメールで返送してもらった。アメリカ7校、カナダ・ヨーロッパ・アジア各1校の計10校の管理職から回答を得た。

③ インタビュー調査

2017年3月にアメリカ・ヨーロッパ各1校計2校の元校長に対して、インタビュー調査を行った。57項目の質問項目に沿った半構造化面接である。

(3) 調査対象

本調査では、以下の表に示す 19 校を対象とした。

表 調査対象校一覧

学 校	地 域	調 査 方 法
A	北米	訪問
B	北米	訪問、アンケート
C	北米	訪問、アンケート
D	北米	訪問、アンケート
E	北米	訪問
F	北米	訪問、アンケート
G	北米	訪問
H	北米	アンケート
I	北米	アンケート
J	北米	アンケート
K	北米	アンケート
L	北米	アンケート
M	北米	アンケート
N	北米	アンケート
O	北米	アンケート
P	ヨーロッパ	アンケート
Q	アジア	アンケート
R	北米	インタビュー
S	ヨーロッパ	インタビュー

本調査では、より数多くの児童生徒の現状や課題を知るために、主にアメリカの大規模な補習授業校を調査対象とした。今回の対象校の中で最も在籍児童生徒数が多い G 校では、小中学部の児童生徒数が 1,200 名を越えている。原則として義務教育年齢の在籍児童生徒数が 100 名以上の場合、文部科学省より校長が派遣されている。本調査では 19 校中 14 校で校長が派遣されており、校長派遣のない対象校は、D、E、F、P、Q の 5 校である。

一方、今回の調査では、アメリカ以外の地域や小規模校などについては十分な調査ができていない。そうした地域や学校では、今回の調査結果とは別の現状や課題があるかもしれない。今後の課題にしたい。

幼稚部は、19 校中 15 校で併設している (H、P、Q、S 校以外)。中には、希望者が多く、定員の 1.5 倍で入園制限している学校もある (R 校)。

高等部は、19 校中 14 校で併設している (E、F、H、R、S 校以外)。

なお、Q 校は、永住予定の国際結婚家庭など、現地校やインターナショナルスクールに通う子どもを対象にして、4 年前に開校した。当地には、全日制の日本人学校があり、その校舎を借用している。日本人学校がある地域にできた補習授業校という点で、他校とかなり性格を異にするので、以下では別枠として扱う。

2. 補習授業校の実態と課題

(1) 設置目的

Q校以外の補習授業校では、創立当初の設置目的は、いずれも、日本に帰国した後に円滑に適応できる日本語力を身に付けるように、国語を中心に日本の学校のカリキュラムを日本語で行うことである。現在も、その設置目的を変えずに、一時的に海外生活をする日本人家庭の子どもを対象にして、帰国後に困らないような日本の教育を与えることを目的に掲げている補習授業校が多い。中には、永住家庭が過半数を越えており、帰国にこだわらず、教科書からも自由な教育を行ってよいのではないかという意見もあがっているものの、「学校のコアを固める意味でも、学校説明会、保護者会等では、日本語教室の方針（帰国の生徒が日本の学校に順応しやすいように教育する。）ことを明言して」いるという学校もある（F校）。

一方、創立当初から、帰国後の適応のための教育に加えて、「日本語の学習を通じて、日本の文化及び習慣への親しみと理解を深められるような教育」を目指すことを明言してきた補習授業校もある（D校）。同様にB校においても、永住家庭と帰国予定の家庭との「双方を満足させるような教育を目指している」という。

また、永住家庭や国際結婚家庭の増加を受けて、設置目的を見直した補習授業校もある。たとえば、L校は、「帰国後の教育」という視点が強かった設置目的を近年見直して、永住予定の子どもたちも日本文化の基礎を学ぶことができることを明記した。同時に、教育内容は学習指導要領に沿っていることを記して、補習授業校は日本語学校ではないことも明示した。これは、後に詳述するように、補習授業校の対象者が変化し、それへの対応を迫られていることを示している。

例外として、Q校では、「将来にわたりQ社会で生活する見通しの国際結婚家庭の子どもたちをはじめとして、現地校に通学している日本人会会員の子もたちが週1回集まり、継続して日本語や日本文化への理解を深めること」を目的にしている。これは、全日制と補習授業校が同じ校舎を共有している稀な例であり、帰国予定の子どもたちは、全日制日本人学校に通っている。

(2) 子ども・家庭

今回調査した補習授業校の中には、依然、帰国予定の日本人家庭が大半を占めている学校がある。たとえば、I校では、95%が帰国予定で、両親とも日本人の家庭である。C校でも、90%が帰国予定であり、85%が両親とも日本人の家庭である。

一方、永住者が過半数を占め、国際結婚家庭の割合が高い補習授業校もある。たとえば、R校では、駐在員家庭は15%に過ぎず、85%が移住や国際結婚、起業などによる永住家庭である。B校においても、駐在員家庭は20%にとどまり、永住家庭が60%、不明が20%になっている。

帰国予定家庭と国際結婚家庭との割合が拮抗している補習授業校もある。M校ではまさに、両者は5対5であるとの回答であった。A校では、帰国予定家庭と永住家庭、不明の割合が、226：242：16になっている。

ここから、補習授業校に集う家庭のバックグラウンドや将来設計が多様化しており、近い将来に日本へ帰国することを前提とした駐在員家庭の補習授業校、という設立当初のあり方だけではおさまりきれない補習授業校が複数あることがわかる。特に都市部の補習授業校には、さまざまな家庭の子どもたちが集まっている。アメリカでは、東西沿岸部で、永住家庭の割合が高い傾向がある。

駐在員数が減り、永住家庭が増える中で、児童生徒数の確保や、労働許可をもつ教師や継続的に学校運営にかかわる者の確保という点で、永住家庭の存在が欠かせないものになっている補習授業校が複数ある。補習授業校の設置目的の見直しが迫られているゆえんである。

ただし、日本の大企業とその関連企業の駐在員家庭が圧倒的多数を占めている補習授業校が、現在でも複数存在していることも事実である。補習授業校内の多様化だけでなく、補習授業校間の多様化もすすみ、一概に補習授業校を語る事が難しくなっている。

なお、帰国か永住かが「不明」な家庭が多いことにも留意が必要である。駐在期間が長期化している一方で、社命を受けて転勤する家庭だけでなく、家族自身の希望や都合で、国境を越えて移動したり、滞留したりする家庭も増えていることがうかがわれる。海外での転居を繰り返し、日本以外の他国から移動してきた子どもも顕在化している（F校）。

実態は、帰国か永住かだけでなく、より複雑化している。定義や調査方法によっては、非駐在のカテゴリに入る家庭がより増える可能性もある。補習授業校に集まる家庭はより多様化し、そこで学ぶ子どもの成育歴や将来像をより注意深く見極める必要が生じている。

このように家庭が多様であることを受けて、補習授業校へのニーズや期待も多岐にわたっている。概して、帰国予定の家庭は、学齢相当の日本語力を前提にして、学力の向上を望んでいる。一方、帰国予定がないか、帰国するかが曖昧な家庭では、日本語力自体の保持や伸長を求めている。たとえば、B校では、家庭のニーズは「両極端。多岐にわたる要望・期待。日本での学習と同等以上を期待する保護者と、日本語を少しでも身につけさせてもらえればよいと考えたと保護者と差がある」と、多様な実情を述べている。また、A校では、帰国予定家庭と永住予定家庭とでは、宿題の量への要望が違うことを指摘している。

さらに、駐在か永住かだけでは家庭のニーズは語れないことにも注意が必要である。同じように国際結婚をしている家庭の中でも、ニーズは多様である。帰国可能性がゼロではなく、日本文化の継承を望んでいる場合（E校）もあるし、帰国予定の子どもと同じレベルの日本語力の習得を望んでいる場合（B校）もある。訪問調査では、国際結婚家庭や永住家庭の中で、きわめて熱心に子どもの日本語教育をしている方に複数出会った。そうした方々が、保護者として、教師として、運営委員として、補習授業校を支えていることがしばしばあった。

なお、近年、日本国内においては発達障害が注目されているが、補習授業校においても発達障害が疑われる子どもが、各校で一定数存在している。すでに、自閉症の子どもの受け入れ実績のある学校もある（D校、F校など）。しかし、多くの補習授業校では特別支援教育はほぼ未着手であり、保護者に教室に入り込んでもらって当該児童生徒の学習支援することを求めるなど、各校が試行錯誤しているのが現状である。

(3) 教師

どの補習授業校でも、すぐれた教師の確保に苦労している。そもそも、在外邦人の中には就労できる滞在資格をもつ者が限られている。それゆえ、十分な数の教師を安定的に確保するために、教員免許や教師経験のない人も雇わざるを得ない場合もある。本業は、語学教師や会社員、主婦、大学教師とさまざまで、国際結婚している者など、永住者が長く勤めている場合が多い。

日本の教員免許を持つ教師の割合は各校で2割から7割で、過半数の教師が教員免許をもっている補習授業校は少ない。日本での教職経験者は、各校で1割から4割程度である。そうした中で、時間的にも力量的にも、独自教材を作成する余裕などはない補習授業校がほとんどである。

そこで、さまざまな形で教員研修が行われている。初任者研修の他、校長が授業を見て回ってアドバイスをしたり、校内研修会で授業を検討し合ったりしている。他の補習授業校と合同で、協議会や研修会を行っている例もある（C校、D校、H校）。

とはいえ、補習授業校の教師は普段は別の仕事をしていることが多く、十分な研修時間を取ることが困難である。効率的で効果的な教員研修が求められている。

(4) 教育の内容・方法

多くの補習授業校では、学習指導要領に準拠したカリキュラムでの一斉授業を行っている。どの補習授業校でも国語は行っているが、他に、社会科や算数も行っている学校もある。たとえば、C校では、国語・算数に加え、小学6年では学級担任による社会科、中学では教科担任による地歴公民を行っている。義務教育段階では、全員が同じカリキュラムを行っている場合が多いが、高等部では、選択科目を導入している補習授業校が複数ある(A校、B校など)。C校の高等部では、物理や化学など、希望の多い科目を選択で履修できるようになっており、学年混合でクラスを編成している。

近年、日本国内では、知識注入型を脱却し、アクティブラーニングによる学習者主体の学びが目指されている。しかし、R校では、補習授業校は「知識を増やしたい学校なので、アクティブラーニングはやりにくい」と述べている。一方、Q校では、学習内容を網羅することよりも、学習を継続させることを目的にした独自カリキュラムを組んでいる。これは、全日制日本人学校の後に同地域に開設された補習授業校ならではの例外といえる。

授業時間数が少なく、学習者が日本の事象に触れる機会が限られている補習授業校において、学習指導要領に準拠したカリキュラムを行うために、各校はさまざまな工夫をしている。たとえば、D校では、夏休みの宿題として、「図書プロジェクト」や「漢字チャレンジ」、「都道府県名テスト」を行っている。「図書プロジェクト」は、日本語の本を読み、読書感想文や作者・主人公への手紙を書いたり、本の帯や表紙を作ったりする活動である。「漢字チャレンジ」や「都道府県名テスト」では、好成績者に合格証を与えて、覚えにくい知識を吸収するためのモチベーションを高める工夫をしている。

とはいえ、補習授業校の限られた環境の中で、学習指導要領に準拠したカリキュラムをこなすのは、一苦労である。児童生徒の学習の実態としては、日本を100とした場合の補習授業校での学習は、80%(R校)という回答もあったが、「20%(基礎基本の部分)」(N校)、「日本よりはるかに下」(S校)という回答もあった。

ほとんどの補習授業校で、個別指導なしには学習が困難な児童生徒がいると認識している。その理由としては、発達障害が疑われる場合もあるが、多くの場合、日本語力の不足が挙げられた。日本語力に関連した習熟度別でのクラス分けや目的別のコース分けについては、次項で詳述する。

また、どの補習授業校でも、残念ながら、卒業を待たずにやめていく子どもが存在している。多いところでは、さまざまな理由で毎年2割程度がやめていくという。G校では、小学3年生と中学生段階でやめる子どもが多いとのことだった。

補習授業校を途中でやめる理由としては、現地校での学習や、スポーツなどの学校外活動が忙しいことが挙げられていた。補習授業校の学費や学習の補助が親の負担になったり、一方の親が反対したりなど、家庭の事情も挙げられている。多くの補習授業校が異口同音に挙げたのが、日本語力や学力の面で、授業についていけないという理由であった。一方で、日系の塾がある地域では、補習授業校での勉強が簡単すぎて、途中でやめる者もいるとのことだった(B校)。ここから、補習授業校に集う児童生徒の日本語力や学力は幅が広く、学習の焦点をしぼることが難しいことがわかる。

(5) 日本語力の不十分な子どもへの対応

補習授業校では、管理職、教師、保護者ともに、日本語指導の必要な子どもたちが存在していることを認識している。一般的には、日本を離れて日の浅い子どもは日本語力が高く、長期滞在者や海外生まれの子ども、帰国予定のない子ども、国際結婚家庭の子どもの日本語力が低い傾向がある。C校では、永住者は、日本語を使わないので学習するモチベーションが低く、帰国予定者と同じクラスで学ぶのは難しい、と回答している。ただし、後者にあてはまる子どもでも、感想文コンクールで入賞する(D校)など、日本語力の高

い子どもは複数いる。

日本語力の十分でない子どもには、各教師が試行錯誤しながら対応している。振り仮名を振ったり、休み時間や放課後に補習をしたりするのが、典型的な対応方法である。独自の教育実践としては、「高学年の子どもが低学年の子どもにおもちゃの作り方を説明する」という異学年交流を行い、実際の文脈の中で話したり聞いたりする日本語力を高める指導をしている例があった（A校）。子ども間で交換日記をさせる（R校）というのも、書いたり読んだりする必然性をもたせながら子どもの日本語力を高める工夫である。

しかしながら、教師個人の努力や善意にまかせられた取り組みだけでは、時間的にも、労力的にも、教師の日本語指導の専門性という点でも、限界がある。そもそも、子どもの日本語力を詳細に調査して把握している補習授業校は少ない。結果として、「家庭は第二の教室」、「保護者は第二の先生」（H校）などをモットーにして、保護者による学習補助が期待されているのが現実である。日本語力が授業についていくのに十分でない子どもは、そもそも入園入学を断わっている場合も散見された。

日本語力の十分でない子どもに対して、学校として特別な配慮をしている補習授業校としては、習熟度別クラスを設置している場合と、日本語部や国際部を設置している場合とがある。義務教育段階で習熟度別のクラス分けをしている例は少ない。そうした希少事例として、B校では、小学3年生から5年生で習熟度別の2コースずつを設定している。「3年生の壁がある」とのことで、A（ゆっくり）コースではルビ振りをしたり、独自のワークシートを使用したりしている。また、F校では、国語だけ取り出し授業にして、継承語教育を行うクラスを学年横断的に2クラス設けている。

日本語部や国際部を設置している例として、A校では、1990年に、帰国予定がほぼなく、日本語力の不足する子どもを対象にして、国際クラスを設置した。現在は、レベル別に4つの国際クラスが設置されている。独自カリキュラムで楽しく学習することを目指して、日本語の他に、算数、生活科、社会科の基礎も指導している。さらに、A校の高等部では、永住者は基礎クラス、帰国して受験する者は発展クラスで学んでいる。

また、N校では、日本語を第一言語としない児童生徒を対象に、日本語及び日本文化について指導する日本語部を設置している。D校では、国際学級を2クラス設けている。

B校やO校では、地域内に継承語として日本語を学ぶ教育機関が存在しており、子どもの日本語力や家庭の教育期待などによって棲み分けがすすんでいる。そうしたこともあって、補習授業校では、学習指導要領に沿った帰国向けの指導が行われている（O校）。また、「帰国後に困らない日本語力の保障という原則を守るべきで、永住者が増えたからといってレベルを落とす必要はない」という永住保護者の意見も聞かれた（B校）。

国際クラスを設置していない補習授業校の中には、財源や教師、カリキュラムが不足しているため、やむをえず設置していない学校がある（E校）。一方、過去に習熟度別でのクラス分けや日本語部の設置を行ったものの、問題が生じたので廃止したという補習授業校もある（G校、R校）。G校では、1990年代以降、習熟度別クラスを設けたり、検定教科書を使わずに、日本語力向上に特化した授業をしたりなどの試行錯誤を行ったが、差別感を生み、成功しなかったという。子どもに必要な教育と、親が望む教育とがずれている、という問題もあるという。そのため、現在では、「一緒に学習してコミュニケーションを円滑にし、学び合う」形態を取り入れ、「違いを認めたいうえでの学びあい」を目指しているという。G校は、「補習授業校は、異質のものを受け入れられる社会を生き抜くことを学ぶところだ」として、むしろ、違う背景の子どもと一緒に学ぶことで新たな成果が生まれる「化学反応」があることを期待している。

このように、日本語力別に学習集団を分け、日本語力を育てることに主眼を置くことは、学習効率を上げることが期待できる一方で、子どもたちの意欲や連帯感を弱めたり、学校経営を難しくしたりする危険もある。

(6) 補習授業校の特徴と意義

補習授業校の「良いところ」に関しては、各校から多くの意見が寄せられている。

まず、日本語力の保持や伸長がある。補習授業校の根幹をなすといつてよい利点であろう。

また、国語以外の教科での学力の向上も、補習授業校の利点として挙げられている。たとえば、補習授業校で算数の理解を深めることで、現地校での自信につながる、という指摘がある（F校）。教科の力を高める工夫として、E校においては、公文式教材を使用したり、低学年でも教科専任制を導入したりしているほか、小学2、3年生において、毎年9月から12月に、保護者のボランティアによる放課後九九クラブを開催しているという。九九は、国による学習法の違いが顕在化する一例であるが、日本の学習法を取り入れながら学力を高めようとするE校の取り組みはまさに、補習授業校ならではの利点と言えよう。同様に、数学における用語や視点を在住国と日本とで比較する機会をもうけている、という取り組みもある（R校）。

さらに、同じ環境の子ども同士の学び合いや友情が、補習授業校の利点として挙げられている。

加えて、日本の文化や教育スタイルを学習することも、利点とされている。たとえば、A校では、運動会や児童会・生徒会などを通して、日本の学校文化を学ばせている。R校では、しつけを日本風に統一することを、方針として打ち出している。たとえば、現地校では、授業中のトイレに行くことが許されているが、補習授業校においては、日本の多くの学校に準じて、授業中にはトイレに行かせない指導をしている。

こうしたことから、補習授業校では、学習効率を最優先して、個々の児童生徒の能力やニーズに応じた個別指導だけをするのは、必ずしも期待されていないことがわかる。補習授業校では、むしろ、日本につながりをもつ同年齢集団の中で学ぶことを通して、現代日本の子ども文化を体験したり、現地校でのストレスを解消したりすることが期待されている。過剰な画一性に陥らないように留意する必要はあるものの、補習授業校という場に日本にルーツをもつ子どもたちが集まることの利点を生かし、日本の学校文化のよさを自覚する必要があるだろう。

実際、学校行事は、日本の伝統や学校文化を伝える大切な機会として、多くの補習授業校が取り入れている。入学式や卒業式といった折々のあらたまった式典や、運動会や遠足といった学校行事の花形のほかに、補習授業校ならではの行事として、餅つきのような日本の伝統文化を伝える季節行事がある。ただし、すでに過密な補習授業校のスケジュールや場所の制約から、これ以上学校行事を増やす予定のある学校は皆無で、むしろ精選をはかる方向にある。

注目されるのは、保護者が主体となって行っている学校行事や課外活動である。教師のほとんどが週末だけの非常勤講師である補習授業校では、保護者の参画が、教育活動の充実の鍵をにぎっている。進学説明会や安全対策のほか、サッカー、コーラス、剣道、書道、茶道などのクラブ活動を、保護者が中心になって行っている補習授業校が複数ある。

より積極的に、補習授業校が日本文化の発信の拠点となっている例として、B校の取り組みがある。B校では、日本商工会が地域で行っている祭りに生徒を参加させることを通して、子どもたちに日本人コミュニティの一員であることを自覚させ、日本文化への誇りをもたせている。在住地で日本人のコミュニティに参画したり、日本人としてのアイデンティティを形成したりすることも、補習授業校の重要な利点である。

もちろん、日本文化の習得や日本人アイデンティティの育成は、補習授業校だけでなされているわけではない。補習授業校で学ぶ子どもたちの多くが、日本に一時帰国した際に、日本の学校に体験入学をしている。「帰国者の9割は体験入学をしている」（M校）、「給食・掃除、バス・電車の経験が貴重である」（F校）といった回答が寄せられている。なお、全日制日本人学校と施設を共有しているQ校では、毎年8割以上の子どもが日本人学校に体験入学しているという。

以上から、補習授業校の利点としては、日本語力や教科力の向上に加えて、日本の文化を学び、日本人としてのネットワークやアイデンティティを高めていくことが挙げられていることがわかる。

(7) グローバル人材としての基礎力育成のための実践と課題

「自校の生徒こそグローバル人材（の予備軍）」（Q校）であるという意見や、「グローバル人材育成の最先端にいる」（O校）など、多くの補習授業校から、自校での教育をグローバル人材育成に結び付ける回答が寄せられている。たとえば、L校からは、「国際性や国際感覚に優れ、日本の国際化を進めていくうえで推進力になる『国家の宝』なので、国民に補習授業校の存在価値を広く知らしめ、財政支援を厚くすべきだ」という積極的な意見があった。F校は、「複数文化での育成によって、科学的思考ができやすく、マイノリティの立場が理解できる」という。つまり、在住国と日本というふたつの文化的背景をもって育つことによって、補習授業校の子どもたちは客観的な思考がしやすくなるとともに、在住国では日本、日本では外国的な面が強調されやすいために、少数者という立場に体験的に共感しやすくなる、というのである。

グローバル人材の育成に関連した具体的な教育実践としては、作文発表会や意見文発表会を行い、異なった文化を通して学んだ考えや経験を文章で表現させ、思考力や表現力の育成に努めている例がある（O校）。また、多様な視点から、第二次世界大戦について考える授業を行っているという例もある（R校）。さらに、「キャリア講演会」として、海外で活躍する日本人を招いて中高校生の進路指導をした例もある（H校）。

一方、特別なことをしなくても、「補習授業校に課せられた教育を着実にこなしていくことが基本となり、グローバル人材の育成につながる」（B校）という意見もある。

グローバル人材育成の一環として、日本の言語、文化、教科の学習に加えて、現地に関する学びも必要である。現地校との交流を計画している補習授業校は複数あるが、実際の連携は限定的である。たとえば、借用校のPTA行事にブースを出したり、補習授業校のオープンハウス時に現地授業校の校長やESL教師を招待したりといった交流の例がある（A校、O校など）。また、現地校に授業内容や成績表を提出することで、日本語の学習を外国語のindependent study（自学）として認めてもらったり、補習授業校での空き時間に幼稚部の世話や小学校低学年のクラス補助をボランティアで行う高校生が、それを現地校のコミュニティサービスの時間として申請したり（B校）して、補習授業校での学びを現地校にも承認してもらっている例もある。さらに、補習授業校の教師が、現地校で授業観察をし、自尊心を高める教育方法を学んでいる補習授業校もある（C校）。

ICTの活用を積極的に行っている補習授業校も、複数ある。映像資料を使用したり、インターネットでの調べ学習を行ったりする例の他、デジタル教科書を活用している例が複数ある（B校、K校など）。借用校のウェブ環境やPC、スクリーンが無料で使える（F校）という恵まれた補習授業校がある。一方で、借用校との契約の関係などで施設設備の使用については制約があり、土曜日の朝ごとに、PCや書画カメラを移動している（C校）という補習授業校もある。

3. 求められる支援の方向性

このような本調査を踏まえて、今、補習授業校が求めている支援としては、以下の4点が挙げられるだろう。

(1) 多様性への対応

第一に、多様な子どもに対応できる方策の提案である。補習授業校に集まる大多数の子どもは、少なくとも一方の親が日本人であるなど、日本へのつながりをもっている点で共通している。すなわち、ルーツを共有し、それを愛護する場として、補習授業校はある。一方で、出生した国、育ってきた国（複数の場合もある）、家庭の言語環境、今後どこに住み、学び、働くのかといった育ちの道筋（ルート）は、ますます多様になっている。各補習授業校では、駐在員家庭と永住家庭とがさまざまな割合で混在し、別個のニーズをもっている。

違いに即した個別の対応をしていくのか、子ども同士の違いから学びあう対応をしていくのか、さまざまな判断が求められる。どちらにも一長一短があるが、補習授業校には、日本語力や教科力だけではなく、日本にルーツをもつ子ども同士の結びつきや日本人としてのアイデンティティの育成も求められていることに留意すべきである。補習授業校の利点としては、日本語力の保持や伸長、国語や算数などの教科力の向上といった項目が挙げられると同時に、日本にルーツをもちながら、海外で育っている子どもたち同士が学び合い、友情を深めることや、日本の文化や教育のスタイルを学習することも挙げられている。すなわち、補習授業校は、圧倒的に現地の文化に囲まれた環境における、日本文化の保護区、聖域（サンクチュアリ）として期待されているのである。塾でも通信教育でもなく、今はやりのインターネットでの家庭教師でもなく、補習授業校が必要とされている、という点を忘れてはなるまい。

このことを踏まえるならば、さまざまな環境・言語力・ニーズをもつ子どもたちが、可能な限りいっしょに、日本の言語や文化を学んでいくことが望まれる。日本語力を身に付けたり、教科の力を伸ばしたりすることだけに特化して効率化をはかるのではなく、休日にわざわざ遠方から補習授業校に集まってくる理由、すなわち、同じような背景をもつ友だちがいて、まるで日本の学校のような空気が流れている、という補習授業校ならではの特質を生かしていく必要がある。

多様な能力や背景をもちつつ、日本につながりをもつ子どもたちがいっしょに学ぶことを通してこそ、日本の子どもたちと共通の経験を積む意義がある。幼稚部や高等部、特別支援教育を含めて、多様な子どもたちが共に学べるような、総括的な支援が求められるであろう。

(2) 効果的な授業の提案

第二に、日常的に日本的な経験が限られている子どもたちに、少ない授業時数で対応できる、効率的で効果的な授業を提案していく必要がある。「教科書の中で、外せない部分と割愛してよい部分を示してほしい」（B校）など、補習授業校での学習内容の精選のヒントを求める声が複数聞かれた。

その際に配慮すべきことは、画一的なプランやプログラムを示すのではなく、複数のサンプルから授業者が選択できるような工夫をすることである。これまで、いくつかのモデル・カリキュラムや教案が示されてきたが、実態に合わずに、なかなか使われないままになっていくことが少なくなかった。今回の調査でも、以前に、細かな指導計画やワークシートを作成したが、継続されなかった（G校）という意見もあった。

このことから、各学校や学級の現状に合わせて教師が応用できるような、汎用性の高いプログラムを開発する必要がある。すなわち、たたき台にしてもらえるような使いやすい案を提示して、あとは、子どもの

ニーズを一番よくわかっている担任の教師に創意工夫してもらえる仕組みを作っていくことが求められる。

このことと関連して、補習授業校教師がアイデアを出し合い、教材・教具や情報を利用できるポータルサイトを設置してほしいという意見（F校）は、実現可能性の高い有益なヒントである。これを受けて、AG5では、さっそくウェブサイト開設した（<https://www.ag-5.jp/>）。また、「社会科では、日常使わない語句があり、難しい」（C校）、「日本の産業や歴史についてのイメージが深まらない」（A校）など、補習授業校で抱える難しさには、共通点も多い。そうした課題に世界の各地でどのように取り組んでいるのか、前述のAG5のウェブサイトを、情報を集結するプラットフォームとして充実させていきたい。

（3）教育方法の刷新

第三に、補習授業校の教育方法をバージョンアップするための支援が必要である。今回の調査では、教科書に沿って教師が知識を伝達する一斉授業という、古い日本の教育スタイルにとらわれ、苦しんでいる補習授業校が複数みられた。しかし、現代の日本の教育は、網羅的な知識の伝達から、自ら学び続ける力の育成へと大きく舵を切っている。すなわち、教師主導型の授業は、主体的・対話的で深い学びを促す学習活動へと生まれ変わろうとしているのである。

また、現在の日本では、国語に限らず、幅広い言語活動が推進されている。さらに、国内においても、日本語指導の必要な児童生徒が増えており、「特別の教育課程」が認められるようになるなど、JSL（Japanese as a Second Language）の指導方法もすすんでいる。こうした日本の現代的な教育のあり方を、補習授業校にも伝えていく必要がある。

これからの補習授業校は、海外での週末だけの授業で日本の学校と同じことをするという不可能に挑むよりも、むしろ、補習授業校だからこそできる学びへと転換していく必要がある。グローバルな資質能力の育成は、そのひとつのキーワードになっていこう。日本というルーツを共有する子どもたちが集まっていることを活かし、そうした子どもたちに、なるべくいっしょに長く楽しく学び続けてほしい。日本につながる仲間と一体感をもちながら、日本語で新しい世界を知り、自信をもって自分の意見や考えを発信することが、グローバル人材への第一歩といえよう。

第1部の調査では、アメリカで学ぶ子どもたちは、日本の同級生以上に、自分の意見や考えを発表するのが得意だと感じていることがわかっている。特に永住予定の子どもたちは、現地校で積極的に課題学習や話し合いに参加している。現地校で学ぶ子どもたちのよさを生かして、子どもたちを学習の中心に据えてみることも一案である。

たとえば、国語と社会科との合科的な授業として、子どもたちが今、住んでいる地域について調べて、それを日本語で発信する学習活動が考えられる。日本の教科書ではいくつかの都道府県が例として挙げられているが、海外で生まれ育ち、日本語や日本文化に触れる機会が限られている子どもたちにとって、日本の産業や歴史はイメージがしにくい。むしろ、子どもたちにとって身近に感じられる地域を取り上げることによって、地形や産業といった社会科に必要な語彙や概念とともに、レポートの書き方や発表の仕方といった国語でのスキルを、より効果的に学ぶことができる。さらに、テーマに沿って調べたり、みんなの前で発表したりといった、現地校で学ぶ子どもたちが得意な面を発揮させることによって、補習授業校では学力不振とみられがちな子どもを引き上げ、ともに学ぶ空間をつくりあげていくことができるであろう。

（4）教員研修

最後に、効率的・効果的な教員研修が求められている。補習授業校の教師は、多くの場合、週末だけの教師であり、日本での教員免許や教師経験のない者も少なくない。補習授業校に集合できる時間も限られている。したがって、DVDや遠隔システムなどのICTを活用しつつ、実践的な研修を提案していく必要がある。

今回の調査では、デジタル教科書やインターネットを使った調べ学習など、すでにICTを積極的に利用している補習授業校もあることがわかった。今後は、日本の情報を発信したり、在住地と日本とのあいだでコミュニケーションしたりするために、ICTをより積極的に活用していきたい。一例として、AG5では、各国の補習授業校における成果発信などのために前述のウェブサイトを開設し、世界中の補習授業校の教師が教案や教材を共有できる場所となるように、現在、内容の充実に努めている。

以上のような視点を中軸にしつつ、AG5では、補習授業校を、足りないものを補うだけの学校ではなく、グローバル社会で活躍する次世代を育てるフロンティアにしていきたい。

資料1 「補習授業校児童生徒に対する学習状況調査」 調査用紙

質問紙は A4 サイズで 8 ページの冊子とし、郵送により発送、学校ごとにまとめて郵送により回収した。

たいしやう ほしじゆがくせい さいせき
対象：補習授業校に在籍する
 しょうがくせい なんせい こうとうせい なんせい
小学部 5年生～高等部 3年生

ねんど もんぶかがくしやういたくじぎやう
2017年度 文部科学省委託事業
 ざいがいきやうしせつ こうどう じんざいいくせいきやうてんじぎやう
「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業」

がくしゆうじやうきやうちやう さ
学習状況調査

お ねが
 願 い

1. この調査は、学習や生活に関する態度や学校の授業の感想などについて、たずねるものです。
2. それぞれの質問をよく読んで、当てはまるものやあなたの考えに最も近いものを選び、マーク欄の数字に○をしてください。テストではありませんので、思ったままのことを答えてください。
3. HB または B の黒鉛筆・シャープペンシルを使ってください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
4. わからない問題があったら、おうちの方に相談してもかまいませんが、できるだけ自分自身で答えてください。
5. 全て答え終わりましたら、封筒に入れて締切日までに補習授業校へ提出をお願いします。名前を書く必要はありません。

よい例 <input type="radio"/> 男	悪い例 <input checked="" type="radio"/> 男	悪い例 <input type="radio"/> 男
○だけ書いてね	✕	枠からはみださないでね

公益財団法人
海外子女教育振興財団
 Japan Overseas Educational Services

0. はじめに

次の項目のうち、当てはまるものを1つずつ選んでください。

1. 性別

① 男 ② 女

2. 学年

① 小学5年生 ② 小学6年生 ③ 中学1年生 ④ 中学2年生 ⑤ 中学3年生 ⑥ 高校1年生 ⑦ 高校2年生 ⑧ 高校3年生

3. あなたの生まれた国はどこですか？

① 日本 ② 日本以外

4. これまでにアメリカ以外の国に住んだことがありますか？

① ある ② ない

5. あなたはこれまで日本に住んだことがありますか？

① ある ② ない

5-2. (①と答えた人へ) 何年間住んでいましたか？

① 1年未満 ② 1年以上3年未満 ③ 3年以上5年未満 ④ 5年以上

6. 補習授業校には何年生の時から通っていますか？

① 小学1～3年生 ② 小学4～6年生 ③ 中学1～3年生 ④ 高校生から

7. 一番得意な言葉は何ですか？

① 日本語 ② 英語 ③ それ以外の言葉

8. 将来的に日本へ帰国する予定ですか？それとも、アメリカにずっと住む予定ですか？

① 日本へ帰国する予定 ② アメリカにずっと住む予定 ③ わからない

1. あなた自身について

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか？
当てはまるものを1つずつ選んでください。

	当てはまる	当てはまる いえ、 どちらかと	当てはまる いえ、 どちらかと ない	当てはまる いえ、 どちらかと ない
Q1. 物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがある。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q2. 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q3. 自分にはよいところがあると思う。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q4. 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q5. 友達と話し合う時、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q6. 将来の夢や目標を持っている。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q7. 学校のきまりを守っている。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q8. 友達との約束を守っている。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q9. 人が困っているときは、進んで助けている。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q10. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q11. 人の役に立つ人間になりたいと思う。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q12. 人の気持ちがわかる人間になりたいと思う。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q13. 自分のことを大切な存在だと感じている。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q14. 将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思う。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q15. 将来、日本で仕事がしたい。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④
Q16. 将来、日本以外の国で仕事がしたい。	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④

Q17. あなたは、将来どんな職業に就きたいと思っていますか？最も就きたい職業を1つだけ選んでください。

① スポーツ選手	② 幼稚園・保育園の先生（保育士）	③ 看護師／介護福祉士	④ 獣医／動物飼育／ペット屋／トリマー
⑤ 医師／歯科医／薬剤師	⑥ 公務員	⑦ 会社員	⑧ 大学教授／科学者
⑨ 学校の先生	⑩ 建築士／設計士	⑪ 警察官／消防士／自衛官	⑫ コンピュータ関係（システム・エンジニア／ソフト開発など）
⑬ 理容師／美容師	⑭ パン屋／ケーキ屋（ケーキ職人／パティシエ）／花屋	⑮ 歌手／ミュージシャン／俳優／タレント／バンド／芸人／ダンサー	⑯ 作家／アニメ作家／まんが家／映画監督
⑰ 画家／デザイナー／写真家	⑱ コック／調理師／栄養士	⑲ 自動車整備士／自動車・電車などの運転士	⑳ 通訳／翻訳家
㉑ 音楽家／作曲家	㉒ 新聞記者／アナウンサー／キャスター／レポーター／テレビのディレクター	㉓ 弁護士／裁判官／検察官	㉔ パイロット／客室乗務員（フライトアテンダント）
㉕ 商店主など自営業者	㉖ その他	㉗ 店員／販売員／ウェ이터／ウェイトレス	

<この質問は中学部の方のみにお聞きします。→ 小学部の方はQ21へ。 高等部の方はQ19へ>

Q18. 卒業後の進路はどのような予定ですか？

① 日本の高校に進学する予定	② 現地の高校に進学する予定	③ インターナショナル・スクールへ進学する予定	④ その他
----------------	----------------	-------------------------	-------

<この質問は高等部の方のみにお聞きします。→ 中学部の方はQ21へ>

Q19. 高校まで補習授業校に通い続けているのは、どのような理由からですか？当てはまるものを全て選んでください。

① 友達に会えるから	② 授業が楽しいから	③ 日本の勉強をするのが好きだから	④ わかりやすく教えてもらえるから
⑤ 行事が楽しいから	⑥ 将来の役に立つと思うから	⑦ 親がすすめるから	⑧ その他

Q20. 卒業後の進路はどのような予定ですか？

① 日本の大学等に進学する予定	② アメリカの大学等に進学する予定	③ 日米以外の国の大学等に進学する予定	④ その他
-----------------	-------------------	---------------------	-------

2. 家の人や地域とのかかわりについて

次のことについて、当てはまるものを1つずつ選んでください。

	してよく している	時々 している	して あまり ない	して まったく ない
Q21. 家の人と学校での出来事について話をしますか？	①	②	③	④
Q22. 家の手伝いをしていますか？	①	②	③	④
Q23. 今住んでいる地域の行事に参加していますか？	①	②	③	④

Q24. 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか？

① 参加したことがある	② 参加したことがない	③ 分からない
-------------	-------------	---------

Q25. 今住んでいる地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか？

① ある	② どちらかといえばある	③ あまりない	④ まったくない
------	--------------	---------	----------

Q26. 今住んでいる地域で、クラブ活動、スポーツ活動に参加していますか？

① はい	② いいえ
------	-------

3. 日常生活について

次のことについて、当てはまるものを1つ選んでください。

Q27. あなたは毎日朝食を食べていますか？ ① はい ② いいえ

Q28. あなたは普段（月曜日から金曜日）、何時ごろに寝ますか？

<input type="radio"/> ① 午後9時より前	<input type="radio"/> ② 午後9時以降 午後10時より前	<input type="radio"/> ③ 午後10時以降 午後11時より前	<input type="radio"/> ④ 午後11時以降 午前0時より前	<input type="radio"/> ⑤ 午前0時以降
---------------------------------	--	---	--	--------------------------------

Q29. あなたは普段、日本語の新聞を読んでいますか？

<input type="radio"/> ① ほぼ毎日読んでいる	<input type="radio"/> ② 週に1～3回程度読んでいる	<input type="radio"/> ③ 月に1～3回程度読んでいる	<input type="radio"/> ④ ほとんど、または、全く読まない
-----------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---

Q30. あなたは普段、英語の新聞を読んでいますか？

<input type="radio"/> ① ほぼ毎日読んでいる	<input type="radio"/> ② 週に1～3回程度読んでいる	<input type="radio"/> ③ 月に1～3回程度読んでいる	<input type="radio"/> ④ ほとんど、または、全く読まない
-----------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---

Q31. あなたは普段、日本語のテレビのニュース番組やインターネットニュースを見ますか？
(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含みます)

<input type="radio"/> ① よく見る	<input type="radio"/> ② 時々見る	<input type="radio"/> ③ あまり見ない	<input type="radio"/> ④ ほとんど、または、全く見ない
------------------------------	------------------------------	--------------------------------	--

Q32. あなたは普段、英語のテレビのニュース番組やインターネットニュースを見ますか？
(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含みます)

<input type="radio"/> ① よく見る	<input type="radio"/> ② 時々見る	<input type="radio"/> ③ あまり見ない	<input type="radio"/> ④ ほとんど、または、全く見ない
------------------------------	------------------------------	--------------------------------	--

	4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	見ない・聞かない・ しない・持っていない
Q33. あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、日本語のテレビやDVD、 動画サイトなどを見たり、聞いたりしますか？	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	<input type="radio"/> ⑥
Q34. あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、英語のテレビやDVD、 動画サイトなどを見たり、聞いたりしますか？	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	<input type="radio"/> ⑥
Q35. あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか？ (コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを 使ったゲームも含みます)	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	<input type="radio"/> ⑥
Q36. あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで 通話やメール、インターネットをしますか？ (携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除きます)	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	<input type="radio"/> ⑥

次のことについて、当てはまるものを1つずつ選んでください。

	毎日読む	週に数回程度	月に数回程度	読まない
Q37. あなたは普段、日本語の本をどのくらい読みますか？(教科書やマンガは除きます)	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④
Q38. あなたは普段、日本語のマンガをどのくらい読みますか？	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④
Q39. あなたは普段、日本語以外(英語など)で書かれた本をどのくらい読みますか？(教科書やマンガは除きます)	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④

4. 家庭学習について

Q40. あなたは普段、学校の授業時間以外に、1週間当たりどれくらいの時間、補習授業校の勉強をしますか？
(学習塾で勉強している時間や、家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます)

① 3時間以上	② 2時間以上3時間未満	③ 1時間以上2時間未満
④ 30分以上1時間未満	⑤ 30分未満	⑥ 全くしない

あなたは、補習授業校の勉強について、家で次のようなことをしていますか？
当てはまるものを1つずつ選んでください。

	している	している しえらば	どららかと してない	あま りして ない	全く して ない
Q41. 自分で計画を立てて勉強している。	①	②	③	④	
Q42. 学校の宿題をしている。	①	②	③	④	
Q43. 学校の授業の予習をしている。	①	②	③	④	
Q44. 学校の授業の復習をしている。	①	②	③	④	
Q45. 予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している。	①	②	③	④	

Q46. あなたは普段、学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、現地校の勉強をしますか？
(学習塾で勉強している時間や、家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます)

① 3時間以上	② 2時間以上3時間未満	③ 1時間以上2時間未満
④ 30分以上1時間未満	⑤ 30分未満	⑥ 全くしない

Q47. あなたは日本の通信教育を受けていますか？

① はい	② いいえ	③ 前に受けていたが、やめた
------	-------	----------------

Q47-2. (③を選んだ人へ) やめた理由について、当てはまるものを全て選んでください。

① 時間がなかった	② 難しく過ぎた	③ 簡単過ぎた	④ つまらなかった	⑤ その他
-----------	----------	---------	-----------	-------

あなたは家庭教師についていますか？当てはまるものを1つずつ選んでください。

Q48. 日本の勉強または日本語の勉強をするための家庭教師

① ついていない	② 週1~2日	③ 週3~4日	④ 週5~6日	⑤ 毎日
----------	---------	---------	---------	------

Q48-2. (②~⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか？

① 1時間未満	② 1時間以上2時間未満	③ 2時間以上3時間未満	④ 3時間以上
---------	--------------	--------------	---------

Q49. アメリカの勉強または英語の勉強をするための家庭教師

① ついていない	② 週1~2日	③ 週3~4日	④ 週5~6日	⑤ 毎日
----------	---------	---------	---------	------

Q49-2. (②~⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか？

① 1時間未満	② 1時間以上2時間未満	③ 2時間以上3時間未満	④ 3時間以上
---------	--------------	--------------	---------

あなたは学習塾に通っていますか？当てはまるものを1つずつ選んでください。

Q50. 日本の学校の受験勉強をするための塾

① 通っていない	② 週1~2日	③ 週3~4日	④ 週5~6日	⑤ 毎日
----------	---------	---------	---------	------

Q50-2. (②~⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか？

① 1時間未満	② 1時間以上2時間未満	③ 2時間以上3時間未満	④ 3時間以上
---------	--------------	--------------	---------

Q51. 日本の教科書の勉強でよく分からない内容を補習するための塾

- ① 通っていない ② 週1～2日 ③ 週3～4日 ④ 週5～6日 ⑤ 毎日

Q51-2. (②～⑤を選んだ人へ)

一回の時間はどれくらいですか？

- ① 1時間未満 ② 1時間以上2時間未満 ③ 2時間以上3時間未満 ④ 3時間以上

Q52. アメリカの学校の受験勉強をするための塾

- ① 通っていない ② 週1～2日 ③ 週3～4日 ④ 週5～6日 ⑤ 毎日

Q52-2. (②～⑤を選んだ人へ)

一回の時間はどれくらいですか？

- ① 1時間未満 ② 1時間以上2時間未満 ③ 2時間以上3時間未満 ④ 3時間以上

Q53. アメリカの教科書の勉強でよく分からない内容を補習するための塾

- ① 通っていない ② 週1～2日 ③ 週3～4日 ④ 週5～6日 ⑤ 毎日

Q53-2. (②～⑤を選んだ人へ)

一回の時間はどれくらいですか？

- ① 1時間未満 ② 1時間以上2時間未満 ③ 2時間以上3時間未満 ④ 3時間以上

5. 補習授業校について

あなたは、補習授業校での学校生活について、どのように思っていますか？
当てはまるものを1つずつ選んでください。

	そう思う	やや思う	どちらでもない	やや思わない	そう思わない
Q54. 補習授業校に行くのが楽しみです。	①	②	③	④	
Q55. 友達に会うのは楽しい。	①	②	③	④	
Q56. 好きな授業がある。	①	②	③	④	
Q57. あなたの学級（クラス）では、(学級会などの時間に) 友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思う。	①	②	③	④	
Q58. (学級会などの話し合いの活動で) 自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。	①	②	③	④	
Q59. 学級（クラス）みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。	①	②	③	④	
Q60. 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	①	②	③	④	
Q61. 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。	①	②	③	④	

Q62. 補習授業校の授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか？

- ① その場で先生に尋ねる ② 授業後に先生に尋ねるに行く ③ 友達に尋ねる ④ 家の人に尋ねる
⑤ 学習塾の先生（家庭教師の先生も含まれます）に尋ねる ⑥ 自分で調べる ⑦ そのままにしておく

Q63. 仲の良い友達は何人くらいいますか？

- ① 1～5人 ② 6～10人 ③ 10人以上 ④ 仲の良い友達はいない



Q64. これまでに補習授業校をやめたいと思ったことはありますか？

① よくある	② 少しある	③ ほとんどない	④ ない
--------	--------	----------	------

Q64-2. (①・②を選んだ人へ)

それはなぜですか？当てはまるものを全て選んでください。

① 友達がいらないから	② 日本語がわからないから	③ 授業がわからないから	④ 土曜日に他のことがしたいから
⑤ 土曜日に遊べないから	⑥ 宿題がたくさんあるから	⑦ つまらないから	⑧ その他

補習授業校の国語の授業について、どのように思っていますか？
当てはまるものを1つずつ選んでください。

	当てはまる	当てはまる いえ、 どちらかと	当てはまる いえ、 どちらかと	当てはまる い
Q65. 補習授業校の国語の授業は楽しい。	①	②	③	④
Q66. 国語の勉強は好きだ。	①	②	③	④
Q67. 国語の勉強は大切だ。	①	②	③	④
Q68. 国語の授業はよくわかる。	①	②	③	④

Q68-2. (①・②を選んだ人へ)

なぜよくわかると思いますか？当てはまるものを全て選んでください。

① 家でよく勉強しているから	② 先生の教え方がわかりやすいから	③ 友達と一緒に勉強できるから
④ おうちの人に教えてもらっているから	⑤ 塾で勉強しているから	⑥ その他

Q69. 日本語の本を読むのは好きだ。	①	②	③	④
Q70. 国語の授業で学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと思う。	①	②	③	④
Q71. 漢字のテストが好きだ。	①	②	③	④

補習授業校の算数/数学の授業について、どのように思っていますか？
当てはまるものを1つずつ選んでください。

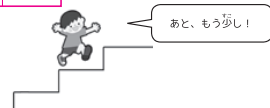
	当てはまる	当てはまる いえ、 どちらかと	当てはまる いえ、 どちらかと	当てはまる い
Q72. 補習授業校の算数/数学の授業は楽しい。	①	②	③	④
Q73. 算数/数学の勉強は好きだ。	①	②	③	④
Q74. 算数/数学の勉強は大切だ。	①	②	③	④
Q75. 算数/数学の授業はよくわかる。	①	②	③	④

Q75-2. (①・②を選んだ人へ)

なぜよくわかると思いますか？当てはまるものを全て選んでください。

① 家でよく勉強しているから	② 先生の教え方がわかりやすいから	③ 友達と一緒に勉強できるから
④ おうちの人に教えてもらっているから	⑤ 塾で勉強しているから	⑥ その他

Q76. 文章題は好きだ。	①	②	③	④
Q77. 算数/数学の授業で学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと思う。	①	②	③	④
Q78. 計算のドリルが好きだ。	①	②	③	④



6. 現地校 (またはインターナショナルスクール等) について

あなたは、現地校の学校生活について、どのように思っていますか？
当てはまるものを1つずつ選んでください。

	そう思う	そう思う いえは、 どちらかと	どちらかと いえは、 そう思わない	そう思わない
Q79. 現地校に行くのが楽しみだ。	①	②	③	④
Q80. 友達に会うのは楽しい。	①	②	③	④
Q81. 好きな授業がある。	①	②	③	④
Q82. あなたの学級 (クラス) では、(学級会などの時間に) 友達同士で話し合っで学級のきまりなどを決めていると思う。	①	②	③	④
Q83. (学級会などの話し合いの活動で) 自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。	①	②	③	④
Q84. 学級 (クラス) みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。	①	②	③	④
Q85. 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	①	②	③	④
Q86. 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。	①	②	③	④

Q87. 現地校 (またはインターナショナルスクール等) の授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか？

① その場で先生に尋ねる	② 授業後に先生に尋ねに行く	③ 友達に尋ねる	④ 家の人に尋ねる
⑤ 学習塾の先生 (家庭教師の先生も含みます) に尋ねる	⑥ 自分で調べる	⑦ そのままにしておく	

Q88. 現地校 (またはインターナショナルスクール等) に仲の良い友達は何人くらいいますか？

① 1~5人	② 6~10人	③ 10人以上	④ 仲の良い友達はいない
--------	---------	---------	--------------

あなたがこれまでに受けた現地校での授業について、次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか？
当てはまるものを1つずつ選んでください。

	当てはまる	当てはまる いえは、 どちらかと	どちらかと いえは、 当てはまらない	当てはまらない
Q89. 授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う。	①	②	③	④
Q90. 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。	①	②	③	④
Q91. 授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う。	①	②	③	④
Q92. 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う。	①	②	③	④
Q93. 授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う。	①	②	③	④
Q94. 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う。	①	②	③	④
Q95. 授業の中で目標 (めあて・ねらい) が示されていたと思う。	①	②	③	④
Q96. 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。	①	②	③	④
Q97. 授業で扱うノートには、学習の目標 (めあて・ねらい) とまとめを書いていたと思う。	①	②	③	④



資料 2 「補習授業校児童生徒に対する学習状況調査」 単純集計

● 調査協力校一覧

No	補習授業校名	
1	サンフランシスコ	18
2	ロサンゼルス	19
3	シアトル	20
4	デトロイト	21
5	ワシントン	22
6	コロンバス (OH)	23
7	シカゴ	24
8	ニューヨーク	25
9	アトランタ	26
10	ヒューストン	27
11	ダラス	28
12	西大和学園	29
13	ニュージャージー	30
14	ボストン	31
15	サンディエゴ	32
16	シンシナティ	33
17	インディアナ	34
	プリントン	35
	セントラルケンタッキー	36
	中部テネシー	37
	シャーロット	38
	ローリー	39
	アリゾナ学園	40
	ポート・オブ・サクラメント	41
	グアム	42
	フィラデルフィア	43
	オースチン	44
	オーランド	45
	南インディアナ	46
	セントルイス	47
	サウスカロライナ	48
	クリーブランド	49
	デンバー	
	バーミングハム	
	グリーンビル	
	ユタ	
	バッファロー	
	リッチモンド (VA)	
	ハートフォード	
	エルパソ	
	マッカーレン	
	ハンツビル	
	グレートールイビル	
	グロスマンアカデミー	
	バトンルージュ	
	グランドラピッズ	
	ジャクソンビル	
	コロンバス (GA)	
	リトルロック	

0. はじめに

F1 性別 (SA) * SA= 単回答、MA= 複数回答を示す

「除不」= 無回答を除いた件数 (表中では%)。本調査では原則としてこの数字を用いて分析を行った。

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	男	1,747	45.7	46.0
2	女	2,050	53.6	54.0
	不明・無回答	29	0.8	
	全体	3,826	100.0	3,797

F2 学年 (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	小学5年生	934	24.4	24.6
2	小学6年生	840	22.0	22.1
3	中学1年生	666	17.4	17.5
4	中学2年生	551	14.4	14.5
5	中学3年生	393	10.3	10.3
6	高校1年生	205	5.4	5.4
7	高校2年生	168	4.4	4.4
8	高校3年生	42	1.1	1.1
	不明・無回答	27	0.7	
	全体	3,826	100.0	3,799

F3 生まれた国 (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	日本	1,975	51.6	51.9
2	日本以外	1,829	47.8	48.1
	不明・無回答	22	0.6	
	全体	3,826	100.0	3,804

F4 アメリカ以外での居住有無 (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	ある	1,469	38.4	38.8
2	ない	2,317	60.6	61.2
	不明・無回答	40	1.0	
	全体	3,826	100.0	3,786

F5 日本での居住有無 (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	ある	2,462	64.3	65.1
2	ない	1,317	34.4	34.9
	不明・無回答	47	1.2	
	全体	3,826	100.0	3,779

F5-2 日本での居住期間 (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	1年未満	303	7.9	12.2
2	1年以上3年未満	304	7.9	12.3
3	3年以上5年未満	315	8.2	12.7
4	5年以上	1,558	40.7	62.8
	不明・無回答	1,346	35.2	
	全体	3,826	100.0	2,480

F6 補習授業校に通い始めた時期 (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	小学1～3年生	2,343	61.2	62.4
2	小学4～6年生	901	23.5	24.0
3	中学1～3年生	445	11.6	11.9
4	高校生から	63	1.6	1.7
	不明・無回答	74	1.9	
	全体	3,826	100.0	3,752

F7 一番得意な言語 (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	日本語	2,070	54.1	55.4
2	英語	1,651	43.2	44.2
3	それ以外の言葉	15	0.4	0.4
	不明・無回答	90	2.4	
	全体	3,826	100.0	3,736

F8 帰国・永久予定の別 (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	日本へ帰国する予定	1,675	43.8	44.3
2	アメリカに永住予定	740	19.3	19.6
3	わからない	1,364	35.7	36.1
	不明・無回答	47	1.2	
	全体	3,826	100.0	3,779

1. あなた自身について

Q1. 物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがある。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	2,713	70.9	71.3
2	どちらかといえば、当てはまる	922	24.1	24.2
3	どちらかといえば、当てはまらない	136	3.6	3.6
4	当てはまらない	34	0.9	0.9
	不明・無回答	21	0.5	
	全体	3,826	100.0	3,805

Q2. 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,075	28.1	28.3
2	どちらかといえば、当てはまる	1,781	46.5	46.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	801	20.9	21.1
4	当てはまらない	148	3.9	3.9
	不明・無回答	21	0.5	
	全体	3,826	100.0	3,805

Q3. 自分にはよいところがあると思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	2,222	58.1	58.5
2	どちらかといえば、当てはまる	1,203	31.4	31.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	270	7.1	7.1
4	当てはまらない	106	2.8	2.8
	不明・無回答	25	0.7	
	全体	3,826	100.0	3,801

Q4. 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,377	36.0	36.2
2	どちらかといえば、当てはまる	1,296	33.9	34.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	798	20.9	21.0
4	当てはまらない	329	8.6	8.7
	不明・無回答	26	0.7	
	全体	3,826	100.0	3,800

Q5. 友達と話し合う時、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	2,416	63.1	63.5
2	どちらかといえば、当てはまる	1,155	30.2	30.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	201	5.3	5.3
4	当てはまらない	32	0.8	0.8
	不明・無回答	22	0.6	
	全体	3,826	100.0	3,804

Q6. 将来の夢や目標を持っている。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,883	49.2	49.5
2	どちらかといえば、当てはまる	997	26.1	26.2
3	どちらかといえば、当てはまらない	618	16.2	16.2
4	当てはまらない	307	8.0	8.1
	不明・無回答	21	0.5	
	全体	3,826	100.0	3,805

Q7. 学校のきまりを守っている。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	2,388	62.4	62.7
2	どちらかといえば、当てはまる	1,200	31.4	31.5
3	どちらかといえば、当てはまらない	185	4.8	4.9
4	当てはまらない	37	1.0	1.0
	不明・無回答	16	0.4	
	全体	3,826	100.0	3,810

Q8. 友達との約束を守っている。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	2,811	73.5	73.9
2	どちらかといえば、当てはまる	925	24.2	24.3
3	どちらかといえば、当てはまらない	51	1.3	1.3
4	当てはまらない	18	0.5	0.5
	不明・無回答	21	0.5	
	全体	3,826	100.0	3,805

Q9. 人が困っているときは、進んで助けている。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,731	45.2	45.5
2	どちらかといえば、当てはまる	1,757	45.9	46.2
3	どちらかといえば、当てはまらない	286	7.5	7.5
4	当てはまらない	33	0.9	0.9
	不明・無回答	19	0.5	
	全体	3,826	100.0	3,807

Q10. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	3,135	81.9	82.4
2	どちらかといえば、当てはまる	547	14.3	14.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	91	2.4	2.4
4	当てはまらない	31	0.8	0.8
	不明・無回答	22	0.6	
	全体	3,826	100.0	3,804

Q11. 人の役に立つ人間になりたいと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	2,750	71.9	72.2
2	どちらかといえば、当てはまる	888	23.2	23.3
3	どちらかといえば、当てはまらない	135	3.5	3.5
4	当てはまらない	35	0.9	0.9
	不明・無回答	18	0.5	
	全体	3,826	100.0	3,808

Q12. 人の気持ちがわかる人間になりたいと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	2,847	74.4	74.8
2	どちらかといえば、当てはまる	810	21.2	21.3
3	どちらかといえば、当てはまらない	115	3.0	3.0
4	当てはまらない	33	0.9	0.9
	不明・無回答	21	0.5	
	全体	3,826	100.0	3,805

Q13. 自分のことを大切な存在だと感じている。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,785	46.7	47.0
2	どちらかといえば、当てはまる	1,398	36.5	36.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	470	12.3	12.4
4	当てはまらない	143	3.7	3.8
	不明・無回答	30	0.8	
	全体	3,826	100.0	3,796

Q14. 将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	2,221	58.1	58.6
2	どちらかといえば、当てはまる	1,196	31.3	31.5
3	どちらかといえば、当てはまらない	308	8.1	8.1
4	当てはまらない	66	1.7	1.7
	不明・無回答	35	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,791

Q15. 将来、日本で仕事がしたい。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,234	32.3	32.6
2	どちらかといえば、当てはまる	1,114	29.1	29.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	977	25.5	25.8
4	当てはまらない	465	12.2	12.3
	不明・無回答	36	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,790

Q16. 将来、日本以外の国で仕事がしたい。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,027	26.8	27.1
2	どちらかといえば、当てはまる	1,386	36.2	36.5
3	どちらかといえば、当てはまらない	807	21.1	21.3
4	当てはまらない	576	15.1	15.2
	不明・無回答	30	0.8	
	全体	3,826	100.0	3,796

Q17. あなたは、将来どんな職業に就きたいと思っていますか？最も就きたい職業を1つだけ選んでください。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	スポーツ選手	423	11.1	11.4
2	幼稚園・保育園の先生（保育士）	74	1.9	2.0
3	看護師／介護福祉士	58	1.5	1.6
4	獣医／動物飼育／ペット屋／トリマー	178	4.7	4.8
5	医師／歯科医／薬剤師	343	9.0	9.3
6	公務員	41	1.1	1.1
7	会社員	162	4.2	4.4
8	大学教授／科学者	153	4.0	4.1
9	学校の先生	134	3.5	3.6
10	建築士／設計士	112	2.9	3.0
11	警察官／消防士／自衛官	50	1.3	1.4
12	コンピュータ関係	412	10.8	11.1
13	理容師／美容師	30	0.8	0.8
14	パン屋／ケーキ屋（ケーキ職人／パティシエ）／花屋	61	1.6	1.7

15	歌手/ミュージシャン/俳優/タレント/バンド/芸人/ダンサー	212	5.5	5.7
16	作家/アニメ作家/まんが家/映画監督	159	4.2	4.3
17	画家/デザイナー/写真家	167	4.4	4.5
18	コック/調理師/栄養士	32	0.8	0.9
19	自動車整備士/自動車・電車などの運転士	23	0.6	0.6
20	音楽家/作曲家	49	1.3	1.3
21	新聞記者/アナウンサー/キャスター/レポーター/テレビのディレクター	40	1.0	1.1
22	通訳/翻訳家	92	2.4	2.5
23	弁護士/裁判官/検察官	80	2.1	2.2
24	パイロット/客室乗務員(フライトアテンダント)	89	2.3	2.4
25	店員/販売員/ウェ이터/ウェイトレス	16	0.4	0.4
26	商店主など自営業者	25	0.7	0.7
27	その他	481	12.6	13.0
	不明・無回答	130	3.4	
	全体	3,826	100.0	3,696

Q18. 卒業後の進路はどのような予定ですか？ (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	日本の高校に進学する予定	407	10.6	25.9
2	現地の高校に進学する予定	1,050	27.4	66.8
3	インターナショナル・スクールへ進学する予定	23	0.6	1.5
4	その他	91	2.4	5.8
	不明・無回答	2,255	58.9	
	全体	3,826	100.0	1,571

Q19. 高校まで補習授業校に通い続けているのは、どのような理由からですか？当てはまるものを全て選んでください。(MA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	友達に会えるから	273	7.1	65.8
2	授業が楽しいから	94	2.5	22.7
3	日本の勉強をするのが好きだから	100	2.6	24.1
4	わかりやすく教えてもらえるから	56	1.5	13.5
5	行事が楽しいから	121	3.2	29.2
6	将来の役に立つと思うから	278	7.3	67.0
7	親がすすめるから	158	4.1	38.1
8	その他	42	1.1	10.1
	不明・無回答	3,411	89.2	
	全体	3,826	100.0	415

Q20. 卒業後の進路はどのような予定ですか？ (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	日本の大学等に進学する予定	199	5.2	50.5
2	アメリカの大学等に進学する予定	168	4.4	42.6
3	日米以外の国の大学等に進学する予定	3	0.1	0.8
4	その他	24	0.6	6.1
	不明・無回答	3,432	89.7	
	全体	3,826	100.0	394

2. 家の人や地域のかかわりについて

Q21. 家の人と学校での出来事について話をしますか？ (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	よくしている	1,942	50.8	51.1
2	時々している	1,401	36.6	36.9
3	あまりしていない	391	10.2	10.3
4	まったくしていない	65	1.7	1.7
	不明・無回答	27	0.7	
	全体	3,826	100.0	3,799

Q22. 家の手伝いをしていますか？ (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	よくしている	879	23.0	23.1
2	時々している	1,886	49.3	49.6
3	あまりしていない	885	23.1	23.3
4	まったくしていない	151	3.9	4.0
	不明・無回答	25	0.7	
	全体	3,826	100.0	3,801

Q23. 今住んでいる地域の行事に参加していますか？ (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	よくしている	657	17.2	17.3
2	時々している	1,309	34.2	34.5
3	あまりしていない	1,172	30.6	30.9
4	まったくしていない	652	17.0	17.2
	不明・無回答	36	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,790

Q24. 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか？ (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	参加したことがある	1,863	48.7	49.1
2	参加したことがない	1,308	34.2	34.5
3	分からない	620	16.2	16.4
	不明・無回答	35	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,791

Q25. 今住んでいる地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか？ (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	ある	1,107	28.9	29.1
2	どちらかといえばある	1,496	39.1	39.4
3	あまりない	984	25.7	25.9
4	まったくない	212	5.5	5.6
	不明・無回答	27	0.7	
	全体	3,826	100.0	3,799

Q26. 今住んでいる地域で、クラブ活動、スポーツ活動に参加していますか？ (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	はい	2,702	70.6	71.3
2	いいえ	1,085	28.4	28.7
	不明・無回答	39	1.0	
	全体	3,826	100.0	3,787

3. 日常生活について

Q27. あなたは毎日朝食を食べていますか？ (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	はい	3,406	89.0	90.2
2	いいえ	369	9.6	9.8
	不明・無回答	51	1.3	
	全体	3,826	100.0	3,775

Q28. あなたは普段 (月曜日から金曜日)、何時ごろに寝ますか？ (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	午後 9 時より前	177	4.6	4.7
2	午後 9 時以降午後 10 時より前	1,321	34.5	34.8
3	午後 10 時以降午後 11 時より前	1,373	35.9	36.2
4	午後 11 時以降午前 0 時より前	674	17.6	17.8
5	午前 0 時以降	248	6.5	6.5
	不明・無回答	33	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,793

Q29. あなたは普段日本語の新聞を読んでいますか？ (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	ほぼ毎日読んでいる	43	1.1	1.1
2	週に 1 ~ 3 回程度読んでいる	173	4.5	4.6
3	月に 1 ~ 3 回程度読んでいる	273	7.1	7.2
4	ほとんど、または、全く読まない	3,302	86.3	87.1
	不明・無回答	35	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,791

Q30. あなたは普段英語の新聞を読んでいますか？ (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	ほぼ毎日読んでいる	113	3.0	3.0
2	週に 1 ~ 3 回程度読んでいる	245	6.4	6.5
3	月に 1 ~ 3 回程度読んでいる	391	10.2	10.3
4	ほとんど、または、全く読まない	3,043	79.5	80.2
	不明・無回答	34	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,792

Q31. あなたは普段日本語のテレビのニュース番組やインターネットニュースを見ますか？ (携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含みます) (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	よく見る	1,181	30.9	31.1
2	時々見る	1,080	28.2	28.5
3	あまり見ない	656	17.1	17.3
4	ほとんど、または、全く見ない	879	23.0	23.2
	不明・無回答	30	0.8	
	全体	3,826	100.0	3,796

Q32. あなたは普段英語のテレビのニュース番組やインターネットニュースを見ますか？ (携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含みます) (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	よく見る	1,014	26.5	26.7
2	時々見る	1,150	30.1	30.3
3	あまり見ない	776	20.3	20.4
4	ほとんど、または、全く見ない	858	22.4	22.6
	不明・無回答	28	0.7	
	全体	3,826	100.0	3,798

Q33. あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、日本語のテレビやDVD、動画サイトなどを見たり、聞いたりしますか？(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	4時間以上	254	6.6	6.7
2	3時間以上 4時間未満	220	5.8	5.8
3	2時間以上 3時間未満	483	12.6	12.7
4	1時間以上 2時間未満	903	23.6	23.8
5	1時間未満	1,410	36.9	37.1
6	全くない(見ない・聞かない・しない・持っていない)	529	13.8	13.9
	不明・無回答	27	0.7	
	全体	3,826	100.0	3,799

Q34. あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、英語のテレビやDVD、動画サイトなどを見たり、聞いたりしますか？(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	4時間以上	129	3.4	3.4
2	3時間以上 4時間未満	131	3.4	3.5
3	2時間以上 3時間未満	386	10.1	10.2
4	1時間以上 2時間未満	879	23.0	23.2
5	1時間未満	1,651	43.2	43.5
6	全くない(見ない・聞かない・しない・持っていない)	619	16.2	16.3
	不明・無回答	31	0.8	
	全体	3,826	100.0	3,795

Q35. あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか？(コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます)(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	4時間以上	144	3.8	3.8
2	3時間以上 4時間未満	144	3.8	3.8
3	2時間以上 3時間未満	335	8.8	8.8
4	1時間以上 2時間未満	775	20.3	20.4
5	1時間未満	1,433	37.5	37.8
6	全くない(見ない・聞かない・しない・持っていない)	962	25.1	25.4
	不明・無回答	33	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,793

Q36. あなたは普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか？(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除きます)(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	4時間以上	338	8.8	8.9
2	3時間以上 4時間未満	228	6.0	6.0
3	2時間以上 3時間未満	463	12.1	12.2
4	1時間以上 2時間未満	675	17.6	17.8
5	1時間未満	1,339	35.0	35.3
6	全くない(見ない・聞かない・しない・持っていない)	748	19.6	19.7
	不明・無回答	35	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,791

Q37. あなたは普段、日本語の本をどのくらい読みますか？(教科書やマンガは除きます)(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	毎日読む	554	14.5	14.6
2	週に数回程度	1,005	26.3	26.5
3	月に数回程度	1,221	31.9	32.2
4	読まない	1,008	26.3	26.6
	不明・無回答	38	1.0	
	全体	3,826	100.0	3,788

Q38. あなたは普段、日本語のマンガをどのくらい読みますか？ (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	毎日読む	719	18.8	19.0
2	週に数回程度	1,014	26.5	26.8
3	月に数回程度	1,027	26.8	27.1
4	読まない	1,027	26.8	27.1
	不明・無回答	39	1.0	
	全体	3,826	100.0	3,787

Q39. あなたは普段、日本語以外（英語など）で書かれた本をどのくらい読みますか？（教科書やマンガは除きます） (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	毎日読む	1,452	38.0	38.3
2	週に数回程度	1,109	29.0	29.2
3	月に数回程度	791	20.7	20.9
4	読まない	440	11.5	11.6
	不明・無回答	34	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,792

4. 家庭学習について

Q40. あなたは普段、学校の授業時間以外に、1週間当たりどれくらいの時間、補習授業校の勉強をしますか？（学習塾で勉強している時間や、家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます） (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	3時間以上	1,061	27.7	28.0
2	2時間以上3時間未満	842	22.0	22.2
3	1時間以上2時間未満	949	24.8	25.1
4	30分以上1時間未満	526	13.7	13.9
5	30分未満	278	7.3	7.3
6	全くしない	131	3.4	3.5
	不明・無回答	39	1.0	
	全体	3,826	100.0	3,787

Q41. 自分で計画を立てて勉強している。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	している	916	23.9	24.1
2	どちらかといえば、している	1,176	30.7	31.0
3	あまりしていない	1,171	30.6	30.9
4	全くしていない	532	13.9	14.0
	不明・無回答	31	0.8	
	全体	3,826	100.0	3,795

Q42. 学校の宿題をしている。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	している	2,977	77.8	78.5
2	どちらかといえば、している	582	15.2	15.3
3	あまりしていない	186	4.9	4.9
4	全くしていない	48	1.3	1.3
	不明・無回答	33	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,793

Q43. 学校の授業の予習をしている。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	している	459	12.0	12.1
2	どちらかといえば、している	813	21.2	21.5
3	あまりしていない	1,402	36.6	37.0
4	全くしていない	1,112	29.1	29.4
	不明・無回答	40	1.0	
	全体	3,826	100.0	3,786

Q44. 学校の授業の復習をしている。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	している	580	15.2	15.3
2	どちらかといえば、している	1,064	27.8	28.1
3	あまりしていない	1,362	35.6	36.0
4	全くしていない	776	20.3	20.5
	不明・無回答	44	1.2	
	全体	3,826	100.0	3,782

Q45. 予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	している	1,196	31.3	31.6
2	どちらかといえば、している	1,135	29.7	30.0
3	あまりしていない	873	22.8	23.1
4	全くしていない	579	15.1	15.3
	不明・無回答	43	1.1	
	全体	3,826	100.0	3,783

Q46. あなたは普段、学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、現地校の勉強をしますか？
(学習塾で勉強している時間や、家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます)(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	3時間以上	624	16.3	16.5
2	2時間以上3時間未満	730	19.1	19.3
3	1時間以上2時間未満	1,146	30.0	30.3
4	30分以上1時間未満	776	20.3	20.5
5	30分未満	449	11.7	11.9
6	全くしない	60	1.6	1.6
	不明・無回答	41	1.1	
	全体	3,826	100.0	3,785

Q47. あなたは日本の通信教育を受けていますか？(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	はい	697	18.2	18.4
2	いいえ	2,543	66.5	67.3
3	前に受けていたが、やめた	538	14.1	14.2
	不明・無回答	48	1.3	
	全体	3,826	100.0	3,778

Q47-2. (③を選んだ人へ) やめた理由について、当てはまるものを全て選んでください。(MA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	時間がなかった	318	8.3	54.3
2	難し過ぎた	40	1.0	6.8
3	簡単過ぎた	37	1.0	6.3
4	つまらなかった	109	2.8	18.6
5	その他	184	4.8	31.4
	不明・無回答	3,240	84.7	
	全体	3,826	100.0	586

Q48. 日本の勉強または日本語の勉強をするための家庭教師 (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	ついていない	3,525	92.1	93.8
2	週1～2日	191	5.0	5.1
3	週3～4日	29	0.8	0.8
4	週5～6日	5	0.1	0.1
5	毎日	6	0.2	0.2
	不明・無回答	70	1.8	
	全体	3,826	100.0	3,756

Q48-2. (②～⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか? (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	1時間未満	59	1.5	22.9
2	1時間以上2時間未満	164	4.3	63.6
3	2時間以上3時間未満	26	0.7	10.1
4	3時間以上	9	0.2	3.5
	不明・無回答	3,568	93.3	
	全体	3,826	100.0	258

Q49. アメリカの勉強または英語の勉強をするための家庭教師 (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	ついていない	2,739	71.6	74.3
2	週1～2日	844	22.1	22.9
3	週3～4日	67	1.8	1.8
4	週5～6日	20	0.5	0.5
5	毎日	15	0.4	0.4
	不明・無回答	141	3.7	
	全体	3,826	100.0	3,685

Q49-2. (②～⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか? (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	1時間未満	246	6.4	25.7
2	1時間以上2時間未満	648	16.9	67.8
3	2時間以上3時間未満	52	1.4	5.4
4	3時間以上	10	0.3	1.0
	不明・無回答	2,870	75.0	
	全体	3,826	100.0	956

Q50. 日本の学校の受験勉強をするための塾（SA）

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	通っていない	3,468	90.6	92.1
2	週1～2日	271	7.1	7.2
3	週3～4日	19	0.5	0.5
4	週5～6日	2	0.1	0.1
5	毎日	5	0.1	0.1
	不明・無回答	61	1.6	
	全体	3,826	100.0	3,765

Q50-2. (②～⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか？（SA）

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	1時間未満	43	1.1	13.9
2	1時間以上2時間未満	163	4.3	52.6
3	2時間以上3時間未満	68	1.8	21.9
4	3時間以上	36	0.9	11.6
	不明・無回答	3,516	91.9	
	全体	3,826	100.0	310

Q51. 日本の教科書の勉強でよく分からない内容を補習するための塾（SA）

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	通っていない	3,526	92.2	96.7
2	週1～2日	105	2.7	2.9
3	週3～4日	10	0.3	0.3
4	週5～6日	2	0.1	0.1
5	毎日	4	0.1	0.1
	不明・無回答	179	4.7	
	全体	3,826	100.0	3,647

Q51-2. (②～⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか？（SA）

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	1時間未満	30	0.8	21.9
2	1時間以上2時間未満	80	2.1	58.4
3	2時間以上3時間未満	13	0.3	9.5
4	3時間以上	14	0.4	10.2
	不明・無回答	3,689	96.4	
	全体	3,826	100.0	137

Q52. アメリカの学校の受験勉強をするための塾（SA）

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	通っていない	3,474	90.8	95.2
2	週1～2日	144	3.8	3.9
3	週3～4日	21	0.5	0.6
4	週5～6日	8	0.2	0.2
5	毎日	4	0.1	0.1
	不明・無回答	175	4.6	
	全体	3,826	100.0	3,651

Q52-2. (②～⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか? (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	1 時間未満	46	1.2	24.2
2	1 時間以上 2 時間未満	90	2.4	47.4
3	2 時間以上 3 時間未満	37	1.0	19.5
4	3 時間以上	17	0.4	8.9
	不明・無回答	3,636	95.0	
	全体	3,826	100.0	190

Q53. アメリカの教科書の勉強でよく分からない内容を補習するための塾 (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	通っていない	3,421	89.4	93.7
2	週 1～2 日	195	5.1	5.3
3	週 3～4 日	24	0.6	0.7
4	週 5～6 日	8	0.2	0.2
5	毎日	4	0.1	0.1
	不明・無回答	174	4.5	
	全体	3,826	100.0	3,652

Q53-2. (②～⑤を選んだ人へ) 一回の時間はどれくらいですか? (SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	1 時間未満	67	1.8	27.5
2	1 時間以上 2 時間未満	148	3.9	60.7
3	2 時間以上 3 時間未満	22	0.6	9.0
4	3 時間以上	7	0.2	2.9
	不明・無回答	3,582	93.6	
	全体	3,826	100.0	244

5. 補習授業校について

Q54. 補習授業校に行くのが楽しみだ。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	1,302	34.0	34.6
2	どちらかといえば、そう思う	1,369	35.8	36.3
3	どちらかといえば、そう思わない	696	18.2	18.5
4	そう思わない	401	10.5	10.6
	不明・無回答	58	1.5	
	全体	3,826	100.0	3,768

Q55. 友達に会うのは楽しい。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	2,992	78.2	79.5
2	どちらかといえば、そう思う	584	15.3	15.5
3	どちらかといえば、そう思わない	119	3.1	3.2
4	そう思わない	70	1.8	1.9
	不明・無回答	61	1.6	
	全体	3,826	100.0	3,765

Q56. 好きな授業がある。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	1,645	43.0	43.9
2	どちらかといえば、そう思う	1,073	28.0	28.6
3	どちらかといえば、そう思わない	635	16.6	17.0
4	そう思わない	393	10.3	10.5
	不明・無回答	80	2.1	
	全体	3,826	100.0	3,746

Q57. あなたの学級（クラス）では、（学級会などの時間に）友達同士で話し合っただけで学級のきまりなどを決めていると思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	848	22.2	22.7
2	どちらかといえば、そう思う	1,256	32.8	33.7
3	どちらかといえば、そう思わない	864	22.6	23.2
4	そう思わない	763	19.9	20.5
	不明・無回答	95	2.5	
	全体	3,826	100.0	3,731

Q58. (学級会などの話し合いの活動で) 自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	819	21.4	22.0
2	どちらかといえば、そう思う	1,419	37.1	38.0
3	どちらかといえば、そう思わない	899	23.5	24.1
4	そう思わない	594	15.5	15.9
	不明・無回答	95	2.5	
	全体	3,826	100.0	3,731

Q59. 学級（クラス）みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	1,629	42.6	43.4
2	どちらかといえば、そう思う	1,204	31.5	32.1
3	どちらかといえば、そう思わない	587	15.3	15.7
4	そう思わない	330	8.6	8.8
	不明・無回答	76	2.0	
	全体	3,826	100.0	3,750

Q60. 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	1,788	46.7	47.8
2	どちらかといえば、そう思う	1,435	37.5	38.4
3	どちらかといえば、そう思わない	344	9.0	9.2
4	そう思わない	171	4.5	4.6
	不明・無回答	88	2.3	
	全体	3,826	100.0	3,738

Q61. 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	1,538	40.2	41.0
2	どちらかといえば、そう思う	1,332	34.8	35.5
3	どちらかといえば、そう思わない	593	15.5	15.8
4	そう思わない	284	7.4	7.6
	不明・無回答	79	2.1	
	全体	3,826	100.0	3,747

Q62. 補習授業校の授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか？(MA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	その場で先生に尋ねる	1,147	30.0	30.5
2	授業後に先生に尋ねに行く	351	9.2	9.3
3	友達に尋ねる	814	21.3	21.7
4	家の人に尋ねる	1,198	31.3	31.9
5	学習塾の先生(家庭教師の先生も含みます)に尋ねる	74	1.9	2.0
6	自分で調べる	454	11.9	12.1
7	そのままにしておく	225	5.9	6.0
	不明・無回答	70	1.8	
	全体	3,826	100.0	3,756

Q63. 仲の良い友達は何人くらいいますか？(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	1～5人	1,319	34.5	35.1
2	6～10人	1,039	27.2	27.7
3	10人以上	1,313	34.3	35.0
4	仲の良い友達はいない	84	2.2	2.2
	不明・無回答	71	1.9	
	全体	3,826	100.0	3,755

Q64. これまでに補習授業校をやめたいと思ったことはありますか？(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	よくある	832	21.7	22.1
2	少しある	1,375	35.9	36.6
3	ほとんどない	733	19.2	19.5
4	ない	821	21.5	21.8
	不明・無回答	65	1.7	
	全体	3,826	100.0	3,761

Q64-2. (①・②を選んだ人へ) それはなぜですか？当てはまるものを全て選んでください。(MA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	友達がいらないから	134	3.5	5.9
2	日本語がわからないから	215	5.6	9.5
3	授業がわからないから	325	8.5	14.3
4	土曜日に他のことがしたいから	1,191	31.1	52.5
5	土曜日に遊べないから	940	24.6	41.4
6	宿題がたくさんあるから	1,433	37.5	63.2
7	つまらないから	679	17.7	29.9
8	その他	434	11.3	19.1
	不明・無回答	1,558	40.7	
	全体	3,826	100.0	2,268

Q65. 補習授業校の国語の授業は楽しい。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,023	26.7	27.2
2	どちらかといえば、当てはまる	1,406	36.7	37.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	880	23.0	23.4
4	当てはまらない	446	11.7	11.9
	不明・無回答	71	1.9	
	全体	3,826	100.0	3,755

Q66. 国語の勉強は好きだ。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	845	22.1	22.5
2	どちらかといえば、当てはまる	1,188	31.1	31.7
3	どちらかといえば、当てはまらない	1,044	27.3	27.8
4	当てはまらない	675	17.6	18.0
	不明・無回答	74	1.9	
	全体	3,826	100.0	3,752

Q67. 国語の勉強は大切だ。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	2,198	57.4	58.6
2	どちらかといえば、当てはまる	1,128	29.5	30.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	286	7.5	7.6
4	当てはまらない	139	3.6	3.7
	不明・無回答	75	2.0	
	全体	3,826	100.0	3,751

Q68. 国語の授業はよくわかる。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,329	34.7	35.4
2	どちらかといえば、当てはまる	1,568	41.0	41.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	619	16.2	16.5
4	当てはまらない	234	6.1	6.2
	不明・無回答	76	2.0	
	全体	3,826	100.0	3,750

Q68-2. (①・②を選んだ人へ) なぜよくわかると思いますか? 当てはまるものを全て選んでください。(MA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	家でよく勉強しているから	508	13.3	17.5
2	先生の教え方がわかりやすいから	1,701	44.5	58.5
3	友達と一緒に勉強できるから	510	13.3	17.5
4	おうちの人に教えてもらっているから	584	15.3	20.1
5	塾で勉強しているから	79	2.1	2.7
6	その他	667	17.4	22.9
	不明・無回答	918	24.0	
	全体	3,826	100.0	2,908

Q69. 日本語の本を読むのは好きだ。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,561	40.8	41.8
2	どちらかといえば、当てはまる	895	23.4	24.0
3	どちらかといえば、当てはまらない	706	18.5	18.9
4	当てはまらない	570	14.9	15.3
	不明・無回答	94	2.5	
	全体	3,826	100.0	3,732

Q70. 国語の授業で学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,769	46.2	47.4
2	どちらかといえば、当てはまる	1,312	34.3	35.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	460	12.0	12.3
4	当てはまらない	194	5.1	5.2
	不明・無回答	91	2.4	
	全体	3,826	100.0	3,735

Q71. 漢字のテストが好きだ。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	571	14.9	15.3
2	どちらかといえば、当てはまる	799	20.9	21.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	923	24.1	24.8
4	当てはまらない	1,436	37.5	38.5
	不明・無回答	97	2.5	
	全体	3,826	100.0	3,729

Q72. 補習授業校の算数／数学の授業は楽しい。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,430	37.4	38.8
2	どちらかといえば、当てはまる	1,207	31.5	32.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	662	17.3	18.0
4	当てはまらない	385	10.1	10.5
	不明・無回答	142	3.7	
	全体	3,826	100.0	3,684

Q73. 算数／数学の勉強は好きだ。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,613	42.2	43.8
2	どちらかといえば、当てはまる	1,015	26.5	27.5
3	どちらかといえば、当てはまらない	638	16.7	17.3
4	当てはまらない	420	11.0	11.4
	不明・無回答	140	3.7	
	全体	3,826	100.0	3,686

Q74. 算数／数学の勉強は大切だ。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	2,615	68.3	71.1
2	どちらかといえば、当てはまる	803	21.0	21.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	141	3.7	3.8
4	当てはまらない	121	3.2	3.3
	不明・無回答	146	3.8	
	全体	3,826	100.0	3,680

Q75. 算数／数学の授業はよくわかる。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,761	46.0	47.8
2	どちらかといえば、当てはまる	1,194	31.2	32.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	504	13.2	13.7
4	当てはまらない	224	5.9	6.1
	不明・無回答	143	3.7	
	全体	3,826	100.0	3,683

Q75-2. (①・②を選んだ人へ) なぜよくわかると思いますか? 当てはまるものを全て選んでください。(MA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	家でよく勉強しているから	847	22.1	28.5
2	先生の教え方がわかりやすいから	1,352	35.3	45.5
3	友達と一緒に勉強できるから	449	11.7	15.1
4	おうちの人に教えてもらっているから	701	18.3	23.6
5	塾で勉強しているから	198	5.2	6.7
6	その他	915	23.9	30.8
	不明・無回答	857	22.4	
	全体	3,826	100.0	2,969

Q76. 文章題は好きだ。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	452	11.8	12.3
2	どちらかといえば、当てはまる	916	23.9	24.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	1,169	30.6	31.8
4	当てはまらない	1,135	29.7	30.9
	不明・無回答	154	4.0	
	全体	3,826	100.0	3,672

Q77. 算数／数学の授業で学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	2,282	59.6	62.0
2	どちらかといえば、当てはまる	960	25.1	26.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	269	7.0	7.3
4	当てはまらない	167	4.4	4.5
	不明・無回答	148	3.9	
	全体	3,826	100.0	3,678

Q78. 計算のドリルが好きだ。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	791	20.7	21.5
2	どちらかといえば、当てはまる	999	26.1	27.2
3	どちらかといえば、当てはまらない	950	24.8	25.8
4	当てはまらない	937	24.5	25.5
	不明・無回答	149	3.9	
	全体	3,826	100.0	3,677

6. 現地校（またはインターナショナルスクール等）について

Q79. 現地校に行くのが楽しみだ。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	1,976	51.6	51.9
2	どちらかといえば、そう思う	1,161	30.3	30.5
3	どちらかといえば、そう思わない	476	12.4	12.5
4	そう思わない	193	5.0	5.1
	不明・無回答	20	0.5	
	全体	3,826	100.0	3,806

Q80. 友達に会うのは楽しい。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	3,062	80.0	80.4
2	どちらかといえば、そう思う	551	14.4	14.5
3	どちらかといえば、そう思わない	121	3.2	3.2
4	そう思わない	74	1.9	1.9
	不明・無回答	18	0.5	
	全体	3,826	100.0	3,808

Q81. 好きな授業がある。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	2,970	77.6	78.3
2	どちらかといえば、そう思う	515	13.5	13.6
3	どちらかといえば、そう思わない	188	4.9	5.0
4	そう思わない	119	3.1	3.1
	不明・無回答	34	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,792

Q82. あなたの学級（クラス）では、（学級会などの時間に）友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	1,129	29.5	29.8
2	どちらかといえば、そう思う	1,059	27.7	28.0
3	どちらかといえば、そう思わない	868	22.7	22.9
4	そう思わない	727	19.0	19.2
	不明・無回答	43	1.1	
	全体	3,826	100.0	3,783

Q83. (学級会などの話合いの活動で) 自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	1,170	30.6	31.0
2	どちらかといえば、そう思う	1,201	31.4	31.8
3	どちらかといえば、そう思わない	813	21.2	21.5
4	そう思わない	593	15.5	15.7
	不明・無回答	49	1.3	
	全体	3,826	100.0	3,777

Q84. 学級（クラス）みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。（SA）

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	1,950	51.0	51.5
2	どちらかといえば、そう思う	913	23.9	24.1
3	どちらかといえば、そう思わない	543	14.2	14.3
4	そう思わない	379	9.9	10.0
	不明・無回答	41	1.1	
	全体	3,826	100.0	3,785

Q85. 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。（SA）

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	2,151	56.2	56.7
2	どちらかといえば、そう思う	1,169	30.6	30.8
3	どちらかといえば、そう思わない	344	9.0	9.1
4	そう思わない	127	3.3	3.4
	不明・無回答	35	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,791

Q86. 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。（SA）

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	そう思う	1,916	50.1	50.5
2	どちらかといえば、そう思う	1,187	31.0	31.3
3	どちらかといえば、そう思わない	482	12.6	12.7
4	そう思わない	208	5.4	5.5
	不明・無回答	33	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,793

Q87. 現地校（またはインターナショナルスクール等）の授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか？（MA）

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	その場で先生に尋ねる	1,255	32.8	33.2
2	授業後に先生に尋ねに行く	964	25.2	25.5
3	友達に尋ねる	1,109	29.0	29.3
4	家の人に尋ねる	756	19.8	20.0
5	学習塾の先生（家庭教師の先生も含みます）に尋ねる	221	5.8	5.8
6	自分で調べる	752	19.7	19.9
7	そのままにしておく	116	3.0	3.1
	不明・無回答	43	1.1	
	全体	3,826	100.0	3,783

Q88. 現地校（またはインターナショナルスクール等）に仲の良い友達は何人くらいいますか？（SA）

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	1～5人	721	18.8	19.2
2	6～10人	934	24.4	24.8
3	10人以上	2,030	53.1	54.0
4	仲の良い友達はいない	74	1.9	2.0
	不明・無回答	67	1.8	
	全体	3,826	100.0	3,759

Q89. 授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,721	45.0	45.4
2	どちらかといえば、当てはまる	1,460	38.2	38.5
3	どちらかといえば、当てはまらない	463	12.1	12.2
4	当てはまらない	147	3.8	3.9
	不明・無回答	35	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,791

Q90. 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	2,018	52.7	53.2
2	どちらかといえば、当てはまる	1,240	32.4	32.7
3	どちらかといえば、当てはまらない	388	10.1	10.2
4	当てはまらない	150	3.9	4.0
	不明・無回答	30	0.8	
	全体	3,826	100.0	3,796

Q91. 授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,914	50.0	50.9
2	どちらかといえば、当てはまる	1,150	30.1	30.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	515	13.5	13.7
4	当てはまらない	185	4.8	4.9
	不明・無回答	62	1.6	
	全体	3,826	100.0	3,764

Q92. 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,575	41.2	41.7
2	どちらかといえば、当てはまる	1,300	34.0	34.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	681	17.8	18.0
4	当てはまらない	224	5.9	5.9
	不明・無回答	46	1.2	
	全体	3,826	100.0	3,780

Q93. 授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,633	42.7	43.1
2	どちらかといえば、当てはまる	1,387	36.3	36.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	560	14.6	14.8
4	当てはまらない	207	5.4	5.5
	不明・無回答	39	1.0	
	全体	3,826	100.0	3,787

Q94. 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,340	35.0	35.4
2	どちらかといえば、当てはまる	1,417	37.0	37.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	746	19.5	19.7
4	当てはまらない	283	7.4	7.5
	不明・無回答	40	1.0	
	全体	3,826	100.0	3,786

Q95. 授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,885	49.3	49.8
2	どちらかといえば、当てはまる	1,313	34.3	34.7
3	どちらかといえば、当てはまらない	435	11.4	11.5
4	当てはまらない	154	4.0	4.1
	不明・無回答	39	1.0	
	全体	3,826	100.0	3,787

Q96. 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,273	33.3	33.6
2	どちらかといえば、当てはまる	1,299	34.0	34.3
3	どちらかといえば、当てはまらない	860	22.5	22.7
4	当てはまらない	355	9.3	9.4
	不明・無回答	39	1.0	
	全体	3,826	100.0	3,787

Q97. 授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思う。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体 (%)	除不 (%)
1	当てはまる	1,322	34.6	34.9
2	どちらかといえば、当てはまる	1,071	28.0	28.2
3	どちらかといえば、当てはまらない	823	21.5	21.7
4	当てはまらない	576	15.1	15.2
	不明・無回答	34	0.9	
	全体	3,826	100.0	3,792

資料3 「管理職に対する補習授業校調査」質問項目

学校の目的などについて

- 1 補習授業校の設置目的をお教えてください。
また、これまでその目的についてその見直しを行ってききましたか。
もし行った場合、いつ、どのように変えたかをお教えてください（例えば、帰国対応のみでなく、対象などを広げているかといった点です）。
- 2 幼稚部を設置していますか。今後の幼稚部の子どもの数の見通しをどのように把握していますか。
- 3 授業科目の選択制を導入していますか。
している場合、その科目をお教えてください（例えば、国語だけの選択、国語と算数の選択、理科／社会を加える、など）。していない場合、今後の見通しをお教えてください。
- 4 習熟度別にクラス編成を行っていますか。あるいは、目的別（帰国、日本語習得など）の授業は導入していますか。
行っている場合、どのようなクラス編成とされているかお教えてください。
- 5 現地校で何らかの単位を与えられるための認定を受けていますか（School District からの Independent Study の認定、あるいは高等部の日本語 AP の認定など）。
受けている場合、どのようなものかお教えてください。
- 6 あなたは、補習授業校の良いところをどのようにとらえていますか（例えば、日本語力の保持、学び合い、友人関係づくりなど）。

教育の内容・方法などについて

- 7 各教科の指導目標・内容は日本の学習指導要領に沿ったものですか。あるいは貴校独自に設定していますか。
独自に設定している場合、それはどのような基準かお教えてください。
- 8 教科書以外に、学習ドリル等の副教材、または学校独自の教材を使っていますか。
使っている場合、どのようなものかお教えてください。
- 9 今後使用するため、独自の教材開発を進めていますか。
進めている場合、どのようなものかお教えてください。
- 10 学習指導要領に沿った指導の場合、日本国内の授業内容を 100 とすれば、補習授業校の授業時間数でできることはいくらくらいとお考えですか。おおよその概数で結構ですのでお答えください。

- 11** 編入学時にテスト（面接含む）は行いますか。
行っている場合、どのようなテストを行っていますか。また、テスト結果により不可とすることがあるかお教えてください。
- 12** 進級の可否を判断する基準はありますか。
ある場合、どのような基準か、また、不可とすることがあるかお教えてください。
- 13** 卒業、転居・帰国以外の理由で、学校を辞められる子どもは1年にどれくらいいますか。
いる場合、その理由はどのようなものかお教えてください。
- 14** 授業実施日の変更について検討したことがありますか。あるいは検討していますか（例えば、平日、あるいは日曜日などに行うこと）。
検討されている場合、どのようなことかお教えてください。
- 15** 長期休暇中に夏期講座（補習）などを実施していますか。
している場合、その日程、内容はどのようなものかお教えてください。
- 16** 受験指導を行っていますか（小学部、中学部、高等部それぞれでお答えください）。
行っている場合、どのような資料を使って、どのように指導をされているかお教えてください。
- 17** 進学ガイダンスや進路相談会など、子どもの進路を支援するための取り組みを行っていますか。
行っている場合、どのような内容、時期・頻度かお教えてください。
- 18** 学校行事、イベントを行っていますか。また、これからさらに増やしていく予定はありますか。
行っている場合、どのような内容、時期・頻度か、また、増やすことを検討していきたいものもお教えてください。
- 19** 授業でITを活用していますか。例えば、デジタル教科書、タブレットの使用、インターネットによる調べ活動、他の学校との情報交換などです。
活用している場合、具体的にお教えてください。
- 20** 子どもが夏休みなどを使って長期に日本に一時帰国する際、日本の学校への体験入学を推奨していますか。
また、日本に一時帰国する子どものうち、どれくらいの割合の子どもが実際に体験入学されているかお教えてください。
- 21** 現地校の学習内容と関連付けた授業を行っていますか。
行っている場合、どのようなものかお教えてください。
- 22** 現地採用教員の質を上げる研修を行っていますか。
行っている場合、どのような内容、時間・時期・頻度かお教えてください。

教員について

- 23** 教員免許を持った教員、また、日本での教員経験者の割合はそれぞれどのくらいですか。
- 24** 教員歴の割合はどのくらいですか。
(若手(概ね3年未満)・中堅(概ね3～10年未満)・ベテラン(概ね10年以上))
- 25** 貴校における平均勤続年数はどのくらいですか。
- 26** 普段はどのような職業に就いていますか。
- 27** 教員を採用する際にどのような選考方法はとっていますか(面接、模擬授業など)。

子どもについて

- 28** 欠席した子どもや授業について行けない子どもへのケアを行っていますか。
行っている場合、どのような内容かお教えてください。
- 29** 授業中に個別指導がないと指導内容を理解したり、学習活動を進めたりすることができない子どもがいますか。
いる場合、どのような課題があり、どのように対応していますか。また、どの学年にどれくらいの割合でそのような子どもがいるかお教えてください。
- 30** 個別指導が必要な子どもの中で、日本語習得以外のことが理由と考えられる子どもがいますか。
いる場合、どのような理由と思われますか。また、どの学年にどれくらいの割合でそのような子どもがいるかお教えてください。
- 31** 落ち着いて座ってられない子どもがいますか。
いる場合、どの学年にどれくらいの割合でいるかお教えてください。
- 32** 日常と違うことが突然起こったり、自分の思うようにいなくなったりするとパニックを起こしやすい子どもがいますか。
いる場合、何人くらいいるかお教えてください。
- 33** 相手のことを理解できなくてトラブルを起こしやすい子どもがいますか。
いる場合、何人くらいいるかお教えてください。
- 34** 持ち物の整理が苦手だったり忘れ物が多かったりする子どもがいますか。
いる場合、何人くらい、もしくはどれくらいの割合でいるかお教えてください。

35 29 から 34 までの子どもがいる場合、どのように対応しているかについてお教えてください。例えば、保護者ヘルパーの活用、補助教員の配置、参加型学習を多く取り入れる、学校カウンセラーを配置し相談活動や授業参観を実施、保護者や副担任による TT、学習サポートの実施、個に応じた課題や指導過程の工夫、席の配置の工夫などです。具体的にお教えてください。

日本語について

36 主に日本に帰国する子どもを対象にした特別の教育を行っていますか。
行っている場合、どのような内容かお教えてください。

37 主に永住予定の子どもを対象にした特別の教育を行っていますか。
行っている場合、どのような内容か、また、実施日を変えるといった工夫をしているかお教えてください。

38 日本語教育に特化した国際学級等を併設していますか。

39 日本語指導を必要とする子どもに特別な指導を行っていますか。
行っている場合、どのような指導を行っているか具体的にお教えてください。

40 学校として子どもの日本語力を把握していますか。
している場合、どのような方法を行っているか、具体的にお教えてください。

41 子どもの日本語力の評価を行っていますか。
行っている場合、どのような方法で行っているかお教えてください。

42 子どもの国語力を評価するために学力評価を行っていますか。
行っている場合、どのような方法、内容、頻度等でされているかお教えてください。

43 日本語が十分でない子どもの指導について、どのような指導を行っているかお教えてください（例えば、ルビ振り、独自教材、ワークシートの活用、調べ活動、表現活動、個別支援など）。

家庭・地域について

44 現地の地域との関係について以下の点についてお教えてください。

- ① 借用校の賃料について
- ② 借り校舎であることの問題
- ③ 毎週土曜日に多数の車が来て無断駐車、交通渋滞を起し、近辺の住民の迷惑となる場合の対処について

45 保護者への連絡について何か工夫していますか（例えば、SNS、ブログなど）。
行っている場合、どのような内容かお教えてください。

- 46 保護者同士での連絡について何か手段を提供していますか（例えば、SNS、名簿の配付など）。
提供している場合、どのような内容かお教えてください。
- 47 保護者による課外活動などは行われていますか。
行っている場合、どのような内容かお教えてください。
- 48 高学年の終業を待つ低学年のために宿題を見たり、課外活動をしったりするような「After School Program」などを設けていますか。
- 49 家庭学習（宿題）について一定の方針がありますか。また、保護者の日本語力など家庭の状況に応じて、宿題の内容や量、保護者による見届けなどの有無について工夫していますか。
している場合、どのような内容かお教えてください。
- 50 学校としての家庭の補習授業校への期待・ニーズについて把握していますか。
している場合、その期待やニーズがどのような内容かお教えてください。
- 51 他の補習授業校、日本人学校・現地校と連携した取り組みを行っていますか。
行っている場合、どの学校とどのような取り組みをされているかお教えてください。
- 52 授業時の安全対策として、何か行っていることはありますか。
ある場合、どのようなものかお教えてください。

その他

- 53 貴校の課題をいくつかあげてください（財政、教員確保、その他何でも）。
- 54 貴校ではグローバル人材の育成のために取り組んでいること、または取り組みたいと考えていることがあればお教えてください。
- 55 貴校の児童生徒数について、概数で結構ですので次の数字をお教えてください。
● 帰国予定（ ）割 + 永住予定（ ）割 + 不明（ ）割 = 10割

● 両親とも日本人（ ）割 + 国際結婚 / お母様が日本人（ ）割 + 国際結婚 / お父様が日本人 + 国際結婚 / 両親とも外国人（ ）割 + 不明（ ）割 = 10割
- 56 貴校の児童生徒の平均在学年数について、概数で結構ですのでお教えてください。
● 帰国予定者（ ）年 永住予定者（ ）年
- 57 貴校の児童生徒の（いわゆる）学習塾に通われている割合について、概数で結構ですのでお教えてください。
● 帰国予定者（ ）割 永住予定者（ ）割

以 上

おわりに

本報告書では、補習授業校をパワーアップする AG5 プロジェクトでの取り組みの土台として、補習授業校に通う子どもたちへの「学習状況調査」と、補習授業校の管理職を主な対象とした「補習授業校調査」の結果をまとめました。本調査からは、アメリカの大規模補習授業校では、日本語の方が得意な子どもと英語の方が得意な子どもがおおよそ半々であることや、駐在員家庭などいずれ日本に帰国する子どもが大多数の補習授業校がある一方で、永住予定の家庭の子どもが過半数の補習授業校もあることなど、「補習授業校は……」、「海外の子どもたちは……」と、一概にはくくれない現状がよくみえてきました。

そうした状況の中で、子どもたちの多くは補習授業校を楽しんでいると感じており、学校関係者や保護者の皆様も、塾や家庭教師にはない「よさ」を、補習授業校に感じていることがわかり、調査者として安堵いたしました。日本語や教科の勉強ができるだけでなく、日本につながる仲間に出会い、日本の文化に触れ、アイデンティティを育むという補習授業校の「よさ」をあらためて確認できたのは、たいへん嬉しいことでした。

また、日本にルーツをもちながら海外で育つ子どもたちには、自己肯定感の高さや表現力の豊かさなど、素晴らしい点がたくさんあることがわかりました。補習授業校の先生方も、さまざまな制約がある中で、子どもたちによりよい学びの機会を提供すべく、試行錯誤をしていることもわかりました。

こうした結果を踏まえて、AG5 プロジェクトでは、日本にルーツをもつ多様な子どもたちがともに学べるよりよい環境をつくるべく、さまざまな提案をしていきたいと考えています。すでに、現地での生活体験や学習成果を生かした合科授業に取り組んだり、補習授業校の教師の研修機会やネットワークを提供したりする等の活動を始めています。

これからの補習授業校は、日本の学校の後を追って不足を補う場ではなく、「グローバル時代の先端をいく子どもたちを育てる場」になっていくだろうと期待しています。本報告書が、そのための糧になることを祈っています。

本調査にあたりまして、補習授業校の子どもたちや保護者の皆様、先生方や管理職の方々に、たいへんお世話になりました。末筆ながら、あらためて厚く御礼申し上げます。

2018年12月

AG5 運営指導委員
岡村 郁子
渋谷 真樹

AG5運営指導委員会

委員長

佐藤 郡 衛 明治大学 特任教授

委員

中村 雅 治 海外子女教育振興財団 理事長

渋谷 真 樹 奈良教育大学 教授

岡村 郁 子 首都大学東京 准教授

見世 千賀子 東京学芸大学 准教授

植野 美 穂 海外子女教育振興財団 教育相談室長

佐々 信 行 海外子女教育振興財団 教育相談員

.....

近田 由紀子 文部科学省 総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課
外国人児童生徒等教育支援プロジェクトオフィサー

補習授業校児童生徒の学習状況調査等報告書

.....

2018年12月

編著者 ● 在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業
運営指導委員

発行者 ● 公益財団法人海外子女教育振興財団
理事長 中村 雅治

連絡先 ● 公益財団法人海外子女教育振興財団内
AG5事務局
〒105-0002
東京都港区愛宕一丁目3番4号
愛宕東洋ビル6階
E-MAIL : somu@joes.or.jp
TEL : 03-4330-1343
FAX : 03-4330-1355

印刷所 ● 株式会社トック企画

.....

